地 区 史

ポール・パーシー・ハリス 没後50周年記念

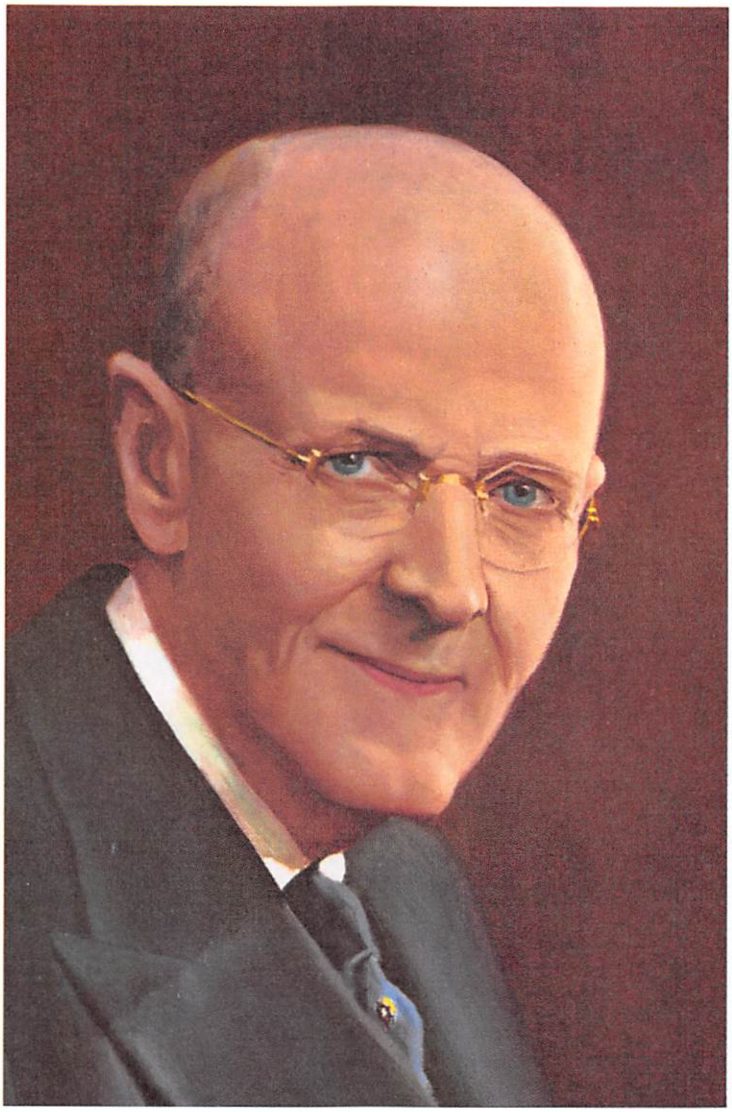
DISTRICT HISTORY

The 50th
commemoration
of the death
of Paul P. Harris

1996

国際ロータリー第2510地区

ROTARY INTERNATIONAL
D. 2510



ロータリー創始者　ポール・パーシー・ハリス

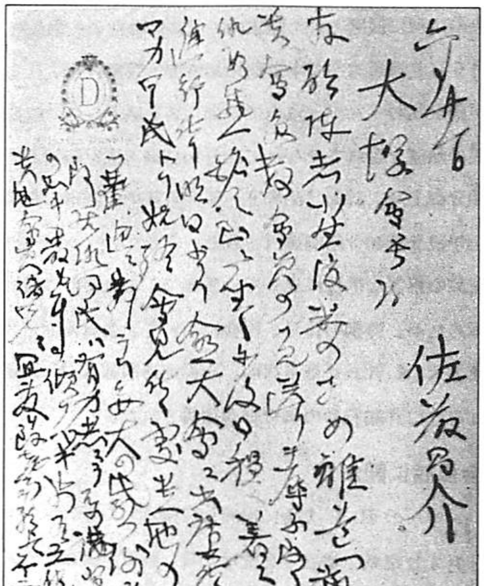
イー・エム・アール・ウエイナー 画

日本ロータリーの創設者　米山　梅吉

白瀧幾之助 画

札幌RC初代会長　佐藤　昌介
第70地区(1936-37)ガバナー

文献翻訳の恩人　宮脇　　冨
第60地区日本東部(1953-54)ガバナー



佐藤昌介

北海道から最初に選出された渡米中のガバナー佐藤昌介氏から大塚函館RC会長に宛てた書簡（1936年7月16日クラブ着）

国際ロータリー理事(1986～88)　伊藤　義郎

国際ロータリー理事(1997～99)　竹山　涼一

北海道から輩出されたガバナー　350地区　1958-71

伊部政次郎
65RC　2,497名
1958-59　昭33-34

真崎　健夫
80RC　3,105名
1959-60　昭34-35

坂牛直太郎
38RC　1,702名
1960-61　昭35-36

両角　克治
45RC　2,020名
1961-62　昭36-37

阿部　謙夫
49RC　2,566名
1962-63　昭37-38

滝本　庄蔵
54RC　2,433名
1963-64　昭38-39

寿原　九郎
61RC　2,830名
1964-65　昭39-40

嵯峨　　旻
61RC　2,984名
1965-66　昭40-41

岡田　正雄
65RC　3,153名
1966-67　昭41-42

小畑　信愛
70RC　3,368名
1967-68　昭42-43

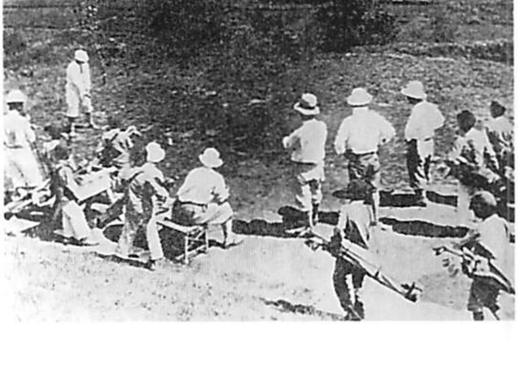
島本　　融
73RC　3,530名
1968-69　昭43-44

秋山康之進
83RC　3,886名
1969-70　昭44-45

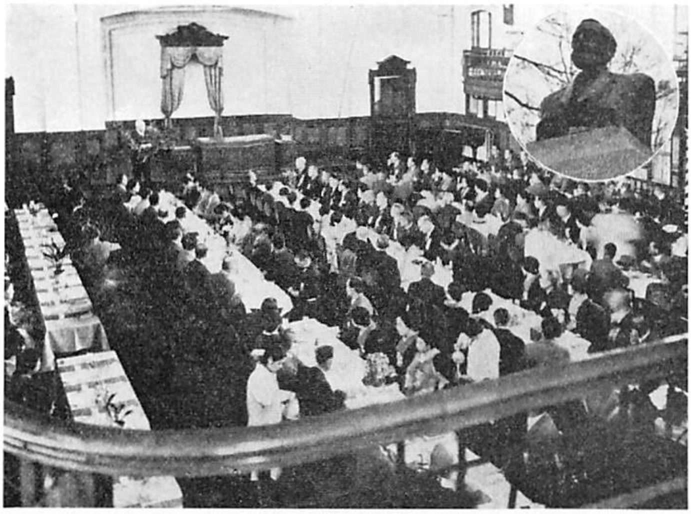
伊藤元一郎
42RC　1,876名
1970-71　昭45-46

札幌RCチャーターナイト

豊 平 館 会 場



第9回 70地区年次大会



拝啓　春暖之候愈御清祥之段奉慶賀候
陳者來五月十四、十五、十六の三日間當市に於て國際ロータリー第七十區第九年次大會開催のこと丶相成り遠くは滿洲よりの參加者も有之總員六百乃至七百の多數に及ぶべく豫想被致同大會開催に當りては種々多大の御支援御高配を蒙ること丶被存候に就ては來十四日午後六時グランドホテルに於て親しく御依頼旁御懇談の機會を得度く存候間御多忙中午御迷惑何卒御繰合せの上御來駕被下度此段御願申上候　敬具
追て當夕は午失禮粗餐の用意仕候

昭和十二年四月十日

札幌ロータリー俱樂部
會長　平塚直治

小樽新聞支局長
工藤梅太郎殿

ROTARY SAPPORO 12 5.15 INTERNATIONAL

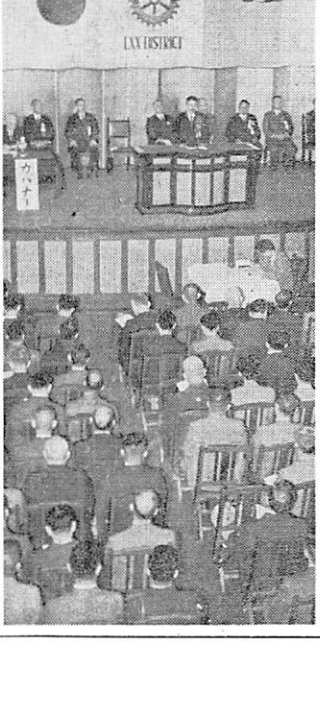
大會記念スタンプ

盛裝の夫人令嬢同伴で 四百名の豪華版
けふ二日目 ロータリー大會

國際ロータリー第七十區第九年次大會第二日目は十五日午前九時半から札幌市公會堂ホールに於て開催此日朝來快晴に惠まれ各會員は何れも、ロータリー日和に滿悦し盛裝を凝らした夫人、令嬢を同伴約四百餘名が會場に參集した定刻の午前九時二十分カッキリに振鈴が鳴り亘ると分秒の差違もなく文字通りのロータリアン時間を嚴守して着席、同九時三十分開會君が代奏唱の後ガヴァナー佐藤男爵登壇して來賓池田北海道廳長官▲橋本札幌市長、ロータリー元老、米山、井坂、朝吹、宮村の諸氏及び勝山神戸會長の諸氏を紹介、前大會以後にかける物故會員に對し全員起立の上哀悼の意を表し

昨年度出席率優勝俱樂部たる名古屋俱樂部より優勝旗の返還あり、引き續き開催地たる札幌ロータリー俱樂部の平塚會長及橋本札幌市長及池田長官歡迎の辭を述べ、參加ロータリアン代表として前年のホストクラブたる神戸俱樂部代表の感謝の辭があつて佐藤ガヴァナーの告辭あり各地よりの祝電祝辭の朗讀、小笠原委員より各選擧委員及決議委員資格審査報告あつてロータリーソングを合唱、井坂元ガヴァナーの挨拶、太平洋大會出席代表野村氏のウイリントン大會の状況報告あつて國際ロータリー特派員米山氏登壇ロータリー創設者ハリス氏、國際會長マニーヤー氏其他のメッセージ朗讀及ロータリアン思想の高揚につき所見を述べ宮脇幹事より本年度出席率五位までの報告あり

一位の岐阜俱樂部に優勝旗を授與し午前十一時十五分休憩に入り豐平館前庭で記念撮影をなし午前の日程を終つたがガヴァナーノミニー委員會及決議委員會は引續き別室にて續行された(寫眞は大會場)



けて到着するや待構へてゐた刑事に伴はれてルームランプを消した自動車によつて直に帶廣檢事局に出頭中島檢事の調室に吸込まれたが同檢事に出頭の挨拶をした程度で同夜は歸宅を許され自動車で極秘裡に同市西二條十丁目美濃屋旅館に入り二十五番室に不安な一夜を刑事に附添はれて過し十五日は午前九時十分再度召喚を受け帶廣

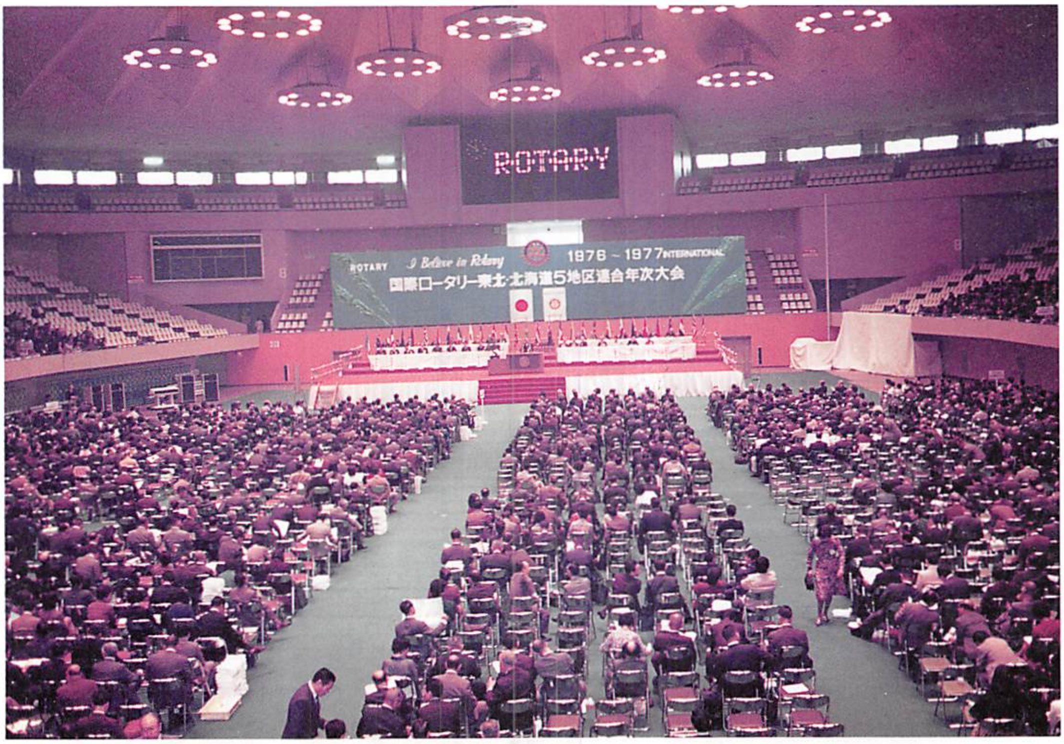
め刎ね飛ばされ全身に瀕死の重傷を負ひ路上に昏倒、怪自動車はそのまゝ江別方面に向つて疾走し去つた、登さんは北辰病院に收容應急手當の甲斐なく十五日早朝死亡したが札幌署では此の不屆きな轢き逃げトラックが青い色をしてゐたとの手懸りを得て沿線各署に手配惡徳運轉手を搜索中右は空知郡栗澤村清眞布兌川庄吉と郭明、岩

ロータリー歌合唱 〝樂しい晩餐會〟
第七十區大會 第一日

國際ロータリー第七十區第九年次大會は十四日から三日間にわたり札幌市において開催されるが第一日目の十四日を控へ全國の有名會員多數は續々と十二日から十四日正午までに來札いづれもグランド

一、國際奉仕委員會
午後四時委員會を終了引續き十五日の大會に先立つ前夜懇談會を同グランド ホテルにおいて開催したが先づ主宰者ガヴァナーの挨拶あつて各俱樂部より提案の議案を

東北・北海道５地区連合年次大会



来札されたRI会長

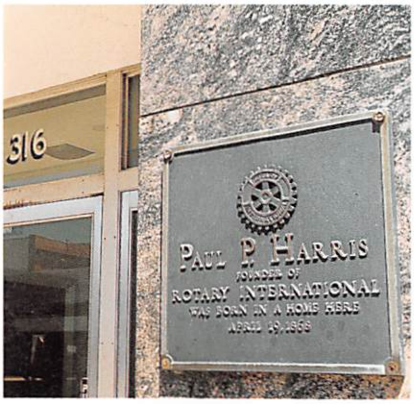
1967年３月７日　札幌RC35周年祝賀会に
来会された、エバンRI会長

1969年６月12日　伊藤義郎会長宅で
ジョージ・ミーンズご夫妻

1976年10月　東北・北海道５地区連合年次大会　マンチェスターRI会長

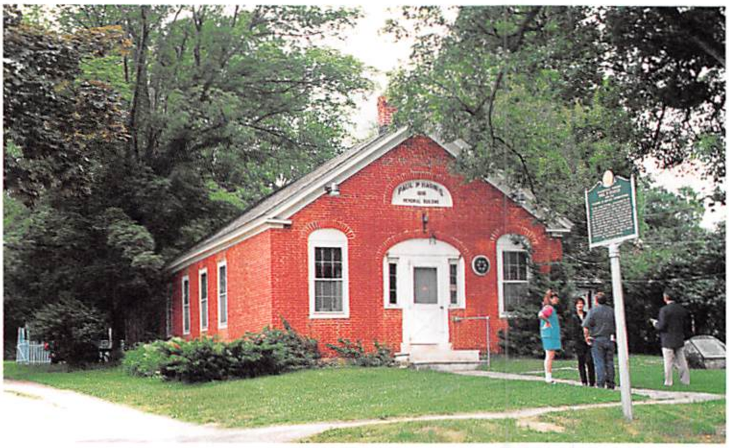
1992年４月
ヒューM･アーチャーご夫妻
３クラブ合同例会

ロータリーの故郷（ふるさと） (1996取材)



ポール・ハリスの生家を示すブロンズ版
今はオフィスビルになっている
ウィスコンシン州、ラシーン

幼少年期を過した祖父母の家
バーモント州、ウォーリングフォード



ポール・ハリスが初めてABCを
習った〝赤い小さな小学校〟
今はウォーリングRCの例会場
バーモント州、ウォーリングフォード

〝赤い小さな小学校〟
ポール・ハリス記念館の内部
バーモント州、ウォーリングフォード

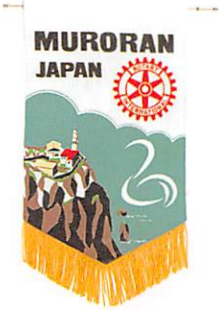
ロータリーの最初の会合を開いた
ガスターバス・ローアの部屋
シカゴ、ディアボーン街
ユニティビル711号室

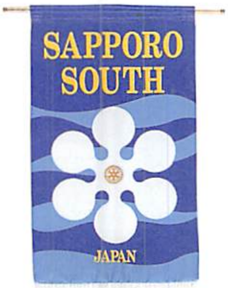
ポール・ハリスの執務室
イリノイ州、エバンストン

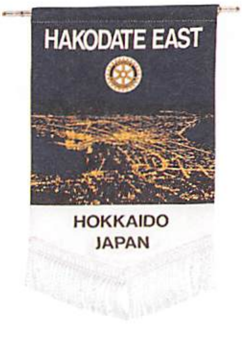
ジーン夫人と過したカムリー・バンクの家
シカゴ、ロングウッド・ドライブ

ポール・ハリスのお墓
シカゴ、ブルーアイランド、マウントホープ墓地

第2510地区クラブバーナー



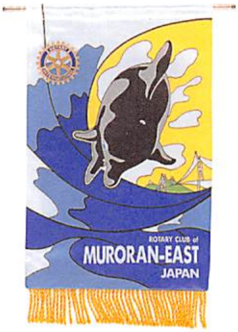




Sapporo
West
Japan

JAPAN
AKABIRA
D2510
SINCE
1960

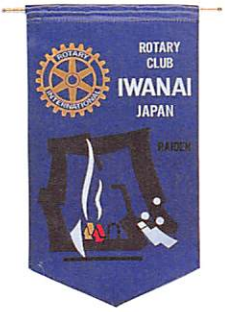
RUMOI
JAPAN


ROTARY CLUB of
MURORAN-EAST
JAPAN

YOICHI
JAPAN

URAKAWA
Japan

EBETSU
JAPAN


ROTARY
CLUB
IWANAI
JAPAN

ROTARY CLUB
ESASHI
HOKKAIDO
JAPAN
江差

MORI
JAPAN

KURISAWA
JAPAN

HAKODATE NORTH
JAPAN

KUTCHAN
Japan

SAPPORO
KONAN ROTARY CLUB
DISTRICT-2510
•JAPAN•

ROTARY
MOSEUSHI
HOKKAIDO JAPAN

HOKKAIDO
JAPAN
長万部
OSHAMAMBE

RANKOSHI
JAPAN

ROTARY.CLUB
CHITOSE
HOKKAIDO JAPAN

SAMANI
JAPAN

TOYAKO
JAPAN

松 前
MATSUMAE
HOKKAIDO JAPAN

登別
ROTARY CLUB
JAPAN

HOKKAIDO SUNAGAWA JAPAN

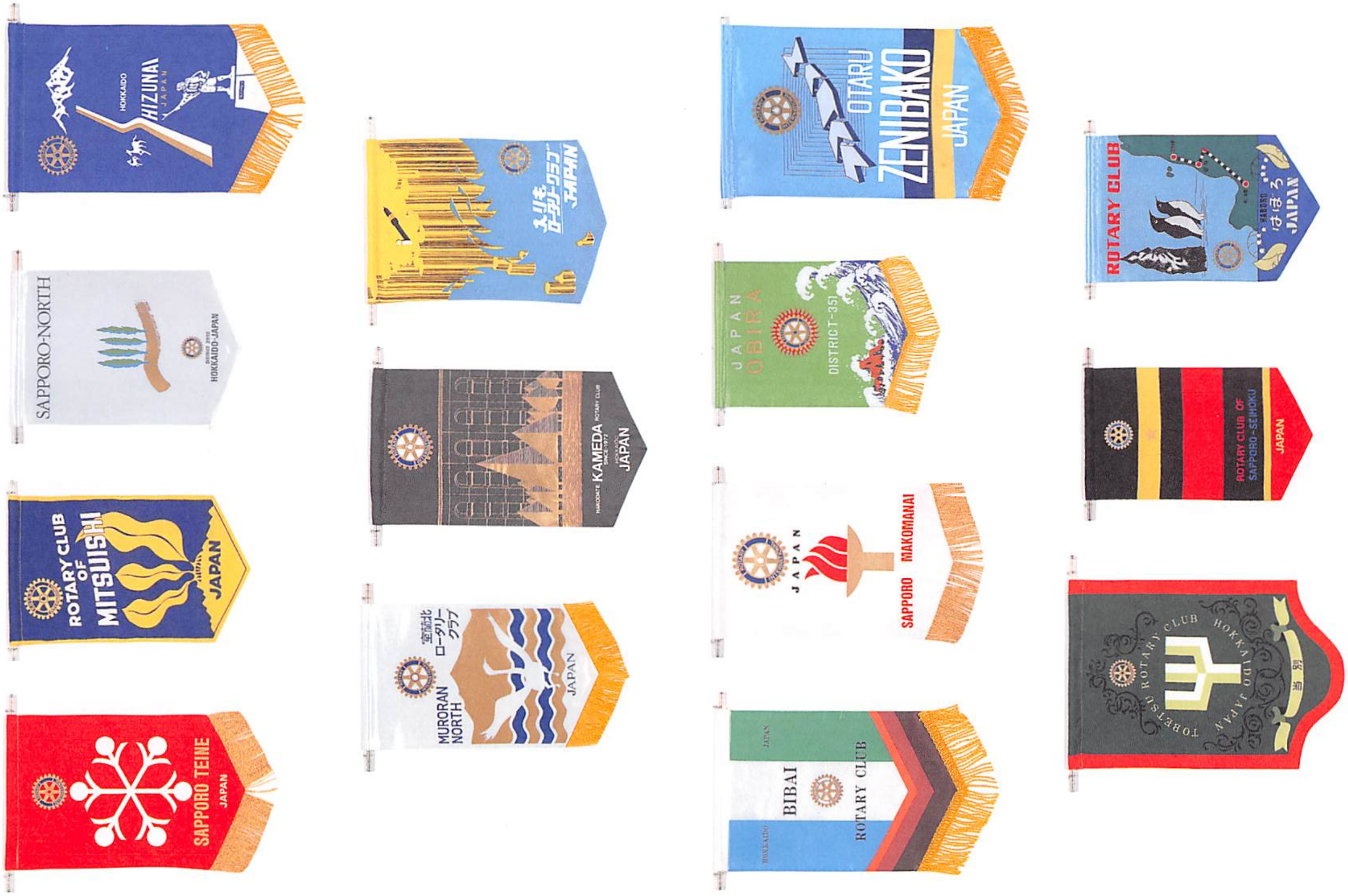
Kuriyama
Japan

TOMAKOMAI NORTH
JAPAN

五稜郭
HAKODATE
GORYOKAKU
JAPAN

ENIWA
DISTRICT 2510
JAPAN

HOKKAIDO
JAPAN
NANAE

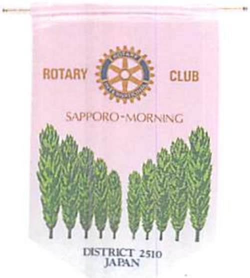

HOKKAIDO
HIZUNAI
JAPAN
SAPPORO-NORTH
HOKKAIDO-JAPAN
ROTARY CLUB OF MITSUISHI
JAPAN
SAPPORO TEINE
JAPAN
HAKODATE KAMEDA ROTARY CLUB
JAPAN
室蘭北 ロータリークラブ
MURORAN NORTH
JAPAN
OTARU
ZENIBAKO
JAPAN
JAPAN
OBIRA
DISTRICT-351
JAPAN
SAPPORO MAKOMANAI
HOKKAIDO
BIBAI
ROTARY CLUB
JAPAN
ROTARY CLUB
HABORO
はぼろ
JAPAN
ROTARY CLUB OF SAPPORO-SEIHOKU
JAPAN
TOBETSU ROTARY CLUB HOKKAIDO JAPAN
当別

JAPAN SHIRAOI
DISTRICT 2510

KITAHIROSHIMA
ROTARY CLUB
JAPAN

IWAMIZAWA
EAST
ROTARY CLUB
JAPAN

ROTARY CLUB
SHIN SAPPORO
japan


ROTARY CLUB
SAPPORO-MORNING
DISTRICT 2510
JAPAN

CHITOSE CENTRAL
ROTARY CLUB
JAPAN

SAPPORO
AKEBONO
ROTARY CLUB
JAPAN

NAGANUMA
JAPAN

ROTARY CLUB OF
EBETSU WEST
HOKKAIDO
JAPAN

Sapporo
hamanasu
ROTARY CLUB
DISTRICT 2510
HOKKAIDO-JAPAN

JAPAN
TOMAKOMAI
EAST

ROTARY CLUB OF
YUNI
YUNI-CHO YUBARI-GUN HOKKAIDO JAPAN

国際ロータリー第2510地区

地区史　目 次

口　絵

ポール・パーシー・ハリス，米山梅吉，佐藤昌介，宮脇　富，伊藤義郎，
竹山涼一，350地区(1958-71)ガバナー，札幌RCチャーターナイト，
第9回70地区年次大会，東北・北海道5地区連合年次大会，来札されたRI会長，
ロータリーの故郷，第2510地区クラブバーナー(68クラブ)

発刊の辞……………………………………………………地区史編纂委員長　西條　正博……1
発刊ご挨拶　………元RI理事・元RI財団管理委員・RI第2510地区パストガバナー　伊藤　義郎……2
祝　　辞…………………………RI理事エレクト・RI第2510地区パストガバナー　竹山　涼一……3

ロータリーの発祥

国際ロータリーの序章……………………………………………………………………7
ポール・P・ハリス年譜…………………………………………………………………17

日本ロータリーの歴史

日本ロータリーの発祥(札幌RC誕生まで)　……………………………………………21
米山梅吉年譜………………………………………………………………………………27

北海道ロータリー史

札幌ロータリークラブの誕生……………………………………………………………31
戦時下の各クラブの活動…………………………………………………………………35

ガバナー編

1970～71年　河野通正………………47
1971～72年　富田　恭………………51
1972～73年　塩谷　猛………………55
1973～74年　柿本恒一………………59
1974～75年　森松定男………………63
1975～76年　青木一雄………………67
1976～77年　大野和男………………71
1977～78年　伊藤義郎………………75
1978～79年　富田嘉市………………79
1979～80年　太宰六郎………………83
1980～81年　小川忠一………………87
1981～82年　佐久間三八……………91
1982～83年　山賀　勇………………95
1983～84年　竹山涼一………………99

1984～85年　河邨文一郎 ……………103
1985～86年　望月武義 ……………107
1986～87年　三浦祐晶 ……………111
1987～88年　坂本　忠 ……………115
1988～89年　大橋康次 ……………119
1989～90年　籾谷真一 ……………123
1990～91年　白石欽一 ……………127
1991～92年　佐藤鉄彌 ……………131
1992～93年　北村　實 ……………135
1993～94年　富山惟夫 ……………139
1994～95年　富原　薫 ……………143
1995～96年　西條正博 ……………147
1996～97年　野口信夫 ……………151

トピックス

第2510地区・女性会長No.1 ……………155
露口四郎氏の葉書 ……………156
佐藤昌介ガバナー指名の裏話 ……………158
RIに念書をとられた日本のロータリー ……………158
富脇　冨のこと ……………159
小樽ロータリークラブのダンス教室 ……………160
小樽ロータリー倶楽部小史抄 ……………161
幻の加盟認証状発見 ……………162
どちらが先か・双子の兄弟 ……………164

クラブ編(創立順)

札　幌 ……………167
小　樽 ……………168
函　館 ……………169
室　蘭 ……………170
岩見沢 ……………171
札幌南 ……………172
苫小牧 ……………173
函館東 ……………174
芦　別 ……………175
滝　川 ……………176
札幌東 ……………177
深　川 ……………178
伊　達 ……………179
小樽南 ……………180
札幌西 ……………181
赤　平 ……………182
留　萌 ……………183
室蘭東 ……………184
余　市 ……………185
浦　河 ……………186

江　別 ……………………………………187
岩　内 ……………………………………188
江　差 ……………………………………189
森 ……………………………………190
栗　沢 ……………………………………191
函館北 ……………………………………192
倶知安 ……………………………………193
札幌幌南 …………………………………194
妹背牛 ……………………………………195
長万部 ……………………………………196
蘭　越 ……………………………………197
千　歳 ……………………………………198
様　似 ……………………………………199
洞爺湖 ……………………………………200
松　前 ……………………………………201
登　別 ……………………………………202
砂　川 ……………………………………203
栗　山 ……………………………………204
苫小牧北 …………………………………205
函館五稜郭 ………………………………206
恵　庭 ……………………………………207
七　飯 ……………………………………208
札幌手稲 …………………………………209
三　石 ……………………………………210
札幌北 ……………………………………211
静　内 ……………………………………212
室蘭北 ……………………………………213
函館亀田 …………………………………214
えりも ……………………………………215
美　唄 ……………………………………216
札幌真駒内 ………………………………217
小　平 ……………………………………218
小樽銭函 …………………………………219
当　別 ……………………………………220
札幌西北 …………………………………221
羽　幌 ……………………………………222
白　老 ……………………………………223
北広島 ……………………………………224
岩見沢東 …………………………………225
新札幌 ……………………………………226
札幌モーニング …………………………227
千歳セントラル …………………………228
札幌あけぼの ……………………………229
長　沼 ……………………………………230
江別西 ……………………………………231
札幌はまなす ……………………………232
苫小牧東 …………………………………233
由　仁 ……………………………………234

参考文献 ……………………………………………………………………235
あとがき ……………………………………………………………………236
折　　込(国際ロータリー第2510地区の系統図)

発　刊　の　辞

地区史編纂委員長　西　條　正　博

1997（平成９）年１月27日は、ロータリーの創始者ポールＰ．ハリス没後50年にあたります。RIはこの日を中心にして、クラブでも、地区でも、記念行事を実施するよう呼びかけております。

当地区ではこれに応え、地区構成以来64年にして初めて、追悼記念事業として「地区史」を発刊することにいたしました。私は15年前にはじめられた「地区要覧」の発刊にも深く関わりをもち、その経緯については、昨年度発刊の「地区要覧」の序文に詳しく記しておきましたが、このたび「地区史」を発刊するについても、委員長の大役を担ったことを身に余る光栄に思っております。

こういう仕事は、それを担当するに相応しい、有能な、そして熱意のあるスタッフが揃わなければ不可能なことですが、願ってもない最高のスタッフを得て、この一年間苦労を共に出来たことは、まことに幸運なことでありました。

また、地区内全てのクラブと、パスト・ガバナー諸先生に原稿をお願いしましたが、ご多忙のなか、煩雑な資料の蒐集作業を厭わず、ご寄稿下さいましたことに衷心より御礼申し上げます。

貴重な一冊でありますから、折にふれて繙き、お役に立てていただけるならば無上の光栄であります。

発刊ご挨拶

元RI理事
元RI財団管理委員
RI第2510地区パストガバナー　伊　藤　義　郎

第2510地区パストガバナー西條さんの長年にわたるロータリーへの正しい理解と情熱は、ロータリー活動の推進と社会評価を大いに高めるものでありました。此の延長が、今回の「地区史」の編集と発刊になったのであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

此の「地区史」は当地区のみならず、国際ロータリーと日本のロータリーの縮図でもあります。又、札幌クラブの誕生と、其の時は日本が一地区であった事とを思い起こしますと此の「地区史」は正に北海道のロータリーの歴史であり、此の発刊は後世に残す記録であると考え、まことに感無量であります。

終わりに西條パストガバナーをはじめ、お手伝いを頂きました皆さんに厚く御礼を申し上げてご挨拶といたします。

祝　　辞

RI理事エレクト
RI第2510地区パストガバナー　竹　山　涼　一

このたび西條正博直前ガバナーを総責任者とする当第2510地区の歴史が初めて刊行されましたことは元地区ガバナーのひとりとして喜びにたえません。

日本ロータリー全体の歴史、あるいは個々のクラブ史については、多くの例が見られますが、地区史の本格的なものは決して多くはありません。それは地区そのものに変動要素が含まれているからに外なりませんが、逆に考えますと、クラブそれぞれの立場から見て、過去の変遷の歴史を知ることは、近隣地区との関係も含めたロータリーそのものの発展の歴史も併せて理解することになり、延いては将来を考える為の有益な情報にもなると思います。

1982年、今は亡き佐久間ガバナーの任期が終わった時、当地区としては初めて地区要覧が出版されました。この内容には佐久間年度のみならず、5年間遡った地区組織図や、地区内最古の札幌クラブからの系統図が含まれ、貴重な文献でありました。それに誘発されてその後当地区では地区要覧の刊行が定着いたしました。

本地区史はそれらも含めた本格的な地区史であり、内容的には更に磨きのかかったものと言えましょう。

約一年近く本書の刊行に関わった西條さんをはじめとする委員の皆様に対し、衷心から謝意を表すると共に改めて本書の完成に対し祝意を表する次第であります。

ロータリーの発祥

国際ロータリーの序章

ポール・ハリスを偲んで

1905年２月23日に、アメリカ合衆国イリノイ州シカゴの一青年弁護士であったポール・パーシー・ハリスが、親しい友人３人と語らって何か社会のためになるような仕事のできる集まりを始めようとしたのが、ロータリーの誕生となった。では、ポール・ハリスはどのような過程でロータリー運動についてのアイディアを得たのか。ポール・ハリス没後50周年を迎えた今、この運動の大河のような今日の姿を源流にまで溯り、ロータリー運動を構成しているいくつかの要素を探ってみることは、まことに意義のあることであろう。彼の生い立ちに関わった人々と、彼を育んだ自然風土を訪ねることは、ロータリー運動を理解するのに適切な方法だと思う。

ロータリーの揺籃　ニューイングランド

ポール・ハリスは、1868年（明治元年）４月19日シカゴの北60マイル、ミルウォーキーの南25マイル、北米第２の大湖ミシガン湖畔のラシーン市で生まれた。３歳の時、父親が事業に失敗して父母が別居したため、両親のもとを離れ父親の実家である、ニューイングランドのバーモント州、ウォーリングフォードにやってきた。ニューイングランドは、メイ・フラワー号で旧大陸を逃れてきたピューリタンの祖先が拓いた土地で、森林や、入り江、湖沼は四季折々の異なる表情を見せる、豊かな自然に恵まれていた。特筆されるのは、その環境が孤独で思索的で、静かな生活を愛する詩人や作家達にとってもまた聖域であったことである。“緋文字”のホーソンを始めソロー、ロングフェロー、エマーソンなどニューイングランドの風土よりキラ星の如く輩出した文学者達は、彼らの作品を通してニューイングランドを頑固な宗教的迫害より救い出し、信教の自由を啓蒙した。その結果、戒律厳しい軍隊的宗教といわれたピューリタニズムと共にプロテスタントの諸分派が並びたつに至った。カトリック移民やアイルランドと仏領カナダの移住者も数を増し、此処は宗教自由の揺籃の地となった。

ポールは厳格なニューイングランドの家庭の躾である犠牲、献身、名誉、真実、誠実、愛情を祖父母から知らず知らずのうちに身に付け、隣人愛、友人愛の大切さを学んだ。後にポール・ハリスがロータリー運動に身を捧げるようになった源泉を探っていくと、バーモント山脈の谷あいの故郷、村人の人情や宗教や政治に対する寛容な心遣いにまで溯ることができる。このことは、「ロータリーは故郷の谷間で産声を上げた」と述懐した彼の晩年の追想録に明らかである。グリーン山脈に挟まれたニューイングランドの自然は、ポール

にとって冷ややかな非情物ではなく、森や湖水は有情そのものであり、ロータリーの心の揺り籃であった。

ポール・ハリスの学校生活

ポールは、ひどい腕白小僧で、村に何か異変が起きると村人は、まずポールを思い出すというほど、その腕白の度が激しかった。高等学校、専門学校と進むうち、腕白が過ぎて除名処分を受けたこともあり、バーリントンにあるバーモント大学に入学してからは、一時おとなしくなっていたが、その後彼のいたずら好きが又頭をもたげ、学友３人と共に再び退学処分になってしまった。その後は家庭教師について勉強し、19歳の春プリンストン大学に入学した。

1888年３月、プリンストンのポールは祖父危篤の報に接し、大恩人のもとに急行したが尊敬すべき祖父は、既にこの世の人ではなかった。翌年同大学を終えると、まず就職したのは、西ラトランドのシェルドン大理石会社の給仕としてであった。大学を出て給仕となったのは異例のことだが、彼はここで給仕という仕事は命ぜられた仕事をするだけではなく、命ぜられないことでも自分で捜し求めてやらなければならないことを、身に染みて教えられたと後日述懐している。ここで一年ばかり勤めたポールは、祖母の勧めで法律を学ぶことになり、アイオワ州立大学法律部に入り弁護士の道を進むことになったが、その途中シカゴ市に一週間ほど滞在した。

当時のシカゴは、いわゆる典型的な開拓者の町で、当時アメリカでもっとも急速に成長を遂げている都市の一つといわれ、ポールはあらゆる人種、信条、文化からなる人間のるつぼとも言うべきシカゴの魅力に取りつかれてしまった。彼はシカゴには偉大な未来があり、将来アメリカの発展に重要な役割を果たすであろうことを直感で理解した。そして将来腰を落ち着ける時期が来れば、シカゴに住居を構えようと決意した。

放浪生活　THE ADVENTURER

1891年の６月ポールはアイオワ州立大学で法律の学位を取り卒業したが、在学中彼は、母代わりに彼を慈しみ育ててくれた最愛の祖母を失った。両親との縁に薄かったポールは、祖父母をまたとなく慕っていただけに祖母の死で事実上彼は一人ぼっちになった。後に彼は人々に対する奉仕の新時代を開いたが、彼の人格を形成し、そうした資質をポールに植えつけたのは、祖父母であった。その意味からも祖父ハワード・ハリスと祖母パメラ・ハリスの名は決して忘れてはならない。この二人こそロータリーの基礎を築いた功労者なのである。卒業後ポールはすぐに、弁護士開業はせずに５年間の予定で放浪の旅に出ることにした。できるだけ多くの都市を旅行しながらいろいろな仕事に就いて人生を修業しようとした。

最初に足を向けたのは、サンフランシスコであった。そこで新聞記者になったが、間もなくカリフォルニアの果樹園などで働き、その後ロサンゼルスに出て実業学校の教師を経験した。デンバーでは、国民劇場の舞台に立ったり、再び新聞記者をやったり、一時はカウボーイの荒仕事までもやったりした。フロリダに出てからは、ホテルの夜勤番頭、大理石会社のセールスマンなどやったが、この雇い主のジョージ・クラークとポールはたちまち親友となった。そして十数年後にジョージは、ジャクソンビル・ロータリー・クラブを創設し初代会長になった。こうしてポールは北米の各州を回ったが、かねてよりイギリスに行きたいと念願していたのでフィラデルフィアの新聞で英国渡航の水夫を募集していることを知り早速“ボルチモア号”に乗組み大西洋を渡ったがなれない荒仕事に、言語に絶する辛酸をなめ、英国のリバプールについた。この航海では、ロンドンを見物する暇もなかったことを大変残念に思い、もう一度英国に渡ろうと再度、“ミシガン号”の船員を志願した。前回とは比較にならない快適な航海で、彼はロンドンその他、憧れの歴史的な英国の風物を見物して、満足して無事フィラデルフィアに帰港した。

アメリカへ帰り、シカゴの世界博覧会を見たあと、ニューオーリンズを訪ね、又新聞記者をしたり、オレンジ農園で働いたりしたがここで突然の大暴風雨や洪水に見舞われ、危うく生命を失いかける目にも遭った。やがてポールは、彼の良き理解者である大理石会社のジョージ・クラークのもとに帰り、セールスマンとしてキューバやバハマ群島まで足を延ばし、更に各地を回ることができた。するとジョージは「君のいわゆる5年間の放浪計画もそろそろ終わりに近いようだが、もう行きたいところはないかね」とポールへ親切に訪ねたので、彼は「実はもう一度ヨーロッパに行きたいのだが」と答えたところ、それから2週間後にポールは大西洋上にいた。この旅行でポールは、スコットランド、アイルランド、ベルギー、イタリー、フランス、オーストリア、ドイツ、オランダなどの各国を訪問して、多くの友人を得て視野を広め米国に戻った。欧州旅行を終えたポールは、いよいよ落ち着いた生涯の生活設計をたてるため、シカゴへ行こうとしたので、親友のジョージは何とかして思い止まらせようと、「君がシカゴに定住することにどれほど利益があるか知らないが、もし君が僕のところに留まっていれば、必ずシカゴに行く以上に金ができるとおもうんだがね」と。ポールはそれにこう答えた。「君の言う通りかもしれない。しかし僕は金を作るためにシカゴへ行くのではない。一個の人生を生き抜くために行くのです」と。このようにポールは断固とした信念を披瀝したので、ジョージは了解すると共に、更に彼がニューヨークの知識を得たいと願っている事を知り、一時的に彼をニューヨークの支配人の地位に就けてくれるという友情と援助の手を差し延べてくれた。

ポールがこの善意に満ちた友人ジョージ・クラークを終生の恩人として尊敬し感謝していたのは、こうした経緯からであった。RIの公式名簿には、1912～13年度の国際ロータリ

一会長はグレン・C・ミード、そして副会長には、ジョージ・W・クラーク（ジャクソンビル、フロリダ）の名が記されている。ポールはこのようにして親友のジョージの恩に報いたのであった。この放浪の旅で、異なった国の大勢の人々と知り合いを深めることができたことは、後にロータリー運動を展開する上で大きな財産となった。

ロータリー発生前夜のアメリカ

ここでロータリーの誕生を可能にさせた19世紀の末葉から20世紀の初頭にかけてのアメリカの歴史を少し振り返ってみたい。ニューイングランドその他の地方で、宗教自由のための闘争が、大規模の流血を見ずして成功したのに対して、政治上の自由のための闘争は、母国イギリスとの２回の血戦と嫌悪すべき内乱を経なければならなかった。北部と南部の身内同志の流血、窮乏、極度に悲惨な４年間を戦い続けた所謂南北戦争（1861～65）であるが、その結果、南部における奴隷制度の廃止、合衆国における民主主義の発展と、近代資本主義の発展に大きく寄与した。特にアメリカにおける資本主義経済の発展は目覚しく、1880年頃から20世紀初頭にかけて独占体制の段階に入り、そうなると資本主義の欠陥と矛盾が至る所に姿を現すようになった。当時ヨーロッパの古い思想に変わろうとしていたのは、マルクスの「社会主義」とダーウィンの「進化論」であったが資本主義途上にあったアメリカで広く受け入れられたのは、「進化論」であった。その著書「種の起源」で有名なダーウィンの「進化論」も生物学の分野にのみとどまっておれば単なる学問上の一仮説に過ぎなかったものが、100％当時のアメリカの社会に取り入れられてしまった。これが社会ダーウニズムと呼ばれ、「優勝劣敗」「適者生存」という弱肉強食の考え方は、当時の資本家階級には広く支持された。こうした事態の下では、当時の健全なる中産階級を中心に社会改良思想が生まれてくるのは蓋し当然なことであった。ロータリーの創始者ポール・ハリスは弁護士として、まさに当時のアメリカの健全なる中産階級の一員であったが、新大陸に理想の街を築こうと、ピルグリムファザーズたちが拓いたアメリカ発祥の地ニューイングランド出身の家柄であったことが、彼の思想を一層健全なものにしていたと考えられる。このポール・ハリスが、３人の友人と語らってフレンドリーで、何か世の中のためになるような集まりを、シカゴのディアボーン街で計画したのがロータリーの誕生となったが、ちょうどそれがアメリカの初期資本主義がピークを迎えた1905年であったというのは、大変に興味深いことである。なぜならロータリーは、社会経済史的に見ると、誕生のその時から資本主義の欠陥を救う宿命にあったといえるのである。

シカゴより何の善きものか出ずべき…

ロータリーを産んだシカゴは、古くからFort Dearborn（ディアボーン砦）と呼ばれて

いた。冬には強風が吹きすさび、Windy City（風の強い町）といわれ、すぐ側のミシガンの湖は、海のような灰色の大波を立てていた。では19世紀の末葉から20世紀の初頭にかけてアメリカのシカゴには、どのような資本主義の欠陥があったのであろうか。一握りの資本家が、政治・経済の主導権を握り、私利私欲中心の拝金主義が横行し、貧富の差の拡大、スラム街が至る所に姿を現し、シカゴは伝染病や犯罪の温床となり、商業倫理欠如の上に虚構の繁栄が築かれていた。しかし、このような悪名高いシカゴは、決して罪悪と腐敗の記録のみではない。シカゴから良いことはなに一つ生まれないと言われてきたが、劣悪な勢力に対する輝かしい社会改良の諸運動が出現したのである。「シカゴより何の善きものか出ずべき」という疑問に対する立派な答えが数々出された。まずセツルメント運動では、ジェーン・アダムスの始めた「シカゴ・ハル・ハウス」が有名で、これはスラム街の中に拠点を移してそこで資本主義下の貧民の更生運動をするものである。他には3名の伝道者による貧民救済の社会福音運動が、シカゴはもとより全米ばかりでなく海外諸国にまで伝播した。「婦人キリスト教禁酒同盟」も一小村で教鞭をとっていた、若い婦人フランセス・ウィラードの挑戦であった。シカゴ市民も立ち上がり大々的な浄化運動を展開、その活動的な努力により酒場、賭博場が姿を消していった。

シカゴでの生活　孤独との戦い

ポールが放浪生活を終え、かねての計画通り、シカゴに落ち着き弁護士を開業したのは、1896年2月、28歳の時であった。まさにシカゴは同族相食む（dogeat-dogism）熾烈な競争のるつぼであった。彼の法律事務所は、着々と繁盛していった。しかしポールの心は少しも晴れなかった。多くの知り合いがいるとはいえ、実際は天涯孤独な彼の寂しい心を慰めてくれる本当に親しい友達は、殆どいなかった。ポールは真の友人を求めた。田舎からやってきた、寂しい人々を一緒にさせるクラブのようなものを、作る方法はないものであろうか。徐々にポールの夢は実現に近づいていった。故郷バーモントの古き良き家庭の躾である犠牲、献身、名誉、真実、誠実、愛情を思い出していた。本質的にポールが欲したクラブの理念とは、素朴で平穏無事なニューイングランドの谷間の生活と家庭の躾、村人たちの打ち解けた真の友情と相互扶助の精神とを、シカゴに移し変えることであった。ポールは祖父母から教わった寛容についての教訓を思い起こして、早くから寛容ということをクラブの理念を構成する必須の要件であると心に決めた。そして一人一人が自分の特定の職業を代表できるクラブにすれば、打ち解けた友情が生まれるだろうと考えた。ポールはこの構想を何年も温め、熟慮に熟慮を重ねた結果、遂に1905年の2月、3人の若い実業家に声をかけて集まった。

ロータリー・クラブの創立

20世紀を5年過ぎたばかり、依然として景気の悪いシカゴの身を切るような寒い、その2月23日木曜日の夜、ポールは顧客でもある友人と夕食を共にした。友人は、石炭商をしているシルベスター・シールであった。ポールは当時有名なマダム・ガリのイタリア・レストランで食事をしながら新しいクラブの構想についてシールに詳細に説明した。シールはすぐにポールの構想を理解し、ポールと共に他の2人の実業家に会うことに同意した。2人は鉱山技師のガスターバス・ローアと彼の友人のハイラム・ショーレーという洋服商であった。4人とも皆都市生活の孤独に苛まれていて、彼らが後にしてきた故郷の連帯感あふれる生活に憧れていた。こうして舞台は整った。時に1905年2月23日、場所はシカゴのノース・ディアボーン街127番地、ユニティ・ビル7階、ローアの小さな711号室から偉大な社会運動が呱々の産声を上げげた。第2回目（まだ会の名前は無い）の会合は、ハリスの法律事務所で2週間後の3月9日に開かれ、7人が出席した。第1回の4人に加えて、ハリー・ラグルスとウイリァム・ジェンセン、アルバート・ホワイトが出席した。5番目に入会したので“№5の男”と親しまれた印刷業のラグルスは、1911年に“National Rotarian”の第1号を印刷し、また会員の増強にかけては、クラブ随一でシカゴ・クラブの会員200人の3分の2は彼が集めたと云われている。3回目の会合は、3月23日にシールの事務所で行われた。この会合でポールはシールを初代会長に、ショーレーを記録係に、ジェンセンを文書係に、ラグルスを会計に指名した。そして特筆すべきは、この時新クラブの名称が検討されたことである。いくつもの名称が「かんかんがくがく」真剣に討議され、「ロータリー」という名前が誕生した。また「連続4回欠席したものは、会員資格を喪失すべきものとす」と定められたのもこの会合であり、シールが「石炭業界について」話をしたのが、卓話の嚆矢となった。

助け合いから奉仕活動へ

シカゴクラブの定款・細則が作られたのは、1906年の1月のことであった。起草委員は3名で、ポール・ハリスとマックス・ウォルフ、もう1人はチャールズ・A・ニュートンであった。最初の綱領は、2カ条であった。

第1条　会員の業務上の利益を振興すること。

第2条　性質として社交クラブに伴う親睦その他望ましい諸点を振興すること。

つまり、その内容は「会員の相互扶助」と「親睦」を掲げこの2つこそがロータリーの目的であり、特質であるといってよい。「会員の相互扶助」とは、具体的に会員相互の取引を義務づけたものである。会員が石炭が欲しいときは、シールから買い、洋服を仕立てた

いときにはショーレーから作る。印刷に関することは、ラグルスに依頼するという具合に無限に及ぶのである。しかし当初の物質的相互扶助の運動の中から、やがて徐々に「親睦」の「話し合い」による、他人の不幸を、思いやる奉仕の心が芽生えてきた。

このきっかけとなったのが、弁理士ドナルド・カーターの物語である。オーレン・アーノルド著の「ゴールデン　ストランド」によると、二代目会長のアル・ホワイトの時フレデリック・ツイードが、友人であるカーターにシカゴ・クラブへの入会を勧めて定款・細則の説明をしたところ、彼は即座に入会を断った。カーターは「この種のクラブはメンバー以外の人に利益をもたらしてこそ、社会的な意義があると思うよ。内部の利益交換に終始するクラブには、将来性がない」と自分の意見を述べた。多くの会員がこの提案に胸を打たれ、翌1907年、綱領に１カ条追加された。

第３条　シカゴ市の利益を推進し､その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること。

ここに初めてロータリーは、対社会への奉仕概念を持つに至った。そしてこの社会のために何かいいことをしようという目的達成のために、シカゴ・ロータリアンが実践活動として行ったのが、シカゴの町の公衆便所の設置運動であった。

全米ロータリー・クラブ連合会結成

我々は、ロータリー運動は1905年の創立の時より、秩序正しく斬新的に全世界に拡大発展して現在に至ると考えがちである。しかしその発展の初期の歴史には、ポールの自伝によれば、大革命があり、幻滅、焦慮、自暴自棄、傷心の時代を経験しなければならなかった。1907年２月、ポール・ハリスはシカゴ・クラブ第３代目の会長に就任したが、ポールはその時、抱負を３つ挙げている。１つはシカゴ・クラブを充実させること、第２は全米の重要な諸都市にロータリークラブを作ること、そして第３番目に対外的な奉仕理念の追求を目指した。

最初の抱負は余り問題はなかった。この新しいクラブの人気は上々で入会申し込みが殺到していた。第２の目的については、まだ時期尚早だし、反対者もいるがやがて時が解決してくれるだろうとポールはみていた。もっとも厄介なのは、３番目の問題であった。社会への奉仕という概念は、会員同士の「親睦」と物質的「相互扶助」を柱とするクラブの創設理念から大きくかけ離れていた。確かにポール・ハリスが最初のロータリークラブを作ったときは、欠点の多い不備のものであったが、「寂しいから集まろうよ」といって集まったクラブ内には、「友愛」と「親睦」による温かい雰囲気が満ちあふれていた。しかし創立後、わずか２年にしてロータリー運動史上もっとも大きな波乱が起こった。

ポールは、旧来のロータリークラブ内部だけの相互扶助と友愛を目的とした地方集団か

ら、他者への奉仕という新しい視野を充実させ、国際的に組織の拡大を図る新たな団体をめざした。当然、「物質的相互扶助」と「親睦」のみに専念しようとする〈親睦派〉と、「奉仕活動」に力点をおいて活動をしようという〈奉仕派〉との対立を生み出した。この激烈な対立闘争は、1907年のポールの会長就任から1910年のラムジーの会長就任に至る３年の間終始した。当時のクラブ幹事ウイル・ネフがハリー・ラグルス会長に語った次の言葉が、記録に残っている。「あと一カ月こんな状態が続いたら、このクラブもおしまいだなぁ」“Another month of this and the club will cease to exist”。この闘争の妥協点として、クラブ内の争いの種となる奉仕哲学の追求とロータリーの拡大を主な任務とした機関として、全米ロータリークラブ連合会が設立され、事態は一応の解決をみた。このことに大いに貢献したのは、1908年に、入会した二人、チェスレィ・ペリーとアーサー・フレデリック・シェルドンである。

クラブ運動世界的に発展

特にチェスレィ・ペリーは、1910～1942年の32年間国際ロータリーの事務総長を務めたのであった。ポール・ハリスは「もし私がロータリーの設計者と呼ばれるのならばチェスこそ、その施工者と呼ばれるべきものである」と言っている。このチェスレィ・ペリーが司会して14クラブの代表者を含む60名が、シカゴのコングレスホテルに集まって、全米ロータリークラブ連合会ができたのが1910年８月であった。この年の暮れポール・ハリスの「合理的ロータリー主義」と題する論文をもとにチェスが８頁のタブロイド型の“National Rotarian”を作り、翌年に配布した。これが今も続く“The Rotarian”の前身である。1911年シェルドンの演説の一説から“He profits most who serves best”が生まれ、同年ポートランド大会でのフランク・コリンズの言葉から“Service, Not Self”ができて、この２つがロータリーのモットーとなったのである。

1915年サンフランシスコの国際大会で11カ条からなる「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」が採択された。この倫理訓には、「綱領」や「４つのテスト」に含まれているおよそ、職業人たるものが身につけなければならない行動規範が、ことごとく盛られていて、一時期のアメリカのロータリー運動の指針となったが、国際ロータリーは1927年その頒布を中止した。この倫理訓を土台として1916年にガイ・ガンディカーの「ロータリー通解」が出されて、初期ロータリアンの奉仕哲学の追求はほぼ完成を見た。

1921年のロータリーの国際大会は、初めてアメリカを離れてスコットランドのエジンバラで開かれたが、かねてからロータリー・クラブを律する一定の定款細則がほしいと言われていたので、委員会を組織して原案を作り、それが1922年のロサンゼルスの大会で決定をみたのが今日の標準定款、推奨細則となっているのである。そしてこの時ロータリーク

ラブ国際連合会もその名称を国際ロータリー（Rotary International）と改められた。

そしてロータリーは1923年のセントルイスの国際大会で、かの有名な「決議23-34号議案」が採択され時に成年に達したのである。では、ロータリーの先人の知恵の結晶とも言われるこの不滅の決議23-34の生まれた背景を訪ねてみよう。

ロータリーは創立以来一貫して職業倫理の向上をうたってきたが、1920年になって身体障害児のリハビリテーションの問題が全米に澎湃として起こった。そしてそれがついに国際身体障害児協会に発展してロータリーの看板事業となってくると、全米のほとんどのクラブは熱に浮かされたように身体障害児問題に夢中になり、まるで福祉団体の様相を呈し始めた。そこでロータリーの一業一人制は、職業を通じての奉仕によってのみ意義あるものとする者は、この際社会奉仕の項を綱領から削除すべしと極論するようになった。

さらに社会奉仕の主体をクラブにおくか、会員個々の活動に任すかについても論争され、やがてこれらの対立がロータリー分裂の危機を孕むに至り、ついに決議23-34ができたのである。この決議34号は当時の対立を見事ロータリー的に氷解させたばかりか、社会奉仕の概念をロータリーの世界で確立するとともに、ロータリーの深い哲理に基づく社会奉仕の行動基準を明らかにしたのである。

ウイルR・メーニャー・Jrの手による、全体で６項目からなるこの声明の中には、「一体何故ロータリーを必要とするのか。そしてロータリーの基本方針とプログラムは、何故かく定められているのか」という疑問にたいする解答が明快に示されている。特に第１パラグラフの「ロータリーは基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである」という美しいフレーズは、特に我々日本のロータリアンの心をとらえて放さない。それはロータリーの原点の集大成であり、不滅の原理の宣言である。

最後の言葉　His last words to Rotary

ポール・パーシー・ハリスは1947年１月27日に帰らぬ人となった。“The Rotarian”誌、1947年の２月号に彼のロータリー運動に対する“最後の言葉”が掲載された。

「1905年には、ロータリー運動がこんなに世界的な規模になろうとは予想だにしなかった。一本のか弱い苗木を植えたからといって、その木が必ずや力強い大木となると誰が確信できたであろうか。しかし、最初の蕾を目にしたとき、初めて私は大きな木陰を夢見るようになった」。最初の蕾とは、1908年にサンフランシスコにできた第２のロータリー・クラブのことであろう。翌年にはオークランドに、引き続きロサンゼルス、シアトル、またさらにニューヨーク、ボストンとロータリーは拡大していった。創立から91年を経て今は、154の国家に28,000のクラブ、会員総数は1,200,000人に達しようとしている。

このロータリー運動の大河を溯り、小さな源泉を辿り、先人の心を訪ねたのは、その心を今のロータリーに活かしたいためである。ポール・ハリスはシカゴ郊外のマウントホープの墓地に、畏敬の友シルベスター・シールと並んで静かに眠っている。因にポール・ハリス未亡人ジーン・トムソンは、故郷スコットランドのエジンバラ・ダルケィス通りのニューイントン墓地に埋葬されている。二人は遠く海を隔てて離れていても、いつも一緒である。ハリス夫人が語っていたように「私たち二人は信仰によって、永遠の力の中に結ばれている」からである。

ポール・ハリス没後50周年記念式典で祈禱文を読みあげる竹山RI理事エレクト
1996.6.29　シカゴ、マウントホープ基地にて

ポール・P・ハリス年譜

1868年　4月19日米国ウィスコンシン州ラシーンに生まれる。

1871年　7月ポールと兄のセシルは、バーモント州ウォーリングフォードの祖父母のもとに預けられる。

1885年　バーモント大学入学。2年生のとき退学処分を受ける。(1933年同大学は、ポールに名誉博士号を送る。)

1887年　ニュージャージー州プリンストン大学に入学。

1888年　3月ポールの祖父死去、西ラトランドのシェルドン大理石会社に勤務。

1889年　アイオア州立大学法学部入学準備のため、アイオア州デモインのセントジョン・スチブンソン・ワイズナント法律事務所で法律を勉強。

1890年　9月アイオア大学法学部に入学。10月祖母パメラ死去。

1891年　6月同大学法学部卒業。人間としての幅を広げるため5年間の放浪の旅に出る。

1892年　フロリダ州ジャクソンビルで生涯の友、大理石商ジョージ・クラークと出会う。

1893年　2度英国に渡る。キューバおよびバハマ諸島迄足を伸ばす。

1894年　ヨーロッパの主要都市すべてを回る。最後に大都市ニューヨークを経験する。

1896年　冒険の旅を終え、2月末シカゴに移り法律事務所を開設。

1900年　秋に同業の友人宅を訪ねたときロータリー・クラブの着想が閃く。

1905年　2月23日の夜ポールと3人の若い実業人、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、シカゴのディアボーン街のユニティビルにあったローアの事務所で会合を開き、そこでポールは、職業のいろいろ異なった実業人のクラブを作り、そのクラブを土地の様々な仕事や職業を反映したものにする。という構想を述べた。ロータリーはこの会合から生まれた。

1907年　ポールはシカゴクラブの3代目の会長に就任。

1910年　RIの前身全米ロータリークラブ連合会の会長に就任。英国エジンバラ出身のジーン・トムソンと結婚。

1912年　ポールとジーンはシカゴの郊外に居を構え、その家をジーン夫人の郷里にある街路の名称に因んでカムリー・バンクと名づける。

1928年　「ロータリーの創設者　ポール・ハリス」発刊

1935年　2月9日、マニラでの第5回太平洋地域大会にRI会長ロバート・ヒル夫妻とともに出席の途次日本を訪問、帝国ホテルで月桂樹の記念植樹を行い、東京会館での歓迎晩餐会に出席。関西では新大阪ホテルでの京阪神合同の歓迎午餐会に出席。「ロータリーの理想と友愛」発刊。

1947年　1月27日、79年に亘る生涯をシカゴで閉じる。

1948年　「わがロータリーへの道」発刊。

日本ロータリーの歴史

日本ロータリーの発祥　（札幌RC誕生まで）

ロータリアン１号・RC１号

福島喜三次氏は、1881年佐賀県有田市で生まれた。東京高商（現在の一ツ橋大学）を卒業後、三井物産に入社してテキサス州ダラスの三井の子会社東洋綿花の社長に就任、在任中にダラスRCに入会をした。日本人として第１号のロータリアン誕生である。

当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏は、財政問題調査団の一員として渡米した際、1918年の元旦を、案内役のダラスの福島宅で迎えたが、この時ロータリーの何たるかを聞き大いに心を動かされた。1920年１月福島喜三次氏は東京に転勤となったが、そのおりダラスRCは彼の送別会を開き、その席で日本にもロータリークラブを作るようにと勧められた。帰国後、国際ロータリー連合会の本部から、1920年６月末までに日本にロータリー・クラブを創立するようにとの委任状が福島氏に届けられた。そこで福島氏は米山氏に相談し、ロータリー・クラブ創立の準備にとりかかったが、当時の日本は、第１次大戦に連合国側として参戦、一時的な景気に沸いたものの、戦後は恐慌に襲われ、不景気の中で農民運動や初のメーデーが行われるなど揺れ動いていて、ロータリー運動に対する関心は全くなく、６月末の期限が切れてしまった。そこで、期限延期を本部に申請したところ、パシフィック・メイル汽船会社の横浜支店長のウィリアム・ジョンストンを世話役に加えることを条件に、改めて福島喜三次氏に委任状が届いた。このジョンストンは上海RCに居たことがあり、かなりロータリーには精通していた。

このようにして、米山梅吉を創立者として、福島氏とジョンストン氏が特別代表の資格でこれを助け、創立計画も着々と進展し、1920年９月１日には東京ロータリークラブの創立委員会を、10月20日には、24名のチャーターメンバーで創立総会が銀行クラブで開催されるに至った。初代会長には、米山梅吉、そして幹事には福島喜三次が就任した。国際ロータリーのチャーターの日付は、1921年４月１日で登録番号は855号である。ジョンストンは間もなくサンフランシスコに転任したので東京RCは、同氏の功労を記念して名誉会員第１号に推薦をした。また、日本人ロータリアン第１号の福島氏は、東京RCの初代幹事として米山氏を助けたが、大阪へ転勤のため、僅かに２回例会に出席したのみで退会をした。大阪に転勤した同氏はその後再び東京転勤となり、1932年東京RCのパストサービス会員として入会されクラブのために尽くされた。

関東大震災が一転機

創立当初の東京RCの会員は、「ロータリー日本50年史」によると定款細則などに対する関

心が薄く、出席も悪かったのでクラブの存続も危ぶまれるほどであったとある。活動はきわめて低調で国際大会に代表を送るでもなし、奉仕活動などもろくに行っていなかった。だがそれから間もなく東京RC、大阪RCは勿論のこと、わが国民にロータリー運動というものを強く認識させ、わが国内にこの運動を大きく展開させる事件が起きた。それは、1923年9月1日午前11時58分、東京を中心に突如として襲った関東大震災であった。

この時の国際ロータリーの活動によって、会員はロータリー運動の何たるかを初めて知らされたという。すなわち大震災の報が外国に伝わるや、国際ロータリー会長ガイ・ガンディカーと事務総長チェスレー・ペリーは直ちに電報で、救済基金として2万5千ドルの送金を行い、また世界中の503のロータリー・クラブから総額8万9千ドル余の見舞金が到着した。この義援金によって、まず東京市の孤児院の敷地内に、別棟「ロータリーの家」を新築の上寄贈することを決定、さらに東京、横浜の小学校188校に備品送呈、殉職警察官遺族への援助などを繰り広げた。ここに東京及び大阪RCの会員は、「社会奉仕」及び「国際奉仕」の何たるかを身をもって理解し、これからロータリーについて勉強もし、真摯に奉仕の実践活動に取り組むようになったというのである。関東大震災後、東京RCは一変して月1回の例会を週1回とし、国際大会にも代表を送り、国内の拡大 (Extention) にも大いに努めることになった。

大阪ロータリー・クラブの創立

大阪に転勤した福島喜三次氏は、星野行則氏と話し合う機会をえ、ともに英米訪問実業団の一員となって渡米し、1922年にシカゴ国際ロータリー本部を訪れ、チェスレー・ペリー事務総長から、ロータリーに関するいろいろな教えを受け、そこで大阪にもロータリー・クラブを作ることを委任されたのであった。こうして1922年11月25名で大阪ロータリークラブが、わが国二番目のクラブとして創立された。会長星野行則、副会長村田省三、幹事福島喜三次であった。登録番号は1349号でその日付は、1923年2月10日であった。

初めは暗中模索であったが、まず会員間の親睦を深めることから始め、時間励行と出席の義務とで会員を例会に引き付け、さらに当時は珍しかった家族同伴の小旅行や運動会、それに趣味の同好会などを盛んに催したので、それが効果をあげ和気あいあいとした愉快なクラブとなって評判を取ったのである。このように大阪RCは東京よりはるかに進歩的で、星野会長、福島幹事は、国際ロータリー連合会の本部から拡大委員会の委員を嘱託されたのを機に、神戸の松方幸次郎と語らい、1924年8月に神戸RCを結成させた。この間にも1924年アメリカでは排日法案が強化され、また、その頃国内では、ロシア革命の成功が強い刺激となってマルクス研究が盛んになっていた。このような時代に友愛と奉仕とを説いて、シカゴの市井の庶民の中から生まれたロータリークラブが、日本においては東京、

大阪の一流の実業家、名士の中から選ばれた人たちによって最初に受け入れられたということは、極めて特異なことであった。

48RC結成

震災を契機として、日本全国の大都市にもロータリーを認識させ、ロータリー運動の拡大は本格的になっていった。しかし当時の日本は、まだいわゆる“地区のない地帯”(Non-district Territory) で、ガバナーが居らず、クラブ拡大には不便な状態にあったので国際ロータリーは、1924年に米山梅吉氏をロータリー・クラブ拡大の初代特務代表者 (Special Commissioner) に任命しロータリー運動の拡大と指導に当たらせた。同氏は、更に2年間これに在任して、名古屋と京都にロータリークラブを結成した。2代目の特務代表者には井坂孝氏 (1926-27)、3代目は平生釟三郎氏 (1927-28) が任命され、井坂氏の時には横浜、朝鮮の京城に、平生氏のときには満洲の大連、奉天の各RCが結成された。これで国内六大都市すべてにロータリークラブができるとともに、その後、台湾に台北RCもでき、かくしてロータリー拡大の波は、当時日本の勢力下にあった東洋の諸国におよんだ。

米山梅吉氏は1926年7月から1年間国際ロータリーの理事となったのを機会に、日本の全ロータリー・クラブは一堂に会して、初めての第1回の会合をインターシティ・カンファランスとして大阪で開いた。第2回インターシティ・カンファランスは1927年東京で開かれ、この会合で会員の選考を一層厳格にすることや、ロータリーの襟章を必ずつけることが申し合わされ、また日本、朝鮮、満洲を合わせて一つの地区を設定してもらいたいという要望が決議されたが、国際ロータリーは時期尚早との断を下した。

この年1927年、国際ロータリーでは、総合企画委員会“Aims and Objects Committee”の制度ができて、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大部門“Four Avenues of Service”が生まれた。

翌1928年再び地区設定の要望が高まり、平生釟三郎スペシャル・コミッショナーは強硬に“Great dissatisfaction and disappointment”と書いた書状を送って、ついに国際ロータリー理事会に日本、朝鮮、満洲を合わせた「第70区」を容認させた。わずか7クラブでの地区設定は相当無理であったと言わねばなるまい、そして初代ガバナーには米山梅吉氏が就任した。なお米山氏は、初期の地区活動の育成のため、3期連続してガバナーに就任された。わが国内のクラブ拡大は、東京クラブ創立の1920年から1940年のRIを脱退するまでの20年間に結成されたロータリー・クラブは48クラブに達したのである。

第2回太平洋地域大会

太平洋地域大会の目的は、太平洋沿岸にある各クラブが集まって国際親善を図るととも

に、世界平和に貢献しようとするものである。第1回目は、ハワイのホノルルで開かれ、次いで地区が新設された1928年、第2回目が東京で開催されたが、これは地区設定を要請したとき日本におけるロータリーの成長ぶりを披露するために計画されたものである。東京RCでは、他からの応援も合わせてわずか170名の会員により、関東大震災のお礼心もあって運営に万全を尽くした。海外からの出席は9カ国109名で国際ロータリー会長サットン夫妻も参加された。特筆すべきは、この太平洋ロータリー地域大会の第3日に大阪クラブの土屋大夢が、「ロータリー以前の偉大なるロータリアン」と題して二宮尊徳の話を英語でスピーチをして、至誠、勤労、公平に触れ、その報徳の教えはロータリーと同じではないかといって一同に感銘を与えたことである。

1928年日本が第70地区として発足したので、1929年4月米山ガバナーのもとで第1回70地区年次大会が京都で開催された。このとき“He profits most who serves best”というモットーの“profits”は物質だけを指すのか精神的なものが含まれるかについて論議が集中した。また米山ガバナーはロータリーの6つの綱領と11の倫理訓を翻訳して繰り返し読んでいるという大連クラブの古沢丈作の報告を激賞している。1930年第2回地区年次大会は、米山ガバナーのもとで神戸にて開催された。国際ロータリーから派遣されてきた元会長のフランク・マルホランドはその聞こえた雄弁で一同を魅了した。同じく関東大震災のときの恩人である元会長のガイ・ガンディカー夫妻も前後して日本を訪れた。

ロータリー創立25周年記念

1930年は、世界最初のロータリー・クラブがポール・ハリスとその友人たちにより米国イリノイ州シカゴに誕生して25年目、またこの年は東京RCが作られて10年目に当たった。そこで誕生の地シカゴで盛大に記念の国際大会が開かれ、58カ国から11,000人の登録があり、日本からは東京RCの名誉会員徳川家達公が出席し、「民族の勃興」と題して日本の成長を英語でスピーチしたが、シカゴ市も最高の礼をもって迎え有名な儀仗黒騎馬隊をもって送迎した。

1931年第3回地区年次大会は、横浜で行われた。この時ガバナー・ノミニーには新しく井坂孝が選ばれ第2代目のガバナーになることになった。井坂ガバナーによって初めてガバナー月信が送ってこられたのは、1931年8月であった。また井坂ガバナーはこの中で特に業務遂行上の賄賂の厳禁を求め、かつロータリーの活動はその6つの綱領の達成に限るべきで、慈善に走ったり、寄付集めに浮き身をやつすことのないよう要請している。

1931年9月満洲事変は突発した。その翌年3月に満洲国建国が宣言された。世界の非難に反発して日本は、1933年に国連を脱退した。孤立に走る母国を前に、日本のロータリーの前途が安穏であり得なかったのは当然のことであった。第4回地区年次大会は1932年大

阪において、井坂ガバナーのもと村田省蔵が大会幹事となって開かれたが、厳しい暗い時代で、この只ならぬ雲行きはついに5・15事件となって犬養首相の暗殺にまで及んだ。しかしまだそこには、平和の姿が残っていた。このような時代背景の中で、北海道にもロータリー・クラブが誕生した。1932年12月3日井坂ガバナーを迎えて豊平館で日本8番目のクラブとして「札幌ロータリー・クラブ」は発会式を行い佐藤昌介を会長に選んだ。国際ロータリーのチャーターの日付は1933年1月18日で登録番号は1621B号であった。

ポール・ハリスの来日

ロータリーの創始者ポール・ハリスが夫人と来日したのは1935年2月9日である。当時の国際ロータリー会長ボブ・ヒル夫妻とともに、マニラで開かれる第5回太平洋地域大会に向かう途中日本へ立ち寄るという知らせがあった。

東京では委員会を設けて歓迎の準備をしたが乗船が荒天のため予定より3日遅れて横浜に入港した。そのためあわただしい日程となり、横浜で小憩の後上京して帝国ホテルで記念植樹を行い、芝公園の中にある紅葉館での純日本式の午餐会に臨んだ。その夜は、東京会館で行われた東京・横浜両RCの歓迎晩餐会に出席、余興の桜踊りなどを楽しんだ後船で神戸へ向かった。翌日も京都見物の後、新大阪ホテルでの歓迎午餐会に出席、歓を尽くす間もなくその夜のうちに神戸を出帆した。

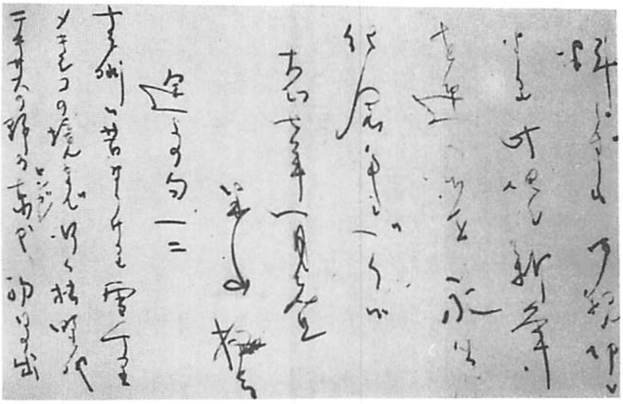
ポールの来日は、その後の国際情勢の変化のため、これが最初にして最後の機会となった。この来日のおり、歓迎に馳せ参じた日本の一ロータリアンがポールに「あなたは、何故ロータリー・クラブを作ったのですか」と訪ねたところ、ポール「只、寂しかったから」と答えたことは有名である。またこの時ポールが帝国ホテルの中庭に植えた月桂樹は、1968年にホテル旧館が取り壊される際、神奈川県の大井町に移されたが残念ながら枯死寸前であった。しかし東京RCの矢野一郎氏が挿し木によって育てた数本が二世となって、そのうちの一本が皇居の北の丸公園で今も元気に繁っている。

米山梅吉訣別の言葉

ポール・ハリスを、慌ただしく迎え、送った日本のロータリーには、その後苦悩の年月が待っていた。札幌RCの創立後の1936年には、いわゆる2・26事件が起き、そして翌年の7月に日華事変が勃発した。ロータリーは反戦的であり、亡国的であると断じる一般の誤解は重圧となり、機構改革、日満ロータリー連合会、そしてクラブ解散と非情なる時の動きはあまりに早く、それは止まるところなく、ついに1941年12月太平洋戦争へと繋がっていった。1940年9月11日東京RCはついに解散した。創立者米山梅吉は、重い足を引きずるようにして壇上に立った。そして20年に亘ったロータリー歴の最後の言葉を残した。

「……創立以来20年を顧みる時、誠に感無量である。この間ロータリー・クラブが、いかに国家に貢献してきたか、その歴史はさんと輝いている。また、その間において幾度か有難い思し召しを戴いている。私の瞼には、絵巻物の如くにそれらが彷彿として来る。私は只皆様方にお礼を申し上げ、自分の不行き届きの点をお詫びしたい。……1940，9，11」

米山記念館



米山梅吉より福島喜三次への書翰

はからずも御親切に
なり此地に新年
を迎え候を永く
紀念致すべく候
大正七年一月元旦
米山梅吉

途上の句一二
吉例は苦なりけりと雪千里
メキシコの境まで行く枯野哉
テキサスの野の東（ヒンガシ）や初日の出

米山梅吉　年譜

1868年　2月4日江戸・芝田村町に和田家の三男として和田梅吉生まれる。
1875年　静岡県駿東郡長泉村の栄雪舎入学
1881年　静岡県沼津中学校入学。
1883年　12月沼津中学校退学、向学の志やみがたく単身上京、銀座江南学校に入る。
1886年　東京府渋谷・東京英和学校入学。米人ニコール・パックにつき語学勉強。
1887年　東京英和退学、東京銀座福音会英語学校入学。同年駿東郡長泉村の米山藤三郎家に養子縁組、米山と改姓。年末渡米サンフランシスコ着。
1889年　サンフランシスコの福音会に寄宿、在米8年間に亘りベルモント・アカデミー、ウエスレアン大学、シラキュース大学において修学、法学専攻。(年月不詳)
1893年　米国シカゴ世界博覧会において6カ月間、日本製品の説明係を勤める。
1895年　帰朝。
1896年　東京博文館より小説「提督ペリー」を出版。米山はると結婚。日本鉄道会社入社。
1897年　三井銀行入社。
1918年　財政調査団に加わり渡米、テキサス州ダラスのロータリアンであった、福島喜三次氏宅で正月を迎える。ロータリー・クラブのことが話題となる。
1920年　福島喜三次とウィリアム・ジョンストンの応援を得て、10月東京ロータリークラブを創立（登録番号855)、初代会長となる。
1924年　日本の初代スペシャル・コミッショナー（地区のない時代のガバナーの代役）に就任。ロータリーの拡大に努める。
1926年　6月デンバーの国際大会にてRI理事に選ばれる。
1928年　7月満洲国を含む第70地区設定にともない初代ガバナーに就任。「ロータリーの創設者ポールハリス」翻訳出版。
1929年　7月ガバナー重任。米国テキサス州ダラスの国際大会に出席。
1933年　4月東京の第5回地区年次大会にRI会長代理として出席。
1934年　5月名古屋の第6回地区年次大会にRI会長代理として出席。
1935年　ポール・ハリス夫妻来日、歓迎挨拶。
1936年　「ロータリーの理想と友愛」翻訳出版。自著「常識関門」出版。この年2・26事件を境にロータリーへの弾圧高まる。
1939年　7月第70地区を3地区に分割、日満ロータリー連合会結成、初代会長に就任。
1940年　大陸での戦火の拡大にともないロータリーに対する非難は一段と激しくなった。ついに米山梅吉日満ロータリー連合会会長は、9月4日RI脱退を決議。
1946年　4月28日永眠、9月福島喜三次逝去。

北海道ロータリー史

札幌ロータリークラブの誕生

「東京クラブ幹事小林雅一は札幌を訪れ間宮脩治らと話し合ったが、小竹文次郎も加わり30名を得て、1932年12月3日井坂ガバナーを迎えて豊平館で札幌ロータリークラブは発会式を行い佐藤昌介を会長に選んだ。

そして1933年8月4日村田ガバナーを迎えてチャーター伝達式を豊平館で行い、晩餐会を公会堂で催したが会員家族ら128名が参会した。」と『ロータリー日本五十年史』は簡潔に述べている。

この辺の経緯については札幌RC三十年の歩みに詳しいので、以下これを辿ってみよう。

「札幌RCは東京RCのお世話によって誕生したのである。日本のRCの創設者当時東京RCの米山前会長が三井とも関係のあった拓銀の間宮脩治君を通じてRCを札幌に設立を慫慂せられたのにはじまり、米山さんの意を受けて、たまたま昭和7年8月東京RCの名誉幹事であった小林雅一さんの会社（内外編物）の札幌事務所長の佐藤清君に熱心にその設立を勧められ、小林さんの勧説によって間宮、佐藤両君が動き、これに北門貯蓄銀行の小竹文次郎君も加わって趣旨を説明し、同志を募ったのである。

小竹君らは大正時代から札幌に社交倶楽部を設立していて、市内一流の実業家を以て会合を随時して、一つには修養にもつくし一面明るい文化都市を築く努力もしていたことだし、また佐藤君は明るい性格の社交家で、柄のいい人達とともにゴルフの会をつくっていたことから、案ずるより生むが易しといった調子で、札幌市内における有力な実業家、専門職業人の人々を網羅して11月、30人の会員を獲得して、当時の第70区ガバナーと交渉の上、井坂ガバナーのお出を願って、12月3日発会式をあげたのであった。

その日定款規約を制定し、会長以下役員を決定したが、初代会長には前北海道帝国大学総長であった当時北海道農会会長であった佐藤昌介男爵が推され、副会長には間宮脩治君、幹事には佐藤清君、会計に小竹文次郎君が就任した。一世の徳望を担った佐藤男爵の会長就任はよくクラブの充実を見たことであり、男爵の徳望は後に推されてガバナーともなり、札幌クラブをして日本並びに世界のRCに強く認識せしめたのであった。間宮君、佐藤君、小竹君は創設の功労者であり、特に小竹君は永く会計を歴任され、かつ第7代会長も勤められ、本会にとって忘れ難い人である。」

ここで札幌RCチャーターメンバー30名の職業分類を見てみよう。

製造業7、卸小売業7、教育5、土木・建築・不動産業3、金融業3、交通2、報道2、病院1

見事にバランスのとれた構成である。因みに札幌商工会議所70年の歩みによれば、昭和

5年札幌市の産業別人口比率は、有業者人口58,104人、無業者人口110,472人、農業3.7%、林業0.2%、水産業0.2%、鉱業0.5%、建設業5.1%、製造工業24.4%、卸小売業21.7%、金融・保険・不動産業2.0%、運輸交通業8.5%、公務9.3%、サービス業24.8%、その他0.7%となっているから、これに照らしても札幌RC創立の当事者がいかに苦心したかが偲ばれる。

また、同誌昭和5年の記述によれば、札幌市の人口は大正11年末12万7,040人であったのが、昭和5年末には16万8,576人となって33%の増加を示している。またこの期間において会社本店数は43社から68社へ、商事会社は大正11年の15社から73社に増加している。

昭和7年末札幌市の総人口176,390人、同年三越札幌支店が進出し、札幌駅西側の跨線橋の完成によって南北流通、諸産業も発展して札幌市の最初の勃興期に当たるかも知れない。

札幌市は元来他府県からの移住者によって開拓された街であって住民の連帯感も強く、街並みも整い始めてそろそろ地域社会に対する関心が深まりつつあった時期のようだ。

札幌RCは、良き人々を得て生まれるべき時に生まれた。

第1期（昭和7～昭和15年）

第1期は国際ロータリーの日本普及時代とそれに続くロータリークラブ解散に至る波乱の時代である。全国ロータリー普及の波は大きく、**本道においても昭和8年12月小樽RC、昭和9年10月函館RC、同年同月旭川RC、昭和10年3月帯広RC、昭和11年10月室蘭RC、同11年11月釧路RC、昭和12年9月野付牛（北見）RC**と相次いで道内主要地域にクラブが設立されている。

特筆されることは第70区（全国1区）第5代ガバナーに佐藤男爵が就任されたことである。東京、大阪からガバナーが選出される前例を破ってまだ田舎都市であった札幌からガバナーを出すことは破天荒なことであって、もとより佐藤男爵のロータリアンとしての人格識見もさることながら、歴代ガバナーの支援を受け先輩大クラブの支持をいただいたことは、札幌クラブが生みの親である東京クラブと常に密接な連携を保ち、チャーターナイトには東京、大阪、京都、名古屋、横浜等から多くの来客があり、北海道色豊かな行事と札幌RC会員こぞっての歓迎振りが頗る好評を博したこともあるが、その陰には幹事宮脇富の熱心なロータリー研究と持ち前の明朗な性格がロータリーの長老に親しまれ札幌RCへの好感となってあらわれたことも与って力があろうと札幌RC三十年の歩みの筆者は書き残している。草創期の会員のロータリーに対する関心の深さと熱き友情を読み取ることが出来る。

昭和8年4月、『札幌ロータリアン第1号』が創刊され、巻頭には「ロータリーの主義精神」が掲げられ、この創刊号は『札幌ロータリー倶楽部沿革史』に綴り込まれ、保存されている。

札幌RC最初のビジターは、昭和8年5月、東京RC河野寅三氏と記録されているが、当時は来客も少なく専らゲストスピーカーを招いて職業人としての研鑽に励み、会員増強にも努力したようだ。小樽RC発足以来同クラブから頻繁にビジターを迎えるようになり両クラブは懇親を増していった。

第1回北海道連合大会

第1回北海道連合大会は昭和10年10月26日札幌商工会議所講堂において開催された。朝吹ガバナー代理として芝染太郎氏、東京RCから北島亘氏らの名前がみえるが、議長佐藤昌介（札幌）、副議長伴房次郎（小樽）、同副議長佐藤潔（函館）、幹事宮脇冨（札幌）、SAA岡田重次郎（旭川）錚々たる顔ぶれで熱心な論議が交わされ、全国に先駆けての地域連合会に朝吹ガバナーは賞讃のメッセージを芝氏に託している。

芝氏は後に日満ロータリーの創立に大いに活躍し、昭和14年6月地区専任幹事として唯一人、日本ロータリーに生き残りをかけてクリーブランドのRI国際大会に熱弁を振るい、宮脇氏は昭和14年『国際ロータリー月報』1月号に第70区を日満ロータリーと改称して自治体とするを含む宮脇案を発表するなどロータリー史上最悪の受難期に大いに活躍、日本ロータリーRI復帰後も永年に亘って力を尽くし、文献の整備等、『ロータリー日本五十年史』に日本ロータリーの功労者としてその名を残した先達である。

北海道連合大会は第2回昭和11年10月25日函館、第3回昭和12年7月30日小樽、第4回昭和14年7月16日帯広と続くが、**第5回は室蘭に内定と記されているが、詳細は残されていない。第4回と思われるが**、日満ロータリー改組案につき札幌RCの提案により大会の態度決定が議され、各クラブの賛成を得たと記されている。

遡って昭和12年5月15、16の両日第70地区年次大会が佐藤ガバナー主宰のもとに開催された。国際ロータリー特派員米山梅吉、パストガバナー井坂、朝吹両氏の名前が見られるが、『ロータリー日本五十年史』は、前夜懇談会200名に余る出席者が予定されたので午後2時から各クラブの4大奉仕の委員がそれぞれに集まって打ち合わせ会を開いたが、これが後に部門別協議会として大会プログラムに入れられたのであったと書いている。前日午後上野駅発ロータリアン特別列車を仕立てての札幌入り、札幌RCほか道内会員家族総出の歓迎にその盛会が偲ばれるし、大会会計中間報告は、大会登録料収入5,942円、ガバナー事務所補助1,000円、これに対し支出計8,400円、札幌RC会員負担1,500円とある。年次大会はこの札幌大会で9回目となるのだが、年々豪華になるのを嫌って札幌で質素にとの裏話は微笑ましい。

第70地区の設置

ロータリー普及の波は日本内地のほかに及び、昭和2年8月京城（ソウル）に、昭和3年11月大連、昭和4年奉天、昭和5年ハルビンに、次に満州国の首都となった新京にも昭

和9年ロータリークラブが設置されているのだが、昭和3年5月5日第3回日本ロータリー連合懇親会が名古屋において開催され、ここで地区設定の要望が強まって、当時の平生釟三郎スペシャルコミッショナーはRI理事会に書状を送り、やや強引に日本は朝鮮、満州をあわせて第70地区を構成し、昭和3年7月から発足した。これは後に昭和7年ホノルルにおける第4回太平洋地域大会の席上、中華民国のロータリアンから苦情がでたがとりあげられなかったという。昭和6年の満州事変をきっかけとして戦争は支那大陸に広がり、満州国承認問題では昭和8年国際連盟を脱退、国家主義的傾向を強めてやがてロータリー暗黒の時代へと繋がるのである。

ロータリーの日本化・3区時代・日満ロータリー連合会の発足そしてRIから離脱

日本ロータリーの進展は著しく、ロータリーに対する理解が深まるにつれ日本的にこれを咀嚼しようとする動きが見られる。昭和11年神戸における年次大会で「大連クラブのロータリーの宣言は日本文として適切にロータリー精神をあらわしているから、これを第70地区の宣言にしたい」との神戸RC直木太一郎の提案は、おりからの日本化問題に関連して思わぬ波乱をまき起こしたのであったと『ロータリー日本五十年史』は書いている。既に昭和10年5月京都で開催された年次大会でも、ロータリー運動の方向や、世界情勢に動かされて中央集権か地方分権かに悩む国際ロータリーの現況が前夜懇談会で語られたとあるのは、R.I.B.I.の前例もあること故のRIの苦悩を垣間見る思いである。

昭和13年8月比叡山に開催の地区協議会では、「ロータリーは現在のような中央集権を改め、各国それぞれの国情、風俗、習慣などを尊重し、自治的に分権して進めることが世界的浸透を得る途であるから機構をそのように改組する案を次の国際大会に提案する用意をしなければならない」という意見が出され、改組案研究会ができた。この時「これは、国家中心の全体主義の盛んになってきた日本において、何とかしてロータリーを守りたいという念願から出されたもので、米山梅吉自らその説明に当たった」とも書かれている。

苦悩に満ちた選択であったろうし、この思いがRI離脱後も職能クラブまたは曜会としてロータリーの精神を受け継ぎ、ロータリーの復活に開花するのである。

昭和13年7月、東京丸ビルにガバナー事務所を開き、芝染太郎が専任幹事に就任、やがて日満ロータリー連合事務所となるのであるが、『国際ロータリー月報』を発刊し、『ガバナー月信』はこれにとってかわられることとなる。

札幌RC昭和13年8月31日例会記録に、宮脇幹事物資不足のため、栄光ある『札幌ロータリアン』は8月13日第63号を以て休止するを告げ、以後は西洋紙に謄写印刷を以て例会記録を残すのみとある。但し、『国際ロータリー月報』を購読して日本ロータリーの動向に留意したと記されている。

昭和14年6月のクリーブランド国際大会には、第70地区からR.I.J.M.設置案があわた

だしく用意され、Jは日本、Mは満州をあらわすのだが、単身参加した芝染太郎は情勢判断の結果、大会に先だって行われる立法委員会において提案を撤回したのであったが、やがてRI理事会は、昭和14年度から第70地区を三つの地区に分割し、さらにその連合会を作る事を黙認して自治地域の適用を許した。

かくて、第70地区は三つに分割され、第70地区は名古屋以東の東日本の20クラブ、第71地区は西日本及び台湾の19クラブ、第72地区は朝鮮、満州の3クラブとなり、この統括機関として日満ロータリー連合会を組織し、初代会長には米山梅吉が就任し、第1回年次大会を昭和15年5月5、6日に開催するが、やがて日本はロータリーを離脱し、これが最後の年次大会となった。

第2期（昭和15～昭和24年）　RI離脱から戦後まで

日満ロータリー連合会が陣容を整えるに時間を要し、その間国際ロータリーとの関係について会員のすべてに徹底することは困難であったし、例会に憲兵や警察の特高がしばしば出入りする事態に及んで混乱は避けられず、国民生活も窮乏の度を加えフリーメイソンとの混同、インターナショナルの呼称に対する警戒心が高まり、第71地区の一部に国際ロータリーから離脱する動きも見受けられるに至った。

8月14日の日満ロータリー連合会の協議で一応ロータリーを存続する決議を行ったにもかかわらず翌月4日の委員会で国際ロータリーから離脱を決定して連合会を解散し、これに代わる新しい団体を再組織することに決し、米山梅吉はロータリークラブを解散することとし、新団体の創立委員25名を指名した。

長老パストガバナーを中心に、東京、横浜、仙台、京都、大阪、今治、京城、平壌、奉天、新京各クラブから委員を指名し、札幌RC宮脇冨がこれに加わっている。更に宮脇を含む7名の新定款起草委員を選出して、9月25日新団体結成発起人会を開催し、米山梅吉司会のもとに検討を加え、表人定款を決定した。新団体の名称についてはいろいろな案がでたというが、結局「七曜クラブ連合会」といったものになったがこの連合会の運営は記録も残されておらず明瞭ではない。

戦時下の各クラブの活動

札幌ロータリー倶楽部

札幌ロータリー倶楽部解散

札幌RCはスポンサー東京RCとの密接な連絡を絶やさず、東京RCにおいて昭和15年9月11日臨時総会を開催して「日満ロータリー委員会」が決定した日満各地のロータリークラ

ブを解散すると共に新組織に再編成する方針のもとに仮に水曜倶楽部として例会を継続することになった旨が伝えられた。

札幌RCも再編成の意を以て努力し、9月28日先ず札幌RC解散の運びとなり、この日をもってする決算報告を行い、記念撮影を終え、記念品をそれぞれに頒った。

札幌職能倶楽部発会

昭和15年11月20日新組織準備委員はここに至る経緯を説明し、準備委員会で内定した新組織の名称を札幌職能倶楽部とし、規約、内定を逐条審議、全員賛成のもとに決定した。札幌職能倶楽部初代会長宮脇冨はつぎのとおり挨拶して会員の自重を促している。札幌職能倶楽部は、要約すれば会員相互の親睦を計り、会員各自の職能により公益有先の実をあげ臣道実践に勉めるにある。倶楽部は決して政治的な目的を持つものでなく、全く忠良なる臣民としての修養の道場たらしむるものである。

会計年度も1月～12月と改め、規約の中に特に外国人の入会を認めぬことを謳ったのは、軍、警察との紛雑を避ける含みであったと記録されている。

札幌水曜会と改称

これより後、例会の記録は個人的日誌、メモ等に拠るほかないが、例会を継続していたものと思われ、昭和18年12月2日例会の記事に、次年度から名称を札幌水曜会と変更された旨記録され、現に保存されている昭和19年1月の会員名簿は札幌水曜会会員名簿として印刷されている。この時会員数は52名。

巻末には各地同種会として、小樽火曜倶楽部、函館職能協議会が掲載されている。この時東京は水曜会である。改称の背景は判然としないが東京にならったものであろう。定款には変更が無いと記録されている。

札幌ロータリー倶楽部の旧名復活

かくして、札幌水曜会の名のもとに例会を続けていたが、昭和21年6月25日例会において、7月から札幌ロータリー倶楽部の旧名に戻して定款昔のままとする決議がなされた。因みに、昭和21年7月～22年6月期間の決算報告は札幌ロータリー倶楽部の名において印刷されている。

復帰を願う熱意がよく現れているのだが、正式復帰にはまだ日を待たねばならなかった。

札幌水曜会の解散

昭和22年初頭から、東京水曜会を中心としてロータリーの復帰を願う声が全国的に高まり、同年3月には各地曜会の有志が東京に集合、遠くは札幌からも参加して、「ロータリー復帰協議会」を結成、7月には戦前のロータリークラブで現在も例会を継続しているもの17、その会員数1,050名との調査もあって愈々復帰の機運は昂まった。

折しも昭和23年9月にはRI中央アジア駐在員としてボンベイに在ったジョージ・ミーン

ズが来日し東京、神戸、大阪の曜会に出席して日本の状況を視察、復帰には努力するがそれまではロータリーの名称や徽章の使用を慎むよう助言して帰米、札幌ロータリー倶楽部はロータリー復帰協議会と緊密な連絡のもとに、昭和24年3月30日臨時総会を開催して、国際ロータリーに復帰するため札幌水曜会を解散し本部の承認を得るまで札幌仮ロータリー倶楽部を創設する旨の決議を行った。

札幌仮ロータリー倶楽部発足

先の決議に基づき創立委員7名に宮脇冨名誉会員を加えてチャーターメンバーの選考を始め創立の準備を進め、昭和24年4月20日シカゴ本部特派のミーンズ副幹事、手島ガバナーが中心となってチャーターメンバーの査閲を行い、予定者50名から45名を確定し、同日午後には創立総会開催の運びとなった。

続いて22日、ミーンズと手島ガバナーは小樽に赴き、56名の会員と懇談したと記録されている。

これは間もなく、小樽ロータリー倶楽部の復帰へと繋がるのである。

札幌ロータリー倶楽部再承認

昭和24年5月2日付けを以て再承認された旨シカゴ本部からの電報を受領し、5月4日の例会で会員一同大いに祝意を表した。チャーター番号は、特にまえと同じ1621Bである。

因みに、この時期に復帰したクラブは、東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の順に7クラブである。

ここに北海道ロータリーは念願の復帰を果たし、苦難の時代を終えて一途に発展へと向かうのである。

小樽ロータリー倶楽部

昭和15年12月17日

旧小樽ロータリークラブの解散式を海陽亭で行う。なおほぼ一ヵ月前、札幌職能倶楽部（旧札幌ロータリークラブ）が発足している。

昭和16年1月21日

小樽ロータリークラブの旧理事らの努力により、『小樽火曜倶楽部』の発会式を挙行する。（会員数43名）

戦時下の「小樽火曜倶楽部」

昭和15年を契機に、国際政局の緊迫、わけても日米関係の悪化に伴い、軍部の強制的な圧迫でロータリークラブが解散の悲運に遭い、日本全国から消え去ったのである。

小樽ロータリークラブの慈父であり、チャーターメンバーにして52年の永きにわたり在籍した坂牛PG（昭和62年没、享年97歳）は当時の状況をこう回顧している。

『…会長を勤める事になったが、決して快適な役割ではなかった。戦時中の事ゆえ軍の命令は勿論、その意向さえも至上命令であった。表向き何の批判も出来なかった事は、人権の尊重、言論の自由を享有する世界の民主主義国家の人々には、容易に理解できなかったかも知れない。しかし現実に憲兵隊の冷たい監視を受けながらただ虚ろな例会を続けていたというだけで、真に満たされることの無い、限りない悪夢の毎日であった。』

『小樽火曜倶楽部』の例会はどうであったか。

道内の他のクラブでは、当局の圧迫に耐え切れず解散したところや、余りの面倒臭さと、事なかれ主義から軍部に迎合し、その結果雲散霧消したクラブさえあった。

しかし、これも時局がら強引な圧力には抗しがたいものがあったようだ。

小樽火曜クラブでは特に次の三項目を特高・憲兵隊から念を押されている。

①名称・内容の如何に関わらず、速やかに解散せよ。

②どうしても継続というなら、例会ごとに許可願いを出せ。

③書類、特に発信・往信はその都度事前に提示せよ。

特に③は例会ごとの出席者名簿と、例会内容の報告であるからとても煩雑で、耐えうるものではなかった。

また、国際奉仕などとんでもないことで、会則の目的事項から外してしまった。

宮城遥拝・愛国行進曲の斉唱・皇軍の武運長久祈願・戦没将兵に対する黙禱などは、この時局に色濃く反映している。

戦局が苛烈になるのと同時に、また敗戦へと大きく軸がグラリと傾いていくのにしたがい、極端に記録が少なくなっていく。特に昭和19年～20年の記録は10項目にも満たない。

しかし『小樽火曜倶楽部』としての例会はキチンとやり通している。会合の中止は、ロータリークラブの解散から火曜倶楽部へ移行した混乱期で、これは全国の各クラブとも当然の事である。それと終戦時会場が進駐軍に接収されホテルの営業を停止された時のみで、しかしこれとて次週には例会場を移し再開している。結局僅か4～5回の中止となっている。しかも出席督励は厳しく常に80～90％台を維持しているのである。当時の未曾有の混乱期と軍の圧力の中で万難を排し例会続行を頑張り通した会員にとって、復帰間近しの感触を得たことに、一同欣喜雀躍したことは、かろうじて残された僅かな断片的な記録を見ても、十分に伝わり胸が痛む。

前述の坂牛PGはこう言っている。

『…精神的な目的を持った人と人の繋がり位い、強い結合はない。迫害に遭う度に益々強くなる信仰の様なもので、一度会員の胸底に深くしみ込んだロータリーの良さというものは抹消されるどころかかえって如何にしてロータリー的会合を持ち続けたいという熱望から…』これは強制的に解散させられ、火曜倶楽部を創らざるを得なかった時の述懐である。

それでは復帰前後はどのような状態であったか、断片を繋ぎ合わせてみる。

金属類供出

戦時中はどこでもそうであっただろうが、当倶楽部でも金属類拠出が提議され満場一致で可決されている。その結果、銅製の立派なゴングを供出している。供出代金が80何円支払われたというから、それは見事なものだったに違いない。

当時の食事

昭和20年7月31日、外食券発行に伴い、例会の食事をいかにすべきか、緊急理事会が開かれている。その結果各自おにぎり持参で、おかずはホテルからとしている。ちなみにこの時の食費と会場費、税金など一切を含めた金額は会員42名で、一人あたり3円40銭位になっている。終戦後極端な食料逼迫の中、食事は各自済ませてから、という時もあったが、食事ナシの例会は意味が無いということで、無理をして主食を持参している。海宝麺・冷凍ホッケなど。またトドのステーキの臭さには実際参ったと書かれている。

昭和20年8月15日（終戦）
昭和20年10月2日（例会場進駐米軍使用のため休会）
昭和20年10月9日（理事会を開き、別会場を確保している）
昭和20年10月16日（例会再開、なお応召した会員4名とも全員無事に帰還している。会員42名）

函館ロータリー倶楽部

ことあるごとに軍部・官憲の圧力

日本のロータリーが発芽期から若葉の成長期に移った時は、わが国の軍国主義、ファシズムが救い難くはびこりすぎ、傍若無人に国の内外を横行していて、ロータリーの若葉も、他の自由主義思想と共に、無残に踏み躙られてしまったのであった。

軍部の横行は目にあまるものがあり、国を守るため外へ向けるはずの銃口を国民に向けて威嚇支配し、全国民に軍国主義を押付け、特高政策、憲兵政策を濫用して、かりにもこれへ批判の目を向けると疑われるものには、一方的に極度の弾劾圧力を加えていた。

そして、ロータリーに対しては、単にその運動が端をアメリカに発し、アメリカがイニシアチブをとっているということだけのことから、直ちに敵性思想の運動と断定し、他の自由主義思想運動に対すると同様の弾圧を加え出したのである。

全ロータリアンに特高、憲兵を差し向けたり、これを尾行させたりするいやがらせをし、遮二無二ロータリーを解散に追い込もうと弾圧を強化して来た。

函館R.C.の会員も御多分に漏れず、特高、憲兵に付纏われ、私生活にまで圧迫を加えられ、曽てない屈辱と不愉快さに悩まされたのであった。

函館ロータリー倶楽部解散

函館R.C.は、原忠雄の会長時代、1940年9月5日第314例会を総会に変更しクラブ解散の決議をしたが、引き続き会名を“函館職能協会”と改め、会員、役員、委員、組織および機能等一切を函館R.C.時代その侭に踏襲、9月12日第1回例会を開き、その後毎木曜日開会して依然クラブ活動を続けた。

函館職能協会と改名するまでは、前にも述べたように、極度に不当な軍部、官憲の弾圧を受けたが、全会員が元来市内で信用の高い名士ばかりだったので、改名後はさしたる弾圧もなく、ただクラブ員が辛苦の末1938年に完成したクラブハウスが海軍に接収されるとか、ことあるごとに軍部、官憲から無理と思われるような多額の寄付金を強いられるものの、関係は表面スムーズとなり、また、クラブ活動も、従軍者への慰問袋の発送、傷病兵、軍属、留守宅、戦災孤児、戦争遺族の救護慰問、戦没英霊の弔慰、防空自衛の強化等に重点が移ったのは、戦時下の国民として祖国に尽くす当然のことであった。

しかし、戦局がいよいよわが国に不利となり、全土が米国の烈しい爆撃をうけるようになって、函館市もまた1945年7月14日空襲をうけ、青函連絡船が全滅し、市街の一部が類焼破壊するにおよび、同年8月2日から例会を中止するにいたった。

そして、その年の8月15日終戦となったのであるが、協会はいちはやく1945年10月3日、協会長登坂良作君の名で、会員にクラブ再興の通告を発し、当時の極度な食糧難をおし、11月1日から番茶で初の例会を開き、1946年4月17日には公然“函館ロータリークラブ”と改称、食糧難がいよいよ厳しいので隔週木曜日に例会を開くことにしたが、7月4日からは、各自弁当持参ということにし、毎週開会に踏み切った。

東京R.C.がその頃呼びかけたR.I.復帰運動に即応協調したのはもちろんで、1949年復帰に対する情勢好転とともに、東京R.C.の指示とスポンサークラブ札幌R.C.の指導により、同年4月、一時“函館木曜クラブ”と仮称して復帰の手続きを終え、6月2日の定時総会でみたび“函館ロータリークラブ”準備会と名称を還元したのであった。

1949年3月から5月までの間に、まず東京、京都、大阪、神戸、名古屋、福岡、札幌の7クラブが復帰し、この7クラブがスポンサーになって各都市のR.C.が相次いで復帰したが、函館R.C.は、通信上の手違いから多少時期が遅れ、同年9月8日函館仮R.C.として再出発し、1949年9月16日全国中第16番目にR.I.から再チャーターされた。

チャーター番号は戦前通りの第3747号であった。

函館職能協会時代の会員増強

創立以来第314回の例会をもって1940年9月5日解散したクラブは、翌週9月12日に函館職能協会の第1回の例会を開催している。換骨奪胎の新発足は名称を変更しただけで総ての機能もロータリーと殆ど変わりなく、年度が1月から12月と改正されただけであった。

注目する点はクラブ運営の重点である増強も常に行われていたことである。その年の11月には早速新会員の入会が行われている。因みに函館職能協会時代迄の雌伏9年に亘る隠れキリシタン時代に56名もの新入会員がいる。転勤その他の理由で退会した会員は62名。さてこの函館職能協会時代に入会された会員は、単なる協会会員であったのだろうか。名称は職能協会であったが、皆立派なロータリアンであった。開戦そして敗戦、ロータリーの復帰、国家の復興すら覚束ない時代の中で、脈脈として受け継がれたロータリーの哲学を慕って入会されたのであろう。我々は今この先人達に心からの敬意を表して先輩と呼んでいる。

名称はロータリアンではないが、我がクラブを支えそしてロータリーを伝承してくれた会員であるからです。この人達があったればこそ、1949年9月16日全国で16番目にRIに再認証された。まさにロータリーは世代を越えて継承され受け継がれていることの実証である。

室蘭ロータリー倶楽部

戦時下においては、室蘭は重要軍需産業港湾であり、ロータリーの主要構成メンバーは、製鉄、製鋼、造船、海運等のトップであり、きびしい統制下におかれた。また市街中心は建物疎開され、中国人労務者の強制労働、捕虜収容所の外国人に対する処遇問題――収容所長の平手嘉一大尉は戦後絞首刑となった――などがあり、室蘭市や商工会議所の発行した市街略図ですら発行禁止とされる様な、情報、言論、思想、宗教の圧迫下にあり、戦争末期には空襲、艦砲射撃によって500名を超す死傷者を出すなど、ロータリーの存続し得る余地はなかった。

当然昭和15年の第5回北海道連合大会は返上した事と思われるが、記録は残っていない。

且創立会長の栗林徳一翁、戦前のチャーターメンバーの小林秀光会員、鈴木栄会員をはじめ、長老会員がすべて故人となられて、この時代を知る事が出来なくなった。

わずかに「室蘭ロータリークラブ25年のあゆみ」に故栗林徳一氏が、「1940年（昭和15年）室蘭ロータリーは『室蘭経済懇談会』と改称して臼井郁三郎氏が会長となり、私（栗林）は室蘭商工会議所会頭を兼ねていたので、商工会議所の外郭団体として統制経済下の地方産業界に友愛精神を注入することにつとめた」と述べているのと、「奉仕の50年（室蘭ロータリークラブ50年史）」の座談会において、栗林、小林両氏が、㊥百貨店（現プリンスホテル）の応接間で木曜日に例会を開き、鈴木要吉さん（室蘭毎日新聞）がよく卓話をした」との記事が残るのみである。

昭和25年12月15日

国際ロータリー復帰。全国より53名の参加者を迎え、チャーターナイトを、翌26年6月14日洞爺湖温泉にて伝達式を行っている。

第3期（昭和24～44年）

昭和24年に東京・京都・大阪・名古屋・神戸・福岡・札幌の順序でそろって、国際ロータリーへ復帰をした。そしてこの7クラブで第60地区を形成することになり、初代ガバナーには東京クラブの手島知健氏が選ばれた。以下復帰以後の20年間を年譜で振り返ることにする。

1949(昭和24年) 3月	待望のロータリー復帰承認される。
5月	日本ロータリーRI 60地区に指定。初代地区ガバナーに手島知健選任。
1950(昭和25年) 4月	復帰後第1回の第60地区年次大会を京都に開く。
6月	“Service above self” “He profits most who serves best” 共にロータリー標語として公式に認められる。
1951(昭和26年) 6月	道内7クラブによる第1回インターシティ・ゼネラル・フォーラムを札幌にて開催。シニアアクチブ会員になる資格年限20年を15年に改正。
7月	RI加盟認証番号制を廃止。
1952(昭和27年) 4月	「手に手つないで」（矢野一郎作詞作曲）他Rソング入選発表。
7月	第60地区を分割、第60地区および第61地区の2地区となる。
1953(昭和28年) 1月	「ロータリーの友」創刊。
7月	第60地区ガバナー宮脇富就任。地区年次大会を札幌で開催（9月）。
1954(昭和29年) 8月	新築中のRI中央事務局完成、エバンストンに移る。
10月	「四つのテスト」の邦訳、本田親男の応募訳入選決定。
1955(昭和30年) 5月	RI創立50周年記念国際大会をシカゴにて開催。
7月	全国4地区に分割、第60地区、第62地区、第63地区、第64地区。
1956(昭和31年) 7月	全国各地で1日研修会実施。
11月	ロータリー財団週間を年中行事として実施決定。
1957(昭和32年) 7月	日本ロータリーを5地区に分割、新たに第350地区、第355地区、第360地区、第365地区、第370地区となる。
1958(昭和33年) 3月	世界理解週間を制定。
1959(昭和34年) 7月	第365地区および第370地区の地域を整理分割し、新たに第368地区を新設。全国6地区となる。
1960(昭和35年) 2月	初代RI幹事チェス・ペリー死去。
1961(昭和36年) 5月	国際大会東京に開かれる。参加74カ国より23,366名、新記録達成。
1962(昭和37年) 1月	「ロータリーの友」創刊10周年を迎える。
1963(昭和38年) 1月	Matched District, Matched Club計画実施。

6月　仙台に日本初のIAC誕生。
11月　ポール・ハリス未亡人Jean Harris逝去。
1964(昭和39年) 3月　ロータリー文献東京事務所開設。
6月　新クラブ結成の最少人数を25人より20人に改める。
1965(昭和40年) 6月　ロータリー財団にGSE制度を制定。
1966(昭和41年) 10月　新たに「職業分類指針」"Guide to Classification" 発刊。
1967(昭和42年) 1月　次期RI会長に東ヶ崎潔氏を指名。
1968(昭和43年) 1月　ローターアクト計画ホッジス会長より正式発表。
7月　米山記念奨学会財団法人となる。
1969(昭和44年) 3月　東ヶ崎潔RI会長夫妻来道、札幌市内5RC合同歓迎例会。
6月　日本ロータリー復帰に尽力したミーンズRI事務総長夫妻を歓迎して札幌市内5RC合同例会。
7月　ガバナー援助のために地区に地区幹事、地区会計長を設ける。
9月　静岡県三島郊外に米山記念館竣工。
10月　IAC、RAC、青少年活動を一括し、青少年活動週間を設定。

第4期（昭和45年～現在）

1970（昭和45年）から1996（平成8年）までは、ガバナー編、クラブ編に詳述されているが、第3期に倣って、地区内外の身近なロータリーの動きを拾ってみたい。

1970(昭和45年) 3月～9月　大阪万国博会場に、ロータリー例会場を設置。期間中出席者総数は家族ビジターを含め23,300名に達した。
6月　規定審議会を立法機関とする。
7月　北海道を二分割、当地区番号は351となる。
1971(昭和46年) 1月　第350、351地区IA連合年次大会を札幌で開催。
4月　米アイオワ州、597地区よりGSE7名を受け入れる（第1回）。
6月　「ロータリー日本五十年史」発刊。
1972(昭和47年) 2月　札幌冬季オリンピックセンターを札幌グランドホテルに設置、内外ロータリアンを集め記念インターシティ・ミーティングを開催。
2月　スチュアートRI事務総長就任。
1973(昭和48年) 1月　「ロータリーの友」創立20周年記念論文入選者発表。
1974(昭和49年) 6月　規定審議会で、区域限界を同じくする2つ以上のクラブ結成とRI人頭分担金半期6ドルを決定。
8月　豪サウスウエルズ州、965地区よりGSE6名を受け入れる（第2回）。
1975(昭和50年) 2月　RI創立70周年を記念して「ロータリーの世界」を刊行。
5月　「ロータリーの友」英語版創刊。

1976(昭和51年)10月	マンチェスターRI会長夫妻来道して、北海道、東北5地区連合年次大会を札幌で開催、参加者4,620名は当時世界最大の年次大会。
1977(昭和52年)7月	地区番号が300番台から200番台に変更、当地区は第251地区となる。
1978(昭和53年)2月	沼津で米山梅吉翁生誕110年記念式典挙行。
5月	第69回東京国際大会、参加95カ国、40,155人は史上最高。
1979(昭和54年)1月	RI事務総長にピグマン氏就任。
10月	「職業奉仕週間」新設される。
1980(昭和55年)2月	ロータリー創立75周年。
10月	クラリッヒRI会長夫妻来道、札幌・札幌真駒内両RC歓迎合同例会を開催。
1981(昭和56年)3月	RI事務局、日本支局を開設。
1982(昭和57年)7月	向笠広次日本人として2人目のRI会長に就任。
1983(昭和58年)3月	モナコ・モンテカルロ規定審議会で人頭分担金値上げ。
7月	ロータリー特別週間が特別月間に。
1984(昭和59年)7月	当251地区で7分区制度を11分区制度に改編。
1985(昭和60年)7月	ポリオ撲滅プログラム発表。
1986(昭和61年)2月	ロータリーの会員数100万人を突破。
7月	北海道で初めて伊藤義郎会員（札幌RC）がRI理事に就任。
1987(昭和62年)4月	マット・カパラスRI会長夫妻来札、市内10RC合同歓迎例会を開催。
1988(昭和63年)3月	チャールズ・ケラーRI会長夫妻来札、札幌・札幌真駒内RC歓迎合同例会。
1989(平成元年)1月	シンガポール規定審議会で女性の入会をクラブの裁量とする旨票決。
1990(平成2年)7月	ロータリー環境保全デーを新設。
1991(平成3年)4月	ポリオ・プラス募金終了、日本47億円。
7月	ロータリーの地区番号4桁に変更。
1992(平成4年)2月	札幌東RC関西以北で初めて「はまなすプロバスクラブ」を設立。
1993(平成5年)7月	北海道南西沖地震発生、地区内会員1人当たり2,000円の義援金。
1994(平成6年)1月	第2680地区阪神大震災義援金、1,000万円送る。
1995(平成7年)3月	RIアジア第1・第3ゾーンRACT研修会を会津若松市で開催。
1996(平成8年)2月	ポール・ハリス没後50周年、記念行事として地区史編纂委員会を設置。

ガバナー編

1970～71年度 "Bridge the Gaps"
「隔りを取り除こう」

RI会長 ウィリアム E・ウォーク　ガバナー 河野通正

略　　歴　昭11年拓殖大学卒業
　　　　　中部石炭販売株式会社社長
ロータリー歴　昭34年深川RC入会
　　　　　（チャーターメンバー）
　　　　　昭34年深川RC初代会長、
　　　　　分区代理、地区拡大委員
生年月日　大3.3.15（深川市）
　　　　　（昭59.3.29逝去 70歳）

運営方針　「人間の良心」で私達は隔りを取り除かなければなりません

重点施策　①人と人との間の隔りを取り除くこと
　　A）世代間の断層を取り除く　B）人種間の障壁　C）経済上の格差　D）道徳上の欠陥
　②諸国間の隔りを取り除くこと
　③人とその生活環境の不均衡を是正することに努力しよう

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	14,364	1,068	45	札幌手稲ロータリークラブ 三石ロータリークラブ 札幌北ロータリークラブ
会員数	682,183	52,940	2,320	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第62回）	シドニー（オーストラリア）	5月16日～20日	ウィリアム E・ウォーク	16,646	
地区大会	札幌市民会館	9月19日 20日	松方　三郎	1,606	札幌東
	大会テーマ：地区大会に出てロータリーを学び親睦を深めよう！ 特別講演：「オリンピック」　パスト・ガバナー　竹田　恒徳				
地区協議会	岩見沢	6月13日	G：河野　通正 GN：富田　恭	450	岩見沢

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ
第1分区	山口　清	10月18日	滝川市	滝川
第2分区	立川　一雄	11月1日	江別市	岩見沢
第3分区	秋山　宏	10月25日	札幌市	札幌南
第4分区	山本　信爾	11月22日	小樽市	小樽
第5分区	大針　光吉	11月8日	浦河町	浦河
第6分区	富田　嘉市	10月11日	室蘭市	室蘭
第7分区	俣野　純夫	11月29日	函館市	函館北

深川ＲＣの沿革（河野ガバナーの史跡）

創立　昭和34年２月３日（チャーターメンバー25名）（1959）

承認　昭和34年４月16日（全国で284番目）(1959)

スポンサーしたクラブ

妹背牛RC 昭和41年５月28日

拓大RAC創立　昭和45年５月30日

姉妹クラブ　韓国南海RC 昭和48年５月12日

深川RCの設立

1959年２月３日深川RCの創立には河野通正氏は中核的役割を果たし設立に成功し、初代（1959年２月６日）より1959～1961年６月迄会長として懸命に努力しその間深川RCの基礎を確立した。

深川RCのバナー第１号の作成

深川RCのバナーは1959年10月に作成し全国RCに配布を行った。

深川RCの出席率100%達成

深川RCの現在迄出席100％の達成（1962年８月）は１カ月であったが河野通正氏の指示により後にも先にもこの時だけであった。

妹背牛RCの結成

1965年５月に河野通正氏特別代表の任命を受け創立に成功し運営の指導により立派に成長している。

拓大RAC創立

拓大RACは河野通正氏の母校のため当時春山氏が拓大の短期大学の学監で着任したので、深川RCに会員として入会した機会に拓大RACクラブを結成した(1969年５月)。当地区２番目のRACで、当時河野通正氏は351地区ガバナーノミニーであった。

地区の分割とガバナー

1970～1971年に河野通正氏が351地区ガバナーとなった。当時会員が多くなったので、地区を二分し350地区、351地区となった。河野通正氏が初代351地区ガバナーとなり就任した。

韓国南海RCとの姉妹提携

1972年５月12日韓国南海RCと姉妹クラブとして提携した。現在も継続し交流を行っている。　　　　(深川RC　越智)

ガバナー時外遊のもの（河野氏）

深川20周年記念写真（河野氏のもの）

351地区ガバナー当時
アメリカに会席のため

ガバナー当時の記念写真

351地区ガバナー当時家族同伴外遊時のもの

1970～1971年度国際ロータリー第351地区組織図

◎印　委員長　　○印　副委員長

地区役員

地 区 幹 事：尾崎　正一（深川RC）
地区会計長：越智　丑次（深川RC）

地区資金委員会

委　員　長：関　　雅一（深川RC）
委　　　員：坂本　　忠（札幌RC）
委　　　員：谷　森之助（函館RC）

地区分区代理

第１分区：山口　　清（滝川RC）
第２分区：立川　一雄（岩見沢RC）
第３分区：秋山　　宏（札幌南RC）
第４分区：山本　信爾（小樽RC）
第５分区：大針　光吉（浦河RC）
第６分区：富田　嘉市（室蘭RC）
第７分区：俣野　純夫（函館北RC）

国際ロータリー地区委員

地区ロータリー財団委員会

◎伊部政次郎（函館）　○阿部　謙夫（札幌）

研究グループ交換担当委員会

◎嵯峨　　旻（釧路）　○佐藤　　貢（札幌）
野口誠一郎（小樽）　曽田　元陽（森）
高桑　栄松（札幌）

財団推進担当委員会

◎阿部　謙夫（札幌）
中野　重夫（芦別）　高山　坦三（札幌）
富田　　恭（函館東）

奨学生担当委員会

◎大野　和夫（札幌）　○真崎　健夫（札幌）
柿本　恒一（岩見沢）　森松　定男（幌南）

世界社会奉仕委員会

◎坂牛直太郎（小樽）　○寿原　九郎（小樽）
河郁文一郎（札幌西）　米光　徳蔵（室蘭）

地区拡大委員会

◎秋山康之進（札幌）　○伊部政次郎（函館）
村田　喜一（函館）　蔦森　春明（苫小牧）
瀬戸　国男（小樽南）　椿原　春雄（札幌幌南）
福田　耕治（留萌）

地区会員増強委員会

◎真崎　健夫（札幌）　○秋山康之進（札幌）

ガバナー・ノミニー指名委員会

◎河野　通正（深川）
秋山康之進（札幌）　島本　　融（札幌）
小畑　信愛（函館）　岡田　正雄（旭川）
嵯峨　　旻（釧路）

国際学生計画及び青少年交換委員会

◎寿原　九郎（小樽）　○滝本　庄蔵（札幌西）
塩谷　　猛（札幌西）　柳元　　豊（滝川）
山田　　功（岩見沢）

インターアクト・ローターアクト委員会

◎岡田　正雄（旭川）　○寿原　九郎（小樽）
荒木　　昭（岩見沢）　市来　　仲（室蘭東）
本間　誠一（小樽南）

青少年問題委員会

◎小畑　信愛（函館）　○嵯峨　　旻（釧路）
海老沢義道（札幌西）　福山　卓爾（札幌）
松本　恒一（札幌東）

職業分類諮問委員会

◎真崎　健夫（札幌）　○小畑　信愛（函館）
藤井　　清（札幌東）　小熊　米雄（札幌西）
竹山　涼一（札幌南）

ロータリーの友編集及び連絡委員

秋山康之進（札幌）

北海道ロータリー奨学会委員会

◎滝本　庄蔵（札幌西）○真崎　健夫（札幌）
東　　　栄（室蘭東）　棟方　　忠（函館）
柳元　民夫（小樽）

ロータリー優秀活動賞委員会

◎河野　通正（深川）　秋山康之進（札幌）

レクリエーション委員会

◎道家　斉次（札幌）
吉川　宥直（札幌）　多田　久志（札幌南）

札幌冬季オリンピック聖火台建設委員会

◎島本　　融（札幌）　○伊藤　義郎（札幌）
植田　英武（札幌）　江守　武雄（札幌東）
田所　一栄（札幌幌南）九島勝太郎（札幌南）
五十嵐彦仁（札幌西）

1971～72年度 "Good Will Bogins With You"
「善意はまずあなたから」

RI会長 アンスト・G・ブライトホルツ　ガバナー 富田　恭

略　　歴　昭6年千葉医科大学卒業
昭14年医学博士
昭16年富田病院院長

ロータリー歴　昭32年函館RC入会
昭32年函館東RCチャーターメンバー
昭34年函館東RC会長
昭43年350地区第1分区代理

生年月日　明38.12.3
（昭59.2.12逝去 79歳）

運営方針　ロータリーに精通したロータリアンが必要！

重点施策
①善意あふれる奉仕活動を願いたい
②スポーツを通じ青少年と共に公徳心と愛国心の高揚に努めていただきたい
③公害の防止、自然保護
④会員増強
⑤財団推進

日本選出RI理事（1971～73）　湯浅　恭三（東京RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	14,890	1,122	48	静内ロータリークラブ 室蘭北ロータリークラブ 函館亀田ロータリークラブ
会員数	706,372	56,241	2,511	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第63回）	ヒューストン（テキサス州）	6月11日～15日	アンスト・G・ブライトホルツ	13,287	
地区大会	五島軒（市民会館）	9月25日 26日	湯浅　恭三	1,021	函　館
	大会テーマ：親睦と善意を分かち合おう 特別講演：パスト・ガバナー　平沢　興				
地区協議会	苫小牧市民会館	6月24日 25日	G：富田　恭 GN：塩谷　猛	600	苫小牧

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	滝沢　敏夫	11月7日	芦別市	芦　別	156名
第2分区	岩田　政勝	11月21日	栗沢町	栗　沢	98名
第3分区	小川　忠一	3月19日	札幌市	札幌幌南	242名
第4分区	野口誠一郎	11月23日	小樽市	小樽南	80名
第5分区	藤井　信造	12月12日	苫小牧市	苫小牧	196名
第6分区	市来　仲	2月20日	伊達市	伊　達	121名
第7分区	落合稼久蔵	5月21日	松前町	松　前	170名

行 動 の 人　富田パストガバナーを偲んで

光陰矢の如しといいますが、富田　恭PGが他界されて早12年、この2月に13回忌が行われ私も参列して参りました。

富田先生の奥様もお元気で出席され厳かな雰囲気の中で執り行われました。富田PGのご略歴については詳細は略させていただきますが、先生は昭和6年千葉医科大学を卒業され、昭和31年函館RCに入会され、昭和32年函館東RCの創立会員、副会長となられ、昭和34年会長になられました。

その後函館北RCの特別代表、第350地区第1分区代理、地区拡大委員、RI財団推進担当委員、昭和47年ガバナーに就任されました。

先生は職業奉仕に卓越した考えをお持ちで、様々な社会奉仕団体はあるけれど、この職業奉仕はロータリー独自のものであると。

例えば各々の家族があり、経営者若しくは管理者であれば部下をもっている。つまり雇用関係が成立しているわけです。

そこでこれ等の方々を養っている責務がある訳で、ここで大事なのは暴利をむさぼることでなく、適度の利潤を上げることであると話されておりました。又オイルショックの時安く仕入れておいたものを高く売りつけずにそのままの価格で販売をし、後々まで店の信用を得たというお話をされておりました。

クラブ奉仕に関しては昔は若いロータリアンとクラブアッセンブリーの後一緒に痛飲し、親睦の実を上げられ、ロータリークラブの基本について、たとえば出席のこと、ロータリークラブの特典のこと等についてお話をしていただきました。

社会奉仕に関しては、私の最も印象に残っておりますのは、デパートの前で、あるいは五稜郭の地下道で12月の初旬寒風がふきすさむ中で、歳末助け合い募金活動をしたことがあります。

又福祉団体に何か援助をする際、その施設の方を例会に招待し目録又は金品を差し上げるのではなく、それは一番戒めるべきとして

空港で夫人と

RAメンバーに負けない元気でダンスに興ずる富田ガバナー

マリアR.C.メンバーと共に

必ず訪問をして現場へ行き、必ず行動して、理解して、寄付行為をするように指導されました。

国際奉仕に関しては特筆、大書すべきことが多くありますが、ロータリー財団の貢献度が地区内第一位になったことでした。方法についてはロータリーの友にも発表してありますので省略いたしますが、CITATION FOR MERITORIOUS SERVICEという表彰をRIより贈られました。これは大変価値あるものでその当時地区内にも３～４名しか受賞者がいないという事でした。

又私がローターアクト地区委員長をしていたとき、海外研修でマニラに有るRACと交流会を持ちました。当方は富田PGご夫妻を始めとしてロータリアン及びその家族26名、ローターアクター26名計52名、河郁PG、札幌西RC故石井さんのお世話で当地を訪れました。

最初の夜は歓迎、当日は彼等が国際仮装大会、富田先生はその審査員をされ、バンブーダンスやらローターアクターとダンスに興じたり楽しい一時を過ごしました。

最後の夜はジャパンナイトで彼等を招待し、提灯、扇子等日本的雰囲気を会場に造り、盆踊りを日・比で踊りました。

翌日帰国する際空港迄見送りに来て、出発の場所の窓越しに涙を流して別れを惜しんでいるのを見たとき、若者の感受性そして国際理解のいかに重要であるかを認識させられました。

富田先生は行動の人と言ってよく若者の気持ちになって我々を指導して下さいました。先生が亡くなられて当クラブも大きな柱を失ったような気がいたします。

近い将来先生に続くガバナーが出ますよう努力し、先生を偲ぶよすがと致します。

函館東ロータリークラブ

光銭　吉郎

1971～1972年度国際ロータリー第351地区組織図

◎印　委員長　　○印　副委員長

地区役員

地 区 幹 事：◎森岡　　勝（函館東RC）
　　　　　　○庄司　正保（函館五稜郭RC）
地区会計長：日下部一博（函館東RC）

地区資金委員

資金担当：谷　森之助（函館RC）
監査担当：関　　雅一（深川RC）
監査担当：坂本　　忠（札幌RC）

地区分区代理

第1分区：滝沢　敏夫（芦別RC）
第2分区：岩田　政勝（江別RC）
第3分区：小川　忠一（札幌東RC）
第4分区：野口誠一郎（小樽RC）
第5分区：藤井　信造（苫小牧RC）
第6分区：市来　　仲（室蘭東RC）
第7分区：落合稼久蔵（森RC）

国際ロータリー地区委員

地区ロータリー財団委員会

◎伊部政次郎（函　館）○島本　　融（札　幌）

研究グループ交換担当委員会

◎河野　通正（深　川）○佐藤　　貢（札　幌）
小熊　米雄（札幌西）　長谷井真信（札幌西）
上原子弘光（深　川）　大西　武一（芦　別）
工藤　豊一（江　別）　西村　雅吉（函館五稜郭）
外山　定男（函館北）　中村清一郎（苫小牧）
浜口　正夫（室　蘭）　太田　秀夫（小樽南）
海老沢義道（札幌西）　シャルセーフ ニコライ（札幌西）

財団推進担当委員会

◎秋山康之進（札　幌）○中野　重雄（芦　別）
棟方　　忠（函　館）　斉藤　一雄（伊　達）
小林　秀光（室　蘭）　加藤　久太（浦　河）

奨学生担当委員会

◎真崎　健夫（札　幌）○寿原　九郎（小　樽）
大野　和男（札　幌）　河郁文一郎（札幌西）

世界社会奉仕委員会

◎坂牛直太郎（小　樽）○塩谷　　猛（札幌西）
大鎌　又一（函　館）　柳元　　豊（滝　川）
伊達　廉夫（伊　達）　中沢　啓次（千　歳）
福田　耕治（留　萠）　河郁文一郎（札幌西）

地区拡大増強委員会

◎河野　通正（深　川）○秋山康之進（札　幌）
山口　　清（滝　川）　立川　一雄（岩見沢）
秋山　　宏（札幌南）　山本　信爾（小　樽）
大針　光吉（浦　河）　富田　嘉市（室　蘭）
俣野　純夫（函館北）

ガバナー・ノミニー指名委員会

◎富田　　恭（函館東）
河野　通正（深　川）　秋山康之進（札　幌）
島本　　融（札　幌）　小畑　信愛（函　館）
寿原　九郎（小　樽）　塩谷　　猛（札幌西）

国際学生計画及び青少年交換委員会

◎寿原　九郎（小　樽）○滝本　庄蔵（札幌西）
新谷武四郎（函館東）　山田　　功（岩見沢）
半沢　道郎（札　幌）　上山　英雄（小樽南）

インターアクト・ローターアクト委員会

◎阿部　謙夫（札　幌）○伊藤　　博（深　川）
荒木　　昭（岩見沢）　梶浦　善次（札幌西）
神田　　弘（函館東）　大西　　清（室蘭東）

青少年問題委員会

◎小畑　信愛（函　館）○太秦　康光（函館東）
田所　一栄（札幌幌南）藤田　隆一（苫小牧）
斉藤　直意（室蘭東）　四倉　太郎（函　館）
今井　　寛（小　樽）

職業分類諮問委員会

◎真崎　健夫（札　幌）○小熊　米雄（札幌西）
遠藤　尚義（函館北）　藤井　　清（札幌東）
吉沢　正雄（室　蘭）

職業奉仕委員会

◎秋山康之進（札　幌）○塩谷　　猛（札幌西）
鈴木　武二（函館東）　小六　亀一（深　川）
皆川　忠雄（小　樽）　蔦森　春明（苫小牧）

北海道ロータリー奨学会委員会

◎滝本　庄蔵（札幌西）○伊部政次郎（函　館）
秦　　良平（函　館）　柿本　恒一（岩見沢）
山本　修吾（札幌東）　棚元　民雄（小　樽）

ロータリー優秀活動賞委員会

◎富田　　恭（函館東）　河野　通正（深　川）

地区国際親睦活動委員会

◎庄子　正治（函　館）○田中　修市（函　館）
多田　久志（札幌南）　光銭　吉郎（函館東）
佐々木椎名（函館北）　金沢　精一（七　飯）

地区広報委員会

◎阿部　謙夫（札　幌）○上関　敏夫（札　幌）
多久美邦男（札　幌）　建部　直文（函　館）
新井　　茂（函　館）

札幌冬季オリンピック・ロータリーサービスセンター

◎秋山康之進（札　幌）○河野　通正（深　川）
○塩谷　　猛（札幌西）　高山　坦三（札　幌）
三浦　寅夫（札幌東）　吉岡平八郎（札幌幌南）
藤井　司郎（札幌南）　河郁文一郎（札幌西）
簑輪早三郎（札幌手稲）西村　　昭（恵　庭）
千葉　　正（千　歳）　坂本　　忠（札　幌）

ロータリーの友編集及び連絡委員

河野　通正（深　川）

1972〜73年度 "Let's Take A New Look"
「もう一度見直そう」

RI会長 ロイ・D・ヒックマン　ガバナー 塩谷　猛

略　　歴　陸軍大学卒業
ペプシコーラ北海道飲料㈱
三省キャン飲料㈱代表取締役社長
昭47年ボトラーズ協会会長就任
ロータリー歴　昭35年札幌西RC入会
（チャーターメンバー）
昭44年札幌西RC会長・各地区委員
昭46年ロータリー米山記念奨学会評議員
生年月日　大2.3.31（旧満州安東省）

運営方針　「今という今こそ今が大事なり、大事の今は生涯の今」（道元禅師の心境で!!）
重点施策　①素心に帰れ、即ち拡大鏡を持って綱領を見直そう
②一人一人が自問自答しよう。「青年のためにではなく青年と共に」
③新しい決意をもって実際の奉仕の新局面を開こう
④第350、351地区連合年次大会への協力、参加
⑤GSE、IAC、RAC、青少年交換等、青少年プログラムによる青年の奮起を願う。

日本選出RI理事（1971〜73）　湯浅　恭三（東京）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	15,375	1,174	50	えりもロータリークラブ
会員数	725,271	60,399	2,742	美唄ロータリークラブ

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第64回）	ローザンヌ（スイス）	5月13日〜17日	ロイ・D・ヒックマン	17,187	
地区大会	厚生年金会館	9月23日 24日	ウイルバー・F・ペルJr.	2,158	札幌西
	大会テーマ：型破りの勉強大会 特別講演：「最近の国際情勢」　評論家　大森　実				
地区協議会	札幌市 北海道経済センター	6月2日 3日	G：塩谷　猛 GN：柿本　恒一	549	札幌

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	安岡　正	3月25日	深川市	深川	194名
第2分区	鈴木　重男	11月19日	岩見沢市	岩見沢	
第3分区	森松　定男	3月4日	札幌市	札幌手稲	119名
第4分区	安田　琢寿	2月25日	岩内町	岩内	122名
第5分区	山崎　満	1月21日	千歳市	千歳	
第6分区	伊達　康夫	2月4日	登別市	登別	125名
第7分区	川守田完三	3月18日	長万部町	長万部	186名

皆様のにじみ出る温かい心に感謝

"Let's take a new look" 素心に帰りもう一度見直そうを、会長さんを始めとし、ロータリアンの皆さんが真正面から取り組まれ、あらゆる面で若々しく躍進して下さいましたことを心から感謝申し上げ、当時を顧みて参りたく存じます。1）最も重視していた増強において211名の同志を得たこと。2）若者に魅力あらしめるロータリーたらんと、ローターアクト・クラブ7、インターアクトクラブ7の育成と共に、インターアクト年次大会、ローターアクト研究会、両アクト合同一日研修会に熱意をもって取り組んでいただき、1クラブ、1アクトの気運を着々高めて下さったこと。3）34名にも及ぶ質の高い優秀なロータリー財団奨学金申請者の審査に17のスポンサークラブから全員立ち会っていただいたこと。4）ロータリー財団、米山記念奨学生、交換学生のクラブ訪問の計画を、各クラブにおいて深く理解され"若い大使"たらしめんと温かい指導を下さったこと。"若者と共に"のペースでご活動いただきました。

つぎに、地域社会に密着した、全員参加を旨とする実践活動において、又楽しいロータリーとするために、積極的な移動例会の創意工夫をされた各クラブの実績を、見直された奉仕活動に対する熱意を数多く拝見することの出来たことは、悦びに堪えません。

国内外RCとの姉妹締結、組み合わせの推進、都市提携に伴う交流などを通し、30RCを超える国際奉仕活動、特に地区の世界社会奉仕活動（WCS）としてタイ国に対して病棟の増設、韓国、フィリピンへの図書寄贈、水害救援などが、相互の親交の著しい友愛を深めることになったこと。また、東ヶ崎元RI会長の格別のご指導とご支援を賜ったことを、私は全ロータリアンの方々ならびに東ヶ崎RI財団管理委員長に衷心から感謝を申し上げました。（ガバナー月信第14号・昭和48年6月30日号より）

1972～73国際ロータリー第351地区ガバナー

塩谷　　猛（札幌西RC）

1972年国際ロータリー第350・351地区連合年次大会が盛会裡に開催される！

顧みれば、1972年9月23日(土)、24日(日)の両日、北海道ロータリー40周年を記念して開催された連合年次大会が、ウイルバー・F・ペルJr. RI会長代理ご夫妻、東ヶ崎元RI会長、並びに同氏のお力添えにより実現叶ってご招待出来た隣国三カ国の代表者ご夫妻、松本元RI理事、来賓の皆様、そして地区内外の会員とご家族2,158名を会して盛大裡に終了しました事は、皆様の熱意の溢れたご支援の賜こそと深く感謝申し上げます。

大会は第350地区松井ガバナー、ホストクラブの皆様と三位一体で、ヒックマンRI会長の示された"Let's take a new look"に副うべく創意に満ちた企画と卓抜なる実践力で、アジアと青少年と環境美化、加えて地区大会そのものを目いっぱい見直した大会であったこ

とに満足している。

ロータリーは心のあり方であります。皆様の創意を反映して“Let's take a new look”に基づき、今後の実践完行に一大飛躍の成果をもたらさんことを願ってやみません。(ガバナー月信＝月信第５号別添国際ロータリー第350、351地区連合年次大会記録より)

６月24～25日、苫小牧市民会館にて国際ロータリー第351地区協議会が開催されました。
第２日目〝共に奉仕する我等の年度〟を講演

新R.I.会長ヒックマン氏と塩谷ガバナー
(レークプランドにて)

1972～1973年度国際ロータリー第351地区組織図

（○印　委員長）

地区ガバナー　塩谷　猛

- 地区幹事　小熊米雄
- 地区会計　吉田三郎平
- 地区協議会
- 地区大会

地区ガバナーの分区代理

分区	代理	クラブ
第一分区	安岡　正（深川）	赤平、芦別、深川、妹背牛、留萌、砂川、滝川
第二分区	鈴木重男（栗沢）	江別、岩見沢、栗沢、栗山
第三分区	森松定男（札幌南）	恵庭、札幌、札幌東、札幌幌南、札幌北、札幌南、札幌西、札幌手稲
第四分区	安田琢寿（余市）	岩内、倶知安、小樽、小樽南、蘭越、余市
第五分区	山崎　満（千歳）	千歳、三石、様似、静内、苫小牧、苫小牧北、浦河
第六分区	伊達康夫（伊達）	伊達、室蘭、室蘭東、登別、洞爺湖、室蘭北
第七分区	川守田完三（函館）	江差、函館、函館東、函館五稜郭、函館北、松前、森、七飯、長万部

地区諮問委員会

クラブ奉仕委
- ○真崎健夫（札幌）
- 富田　恭（函館東）
- 森松定男（札幌南）
- 山崎　満（千歳）

職業奉仕委
- ○伊部政次郎（函館）
- 小畑信愛（函館）
- 川守田完三（函館）

社会奉仕委
- ○寿原九郎（小樽）
- 秋山康之進（札幌）
- 鈴木重男（栗沢）

国際奉仕委
- ○坂牛直太郎（小樽）
- 柿本恒一（岩見沢）
- 安田琢寿（余市）

青少年への奉仕委
- ○滝本庄蔵（札幌西）
- 河野通正（深川）
- 伊達康夫（伊達）
- 安岡　正（深川）

地区奉仕活動委員会

地区ロータリー財団委
- ○秋山康之進（札幌）　海老沢義道（札幌西）
- 藤井司郎（札幌南）　三浦祐品（札幌北）
- 河郁文一郎（札幌西）

ロータリー財団推進小委
- ○藤井司郎（札幌南）
- 福岡永泰（岩見沢）
- 森岡　勝（函館東）

財団教育補助金小委
- ○河郁文一郎（札幌西）
- 斎藤　武（札幌西）
- 井手貞夫（札幌）

研究グループ交換小委
- ○海老沢義道（札幌西）
- 高橋長雄（札幌南）
- 今井　功（岩見沢）

財団学友小委
- ○三浦祐品（札幌北）
- 斎藤雄一（札幌）
- 石垣博美（札幌西）

地区インターアクト及ローターアクト委
- ○河野通正（深川）　荒木　昭（岩見沢）
- 田中政士（札幌幌南）　大西　清（室蘭東）
- 神田　弘（函館東）

地区国際青少年交換委
- ○寿原九郎（小樽）　山田　功（岩見沢）
- 滝本庄蔵（札幌西）　長谷井真信（札幌西）
- 太田秀夫（小樽南）

地区世界社会奉仕委
- ○坂牛直太郎（小樽）　水田　泰（室蘭）
- 河郁文一郎（札幌西）　柿本恒一（岩見沢）
- 西村雅吉（函館五稜郭）

地区拡大委
- ○富田　恭（函館東）　小山欽司（函館東）
- 滝沢敏夫（芦別）　岩田政勝（江別）
- 小川忠一（札幌東）　野口誠一郎（小樽）
- 藤井信造（苫小牧）　市米　伸（室蘭東）

地区世界親睦活動委
- ○佐佐木貴士児（札幌南）　多田久志（札幌南）
- 福山卓爾（札幌）

北海道ロータリー奨学会地区委
- ○滝本庄蔵（札幌西）　棚元民夫（小樽）
- 塩谷　猛（札幌西）　鷲尾英一（函館）

ロータリー米山記念奨学会地区連絡委
- ○滝本庄蔵（札幌西）

地区運営委員会

地区ガバナー指名委
- ○塩谷　猛（札幌西）
- 富田　恭（函館東）
- 河野通正（深川）
- 秋山康之進（札幌）
- 小畑信愛（函館）

地区資金委
- ○小野寺　彰（札幌西）
- 谷　森之助（函館）
- 関　雅一（深川）

地区広報委
- ○上関敏夫（札幌）
- 山本達雄（札幌）
- 長谷井真信（札幌西）

意義ある業績賞地区審査委
- ○富田　恭（函館東）
- 河野通正（深川）
- 秋山康之進（札幌）

地区優秀奉仕活動賞審査委
- ○富田　恭（函館東）
- 河野通正（深川）
- 秋山康之進（札幌）

ロータリーの友委員会地区委
- 委員　小熊米雄（札幌西）
- 顧問　富田　恭（函館東）

立法案地区検討委
- ○柿本恒一（岩見沢）
- 森松定男（札幌南）
- 小熊米雄（札幌西）

地区大会委
- 委員長　河郁文一郎（札幌西）
- 副委員長　吉田三郎平（札幌西）
- 副委員長　山崎与吉（旭川西）
- 幹事　山下　博（札幌西）

1973〜74年度 "A Time for Action"
「今こそ行動のとき」

RI会長 ウイリアム・C・カーター　ガバナー 柿本恒一

略　　歴　昭15年小樽高等商業学校卒業
柿本商店取締役社長
岩見沢商工会議所副会頭
ロータリー歴　昭29年岩見沢RC入会
(チャーターメンバー)
昭38年岩見沢RC会長
生年月日　大7.10.21 (岩見沢市)
(昭51.11.2逝去 58歳)

運営方針　「今こそ若返りの時」
重点施策　①会員の増強とクラブの拡大
②青少年と共に行動する
③国際理解と世界社会奉仕にアイデアを求める

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	15,748	1,222	51	札幌真駒内ロータリークラブ
会員数	742,493	64,428	2,909	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第65回)	ミネアポリス・セントポール (ミネソタ州)	6月9日〜13日	ウイリアム・C・カーター	10,015	
地区大会	岩見沢市民会館	10月6日 7日	絹川　清	1,239	岩見沢
	大会テーマ：年次大会に総力を結集しよう 特別講演：「北国の手仕事」　エルム・ユーカラ織民芸館館長　木内　綾				
地区協議会	室蘭市文化センター	6月22日 23日	G：柿本　恒一 GN：森松　定男	600	室蘭東

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	対馬　良行	11月11日	留萌市	留萌	
第2分区	小笠原治郎	3月10日	栗山町	栗山	
第3分区	新保幸太郎	2月24日	札幌市	札幌北	229名
第4分区	高橋　敏男	4月21日	倶知安町	倶知安	90名
第5分区	横張　旭	2月24日	苫小牧市	苫小牧北	
第6分区	大西　清	2月19日	室蘭市	室蘭北	190名
第7分区	鈴木　武二	4月7日	七飯町	七飯	201名

WCS(地区世界社会奉仕委員会)河邨文一郎委員長は、フィリピンを援助する方針を決定し、地区プロジェクトとして多大な実績を残した。

柿本恒一ガバナーの一年を振り返って

6月30日でガバナーの大任を終わらせていただく事になりました。至らぬ私を、温かい友情と寛容のお心で、この1年をご指導、ご支援いただきました事を、深く、心から御礼申し上げます。

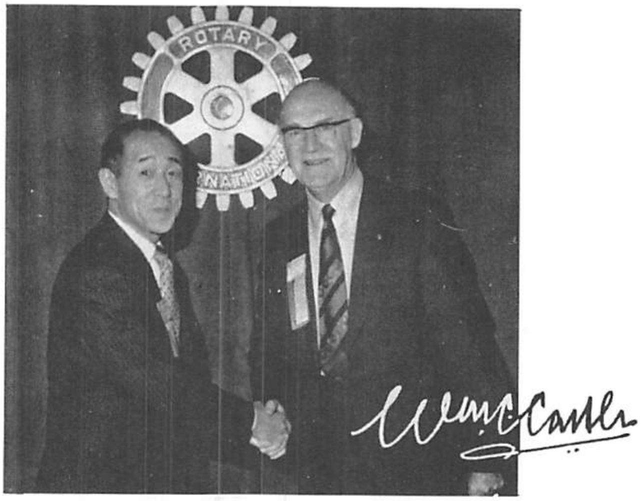
未熟であります私はただ、格式をはずした温かいロータリーであり、楽しいクラブの中で、お互いの身になって譲りあい、尊敬しあって、そこから生まれる奉仕こそロータリーと考え続けて参りました。ただ温かいロータリーとルーズで無気力、無関心なロータリーとは画然と異なるものであることも共に考えて参りました。

全く不行届きの中にも、温かいご支援のお陰様にて、世界社会奉仕、インター、ローターアクトの海外交流、G.S.E.プログラム、ロータリー財団、札幌幌南クラブによる札幌真駒内ロータリークラブの創立、伊達ローターアクトクラブの創立、それから素晴らしい各クラブの奉仕活動等々は、歴代パストガバナーから流れ来たり塩谷直前ガバナーにより作られた基礎のもとに、地区の全ての会員皆様によって、絶大なご協力の賜としてロータリーへお与えいただいた世界へ賜った成果であります。

今茲に「今こそ行動の時」の1年は終わりましたが、ロータリーが生き続けるごとく、カーター会長のこの目標は終わりを告げるものではなく、この上に「ロータリーの精神を振るい起こせ」が来るべき1年の重点目標として加わるものであると存じます。

幸いにも、温容にして大いなる人格者である森松ガバナーが継いで下さる事は、更に大いなる奉仕が生まれるであろう希望に、皆様と共に喜びが溢れます。心の底から御礼申し上げます。

ガバナー月信第14号より（昭和49年6月30日）



カーターRI会長と握手する柿本ガバナー

1973年度地区年次大会でご挨拶される柿本ガバナー

地区大会での一場面

笑顔で語り合う
柿本ガバナーと
森松ガバナーノミニー

1973～1974年度国際ロータリー第351地区組織図

（○印　委員長）

地区ガバナー　柿本　恒一

地区幹事　山田　功
地区会計　今井　功

地区協議会

地区大会

地区ガバナーの分区代理

分区	代理	クラブ	
第一分区	対馬　良行（留萌）	赤平	芦別
		深川	妹背牛
		留萌	砂川
		滝川	
第二分区	小笠原治郎（栗山）	江別	岩見沢
		栗沢	栗山
		美唄	
第三分区	新保幸太郎（札幌西）	恵庭	札幌
		札幌東	札幌幌南
		札幌北	札幌南
		札幌西	札幌手稲
第四分区	高橋　敏男（小樽南）	岩内	倶知安
		小樽	小樽南
		蘭越	余市
第五分区	横張　旭（苫小牧北）	千歳	三石
		様似	静内
		苫小牧	苫小牧北
		浦河	えりも
第六分区	大西　清（室蘭東）	伊達	室蘭
		室蘭東	登別
		洞爺湖	室蘭北
第七分区	鈴木　武二（函館東）	江差	函館
		函館東	函館五稜郭
		函館北	松前
		森	七飯
		長万部	亀田

地区諮問委員会

クラブ奉仕委
- ○秋山康之進（札幌）
- 富田　恭（函館東）
- 森岡　勝（函館東）
- 小笠原治郎（栗山）
- 横張　旭（苫小牧北）

職業奉仕委
- ○伊部政次郎（函館）
- 河野　通正（深川）
- 対馬　良行（留萌）
- 鈴木　武二（函館東）

社会奉仕委
- ○真崎　健夫（札幌）
- 滝本　庄蔵（札幌西）
- 小畑　信愛（函館）
- 新保幸太郎（札幌西）
- 大西　清（室蘭東）

国際奉仕委
- ○坂牛直太郎（小樽）
- 寿原　九郎（小樽）
- 塩谷　猛（札幌西）
- 小熊　米雄（札幌西）
- 高橋　敏男（小樽南）
- 森松　定男（札幌南）

地区奉仕活動委員会

地区ロータリー財団委
- ○塩谷　猛（札幌西）　小熊　米雄（札幌西）
- 井手　貞夫（札幌）　斉藤　武（札幌西）
- 福岡　永泰（岩見沢）　今井　功（岩見沢）

ロータリー財団推進小委
- ○福岡　永泰（岩見沢）　安岡　正（深川）
- 川守田完三（函館）　佐佐木貴士児（札幌南）
- 伊達　康夫（伊達）　藤田　隆一（苫小牧）

財団教育補助金小委
- ○井手　貞夫（札幌）　岡本　素光（岩見沢）
- 小山　利雄（栗沢）

研究グループ交換小委
- ○今井　功（岩見沢）　小熊　米雄（札幌西）
- 海老沢義道（札幌西）　岩田　雅明（江別）
- 高橋　長雄（札幌南）　西村　雅吉（函館五稜郭）
- 中村　義輝（室蘭）

財団学友小委
- ○斉藤　武（札幌西）　伊藤　義郎（札幌）
- 鎌田　厳（岩見沢）　藤井　司郎（札幌南）

地区青少年指導者養成委
- ○塩谷　猛（札幌西）　河野　通正（深川）
- 富田　恭（函館東）　小熊　米雄（札幌西）
- 谷　森之助（函館）　市来　伸（室蘭東）
- 勝木　郁郎（札幌）　荒木　昭（岩見沢）

地区インターアクト委
- ○市来　伸（室蘭東）　荒木　昭（岩見沢）
- 田中　政士（札幌幌南）　前　精一（岩見沢）
- 岡本　皓（滝川）　高林　保（深川）
- 四倉　太郎（函館）

地区ローターアクト委
- ○河野　通正（深川）　荒木　昭（岩見沢）
- 豊福　稔（札幌西）　神田　弘（函館東）
- 竹山　涼一（札幌南）　石井碌八朗（札幌西）

地区国際青少年交換委
- ○太田　秀夫（小樽南）　長谷井真信（札幌西）
- 郷　富士男（江別）　池内　正（札幌南）
- 山田　功（岩見沢）　水田　条（室蘭）
- 伊藤　博（深川）　青木　高志（小樽南）

地区世界社会奉仕委
- ○河郁文一郎（札幌西）　森岡　勝（函館東）
- 関　雅一（深川）　野口誠一郎（小樽）
- 白田　公男（岩見沢）

地区拡大委
- ○秋山康之進（札幌）　安岡　正（深川）
- 鈴木　重男（栗沢）　森松　定男（札幌南）
- 安田　琢寿（余市）　山崎　満（千歳）
- 伊達　康夫（伊達）　川守田完三（函館）

地区世界親睦活動委
- ○海老沢義道（札幌西）　石井碌八朗（札幌西）
- 多田　久志（札幌南）　浅野　勝三（岩見沢）
- 松原東一郎（栗山）

北海道ロータリー奨学会地区委
- ○滝本　庄蔵（札幌西）　塩谷　猛（札幌西）
- 棚元　民夫（小樽）　柿本　恒一（岩見沢）
- 鷲尾　英一（函館）　武蔵　清一（岩見沢）

ロータリー米山記念奨学会地区連絡委
- ○滝本　庄蔵（札幌西）　森松　定男（札幌南）
- 小熊　米雄（札幌西）

地区運営委員会

地区ガバナー指名委
- ○塩谷　猛（札幌西）
- 秋山康之進（札幌西）
- 河野　通正（深川）
- 富田　恭（函館東）
- 今井　寛（小樽）

地区資金委
- ○荒木　昭（岩見沢）
- 小野寺　彰（札幌西）
- 青木　栄吉（札幌南）

地区広報委
- ○上関　敏夫（札幌）
- 山本　達雄（札幌）
- 長谷井真信（札幌西）
- 中村　慎吾（岩見沢）

意義ある業績賞地区審査委
- ○塩谷　猛（札幌西）
- 河野　通正（深川）
- 富田　恭（函館東）

地区優秀奉仕活動賞審査委
- ○塩谷　猛（札幌西）
- 河野　通正（深川）
- 富田　恭（函館東）

ロータリーの友委員会地区委
- 委員　小熊　米雄（札幌西）
- 顧問　塩谷　猛（札幌西）

地区リポート委
- 小熊　米雄（札幌西）
- 森岡　勝（函館東）
- 前川　英雄（岩見沢）
- 富山　惟夫（留萌）
- 深宮　正吉（札幌手稲）

立法案地区検討委
- ○塩谷　猛（札幌西）
- 森松　定男（札幌南）
- 小熊　米雄（札幌西）

地区大会委
- 委員長　浅野　勝三（岩見沢）
- 副委員長　福岡　永泰（岩見沢）
- 　岩田　政勝（江別）
- 　小山　利雄（栗沢）
- 　村上　太作（栗山）
- 幹事　荒木　昭（岩見沢）
- 副幹事　今井　功（岩見沢）
- 　前　精一（岩見沢）
- 会計　立川　一雄（岩見沢）
- 監査　杉中　信夫（江別）
- 　吉田　栄（栗山）

1974〜75年度 "Renew"
「ロータリーの精神を振るい起こせ」

RI会長 ウイリアム・R・ロビンズ　ガバナー 森 松 定 男

略　　歴　株式会社北洋相互銀行取締役副社長
ロータリー歴　昭31年札幌南RC入会
昭37年札幌南RC会長
昭47年第3分区代理
米山功労者、
ポール・ハリス・フェロー
生年月日　明42.7.2（小樽市）
（平6.11.8逝去 86歳）

運営方針　各クラブの自主性を尊重します。アイデアを出して行動して下さい。
重点施策　ロータリーを楽しみ
ロータリーに親しみ
ロータリーを知り
ロータリーをひろめ
ロータリーを行動に移して地域社会への寄与に努めよう!!

日本選出RI理事（1974〜76）　原田　秀雄（大阪北RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	16,087	1,276	52	小平ロータリークラブ
会員数	761,074	67,961	3,013	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第66回）	モントリオール（カナダケベック州）	6月8日〜12日	ウイリアム・R・ロビンズ	10,015	
地区大会	苫小牧市民会館	10月5日 6日	ジョージ・P・サースフィールド	1,951	苫小牧
地区大会	大会テーマ：簡素の中に、ロータリーをエンジョイする大会 特別講演：「森林こそ人類生存の基盤である」　東京大学名誉教授　高橋　延清				
地区協議会	小樽市民会館	6月28日	G：森松　定男 GN：青木　一雄	440	小樽

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	杉本　敞一	4月20日	赤平市	赤平	200名
第2分区	山田　功	3月23日	江別市	江別	112名
第3分区	岡部　卓司	2月23日	札幌市	札幌	233名
第4分区	平野　了	4月27日	蘭越町	蘭越	88名
第5分区	武岡　春雄	10月27日	様似町	様似	181名
第6分区	川村　義隆	2月16日	虻田町	洞爺湖	134名
第7分区	鷲尾　英一	4月19日	函館市	亀田	288名

※ロビンズRI会長来日　8月19日　仙台市に於て歓迎会が開催される。当地区から5名参加。

ロータリー創立70周年記念日を迎えて

この２月23日は、1905年ポールP.ハリスがシカゴにロータリークラブをはじめてから満70年にあたります。私達はこの記念すべき日を慶ぶとともにロータリーをもう一度考えて見ましょう。省みてロータリーの綱領にしたがってどれだけ実を挙げることが出来たか、言行には四つのテストに照らして行ったか、ロータリーの精神をどの位振るい起こすことができたかであります。

これはロータリーがどの位、自分に楽しくなったか、親しめるか、知ったか、ひろめたか、そして行動に移したかであります。(中略)

この機会にロータリーを行動することと同時に会員個人個人の立場を含めて広報にも努めて頂きたい。それにはロータリーを知ることが必要であると存じます。

ガバナー月信　第９号より(昭和50年２月15日)

地区年次大会を終えて

ロビンズ会長の目標に協力するということが決議されましたが、このロビンズ会長の目標は、あらゆるロータリーの活動がすべて含まれております。したがいまして、あえていろいろと活動項目をあげないで、本年の決議は、先ほどご存知の通りの決議を願った訳でございます。これから共々にロータリーの精神を振るい起こされまして、奉仕の道に進んでいきたいと思うのでございます。

全ての皆様のご健勝とご活躍を願って終わりの言葉といたします。大変ありがとうございました。

国際ロータリー第351地区年次大会記録より

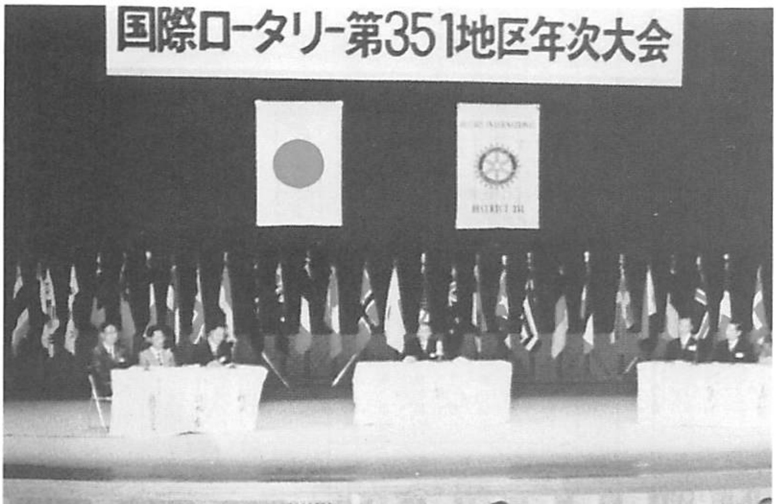
森松ガバナーが初めて出した各クラブの委員会活動に対しクラブ委員長に感謝の意を表わした。

抜群に実績を挙げられた委員長とその業績について52クラブから報告を受け、特に10クラブに対して感謝状を贈ってその成功をたたえられました。

サースフィールドRI会長代理の挨拶

森松ガバナーから記念品を受る柿本直前ガバナー

大会開会式RI会長代理挨拶ジョージP.サースフィールドRI第1副会長



大会のパネルディスカッションのスナップ

1974～1975年度国際ロータリー第351地区組織図

○印は委員長
ガバナーの必要により、この他の委員会を設けることがある。

地区ガバナー

森松定男

- 地区協議会
- 地区大会

地区連絡委員

地区連絡委員	
日本ロータリー連絡会地区委員	柿本　恒一（岩見沢）
ロータリーの友地区委員	佐佐木貴士児（札幌南）
ロータリー米山記念奨学会地区委員	滝本　庄蔵（札幌西）

地区ガバナーの分区代理

分区	分区代理
第1分区	杉本　敏一（赤　平）
第2分区	山田　　功（岩見沢）
第3分区	岡部　卓司（札　幌）
第4分区	平野　　了（岩　内）
第5分区	武岡　春雄（様　似）
第6分区	川村　義隆（洞爺湖）
第7分区	鷲尾　英一（函　館）

地区役員

役職	氏名
地区幹事	藤井　司郎（札幌南）
地区副幹事	杉山　允保（札幌南）
地区会計	坂井　貫一（札幌南）

地区諮問委員会

○柿本　恒一（岩見沢）
伊部政次郎（函　館）
真崎　健夫（札　幌）
坂牛直太郎（小　樽）
滝本　庄蔵（札幌西）
寿原　九郎（小　樽）
小畑　信愛（函　館）
秋山康之進（札　幌）
河野　通正（深　川）
富田　　恭（函館東）
塩谷　　猛（札幌西）
青木　一雄（小　樽）

地区ガバナー指名委員会

○柿本　恒一（岩見沢）
塩谷　　猛（札幌西）
富田　　恭（函館東）
大野　和男（札　幌）
仁平　　実（札幌南）

地区資金委員会

○青木　栄吉（札幌南）
金栄　善彦（小　樽）
荒木　　昭（岩見沢）

奉仕活動関係地区諸委員会

拡大委員会	広報委員会	インターアクト委員会	ローターアクト委員会	青少年奉仕委員会	北海道ロータリー奨学会委員会	ロータリー財団並びにロータリー米山記念奨学会委員会	国際青少年交換委員会	世界社会奉仕委員会	研究グループ交換委員会（1972～1975）
○秋山康之進（札幌）	○山田　稔（札幌南）	○田中政士（札幌幌南）	○石井龍八朗（札幌西）	○山田　基（札幌南）	○滝本庄蔵（札幌西）	○塩谷　猛（札幌西）	○太田秀夫（小樽南）	○河邨文一郎（札幌西）	○今井　功（岩見沢）
杉本敏一（赤　平）	長谷井真佃（札幌西）	平林長雄（室蘭東）	荒木　昭（岩見沢）	阿部清晴（留　萌）	柿本恒一（岩見沢）	小笠原治郎（栗山）	遠藤広雄（室蘭東）	藤田芳英（札幌東）	海老沢義道（札幌西）
山田　功（岩見沢）	井後　武（札　幌）	前川英雄（岩見沢）	石川健治（留　萌）	海老沢義道（札幌西）	森松定男（札幌南）	大脇健介（函館東）	石垣博美（札幌西）	水田　黍（室　蘭）	岩田雅明（江　別）
岡部卓司（札　幌）	上関敏夫（札　幌）	曽我部直治（札幌東）	光銭吉郎（函館東）	光銭吉郎（函館東）	栁元民夫（小　樽）	斎藤　武（札幌西）	石塚弥一郎（函館）	村山　裕（小　樽）	金森祥一（室　蘭）
平野　了（岩　内）		外村一也（函館五稜郭）	中村　秀（室蘭北）	栁元民夫（小　樽）	武蔵清一（岩見沢）	高山坦三（札　幌）	前　精一（岩見沢）	関　雅一（深　川）	西村雅吉（函館五稜郭）
武岡春雄（様　似）		横井　久（札　幌）	高林　保（深　川）		川浦　誠（札幌南）	竹山淡一（札幌南）	永尾英士（苫小牧）		高橋長雄（札幌南）
川村義隆（洞爺湖）			山口直次（室　蘭）				対馬良行（留　萌）		
鷲尾英一（函　館）									

1975〜76年度 "To Dignify the Human Being"
「人間に威信を」

RI会長 エルネスト・インバッサイ・デ・メロ　ガバナー 青 木 一 雄

略　　歴　北海道帝国大学農学部卒業
昭８年ホクレン小樽支所長
札幌地裁小樽支部調停委員

ロータリー歴　昭９年小樽RC入会
昭26年小樽RC会長
昭40年第350地区第３分区代理

生年月日　明39.8.29（小樽市）
（昭51.6.14逝去 70歳）

運営方針　共に奉仕する私達の年度

重点施策　①クラブ拡大を進めよう
②IAC、RACの育成と発展に務めよう
③ロータリー財団への援助、米山奨学金への援助
④地区大会への参加

日本選出RI理事（1974〜76）　原田　秀雄（大阪北RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	16,520	1,333	54	小樽銭函ロータリークラブ
会員数	779,373	71,815	3,187	当別ロータリークラブ

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第67回）	ニューオーリンズ（ルイジアナ州）	６月13日〜17日	エルネスト・インバッサイ・デ・メロ	13,935	
地区大会	函館市民会館	９月20日 21日	ダンテ・P・サラガ	1,408	函館東
	大会テーマ：大会を友愛の広場に 特別講演：「映画と歩んで50年」　映画監督　五所　平之助				
地区協議会	北海道青少年会館	６月27日	森松アクティングガバナー	392	札幌幌南

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第１分区	石家久一郎	11月９日	砂川市	砂川	240名
第２分区	土谷　茂樹	３月28日	栗沢町	栗沢	150名
第３分区	蓑輪早三郎	２月22日	札幌市	札幌南	192名
第４分区	角江　哲雄	４月10日	小樽市	小樽	122名
第５分区	佐々木初之助	２月８日	三石町	三石	160名
第６分区	尾道　孝章	２月22日	室蘭市	室蘭	150名
第７分区	神田　弘	４月17日	函館市	函館	340名

※青木ガバナー6/14逝去につき、6/15〜6/30までの期間アクティングガバナーとして森松PGが就任される。

青木パストガバナーの思い出

故青木パストガバナーについての思い出を書くようにとの事ですが、何しろもう21年も前の事ですので、記憶から随分遠のいてしまいました。只、その当時私が分区代理を仰せつかって、青木ガバナーのお手伝いをしていた関係で、幾つか強い印象が残っています。青木さんは独特の太い眉毛を、そしてメガネの奥にはやさしい目をお持ちで、大変温厚な紳士であられました。明治39年8月29日、小樽市でお生まれになられ、庁立小樽中学校より北大農学部農政経済科に進まれ、ご卒業後、ホクレンに入られ、小樽支所長を歴任、定年までの長い間お勤めになられました。公職とされましては、札幌地方裁判所借地借家調停委員、小樽公平委員、小樽商工信用組合監事等をされました。小樽ロータリークラブは昭和8年12月12日に創立されましたが、間もない昭和9年7月17日、29歳の若さでご入会されまして、戦時中の火曜クラブにも属され、戦後復帰後の昭和26年7月より会長にご就任、数々の奉仕活動に御尽力、昭和40年7月より当時の第3分区代理となられました。其の時私はクラブ幹事でありました。分区内のクラブはまだ小樽、小樽南、余市、岩内、倶知安の5クラブで、小樽クラブを除いて誕生して間もないクラブばかりでした。従ってロータリーの事については全く未熟でしたので、小樽クラブが音頭をとって、各クラブの会長、幹事、四大奉仕委員長方に集まってもらい、青木分区代理を中心に随分勉強会を開いたものでした。昭和48年10月5、6、7日の3日間、岩見沢で年次大会があり、青木さんはガバナーノミニーに指名され、昭和49年～50年度のガバナーになられました。丁度その頃昭和47年7月、今は亡き津田会長が小樽市に第3番目のクラブをつくるべく作業にとりかかりました。翌年私が会長になり一段と作業が進み、昭和50年青木ガバナー誕生、私が分区代理となり銭函ロータリークラブの設立に漕ぎ着きました。ホストクラブには隣りの小樽南クラブに、特別代表には今は亡き同クラブの太田秀夫先生になって頂き、同年9月18日、銭函の札幌シーサイドホテルで湊新会長を選出して仮クラブ創立総会を開くことが出来ました。その時のチャーターメンバーは25名でした。同年9月20日、21日の2日間、第351地区の年次大会が青木ガバナー主催のもと、函館市民会館で行われました。小樽クラブから今井地区幹事、井上副幹事、金榮地区資金委員長、棚元地区会計とベテラン会員がガバナーをバックアップし成功裡に無事終了しました。当時の当クラブ会長は皆川武夫先生でした。青木ガバナーの時の分区内クラブは昭和37年に岩内、43年に蘭越、そして銭函仮クラブと7クラブに増えていました。当時のRI会長はエルネスト・インバッサイ・デ・メロ氏（ブラジル）でターゲットは「人間に威信を」であり、ガバナーも此れを強調されておられ、昭和51年2月のRI創立71年記念夜間例会の際に記念講演をされた時もそれがテーマでありました。同年4月11日に第4分区ICGFを小樽市民会館でガバナーと分区代理の私とが主催で開催しましたが、それが青木さんとの今生のお別れになるとは夢にも思いませんでした。その僅か2カ月後の6月14日、ご自宅の出火で急性心不全のためお亡くなり

になられました。享年71歳、最後までロータリーを愛し続けてこられた方でした。これからもまだまだ後輩にご指導を頂きたかったと誠に残念でなりませんでした。ロータリークラブで長くお付き合いを頂き、そして分区代理としてガバナーのお手伝いをさせて頂いた当時を懐かしく思い出し、改めてご冥福をお祈りいたします。

小樽ロータリークラブ
角江　哲雄

地区大会で挨拶する青木ガバナー

函館市民会館における地区大会

地区大会の一コマ

記者会見風景

1975～1976年度国際ロータリー第351地区組織図

○印　委員長

ガバナー
青木　一雄（小　樽）

地区諮問委員会
○森松　定男（札幌南）
パストガバナー全員
大野　和男（札幌、ガバナーノミニー）

ガバナー指名委員会
○森松　定男（札幌南）　柿本　恒一（岩見沢）
塩谷　　猛（札幌西）　富田　　恭（函館東）
河野　通正（深　川）

地区幹事
今井　　寛（小　樽）

地区副幹事
井上　　清（小　樽）

地区会計
棚元　民夫（小　樽）

地区資金委員会
○金栄　善彦（小　樽）　青木　栄吉（札幌南）
未　　　定（札　幌）

分区代理
第１分区：石家久一郎（砂　川）
第２分区：土谷　茂樹（江　別）
第３分区：簑輪早三郎（札幌手稲）
第４分区：角江　哲雄（小　樽）
第５分区：佐々木初之助（三　石）
第６分区：尾道　孝章（室　蘭）
第７分区：神田　　弘（函館東）

地区拡大委員会
○秋山康之進（札　幌）　分区代理全員

広報委員会
○長谷井真信（札幌西）　上関　敏夫（札　幌）
川村　秀夫（札　幌）　小林　幸雄（札幌南）
木村　盛久（函館東）

インターアクト委員会
○柿本　恒一（岩見沢）　田中　政士（札幌幌南）
宮越　栄光（札　幌）　吉井　　昭（札幌東）
市村　　稔（函館五稜郭）　富本　恭光（室蘭東）

ローターアクト委員会
○岡本　理一（札幌幌南）　石井禧八郎（札幌西）
谷　森之助（函　館）　中田　　仁（室　蘭）
三嶋　茂雄（岩見沢）　関　　雅一（深　川）
福田　信也（留　萌）　日下　哲夫（伊　達）

青少年奉仕委員会
○山田　　基（札幌南）　畑　　竜英（小樽南）
山田　　功（岩見沢）　宇田川精一（室蘭北）
石尾　広道（函館五稜郭）

北海道ロータリー奨学会並びに米山記念奨学会委員会
○滝本　庄蔵（札幌西）　森松　定男（札幌南）
棚元　民夫（小　樽）　本間　哲衛（岩　内）
西池　由夫（妹背牛）

ロータリー財団委員会
○真崎　健夫（札　幌）　鈴木　重吉（札　幌）
村山　　裕（小　樽）　朝倉　治郎（苫小牧）
富山　惟夫（留　萌）

国際青少年交換委員会
○太田　秀夫（小樽南）　石垣　博美（札幌西）
野原　俊司（札幌南）　石塚弥一郎（函　館）
前　　精一（岩見沢）　永尾　英士（苫小牧）
対馬　良行（留　萌）　鈴木　　栄（室　蘭）

世界社会奉仕委員会
○河郁文一郎（札幌西）　海老沢義道（札幌西）
藤田　芳英（札幌東）　遠藤　広雄（室蘭東）
山下　　博（札幌西）　武藤　竜吉（札幌北）
三箇　一郎（小　樽）

研究グループ交換委員会
○福山　達彦（札幌東）　杉江雄太郎（小　樽）
中野　重雄（芦　別）

年次大会役員(9/20～9/21 函館市)

大会委員長	神田　　弘（函館東）
大会幹事	森岡　　勝（〃）
大会ＳＡＡ	大鎌　政雄（〃）
大会会計	松岡　和人（〃）
大会出席推進委員長	森松　定男（札幌南）
プログラム委員長	森松　定男（〃）
資格審査委員長	塩谷　　猛（札幌西）
決議委員長	柿本　恒一（岩見沢）
選挙管理委員長	河野　通正（深　川）
登録委員長	嶋田　　敬（函館東）

1976～77年度 "Service" I Believe in Rotary
「〝奉仕〞ロータリーを私は信奉する」

RI会長 ローバート・A・マンチェスター2世　ガバナー 大 野 和 男

略　　歴　昭７年東京大学工学部建築学科卒業
　　　　　昭24年北海道大学教授
　　　　　昭28年工学博士
　　　　　昭48年財団法人北海道建築指導センター理事長
ロータリー歴　昭36年札幌RC入会
　　　　　　　昭40年札幌RC幹事
　　　　　　　昭48年札幌RC会長
　　　　　　　ポール・ハリス・準フェロー
生年月日　明42.6.13（新潟県）
　　　　　（昭58.6.2逝去 74歳）

運営方針　「ロータリーを信愛しよう」未来の芽を育てよう〝新ローターアクトクラブの誕生〞を切望する
重点施策　①787、789、791地区とのマッチドクラブについて取組みたい。青少年奉仕活動の奮起を願う。
②新入会員へのコミュニケーションを充実させる。
③地区大会は東北３地区北海道２地区の連合大会が札幌開催なので沢山の参加が望ましい。
④国際性を重んじて翻訳センターに代るものの設置を願う。
⑤GSE.西ドイツとの交換を願う。

日本選出RI理事（1976～78）　竹田　恒徳（東京北RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
ク ラ ブ 数	16,917	1,373	55	札幌西北ロータリークラブ
会　員　数	796,806	74,403	3,258	

会　合	場　　所	開 催 日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国 際 大 会（第68回）	サンフランシスコ（カリフォルニア州）	６月５日～９日	ロバート・A・マンチェスターII	14,168	
地 区 大 会	５地区連合大会 真駒内アイスアリーナ	10月２日 ３日	ロバート・A・マンチェスターII	4,677	札幌
	大会テーマ：友愛の輪を拡げよう 特別講演：「ロータリーの職業奉仕と日本人」　第358地区パストガバナー　鈴木　達雄				
地区協議会	江別市民会館	６月26日	G ：大野　和男 GN：伊藤　義郎	460	江別

分　　区	フォーラムリーダー	開催月日	開 催 地	ホストクラブ	登録者数
第１分区	増谷　襄二	11月14日	妹背牛町	妹背牛	209名
第２分区	本田　正之	11月21日	美唄市	美　唄	129名
第３分区	実藤　　保	３月20日	札幌市	札幌東	220名
第４分区	梶　　菊夫	３月27日	小樽市	小樽南	148名
第５分区	落合　敏博	10月24日	静内町	静　内	153名
第６分区	宮武　清一	３月６日	登別市	登　別	
第７分区	駒井　幸一	２月27日	函館市	函館北	334名

※ロバート・A・マンチェスター２世RI会長ご夫妻出席のもと５地区連合年次大会が札幌真駒内アイスアリーナに於いて開催される。

ロータリーをこよなく愛した大野和男先生

先生が、晩年最も心を注がれたのはロータリーであった、と私は思って居ります。

札幌ロータリークラブの会員でありました先生は、杉野目北大総長が昭和40年に同クラブ会長の折、幹事をお務めになり、昭和48年には会長にご就任になり、更に昭和51年に至って、国際ロータリー第351地区（現在第251地区ー北海道西半分ー）のガバナーに選出され、驚嘆すべきエネルギーを燃焼されて、次々と新しい構想を打ち出し、当時の地区内55クラブは、大野ガバナーに追いついて行くのがやっとで、悲鳴をあげるクラブ、更には怨嗟の声をもらす腑甲斐無いクラブも出てくる始末でありました。

大野ガバナーご活躍のクライマックスは、真駒内のアイスアリーナに4,700名のロータリアンを集めて主催された、東北・北海道5地区連合年次大会の盛況ぶりでありました。この大会は、日本では過去最大のものであり、同年度の世界最大の地区大会であり、今後これだけの大規模な大会の開催は当分不可能であろうと云われております。

私はこの時地区幹事をしていて、大野ガバナーのご苦心を痛い程認識しておりますが、現国際ロータリー理事・ガバナー同期の菅野多利雄先生が、別に詳述されるでありましょうから、省略致します。

昭和56年7月に、長年懸案であった、第251地区ロータリー文庫が発足しましたが、先生が自ら委員長をお引き受けになり、北海道建築指導センター図書室の一部をこれに当てられ、同センター職員の協力体制を敷いて頂かなければ、同文庫の実現は全く不可能でありました。

先生は、亡くなられる直前まで、センターの職員が全員退室した後も、お独りで、こつこつと資料の分類、整理をされ、時に、ものに憑かれたように熱中されていた、と葬儀後、村木正男総務部長からきかされ、天に向かって慟哭したい思いでありました。

先生は、「ロータリー文庫資料目録」を、昭和58年6月19日に開催される地区協議会に間に合わせるよう、作成を急がれていましたが、その原稿が、センター理事長の机上に、先生が急逝される数日前に置かれたまゝになっておりました。突然のご逝去でロータリー側も呆然として、しばらくは先生亡き後の方針が樹たない状態でありましたが、4カ月を経て同年10月、ようやく「資料目録」を印刷することが出来て、地区内全クラブと、関係先にもれなく配布し、先生のご遺志をお伝えしました。

先生は、ロータリーについて、おやりになりたいことが沢山ありました。今でも“あゝあの時のお話は、こういうことをおやりになりたいということであったのか”と気のつくことがあります。

私共ロータリー文庫の委員3名は、委員長である先生と、お亡くなりになる間近かまでお打合せを続けてきましたが、最後に酒を酌み交わしたのは、前年（昭和57年）7月27日、センチュリーロイヤルホテル19階北の路でのことでした。暑い盛りでしたので、先生ご持参の“幻の酒ー越の寒梅ー”を氷で冷やして飲んだところ、どうも評判程の味でない、先生たまりかねて、女中を呼んで燗をさせて飲

んだところ、飛び上がらんばかりのうまさ、ついつい盃を重ねて、ロータリー談議も尽きることなく、最後には先生十八番の“中島飛行機”の思い出話まで出て、長い夏の夜が更けていったことを、懐かしく、そして悲しく思い出されます。

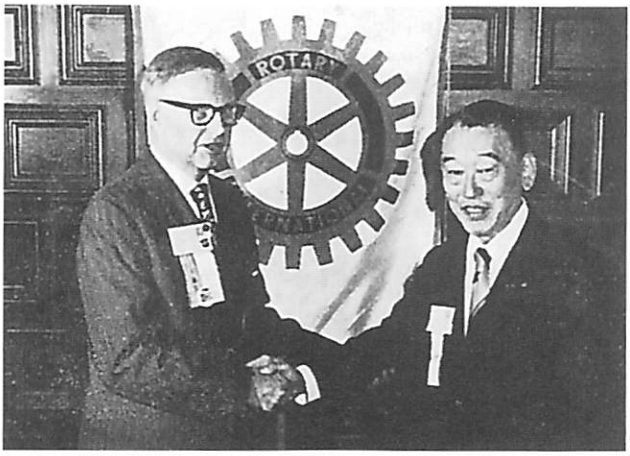
やはり、先生は、ロータリーをこよなく愛していたのだ、と私は思って居ります。

「大野和男先生追悼集」

(昭和59年5月31日発行)

札幌ロータリークラブ

西條　正博



ロバート・A・マンチェスター2世RI会長と握手する大野ガバナー

地区大会の一コマ

12月6日、サントス夫妻を招き、塩谷PG、森松PGと共に夕食会を開いて歓迎いたしました。

西尾、サントス、タンブンチン、岡崎、大野ガバナーと共に

1976～1977年度国際ロータリー第351地区組織図

◎ 委員長

地区ガバナー
大野和男

分区代理

第1	増谷襄二（妹背牛）
第2	本田正之（栗沢）
第3	実藤保（札幌北）
第4	梶菊夫（倶知安）
第5	落合敏博（静内）
第6	宮武清一（登別）
第7	駒井幸一（函館北）

ガバナー指名委員会

◎森松定男（札幌南）
富田恭（函館東）
塩谷猛（札幌西）
柿本恒一（岩見沢）
河野通正（深川）

地区協議会

5地区連合年次大会

地区連絡委員

ロータリーの友地区委員	半沢道郎（札幌）
米山奨学会地区委員	滝本庄蔵（札幌西）

地区幹事・会計

幹事	西條正博（札幌）
副幹事	今井寛（小樽）
会計	越山司（札幌）
資金委員会	◎小野宗一（札幌） 金栄善彦（小樽）

地区諮問委員会

委員会	委員
クラブ奉仕	◎新保幸太郎（札幌西） 永池暁三（栗山） 前田治（札幌北） 川田稔（小樽） 鷲尾英一（函館）
社会奉仕	◎富田恭（函館東） 岡部卓司（札幌） 遠藤秀雄（登別） 三浦祐晶（札幌北） 佐藤玄一（苫小牧） 中野重雄（芦別）
職業奉仕	◎坂牛直太郎（小樽） 対馬良行（留萌） 青木栄吉（札幌南） 池田雄治（小樽） 平野了（岩内） 森岡勝（函館東） 森鼻武芳（札幌）
青少年奉仕	◎河野通正（深川） 山田基（札幌南） 中野茂行（函館東） 原崎博（札幌幌南）
国際奉仕	◎寿原九郎（小樽） 丹羽貴知蔵（札幌） 伊藤森右衛門（小樽） 西村雅吉（函館五稜郭） 太秦康光（札幌）
広報	◎真崎健夫（札幌） 長谷井真信（札幌西） 上関敏夫（札幌） 秋山擴（〃） 樋本正夫（〃）
北海道奨学会 米山記念奨学会	滝本庄蔵（札幌西） 森松定男（札幌南） 棚元民夫（小樽） 伊藤太郎（札幌） 久保茂雄（滝川）
ロータリー財団	◎秋山康之進（札幌） 坂本彦一（〃） 足立伊佐武（札幌北） 小川玄一（〃） 御坊田善雄（江別） 西村昭（恵庭）
拡大	◎森松定男（札幌南） 分区代理全員（7名）

委員会	委員
ローターアクト	◎塩谷猛（札幌西） 岡本理一（札幌幌南） 大金武夫（札幌西） 能登幸恵（函館） 垣内勝（深川） 田所良穂（室蘭） 山田功（岩見沢） 富山惟夫（留萌） 安井淳（伊達）
インターアクト	◎柿本恒一（岩見沢） 田中政上（札幌幌南） 岩崎鉄男（札幌東） 横井久（札幌） 川角晃（室蘭東） 池見厚一（函館） 根田満（岩見沢）

委員会	委員
国際大会参加促進	◎佐藤貞（札幌） 林英夫（札幌南） 道井孝太郎（札幌東） 富田実（札幌幌南）
世界社会奉仕	◎仁平実（札幌南） 吉川幸道（札幌真駒内） 西尾長光（札幌南） 杉江雄太郎（小樽） 斎藤元護（札幌南） 斎藤利信（札幌手稲）
青少年交換	◎太田秀夫（小樽南） ○石垣博美（札幌西） 石家久一郎（砂川） 土谷茂樹（江別） 池内正（札幌南） 角江哲雄（小樽） 永尾英上（苫小牧） 鈴木栄（室蘭） 石塚弥一郎（函館）

委員会	委員
教育補助金	◎鈴木重吉（札幌） 石垣博美（札幌西） 久郷昌夫（札幌）
学友	◎斎藤武（札幌西） 金岡祐一（札幌北）
研究グループ交換	◎井手貴夫（札幌） 芳賀孝郎（札幌西） 福山達彦（札幌東）

1977～78年度 "Serve to Unite Mankind"
「全人類を結びつけるために奉仕せよ」

RI会長 W.ジャックデービス　ガバナー 伊藤義郎

略　　歴　昭25年早稲田大学政経学部卒業
㈱伊藤組、伊藤組土建㈱、
その他関係会社社長
日本国際連合協会北海道支部長
北海道経済連合会常任理事

ロータリー歴　昭32年札幌RC入会
昭43年札幌RC会長

生年月日　大15.12.14（札幌市）

運営方針　一ロータリアンとして、又一クラブとして原点に返って毎日を努めよう

重点施策　①ロータリーの知識を確実にする
②クラブ活動計画の基礎を固める
③クラブの上手な運営の仕方を勉強する
④クラブ会員のクラブ活動について話し合う、勉強する

日本選出RI理事（1976～78）　竹田　恒徳（東京北RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	17,364	1,412	55	
会員数	813,764	77,043	3,298	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第69回）	東京（日本）	5月14日～18日	W. ジャック　デービス	39,834	
地区大会	小樽市民会館	10月1日 2日	G・ロバート・アリソン	1,294	小樽南
	大会テーマ：楽しくよい憶い出となる集い！ 特別講演：「政局展望」　政治評論家　細川　隆元				
地区協議会	パークホテル	6月3日	G：伊藤　義郎 GN：富田　嘉市	611	札幌南

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	武内　敏彦	4月8日	滝川市	滝川	270名
第2分区	後藤　三雄	3月19日	岩見沢市	岩見沢	177名
第3分区	窪田　清蔵	2月15日	札幌市	札幌真駒内	230名
第4分区	青木　高志	4月15日	余市町	余市	132名
第5分区	佐藤　玄一	2月18日	苫小牧市	苫小牧	218名
第6分区	国本　鎮雄	3月11日	室蘭市	室蘭東	188名
第7分区	泰　良平	11月23日	森町	森	300名

※地区の呼称変更（7回目）　351地区→251地区へ

私とロータリー、そうしてガバナーの思い出

(1)ロータリーに入会

私は昭和32年（1957年）7月3日に札幌ロータリークラブに入会しました。私の30歳の時であり、亡き父がシニア・アクチブ会員でありました。此の私の入会年が札幌クラブの25周年であり、父はチャーターメンバーでもありましたが、1962年亡くなりました。

(2)札幌クラブの会長になる

1968～1969年に私は札幌ロータリークラブの第39代会長をつとめました。思えば此の年は、北海道100年の輝かしい年であり、東ヶ崎潔さんが日本人初の国際ロータリーの会長になられた年でもあり、地区ガバナーは札幌クラブの島本融さんでした。

私の札幌ロータリークラブ会長としての思い出の中に、1969年3月RI会長東ヶ崎ご夫妻を迎えて、市内5クラブから470名の出席をえて合同歓迎例会を、又、同年6月RI事務総長ジョージ・ミーンズ氏ご夫妻の歓迎市内5クラブ合同例会を430名の出席で開き、共に札幌クラブがホストとして私は会長として忘れ得ぬ思い出です。ジョージ・ミーンズ氏は1949年札幌ロータリークラブが、戦後日本ロータリー再建第7番目のクラブとして創立総会にはるばる出席されましたが、其の時私の父が会長であり、その20年後に再度札幌クラブを訪問された時に、今度は私が会長であったと言う想い出の深い出来事もありました。

(3)ガバナーノミニーとして

私は1975年9月の函館での地区大会で1977～78年度のガバナーノミニーとして指名されました。その翌年の1976年10月に、北海道2地区と東北3地区の合同年次大会が札幌クラブのホストで開かれ、真駒内アイスアリーナに4600人の会員と家族の参加でした。私は大会接待委員長としてマンチェスターRI会長代理ご夫妻、竹田RI理事ご夫妻、松平RI理事ノミニーご夫妻などを家内と共にご接待したのも遠い昔の様に思い出されます。

1977年5月にはボカラトンの国際協議会に出席、続いて6月にサンフランシスコの世界大会でガバナーに選出され、又引続き同地で規定審議会に地区代表として出席した思い出があります。

同年6月26日に江別で地区協議会があり、いよいよガバナーとしての心構えになったものでした。

(4)ガバナーとして

1977年7月1日、これまでの351地区が251地区と変わり、私は故大野和夫ガバナーのあとをついでガバナーとなりました。

ロータリーは他にない立派な国際的組織であり、規則や細則、事務処理手続も細かに出来ていますだけに形式的になり過ぎますが、世界の各クラブを奉仕のプログラムに取り組ませたり、国際協議会や地区協議会による教育も他に例のないものと、知る程にロータリーの存在に感心しました。

そうしてロータリーのプログラムや財団のあり方などガバナーになって改めて感激もしました。しかし私は、ロータリーの奉仕と同格に、楽しいロータリーであってよいとの考えを皆さんに話した事も思い出すのであります。

ガバナー就任1カ月後に洞爺の有珠山の噴火があり、義援金やら洞爺湖クラブの例会を

２カ月休会にしたり大変でした。

10月には、小樽南クラブのホストで地区大会が小樽市民会館で開かれ、RI会長代理としてロバート・アリソンご夫妻をお迎えしました。

翌1978年５月には、16年ぶりに２回目の東京の世界大会がありました。私の地区大会のRI会長代理であられたアリソンさんが東京大会委員長で、再会の感激を味わいました。

いよいよガバナーの終わりも近い６月に地区協議会を札幌南クラブのホストでパークホテルで開催されました。そうして７月１日に、富田嘉市ガバナーにバトンタッチをする事が出来ました。

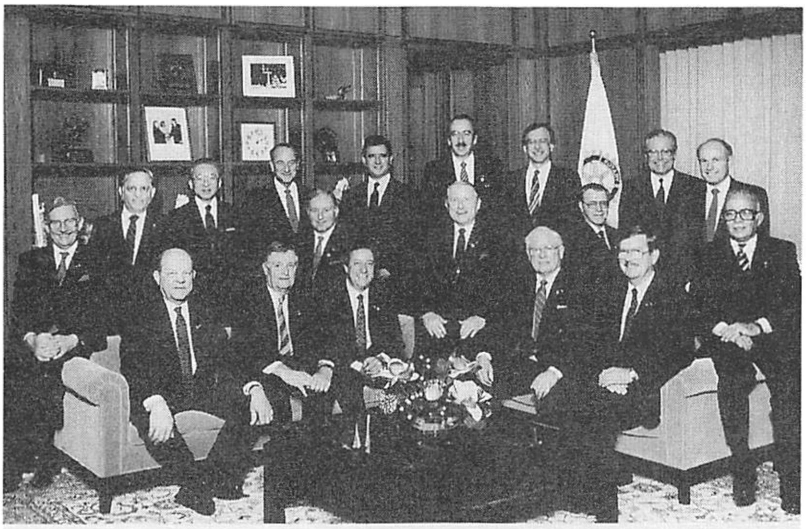
私は決して良きロータリアンとは思っていませんが、先輩や良き同僚に助けられてガバナーをつとめる事が出来ました。内外の多くの友人を持てたのもロータリーのおかげであり、ロータリーのプログラムを実施したり、青少年交換の学生や奨学生・米山の学生などを見ますとロータリアンである事に感謝と喜びを今も感ずるのであります。（1996年７月記）

パストガバナー（1977～1978）

元RI理事（1986～1988）

元RI財団管理委員（1989～1992）

伊藤　義郎



The Board of Directors of Rotary International 1987-88

1987-88年度　RI理事メンバーと

1977～1978年度国際ロータリー第251地区組織図

◎委員長
○副委員長
※チーフ・アドバイザー

地区ガバナー　伊藤義郎

地区協議会

地区大会

分区代理

- 第1　武内　敏彦（滝川）
- 第2　後藤　三雄（美唄）
- 第3　深田　清蔵（札幌幌南）
- 第4　青木　高志（小樽南）
- 第5　佐藤　玄一（苫小牧）
- 第6　国本　鎮雄（室蘭東）
- 第7　桑　良平（函館）

地区諮問委員会

- ◎秋山康之進（札幌）
- 伊部政次郎（函館）
- 真崎　健夫（札幌）
- 坂牛直太郎（小樽）
- 滝本　庄蔵（札幌西）
- 寿原　九郎（小樽）
- 河野　通正（深川）
- 高田　恭（函館東）
- 塩谷　猛（札幌西）
- 森松　定男（札幌南）
- 大野　和男（札幌）
- 富田　嘉市（室蘭）

地区ガバナー指名委員会

- ◎大野　和男（札幌）
- 河野　通正（深川）
- 高田　恭（函館東）
- 塩谷　猛（札幌西）
- 森松　定男（札幌南）

地区資金委員会

- ◎横山　秀男（札幌）
- 国田嘉一郎（室蘭）
- 越山　司（札幌）

地区幹事・会計

- 幹事　山本　正夫（札幌）
- 副幹事　西条　正博（札幌）
- 会計　林　暁（札幌）

在日ロータリー財団推進諮問委員会

委員
森松　定男（札幌南）

ロータリー文庫委員会

委員
秋山康之進（札幌）

米山記念奨学会理事会

理事
滝本　庄蔵（札幌西）

ロータリーの友委員会

地区委員
半沢　道郎（札幌）

地区委員会Aグループ

アドバイザー
- ※秋山康之進（札幌）
- 真崎　健夫（札幌）
- 滝本　庄蔵（札幌西）
- 寿原　九郎（小樽）
- 大野　和男（札幌）
- 富田　嘉市（室蘭）

拡大

- ◎大野和男（札幌）
- 増谷賢二（妹背牛）
- 本田正之（栗沢）
- 実藤保（札幌北）
- 梶菊夫（倶知安）
- 落合敏博（静内）
- 宮武清一（登別）
- 駒井幸一（函館北）

広報

- ◎勝木郁郎（札幌）
- ○大田黒正雄（札幌）
- 秋山拡（札幌）
- 桶本正夫（札幌）
- 福山達彦（札幌東）
- 徳丸義明（札幌南）

世界親睦活動

- ◎三浦祐晶（札幌北）
- ○長谷井真信（札幌西）
- 安岡正（深川）
- 鈴木重吉（札幌）
- 多田久志（札幌南）

世界社会奉仕

- ◎仁平実（札幌南）
- ○斉藤利信（札幌手稲）
- 藤田芳英（札幌東）
- 西尾長光（札幌南）
- 斉藤元護（札幌南）

国際青少年交換

- ◎高橋長雄（札幌南）
- ○和田寿郎（札幌西）
- 木村文教（札幌東）
- 野沢悌三（札幌東）
- 中田靖泰（札幌幌南）
- 鷹木光雄（札幌幌南）
- 池内正（札幌南）
- 伊藤千秋（札幌西）

米山記念奨学会北海道ロータリー奨学会

- ◎伊藤太郎（札幌）
- 久郷昌夫（札幌）
- 久保茂雄（滝川）

国際大会（東京）参加推進

- ◎今井春雄（札幌）
- ○林英夫（札幌南）
- 各分区代理
- 根岸（敏雄（札幌）
- 藤林幸広（札幌西北）

地区委員会Bグループ

アドバイザー
- ※森松　定男（札幌南）
- 伊部政次郎（函館）
- 坂牛直太郎（小樽）
- 河野　通正（深川）
- 高田　恭（函館東）
- 塩谷　猛（札幌西）

青少年奉仕

- ◎関口久作（札幌真駒内）
- ○橋本俊彦（札幌）
- 木保昭二（室蘭）
- 富樫英治（札幌南）
- 本行孝司（札幌西）

インター・アクト

- ◎田中政士（札幌幌南）
- ○田中公（札幌東）
- 村上岩夫（函館）
- 根田潤（岩見沢）
- 国本時夫（室蘭東）
- 清水武（札幌）

ローター・アクト

- ◎大金武夫（札幌西）
- ○西沢良知（赤平）
- 能登幸忠（函館）
- 山田功（岩見沢）
- 池田正朋（岩内）
- 田中伸幸（室蘭北）
- 原崎博（札幌幌南）

ロータリー財団推進

- ◎森松定男（札幌南）
- ○九津見保（札幌手稲）
- 中野重雄（芦別）
- 今川徳郎（江差）
- 足立伊佐武（札幌北）

ロータリー財団奨学生

- ◎金岡祐一（札幌北）
- ○斉藤武（札幌西）
- 鈴木重吉（札幌）

研究グループ交換

- ◎井手貞夫（札幌）
- 鷲山寿丸（札幌東）

1978～79年度 “Reach Out”
「手をさし伸べよう」

RI会長 クレム・レヌーフ　ガバナー 富田嘉市

略　　歴　昭17年慶応義塾大学文学部卒業
㈱室蘭魚市場取締役社長
室蘭通船㈱取締役社長
室蘭商工会議所副会頭
ロータリー歴　昭28年室蘭RC入会
昭38年室蘭RC会長
第６分区代理
生年月日　大6.7.24（室蘭市）

運営方針　手をさし伸べよう
重点施策　①職域で手をさし伸べよう
②会場で手をさし伸べよう
③街に出て手をさし伸べよう
④広く世界で手をさし伸べよう

日本選出RI理事（1978～80）　向笠　広次（大分中津RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	17,814	1,451	56	羽幌ロータリークラブ
会員数	845,092	79,762	3,378	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第70回）	ローマ（イタリア）	６月10日～13日	クレム・レヌーフ	14,429	
地区大会	室蘭	９月30日 10日１日	原田　秀雄	1,334	室蘭
	大会テーマ：手をさし伸べよう 特別講演：「日本の心」　作曲家　黛　敏郎				
地区協議会	滝川文化センター	６月24日	G：富田　嘉市 GN：太宰　六郎	490	滝川

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第１分区	小野寺利男	３月25日	芦別市	芦別	230名
第２分区	谷田　涼一	２月24日	栗山町	栗山	152名
第３分区	藤井　司郎	３月24日	恵庭市	恵庭	225名
第４分区	三溝　喜八	３月17日	岩内町	岩内	
第５分区	内藤　詩郎	２月25日	千歳市	千歳	180名
第６分区	福田　重信	２月18日	伊達市	伊達	205名
第７分区	大鎌　政雄	３月４日	函館市	函館東	361名

説得されて

1976年（昭和51年）9月14日、台風17号道南地方に接近の報あり、登別地区100ミリの雨量、河川氾濫の恐れあり36号線不通となる。この間隙をくぐって森松定男PGが来社され、開口一番、室蘭よりガバナーを選出してほしい。実はあなたに白羽の矢がたっていると。大野和男PGよりも電話。その後室蘭RCの国田会長より〝既にガバナー指名委員会であなたが指名されており、本日のクラブ理事会にても推せんを決定したので是非受諾してほしい〟。矢継ぎ早やの話なので吃驚りする。と日記に誌してある。その後、森松さんからの、返事の催促の電話、受諾を表明せぬうちに、地元日刊紙上に1978～79年度ガバナー・ノミニーに富田嘉市氏が推せんされたと顔写真が掲載される。当惑い精神状態が不安定となり、胃が痛み、仕事が手につかず、大変なことになった。誰かに助言を求めようと思ったが、これは自分自身で諾否を決めなければならない。眠れぬ床の中で結論を急いだが、名案が浮かぶわけはない。受けるか、断るか、私の心中で善玉と悪玉が激しく争っている。

室蘭クラブは地区内4番目に創られた名門クラブである。あと8年たつと50周年である。平素より未だガバナーを出していないことに肩身の狭い思いをしていた。ロータリアンの顔が二重三重に交錯して映り、みんな協力するから是非引受けてくれ、嵐の中、靴をずぶずぶにして説得に来られた森松さんが急に大きく映った。夢をみていたのだ。決断の時だ。これ以上は迷惑はかけられない。開き直る。受諾の返事をする。心身が軽くなり、重いしこりが消えた。若し、よい天気の日に森松さんが口説きに来られても、引受けなかったかもしれない。利害損得を離れた純粋な心、即ち奉仕の精神に屈伏したのである。

今や鬼籍に入られた森松さんの心を思うや切なるものがある。

―室蘭ロータリークラブ50年史より―

行動するクレム・レヌーフ会長

RI会長を迎えて東京都内の晩餐会の席上、クレム会長のスピーチは極めて印象的でした。

3H運動は大胆な計画で既に各国において開始されております。

私は各国を巡って本日マニラから、こちらに着いたのですが、風光明媚な観光地、全くの片田舎の村落、美しい田園都市や大都会等

1978.5.3.　国際協議会　於：フロリダ州ボカラトン。クレム・レヌーフRI会長と石の交換をして握手をしております。

1978.5.19.　東京国際大会のあと渡道して。
米787地区ロバートショウ夫妻とG.S.E.の相手方です。
於：札幌プリンスホテルにて大野和男、森松定男PGの顔がみえます。

1978.10.1.　RI251D、年次大会。於：室蘭文化センター。
原田秀雄氏RI会長代理（大阪北）、1965～1969ガバナーと握手をしております。

で意欲的に実行をつづけているロータリアンに逢って参りました。

もし私のRI会長としての任期が終わり、自宅の太平洋を望む書斎で妻のジューンと静かに過ぎ去りし日を回想する時、何が一番強く心に焼き付いているだろうか、それは観光地でも村落でもなく、そして大都市の景色でもなく、各地域でロータリーを真に理解し「奉仕の理想」の実現に積極的に行動をしている方々のことです。

私は西ドイツのアデナウアー首相の言葉を思い浮かべております。それは全て人類は同じ空の下で生活しているが、その位置する地平線は必ずしも同じレベルではない。各々が違っているということです。

同じ空の下の人類の地平線が同じレベルに近づくことを願うと共に、その気持ちを拡げたい。

クレム・レヌーフ会長はREACH OUT……それは実行の手であります。そして３H運動の３つのHは、HEAD、HEART、HAND、とも云われています。脳即ち知恵、心即ち相手の身になっての愛情、実行の手即ち行動する力であることを同時に教えられました。

そして会長は翌日は広島、翌々日は福岡と精力的に行動し、日本を離れて行きました。

―1979.4.15.　月信11号―

パストガバナー
富田　嘉市

1978〜1979年度国際ロータリー第251地区組織図

地区ガバナー
富田嘉市

◎ 委員長
○ 副委員長

分区代理
- 第1 小野寺利男(芦　別)
- 2 谷田　涼一(栗　山)
- 3 藤井　司郎(札幌南)
- 4 三浦　喜八(余　市)
- 5 内藤　詩郎(千　歳)
- 6 福田　重信(伊　達)
- 7 大鎌　政雄(函　館)

地区諮問委員会
- 坂牛直太郎　(小　樽)
- 滝本　庄蔵　(札幌西)
- 寿原　九郎　(小　樽)
- 秋山康之進　(札　幌)
- 河野　通正　(深　川)
- 富田　　恭　(函館東)
- 塩谷　　猛　(札幌西)
- 森松　定男　(札幌南)
- 大野　和男　(札　幌)
- 伊藤　義郎　(札　幌)
- 太宰　六郎　(函　館)

地区協議会

地区大会

地区運営委員会

地区幹事・会計
- 幹　事　青木　春雄(室　蘭)
- 副幹事　木保　昭二(室　蘭)
- 〃　寺沢　栄一(札幌南)
- 〃　稲月　吉夫(室　蘭)
- 〃　工藤　　進(室　蘭)
- 会　計　村岡　群弘(室　蘭)

ロータリー文庫委員会
委　員
- 秋山康之進(札　幌)

米山記念奨学会理事会
理　事
- 滝本　庄蔵(札幌西)

ロータリーの友委員会
地区委員
- 棟方　　忠(函　館)

地区ガバナー指名委員会
- ◎ 伊藤　義郎(札　幌)
- 河野　通正(深　川)
- 塩谷　　猛(札幌西)
- 森松　定男(札幌南)
- 大野　和男(札　幌)

地区資金委員会
- ◎ 国田嘉一郎(室　蘭)
- 横山　秀男(札　幌)
- 秦　　良平(函　館)

地区広報委員会
- ◎ 竹内　　栄(室　蘭)
- ○ 上関　敏夫(札　幌)
- 斎藤　雄一(札幌東)
- 橋本　正夫(札　幌)
- 大内格之助(札　幌)
- 村野源五郎(札幌南)

地区大会委員会
- ◎ 米光　徳蔵(室　蘭)
- ○ 田所　良穂(室　蘭)
- ○ 国本　鎮雄(室蘭東)
- ○ 中村　　秀(室蘭北)
- 幹　事　高橋　栄一(室蘭)
- 副幹事　林　成三郎(室蘭)
- 〃　関　鎌吉(室蘭)
- SAA　大橋　庄一(室蘭)
- 会　計　栗林　忠平(室蘭)
- ホストクラブ会長　林　一男(室蘭)

特別委員会

アジア大会参加推進委員会
- ◎ 大　総一郎(函　館)
- ○ 鈴木　郁郎(札　幌)
- 土井　恒隆(滝　川)
- 南　　和成(岩見沢)
- 朝倉　治郎(苫小牧)
- 笹川　武夫(小　樽)
- 斎藤　信吾(室　蘭)

クラブ奉仕委員会
- ◎ 塩谷　　猛(札幌西)
- 富田　　恭(函館東)
- 宮越　栄光(札　幌)
- 徳丸　義明(札幌南)
- 遠藤　俊雄(札幌東)

職業奉仕委員会
- ◎ 河野　通正(深　川)
- 坂牛直太郎(小　樽)
- 伊藤　義郎(札　幌)
- 川守田勇一(札幌西)
- 杉山　允保(札幌南)

社会奉仕委員会
- ◎ 大野　和男(札　幌)
- 滝本　庄蔵(札幌西)
- 秋山康之進(札　幌)
- 吉原正八郎(札幌南)
- 野沢　悌三(札幌東)

国際奉仕委員会
- ◎ 森松　定男(札幌南)
- 寿原　九郎(小　樽)
- 太宰　六郎(函　館)
- 井手　貞夫(札　幌)
- 渡辺　和美(札幌西)

地区奉仕活動委員会

拡　大
- ◎宮武　清一(登　別)
- ○佐藤　玄一(苫小牧)
- 武内　敏彦(滝　川)
- 後藤　三雄(美　唄)
- 窪田　清蔵(札幌幌南)
- 青木　高志(小樽南)
- 国本　鎮雄(室蘭東)
- 秦　　良平(函　館)

インターアクト
- ◎田中　政士(札幌幌南)
- ○田中　　公(札幌東)
- 越山　　司(札　幌)
- 遠藤　広雄(室蘭東)
- 遠藤　茂雄(岩見沢)
- 青田　秋彦(函館五稜郭)

ローターアクト
- ◎能登　幸恵(函　館)
- ○黒田　耕一(伊　達)
- 西沢　良知(赤　平)
- 本橋　昌三(深　川)
- 原崎　　博(札幌幌南)
- 大金　武夫(札幌西)
- 池田　正明(岩　内)
- 沼崎弥太郎(函館東)
- 天里　静成(室　蘭)

青少年奉仕
- ◎関口　久作(札幌真駒内)
- ○橋本　俊彦(札　幌)
- 安井　　淳(伊　達)
- 本行　孝司(札幌西)
- 高桿　英治(札幌南)

米山記念奨学会 北海道ロータリー奨学会
- ◎国本　時夫(室蘭東)
- 林　　春雄(札幌西)
- 斎藤　義寛(室蘭北)
- 宮沢　久雄(伊　達)

国際青少年交換
- ◎高橋　長雄(札幌南)
- ○伊藤　千秋(札幌西)
- 中田　靖秦(札幌幌南)
- 笠原　正秀(札幌東)
- 戸部　謙一(札幌西)
- 小泉　　冽(砂　川)
- 角江　哲雄(小　樽)

世界社会奉仕
- ◎林　　哲夫(札　幌)
- ○杉山　政実(札　幌)
- 西尾　長光(札幌南)
- 藤田　芳英(札幌東)

世界親睦活動
- ◎鈴木　　栄(室　蘭)
- ○久郷　昌夫(札　幌)
- 棚元　民夫(小　樽)
- 石塚弥一郎(函　館)
- 洪　　悦郎(札幌北)

ロータリー財団推進
- ◎吉井　政人(室蘭北)
- ○窪寺　健一(室蘭東)
- 伊達　康夫(伊　達)
- 笹川　英貞(登　別)
- 山崎　正舜(苫小牧北)

ロータリー財団奨学生
- ◎金岡　祐一(札幌北)
- ○石垣　博美(札幌西)
- 三橋　　博(札　幌)
- 光銭　吉郎(函館東)
- 山本　信爾(小　樽)

研究グループ交換
- ◎関　　清秀(札　幌)
- ○古川　幸道(札幌真駒内)
- 吉田　正夫(室　蘭)
- 元広　輝重(函　館)
- 本行　孝司(札幌西)
- 松井　修一(札幌東)

1979〜80年度 "Let Service Light the Way"
「奉仕の火で道を照らそう」

RI会長 ジェームズ・L・ボーマーJr.　ガバナー 太宰六郎

略　　歴　昭11年東北帝国大学卒業
医学博士、太宰耳鼻科医院院長
函館医師会議長
ロータリー歴　昭41年函館RC入会
昭49年函館RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日　明40.9.3（函館市）
（平5.2.16逝去 85歳）

運営方針　ロータリー創立75年を奉仕の火で道を照らそう!! 3Hプログラムの推進

重点施策　①あなたのクラブで
②あなたの職場で
③あなたの地域社会で
④世界の至るところで
｝奉仕の火で道を照らそう

日本選出RI理事（1978〜80）　向笠　広次（大分中津RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	18,827	1,496	58	白老ロータリークラブ
会員数	878,949	82,556	3,428	北広島ロータリークラブ

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第71回）	シカゴ（アメリカ）	6月1日〜5日	ジェームズ・L・ボーマーJr.	18,309	
地区大会	函館	9月29日 30日	ハーバート・G・ブラウン	1,443	函館北
	大会テーマ：奉仕の火で道を照らそう 特別講演：「80年代の思想の構造」　草柳　大蔵				
地区協議会	札幌市医師会館	6月22日	G：太宰　六郎 GN：小川　忠一	604	札幌北

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	高林　保	3月23日	深川市	深川	247名
第2分区	南　和成	4月6日	岩見沢市	岩見沢	200名
第3分区	井出　忠一	3月11日 2月22日	札幌市	札幌西	255名
第4分区	今井　寛	4月12日	小樽市	小樽	
第5分区	西川　周三	4月13日	えりも町	えりも	144名
第6分区	中村　秀	3月2日	室蘭市	室蘭北	200名
第7分区	石塚弥一郎	2月23日	函館市	函館,五稜郭	362名

※ロータリー創立75周年　※3Hプログラム（保健、飢餓追放、人間性尊重）を財団の新事業活動として採択

太宰パスト・ガバナーを偲んで

一、ロータリーに辞退なし

函館ロータリー・クラブの次期会長就任を太宰先生にお願いするため、私は会長として理事数人と先生のところに参上した。

先生は我々の要請に対し『わかりました。明日ご返事いたします』と言われ、翌日『お引受けします』とのご返事を頂いた。私はその潔い応対に感銘を受けた。

『ロータリーに辞退なし』という格言？ は誰が言いだしたのか知らないが、とかく会長をきめるときには紆余曲折がともないがちと聞いていたので、先生の率直、明快な態度に敬服したものである。

後日、先生が地区ガバナーになられ、私に分区代理になる様言われたとき、私は先生のひそみに倣って翌日承諾のご返事を申し上げた。

二、漢詩

先生が漢詩についてうちのクラブで卓話されたことがある。会員一同先生の話術と漢詩について造詣の深さに感心した。私は今でも屈原についてのくだりなど朧げながら記憶している。

今となって、なぜ我々はもっと先生に漢詩についての卓話を所望しなかったかと悔やまれる。私が漢詩についての関心――理解し充分鑑賞する境地にはとても到らないが――を持つ様になったのは、先生の卓話が契機となった。

三、明治人そして東北人

先生は明治四十年のお生まれで、出身地は宮城県白石市、山形高校と東北帝大を出られた。私の父は明治人であり、また私の弟が先生と同様の学歴で山形大学に奉職していたので、明治人、東北人の気風に触れることが多かった。私は先生を偲ぶとき明治人の廉潔、気骨と、東北人の重厚、剛毅を想起せずにはいられない。もっと長生きをされ、我々を指導して頂きたかった。

個人的な追憶になってしまったが、先生のお人柄を偲ぶよすがとなれば幸いである。

四、職業奉仕実践の鑑

先生は、ガバナー在任中も含め昭和四十七年より八年も毎年松前江差乙部地方に年一回耳鼻咽喉無料診療を行っておりました。

これは、江差・松前両RCの奉仕活動への協力が発端となり専門医のいない地域での無料診療はまさに職業奉仕実践の鑑と賞賛されていました。

函館ロータリー・クラブ　石塚弥一郎

3Hプログラムと R・I 創立75周年

1979年9月29、30日の両日第251地区年次大会が函館北クラブをホストとして函館市民会館に総数1,443名が参加し盛大に開催されました。ジェームズ・L・ボーマー会長は会長代理として、ハーバート・G・ブラウン理事（1995～96R・I会長）ご夫妻を派遣、太宰ガバナーは感謝の意を表明されました。会長代理は会長メッセージ、R・Iの現況報告の中でも「保健・飢餓追放・および人間性尊重」の3Hプログラムの推進を力説されました。大会の席上

「R・I提唱の3Hプログラムに協力する件」

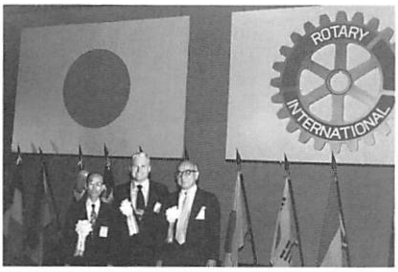
ロータリーは本年創立75年の意義深い年を迎えました。我々ロータリアンはロータリー精神の原点に立ち、奉仕の理想を再認識し、具体的な形でこの理想を広く実践するため、国際ロータリーが提唱する3Hプログラムの推進に出来る限りの努力をすることが決議され、地区内各クラブからの寄付金は6月30日までに総額¥11,069,809に達しました。

「R・I創立75周年」については、1980年2月23日に各分区毎に合同例会、講演会を行い、クラブや分区で記念事業を実施し、広報につとめるようにきまりました。各クラブや分区でそれぞれ立案し、救急車の寄贈、歳末助け合い運動への協力、青少年基金へ寄付、演奏会に働く青少年、高校生、留学生を招待するなど数多くの記念事業が実施されました。

太宰ガバナーの思い出

1977年の初秋、クラブ会長経験者の会合が開かれ議題は「当クラブより1979年度のガバナーを」でした。私も会長の任をおえたばかりで末席に連なっておりました。色々と話し合いがもたれましたが先輩元会長より太宰先生お引受け頂けませんかと発言された。先生は次思黙考しておられましたが「少し考えさせて下さいませんか」と申されました。先生は医院を開業しお一人で診療に当たっておられるので、公式訪問その他諸々の会合の際は休診しなければならないので難しいのではないかと思っておりましたが暫くして先生がお引受されたと聞きました時は如何されるのかと考えました。その陰には先生の何事にも筋を通される明治生まれの気骨と東京の大学病院に勤務されておったご子息が函館に戻り、ご父君の跡を継いで診療に従事されるという一家挙げてのご決断があったのです。太宰ガバナーは漢文にも深く通じいつも漢詩に親しみ、演壇に登れば凛として古武士の風格、論旨は明瞭、声のめりはり、間合いの取り方が素晴らしく聞く人をして自ずから話の虜にせずはおかない妙手でした。学生時代弁論部に入っておられたのですかと尋ねると笑っておられました。

函館ロータリー・クラブ　葛西　知二



ハーバート・G・ブラウン
R・I会長代理ご夫妻
向笠R・I理事ご夫妻を迎えて

1979～1980年度国際ロータリー第251地区組織図

●委員長
○副委員長

地区ガバナー
太宰 六郎

分区代理
第1 高林 保(深川)
第2 南 和成(岩見沢)
第3 井出 忠一(札幌真駒内)
第4 今井 寛(小樽)
第5 西川 周三(えりも)
第6 中村 秀(室蘭北)
第7 石塚弥一郎(函館)

地区諮問委員会
坂牛直太郎 (小樽)
滝本 庄蔵 (札幌西)
寿原 九郎 (小樽)
秋山康之進 (札幌)
河野 通正 (深川)
高田 恭 (函館東)
塩谷 猛 (札幌西)
森松 定男 (札幌南)
大野 和男 (札幌)
伊藤 義郎 (札幌)
高田 嘉市 (室蘭)
小川 忠一 (札幌東)

地区協議会

地区運営委員会

地区ガバナー指名委員会
● 高田嘉市 (室蘭)
塩谷 猛 (札幌西)
森松 定男 (札幌南)
大野 和男 (札幌)
伊藤 義郎 (札幌)

地区資金委員会
能登 幸思 (函館)
国田嘉一郎 (室蘭)
福山 達彦 (札幌東)

地区大会

地区幹事・会計
幹事
葛西 知二 (函館)
副幹事
北村 実 (函館)
藤田 芳英 (札幌東)
会計・小原幸男(函館)

第251地区 ロータリー創立75周年委員会
● 鷲尾 英一 (函館)
西条 正博 (札幌)
内藤 詩郎 (千歳)
斉藤 秀雄 (札幌)

旧350・351地区 北海道ロータリー奨学会委員会
滝本 庄蔵 (札幌西)

ロータリー文庫委員会
委員
塩谷 猛(札幌西)

米山記念奨学会理事会
理事
滝本 庄蔵(札幌西)

ロータリーの友委員会
地区委員
棟方 忠(函館)

特別委員会

アジア大会参加推進委員会
●大 総一郎(函館)
○勝木 郁郎(札幌)
土井 恒隆(滝川)
南 和成(岩見沢)
朝倉 治郎(苫小牧)
皆川 武夫(小樽)
斉藤 脩吾(室蘭)

クラブ奉仕委員会
● 森松 定男 (札幌南)
伊藤 義郎 (札幌)
小川 忠一 (札幌東)
額賀吉之助 (函館)
安田 幸夫 (函五)

職業奉仕委員会
● 高田 嘉市 (室蘭)
高田 恭 (函館東)
坂牛直太郎 (小樽)
神田 弘 (函館東)
成田 鉄蔵 (函館亀田)

社会奉仕委員会
● 大野 和男 (札幌)
河野 通正 (深川)
秋山康之進 (札幌)
今川 徳郎 (江差)
吉田 清吾 (森)

国際奉仕委員会
● 塩谷 猛 (札幌西)
寿原 九郎 (小樽)
滝本 庄蔵 (札幌西)
赤塚 繁夫 (長万部)
池田庄三郎 (七飯)

地区奉仕活動委員会

地区広報
●伊藤森右衛門(小樽)
○福山 卓爾(札幌)
秋山 擴(札幌)
上関 敏夫(札幌)
大友 達雄(札幌)
田沼 修二(札幌)

拡大
● 藤井 司郎 (札幌南)
○ 谷田 涼一 (栗山)
福田 重信 (伊達)
内藤 詩郎 (千歳)
大鐮 政雄 (函館東)
小野寺利男 (芦別)
三溝 喜八 (余市)

インターアクト
● 田中 公 (札幌東)
○ 越山 司 (札幌)
遠藤 広雄 (室蘭東)
田中 政士 (札幌南)
外村 一也 (函五)
山田 功 (岩見沢)

ローターアクト
● 光銭 吉郎 (函館東)
○ 鈴木 道男 (札幌西)
原崎 博 (札幌南)
池田 正朗 (岩内)
黒田 耕一 (伊達)
四倉 太郎 (函館)
平田 勝一 (留萌)

青少年奉仕
● 関口 久作 (札幌真駒内)
○ 橋本 俊彦 (札幌)
木保 昭二 (室蘭)
外山 正 (函館東)
安井 淳 (伊達)

米山記念奨学会 北海道ロータリー奨学会
● 森岡 勝 (函館東)
○ 林 春雄 (札幌西)
斉藤 義寛 (室蘭北)
寺田 稔 (函館)

国際青少年交換
● 高橋 長雄 (札幌南)
○ 伊藤 千秋 (札幌西)
笠原 正秀 (札幌東)
小泉 洌 (砂川)
中田 靖泰 (札幌幌南)
寺井 省吾 (函五)
戸部 謙一 (札幌西)

世界社会奉仕
● 石井鶴八郎 (札幌西)
○ 斉藤 信利 (手稲)
西村 雅吉 (函五)
西尾 長光 (札幌南)
杉山 成光 (札幌)

ロータリー財団推進
● 田中 修市 (函館)
○ 大脇 健介 (函館東)
遠藤 尚義 (函館北)
落合稼久蔵 (森)
高木 幹雄 (函館亀田)

ロータリー財団奨学生
● 金岡 祐一 (札幌北)
○ 石垣 博美 (札幌西)
中野 茂行 (函館東)
山本 信爾 (小樽)

研究グループ交換
● 関 清秀 (札幌)
○ 元広 輔重 (函館)
古川 幸道 (真駒内)
本行 孝司 (札幌西)
松井 修一 (札幌東)
山本 正夫 (札幌)
吉田 正夫 (室蘭)

1980～81年度 “Take Time to Serve”
「時間を捧げよう奉仕のために」

RI会長 ロルフ J・クラリッヒ　ガバナー 小 川 忠 一

略　　歴　昭６年早稲田大学商学部専門部中退
昭51年山藤印刷株式会社取締役会長
昭52年北海道フォーム印刷協議会会長
ロータリー歴　昭34年札幌東RC入会
（チャーターメンバー）
昭43年札幌東RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日　明43.12.5
（平2.12.21逝去 81歳）

運営方針　心を開き手を携えて真の友愛と正しい親睦の土壌の上にロータリーの奉仕の樹を心をこめて育てよう!!

重点施策　①青少年交換は386地区（フィリピン）との交換について検討する。
②GSEは506地区（アメリカ）との提携を考えたい。
③地区大会への積極的な参加。

日本選出RI理事（1980～82）　松平　一郎（東京日本橋RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	19,339	1,537	58	
会員数	895,740	84,549	3,431	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第72回）	サンパウロ（ブラジル）	5月31日～6月4日	ロルフ J・クラリッヒ	15,222	
地区大会	札幌市 北海道厚生年金会館	10月18日 19日	アントニオ・P・タンプンティン	1,668	札幌東
	大会テーマ：ロマンの北都に友情の輪を　特別講演：「人の心のふれ合いの機微について」　おおば比呂司				
地区協議会	千歳市市民会館 市役所	6月21日	G：小川　忠一 GN：佐久間三八	569	千歳

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地	ホストクラブ	登録者数
第1分区	神田徳次郎	11月9日	小平町	小平	264名
第2分区	石黒　潤平	4月12日	江別市	江別	186名
第3分区	河邨文一郎	4月18日	当別町	当別	246名
第4分区	白石　政雄	3月8日	小樽市	小樽南	150名
第5分区	谷　　守雄	3月24日	浦河町	浦河	153名
第6分区	米光　徳蔵	2月22日	室蘭市	室蘭	230名
第7分区	赤石　喜郎	4月5日	江差町	江差	230名

※クラリッヒRI会長が来札し、10月15日(水)札幌RC例会に出席される。

小川パストガバナーを偲んで

故小川忠一PGについての原稿の依頼を地区史編纂委員長である西條地区ガバナーから当クラブの横山会長がお受けして、当時の地区幹事を勤めた私のところに回ってきました。小川ガバナー年度は1980～81年度でありますのでもう15年前のことであります。今更時の経過の早さに驚いています。

当時小川さんは1910年（明治43年）12月5日生まれですので70歳でした。1968—69年度の第10代会長をされ山藤印刷会長の小川さんが年齢的にも経歴的にも最適で会員一同の推薦を受けたのでした。

小川さんは若いころ国鉄に勤務されラグビーの選手として大活躍されていました。奥様は山藤印刷の先代社長国八氏夫人の妹さんであり、その様な関係で山藤印刷に入社されていましたが営業の第一線にたち山藤印刷の躍進に大きな貢献をされています。拓銀野球部の後援会長として当時の拓銀京谷常務や後の中原副頭取等との親交が厚く、ご子息も拓銀に勤めておられました。お嬢さんが米国の方と結婚されていた関係でノミニーとして奥様とRIに行かれるのを楽しみにしておられました。

当時札幌東RCにはサッポロビールの輸送担当の札幌日星株式会社社長の藤田芳英さんがおられ、非常にロータリーに熱心な方でありました。前年度から地区副幹事として地区の仕事を手伝っておられ小川さんがガバナーになる時には地区幹事として小川ガバナーを全面的に支えることになっていたのです。初め地区ガバナーのキャビネットは藤田氏の意向により副幹事として橋本利弘氏（開業医)、笠原正秀氏（開業医)、小野隆央氏（社長)、朝倉正吉氏（社長)、地区資金委員長に福山達彦（副社長）地区会計に大谷輝雄氏（税理士）となっておりましたが誠に残念なことに藤田氏は病気となられ地区幹事は福山が引き継ぐことになり松本恒一氏が地区資金委員長に変更になりました。この事は小川さんにとりましては大変な不幸でありましたが福山にとりましてもその3月に福山醸造を退職してベル食品の副社長に転職した直後であり、地区幹事としての知識のない者であり全く当惑したものでありました。

小川さんは5月22日からの国際協議会を終え6月1日からの国際大会で正式にガバナーエレクトとなり帰国され6月22日の地区協議会が無事終了してガバナーとしての年度を迎えたのでした。小川さんの年度として印象の深いことは10月18、19日の地区年次大会直前の15日にクラリッヒRI会長が札幌に来られたことであります。

その日札幌RC、真駒内RC合同例会に出席され翌16日市長、知事を表敬訪問、ご自身が戦傷者であられた関係で身障者施設を見学されました。夕刻地区大会に出席されるRI会長代理のアントニオ・P・タンブンチン夫妻と本物のRI会長夫妻、松平RI理事夫妻、小川G夫妻、PG達夫妻がグランドホテルで会合されました。

小川ガバナーは公式訪問の日程が詰まっておりましたし、地区大会の準備と重なってのRI会長のお迎えで大変忙しい毎日でありましたが伊藤PGや大塚札幌RC会長さん等に大変お世話になり、無事にお送りすることが出

来ました。親日家のRI会長のお人柄に接することが出来て大変良かったと思っております。

小川年度で特に記憶に残っているのはWCS（世界社会奉仕）でフィリピンのタンプンチンさんがRI会長代理として地区大会に来られたこともあり河郁分区代理（後のPG）や札幌西RCの石井会員などがフィリピンへのWCSに力を入れておられたことなどです。

最後に各分区代理、地区役員、委員会の委員長の皆様に大変お世話に成りましたことを感謝すると共に亡くなられた皆様のご冥福をお祈りして終わらせて頂きます。

札幌東ロータリークラブ

福山　達彦

クラリッヒRI会長夫妻と
笑顔の小川ガバナー

クラリッヒRI会長来札のスナップ

地区年次大会でタンプンティンRI会長代理ご夫妻と小川ガバナー、
手前が吉田大会委員長

1980～1981年度国際ロータリー第251地区組織図

R. I. 第251地区ガバナー
小川　忠一　（札幌東）

地区幹事 地区会計	
地区幹事	福山　達彦(札幌東)
地区副幹事	橋本　利弘(札幌東)
	笠原　正秀(札幌東)
	小野　隆央(札幌東)
	朝倉　正吉(札幌東)
地区会計	大谷　輝雄(札幌東)

地区ガバナーの分区代理

第1分区	赤平、芦別、深川、羽幌、妹背牛、小平、留萌、砂川、滝川 (9)	神田徳次郎(小平)
第2分区	美唄、江別、岩見沢、栗沢、栗山 (5)	石黒　義平(江別)
第3分区	恵庭、北広島、札幌、札幌東、札幌北、札幌幌南、札幌真駒内、札幌南、札幌西、札幌西北、札幌手稲、当別 (12)	河部文一郎(札幌西)
第4分区	岩内、倶知安、小樽、小樽南、小樽銭函、蘭越、余市 (7)	白石　政雄(小樽南)
第5分区	千歳、えりも、三石、様似、静内、苫小牧、苫小牧北、浦河 (8)	谷　守雄(浦河)
第6分区	伊達、室蘭、室蘭東、室蘭北、登別、白老、洞爺湖 (7)	米光　徳蔵(室蘭)
第7分区	江差、函館、函館五稜郭、函館東、函館亀田、函館北、松前、森、七飯、長万部 (10)	赤石　喜郎(江差)
58クラブ		

地区協議会

地区大会

地区諮問委員会
パストガバナー
ガバナー・ノミニー

坂牛直太郎（小　樽）
滝本　庄蔵（札幌西）
寿原　九郎（小　樽）
秋山康之進（札　幌）
河野　通正（深　川）
高田　恭（函館東）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
大野　和男（札　幌）
伊藤　義郎（札　幌）
高田　嘉市（室　蘭）
太宰　六郎（函　館）
佐久間三八（苫小牧）

地区ガバナー指名委員会
パスト・ガバナー

◎太宰　六郎(函　館)
○森松　定男(札幌南)
大野　和男(札　幌)
伊藤　義郎(札　幌)
高田　嘉市(室　蘭)

地区資金委員会
◎松本　恒一(札幌東)
○能登　幸恵(函　館)
田中　賢一(苫小牧)

地区文献事務所準備委員会
◎西條　正博(札　幌)
○越山　司(札　幌)
白石欽一(札幌手稲)

オンツーサンパウロ委員会
◎伊藤　義郎(札　幌)
○佐久間三八(苫小牧)
山本　正夫(札　幌)

地区大会企画委員会
◎小川　忠一(札幌東)
塩谷　猛(札幌西)
森松　定男(札幌南)
大野　和男(札　幌)
伊藤　義郎(札　幌)
高田　嘉市(室　蘭)
太宰　六郎(函　館)
大会事務局長吉田　信(札幌東)
大会副事務局長松本恒一(札幌東)
・　大場二郎(札幌東)
大会幹事遠藤正義(札幌東)
大会SAA青山八郎(札幌東)
大会会計山田良一(札幌東)

ロータリー文庫運営委員会
委員
塩谷　猛(札幌西)

ロータリー米山記念奨学会
評議員
小川　忠一(札幌東)
佐久間三八(苫小牧)
太宰　六郎(函　館)
理事
滝本　庄蔵(札幌西)

ロータリーの友委員会
地区委員
道井孝太郎(札幌東)

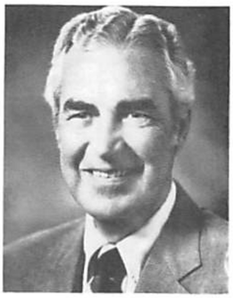
地区拡大カウンセラー委員会
◎(1年委員)
伊藤義郎(札　幌)
(2年委員)
高田嘉市(室　蘭)
(3年委員)
太宰六郎(函　館)

地区諮問委員会

クラブ奉仕	職業奉仕	社会奉仕	青少年奉仕	国際奉仕	ロータリー財団	広報	拡大	ロータリー米山奨学委員会
担当諮問委員 太宰　六郎(函　館)	担当諮問委員 高田　嘉市(室　蘭)	担当諮問委員 河野　通正(深　川)	担当諮問委員 塩谷　猛(札幌西)	担当諮問委員 大野　和男(札　幌)	担当諮問委員 森松　定男(札幌南)	担当諮問委員 伊藤　義郎(札　幌)	担当諮問委員 高田　恭(函館東)	担当諮問委員 滝本　庄蔵(札幌西)
			顧問 寿原　九郎(小　樽)	顧問 秋山康之進(札　幌)	顧問 坂牛直太郎(小　樽)			
◎ 柳木　郁郎（札　幌） ○ 萬森　春明（苫小牧） 田尻　毅（室　蘭） 寺沢　栄一（札幌南） 清水　省吾 （札幌西北）	◎ 佐野　肇（札幌南） ○ 深宮　正吉 （札幌手稲） 棚元　民夫（小　樽） 斉藤　雄一（札幌東） 山崎　正寿 （苫小牧北）	◎ 郷　敏栄 （札幌幌南） ○ 野本　義秀 （函館五稜郭） 原田　一洋（室蘭東） 竹山　涼一（札幌南） 武内　敏彦（滝　川）	◎ 山田　功（岩見沢） ○ 三浦　祐昌（札幌北） 光銭　吉郎（函館東） 田中　公（札幌東） 鈴木　道男（札幌西） 青少年活動 ◎ 三浦　祐昌（札幌北） ○ 高階　英治（小樽南） 牛島　弘寿（深　川） 深林　廣吉（札　幌） 小栗　淳（苫小牧北） インターアクト ◎ 田中　公（札幌東） ○ 中山　博道（札　幌） 外村　一也（函館五稜郭） 斉藤　和朗（岩見沢） 遠藤　広雄（室蘭東） 土合　和英（登　別） 田中　政士（札幌幌南） ローターアクト ◎ 光銭　吉郎（函館東） ○ 鈴木　道男（札幌西） 西沢　良知（赤　平） 野谷　正雄（深　川） 斉藤　紀一（函館北） 斉藤　梯弥（室　蘭） 原崎　博 （札幌幌南）	◎ 斉藤　秀雄（札　幌） ○ 石井錦八朗（札幌西） 内藤　詩郎（千　歳） 中田　靖泰（札幌幌南） 伊藤　千秋（札幌西） 世界社会奉仕 ◎ 石井錦八朗（札幌西） ○ 内藤　詩郎（千　歳） 今井　四郎（札　幌） 木村　俊彦（札幌幌南） 穂苅　金吾（札幌西） 青少年交換 ◎ 伊藤　千秋（札幌西） ○ 中田　靖泰（札幌幌南） 角江　哲雄（小　樽） 小林　英一（札幌東） 宮崎　善夫（苫小牧）	◎ 九津見　保（札幌手稲） ○ 山本　正夫（札　幌） 都留英郁雄（札幌北） 古川　幸道（札幌真駒内） 財団推進 ◎ 九津見　保（札幌手稲） ○ 斉藤　昭三（深　川） 畑　竜英（小樽南） 今崎　孝俊（札幌幌南） 中嶋　博道（苫小牧） 財団教育補助金 ◎ 都留英郁雄（札幌北） ○ 古川　誠（札　幌） 柿本　胤二（札　幌） 西　正道（札　幌） 入江　哲夫（札幌東） 財団学友 ◎ 皆川　武夫（小　樽） ○ 柳元　豊（滝　川） 斉藤　元興（札幌南） 研究グループ交換 ◎ 山本　正夫（札　幌） ○ 元広　輝重（函　館） 松井　悌一（札幌東） 3Hプログラム ◎ 古川　幸道（札幌真駒内） ○ 山田　基（札幌南） 宮越　栄光（札　幌）	◎ 小林　幸雄（札幌南） ○ 上関　敏夫（札　幌） 秋山　讓（札　幌） 大友　達雄（札　幌） 田沼　悌二（札　幌）	◎（1年）伊藤義郎（札幌） ○（2年）高田嘉市（室蘭） （3年）太宰六郎（函館） 拡大 ◎ 河部文一郎（札幌西） ○ 米光　徳蔵（室　蘭） 石黒　義平（江　別） 赤石　喜郎（江　差） 神田徳次郎（小　平） 白石　政雄（小樽南） 谷　守雄（浦　河） 会員増強 ◎ 南　和政（岩見沢） ○ 井出　忠一 （札幌真駒内） 西川　周三（えりも） 高林　保（深　川） 石塚弥一郎（函　館） 中村　秀（室蘭北） 今井　寛（小　樽）	◎ 林　春雄（札幌西） ○ 岡田　泰紀（札幌北） 泉　重陽（江　別）

1981～82年度 "World Understanding Peace Through Rotary"
「ロータリーを通じて世界理解と平和を」

RI会長 スタンリー・E・マッキャフリー　ガバナー 佐久間三八



略　　歴　昭8年北海道大学医学部卒業
昭14年王子製紙苫小牧工場王子病院
昭42年医療法人王子総合病院理事長
昭42年医療法人王子総合病院院長
ロータリー歴　昭32年苫小牧RC入会
（チャーターメンバー）
昭34年苫小牧RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日　明40.7.15
（昭63.2.15逝去 80歳）

運営方針　感謝して友と語らい、奉仕する
重点施策　①クラブ拡大　a)新クラブの結成 b)アディショナルクラブの結成
②会員増強
③青少年への奉仕（青少年交換、IAC、RAC、WCS、GSE等）
④地区大会への参加

日本選出RI理事（1980～82）　松平　一郎（東京日本橋RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	19,785	1,561	58	
会員数	907,943	86,585	3,421	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第73回）	ダラス（テキサス州）	6月6日～9日	スタンリー・E・マッキャフリー	13,558	
地区大会	苫小牧市民会館	9月19日 20日	上野　豊	1,431	苫小牧
	大会テーマ：友情の輪をひろげよう　苫小牧で 特別講演：「青少年に夢と希望と感動を」　プロスキーヤー　三浦雄一郎				
地区協議会	小樽市民会館	6月20日	G ：佐久間三八 GN：山賀　勇	576	小樽南

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	阿部　清晴	4月18日	留萌市・鶴扇	留　萌	307名
第2分区	沢田　豊治	4月11日	栗沢市・栗沢町体育館	栗　沢	
第3分区	清水　省吾	4月10日	札幌市・札幌医師会館	札幌西	378名
第4分区	森　杉夫	3月14日	余市町・余市公民館	余　市	131名
第5分区	伊藤　繁樹	4月4日	様似町・様似公民館	様　似	
第6分区	岩川　幸昌	2月14日	ホテル万世閣	洞爺湖	185名
第7分区	黒沢幸太郎	5月16日	松前町・総合町民センター	松　前	256名

佐久間三八パストガバナー

苫小牧ロータリークラブが、1957年に、日本で、200番目のクラブとして、承認されまして、今年で39年になりますが、苫小牧市で唯一人選出されましたガバナーが、佐久間三八先生です。先生はチャーターメンバーであり、第三代目の会長を勤められました。「優しく、厳しく、暖かく」を、生涯の、モットーとされておりましたが、厳しい方は、もっぱら自己にたいするもので、我々会員にとりまして、慈父のようにお慕いしておりました。ロータリーの為に全力をあげて活動せられ、奉仕の精神を常に力説され行動の、基準にされておられました。残念にも、昭和63年2月15日に惜しまれつつ80歳で、お亡くなりましたが、その教えは、苫小牧ロータリークラブの会員の心の中に深く刻まれております。先生の「奉仕の実践」については、数多くありますが、特にきをかけられておられたのは次代の、日本、世界を背負うべき青少年の健全なる育成であったらしく残された、文章のなかに数おおくみられます。優秀なる青少年の表彰、ボーイスカウト、ガールスカウトの活動の支援、ローターアクト、インターアクトクラブの結成、等々を、奨励され、各ロータリアンは、青少年の模範たれ、と力説しておられました。

この意志をついで、わが苫小牧ロータリークラブが、独自で行っています市内、高校生に対する奨学金の支給は、クラブの誇るべき行事として永久に続くものと思っております。マニラ市で、開催されました世界理解の為の、マッチドクラブ及び地区研究会に参加され優秀地区として、国際ロータリー会長より名誉の表彰を、うけました。色々と国際関係の理解を、深めることができて、喜んでおりました、と同時に、世界にまだ残る、保健と、飢餓の問題、人間性の尊重にたいする社会奉仕の役割について、会報で報告されています。又、大韓民国と日本国の、親善会議には、奥様も同伴して出席され、親睦を計られました。日本から見た韓国の歴史のみを知っていたが、これほど近い国にもかかわらず時には大変遠い国であった事を反省され、近くて、近い国に、なるためには、如何なすべきか、ロータリーとしての行動で役立つことはないのか、折りにふれておっしゃっておりました。又、苫小牧市心身障害者体育館に、言語指導のための遊戯力検査装置一式を寄贈したことにたいしては、落成式にあたり佐久間ガバナーが感謝状を、うけられましたが、この施設は、今でも立派に利用され喜ばれております。

先生は、苫小牧ロータリークラブ三十年誌に、ガバナーとしての思い出を書かれております。その終わりのまとめとしてつぎの言葉をのこされました。

1. 準備期間を入れて約三年間、ガバナーとして最善を、尽くしたと思っています。
2. この間、多くの方々の、ご協力を賜ったことに対し厚くお礼申し上げます。
3. おかげさまで、ロータリー精神を身につけ、多くの親しい友人をえました。
4. 今後は、この貴重な体験を生かし、ロータリーのため、少しでもお役にたちたい、と思っています。

苫小牧ロータリークラブ
斑目　広行

握手をかわす佐久間ガバナーとマッキャフリーRI会長（ボカラトンにて）

大韓民国と日本国の親善会議に出席したガバナーと御夫人

RI会長と佐久間ガバナー

マニラで開催のマッチドクラブ地区研究会で、優秀地区としてRI会長より表彰を受けるガバナー

1981～1982年度国際ロータリー第251地区組織図

R.I. 第251地区ガバナー

佐久間 三八(苫小牧)

- 地区大会
- 地区協議会

地区顧問委員会

地区顧問委員会	担当
坂下直太郎(小 樽)	職業奉仕
滝本 庄蔵(札幌西)	米山奨学会
寿原 九郎(札幌西北)	国際奉仕
秋山康之進(札 幌)	ロータリー財団
河野 通正(深 川)	青少年奉仕
高田 恭(函館東)	職業奉仕
塩谷 猛(札幌西)	青少年奉仕
森松 定男(札幌南)	クラブ奉仕
大野 和男(札 幌)	国際奉仕
伊藤 義郎(札 幌)	広報
高田 嘉市(室 蘭)	社会奉仕
太宰 六郎(函 館)	社会奉仕
小川 忠一(札幌東)	クラブ奉仕
山賀 勇(小 樽)	拡大

分区代理

分区	分区代理
1	阿部 清晴(留 萌)
2	沢田 登治(栗 沢)
3	清水 省吾(札幌西北)
4	森 杉夫(余 市)
5	伊藤 繁樹(様 似)
6	岩川 幸昌(洞爺湖)
7	黒沢幸太郎(函館五稜郭)

地区ガバナー指名委員会

- ◎小川 忠一(札幌東)
- ○大野 和男(札 幌)
- 伊藤 義郎(札 幌)
- 高田 嘉市(室 蘭)
- 太宰 六郎(函 館)

地区資金委員会

- ◎田中 賢一(苫小牧)
- ○松本 恒一(札幌東)
- 井上 清(小 樽)

地区幹事、会計

- 幹事 藤井 信造(苫小牧)
- 副幹事 吉村 善晴(〃)
- 〃 坂 静雄(〃)
- 〃 加藤 悟(〃)
- 〃 伊藤 太郎(札 幌)
- 会計 近藤 重明(苫小牧)

特別委員会

地区ロータリー文庫委員会

- ◎大野 和男(札 幌)
- ○西條 正博(札 幌)
- 館山 司(札 幌)
- 白石 欽一(札幌手稲)

オンツーダラス委員会

- ◎伊藤 義郎(札 幌)
- ○山賀 勇(小 樽)
- 宮崎 寿夫(苫小牧)

地区大会企画委員会

- ◎ 佐久間 三八(苫小牧)
- ○ 小川 忠一(札幌東)
- 大会委員長 角野 毅(苫小牧北)
- 〃 (副) 山崎正寿(〃)
- 〃 幹事 田辺信夫(〃)
- 〃 SAA 杉浦英雄(〃)
- 〃 会計 藤田信一(〃)

クラブ奉仕

- ◎馬場 春明(苫小牧)
- ○寺沢 栄一(札幌南)
- 青木 郁雄(室 蘭)
- 深瀬 泰一(登 別)
- 今井 寛(小 樽)
- 池田 作雄(苫小牧北)

職業奉仕

- ◎皆川 武夫(小 樽)
- ○關元 民夫(小 樽)
- 加藤 豊雄(岩 内)
- 野村 定玄(小樽南)
- 上村 昌乾(小樽銭函)
- 三浦 喜八(余 市)

社会奉仕

- ◎山田 功(岩見沢)
- ○武内 敏彦(滝 川)
- 坂東 浩(美 唄)
- 津田 恭衛(深 川)
- 瓜 健夫(砂 川)
- 山口 光一(苫小牧)

青少年奉仕

- ◎三浦 祐昌(札幌北)
- ○深林 広吉(札 幌)
- 田中 公(札幌東)
- 東泉寺 寛(札幌北)
- 佐藤 玄一(苫小牧)

インターアクト

- ◎田中 公(札幌東)
- ○岩崎 鉄男(札幌東)
- 外村 一也(函館五稜郭)
- 森居 清(岩見沢)
- 遠藤 広雄(室蘭東)
- 徳島 年久(登 別)
- 中山 博道(札 幌)
- 江指栄太郎(札幌東南)

ローターアクト

- ◎東泉寺 寛(札幌北)
- ○原崎 博(札幌東南)
- 西沢 良知(赤 平)
- 小笠原栄一(伊 達)
- 滝井 徹(深 川)
- 北村 実(函 館)
- 中野 茂行(函館東)
- 斉藤 紀一(函館北)
- 岩本外茂二郎(岩見沢)
- 高井 三也(岩 内)
- 佐藤 実(室 蘭)
- 飛谷 弘夫(室蘭北)
- 渡部 英次(留 萌)
- 竹島武一郎(札幌西)

国際奉仕

- ◎久郷 昌夫(札 幌)
- ○吉井 政人(室蘭北)
- 野口 信夫(小 樽)
- 今井 四郎(札 幌)
- 野原 俊司(札幌南)
- 岩倉 賢昭(苫小牧)

青少年交換

- ◎伊藤 千秋(札幌西)
- ○中田 靖泰(札幌東南)
- 梶野 吉郎(北広島)
- 北村 正司(小 樽)
- 宮崎 寿夫(苫小牧)

世界社会奉仕

- ◎古川 幸道(札幌真駒内)
- ○西尾 長光(札幌南)
- 木村 利彦(札幌東南)
- 長谷井真信(札幌西)
- 穂苅 金吾(札幌西)
- 下村 早治(苫小牧)

ロータリー財団

- ◎阿部 敏雄(苫小牧)
- ○佐々木和之助(三 石)
- 近川 宗信(千 歳)
- 真田 睦郎(深 川)
- 若林 治(苫小牧北)

財団奨学生並学友

- ◎石垣 博美(札幌西)
- ○金岡 祐一(札幌北)
- 洪 悦郎(札幌北)
- 芳賀 孝郎(札幌西)
- 岡本 悦明(札幌西)

研究グループ交換

- ◎永尾 英士(苫小牧)
- ○牛島 弘善(深 川)
- 中島 滋(静 内)

広報

- ◎渡辺喜久雄(札 幌)
- ○南 順二(札 幌)
- 沢田 修(札 幌)
- 山本 達雄(札 幌)

拡大

- ◎谷 守雄(浦 河)
- ○白石 政雄(小樽南)
- 石黒 昌平(江 別)
- 赤石 喜郎(江 差)
- 末光 徳蔵(室 蘭)
- 神田徳次郎(小 平)
- 河部文一郎(札幌西)

ロータリー米山奨学

- ◎林 春雄(札幌西)
- ○渡辺 三郎(苫小牧)
- 泉 重陽(江 別)

ロータリー文庫運営委員会

- 委員 塩谷 猛(札幌西)

ロータリー米山奨学会

- 理事 滝本 庄蔵(札幌西)
- 評議員 佐久間三八(苫小牧)
- 〃 山賀 勇(小 樽)
- 〃 小川 忠一(札幌東)

ロータリーの友委員会

- 地区委員 道井孝太郎(札幌東)

地区拡大カウンセラー委員会

- 1年委員 高田 嘉市(室 蘭)
- 2年 〃 太宰 六郎(函 館)
- 3年 〃 小川 忠一(札幌東)

1982~83年度 "MANKIND IS ONE — Build Bridges of Friendship Throughout the World."
「人類はひとつ―世界中に友情の橋をかけよう」

RI会長 向 笠 広 次　ガバナー 山 賀　勇

略　　歴　昭５年新潟医科大学卒業
昭12年医学博士（北海道大学）
昭16年小樽市にて眼科医開業
小樽市医師会裁定委員

ロータリー歴　昭32年小樽RC入会
昭44年小樽RC会長
ポール・ハリス・フェロー

生年月日　明38.8.27（小樽市）
（昭62.6.6逝去 81歳）

運営方針　善意と友情に結ばれ奉仕の心を育て、世界の平和のためにつくそう！

重点施策　①親睦を深めよう
②職業奉仕の実践
③あなたの地域社会において、―青少年と共に奉仕しよう
④世界中に国際理解が―善意と平和の実現を

日本選出RI理事（1982～84）　末永　直行（福岡西RC）

	世 界	日 本	地 区	結成新クラブ
クラブ数	20,189	1,585	59	岩見沢東ロータリークラブ
会員数	925,571	88,637	3,440	

会 合	場 所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第74回）	トロント（カナダ）	6月5日～8日	向笠　広次	16,250	
地区大会	小樽北海ホテル	10月15日 16日	菅野多利雄	1,600	小樽
	大会テーマ：人情と坂のある港街小樽へ 特別講演：「日本の心」　奈良薬師寺管主　高田　好胤				
地区協議会	札幌市 北海道水産ビル	6月19日	G：山賀　勇 GN：竹山　涼一	462	札幌手稲

分 区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第１分区	西沢　良知	5月15日	赤平コミュニティーセンター	赤　平	213名
第２分区	竹松　洋	3月27日	専修大学北海道短期大学	美　唄	112名
第３分区	鷲山　寿丸	4月16日	平安閣	札幌東	267名
第４分区	加藤　豊雄	3月6日	ホテルうきよ	岩　内	155名
第５分区	山崎　正寿	4月3日	ホテルニュー王子	苫小牧北	243名
第６分区	皆川　英貞	2月20日	登別商工会館3階ホール	登　別	238名
第７分区	市川　芳夫	4月9日	函館市民会館	函　館	335名

ロータリー――これでよいのか
山賀P.G.の思い出

山賀さんがガバナーをお引き受けになり、やがて棚元さん（故人・山賀年度地区幹事）から「地区副幹事として、ガバナー月信及び公式訪問について各クラブとの連絡調整を手伝って欲しい。」との事。以来、山賀眼科医院の二階ガバナー事務所に通うことになった。

当時、小樽RCでは、故青木P.G.以来のガバナー選出であり、既に77歳と云う年齢と健康に多少懸念する声もありましたが、兎に角全会員が応援体制を整え、ご出馬を決意していただきました。私の役目である月信については、RI会長、ガバナーと地区内クラブとの情報ネットワークとしては勿論のこと、特にガバナーの考え方を知っていただき、それを下敷きとして新しいロータリー活動のあり方、クラブ運営の良きヒントとなるように工夫して欲しい。そして、あまり論調的にならず、語り掛ける形がよいのではないかと云う事で「ガバナーのひとり言」と云うコーナーを設け月々掲載しました。

ガバナー任期中は、各クラブへの訪問は勿論の事、各委員会への出席、交換学生との交流、I.A.の沖縄研修旅行、R.A.の韓国への研修旅行等、誠に元気に参加され、しかも、本当に楽しそうに行事をこなしておられるのを見て、私共も眼を見張るばかり、かえってこちらの方が励まされる始末でありました。

先述の「ガバナーのひとり言」は20篇近く掲載しましたが、言葉の端々に山賀さんのロータリーに対する哲学を垣間見る想いでした。その中の一篇が表題「ロータリー、これでよいのか」（昭和58年3月15日、第10号）であり、それは次のような文章であります。

「4月8・9両日、京都で行われる第265地区年次大会のテーマは、前日5つのホテルでフォーラムを行い、何れも同じテーマで「ロータリー、これでよいのか」そして翌日の本会議にも同じパネル討論会が行われる。

又、当地区第3分区のI.G.F.では、4月16日札幌平安閣で鷲山分区代理がユニークな企画を立て、多くの命題について「ロータリーの光と陰」と云うタイトルで、裁判劇を素材として、フロアからの討論を計画している。これら凡て「ロータリー、これでよいのか」ということである。ロータリーは今、大きな反省転換期にさしかかって来ているようだ。いろいろなことがとり上げられよう。皆さんから問題を提起してほしい。ロータリーの権威主義、排他主義、マンネリ化、形式主義、孤立化、クラブ間の交流、他地区との交流、毎週の例会も「これでよいのか」と疑問視する新会員も声を上げてほしい。「ガバナーのひとり言」に対して一方交通でなく返ってくるものを期待して止まない。

任期を無事終えられ、P.G.となられてからも、数名のクラブの若い会員と月一度の勉強会を持ち、青年のような情熱をもって、ロータリーの在り方を語り合われた姿は、本当に青年そのものであったと思います。

痩身で一見ひ弱に見えながら、筋の通った強い意志に裏付けされた語り口――寡黙ではあるが、とつとつと話される山賀さんのお声を聞くことはなくなりました。

そして、あの一年を通じて多くのことを学び教えていただく機会を得たことをなつかしく思い、大切にしたいと思うこの頃であります。

ロビンズRI会長代理をむかえて

竹山ガバナー年度の地区大会（札幌）が終わった翌朝（S58.10.10.）故森松P.G.からRI会長代理夫妻が、前日夕刊で知った小樽の北一硝子を是非見たいとの事なのでよろしくとの電話。早速山賀P.G.に連絡同道していただくと共に北村会員（女子短学長）三箇クラブ幹事に案内役をお願いした。北一硝子、小樽港（写真）、祝津海岸、天狗山等、楽しい秋の一日を過ごしていただいたと思う。改めて山賀、森松両P.G.北村会員のご冥福を祈ります。

小樽ロータリークラブ
金榮　善彦

IGFで挨拶する山賀ガバナー

ロビンズRI会長代理ご夫妻と小樽港にて

1982〜1983年度国際ロータリー第251地区組織図

◎印　委員長

地区ガバナー
山賀　勇（小樽）

分区代理

分区	分区代理
1	西沢　良知（赤平）
2	竹松　洋（美唄）
3	鷲山　寿丸（札東）
4	加藤　登雄（岩内）
5	山崎　正寿（苫北）
6	皆川　英貞（登別）
7	市川　芳夫（函北）

地区協議会
1983，6，19（札幌市）

地区大会
1982，10，16・17（小樽市）

地区幹事、会計
- 幹　事　堀元　民夫（小樽）
- 副幹事　金栄　啓彦（小樽）
- 〃　中村　康（札南）
- 会　計　高橋　政幸（小樽）

地区資金委員会
- ◎井上　清（小樽）
- 佐野　肇（札南）
- 田中　賢一（苫小牧）

ロータリー米山奨学会
- 理　事　滝本　庄蔵（札西）
- 評議員　山賀　勇（小樽）
- 〃　竹山　涼一（札南）
- 〃　佐久間三八（苫小牧）

ロータリーの友委員会
- 地区委員　道井孝太郎（札東）

地区諮問委員会
- 坂牛直太郎（小樽）
- 滝本　庄蔵（札西）
- 寿原　九郎（札西北）
- 秋山康之進（札幌）
- 河野　通正（深川）
- 富田　恭（函東）
- 塩谷　猛（札西）
- 森松　定男（札南）
- 大野　和男（札幌）
- 伊藤　義郎（札幌）
- 富田　嘉市（室蘭）
- 太宰　六郎（函館）
- 小川　忠一（札東）
- 佐久間三八（苫小牧）
- 竹山　涼一（札南）

地区ガバナー指名委員会
- ◎佐久間三八（苫小牧）
- 伊藤　義郎（札幌）
- 富田　嘉市（室蘭）
- 太宰　六郎（函館）
- 小川　忠一（札東）

地区大会準備委員会
- 委員長　杉江雄太郎（小樽）
- 副委員長　新谷篤太郎（小樽）
- 副委員長　藤山郷三郎（小樽）
- 幹　事　本田　壮俊（小樽）
- 会　計　渡辺　吉博（小樽）
- S.A.A　堀岡　清（小樽）

地区委員会

クラブ奉仕
- ◎小川　忠一（札幌東）
- 森松　定男（札幌南）
- 大野　和男（札幌）
- 今井　寛（小樽）

職業奉仕
- ◎塩谷　猛（札幌西）
- 滝本　庄蔵（札幌西）
- 河野　通正（深川）
- 村山　裕（小樽）

社会奉仕
- ◎富田　嘉市（室蘭）
- 富田　恭（函館東）
- 太宰　六郎（函館）
- 本間　哲衛（岩内）

国際奉仕
- ◎伊藤　義郎（札幌）
- 秋山康之助（札幌）
- 坂牛直太郎（小樽）
- 新見　健（留萌）

青少年交換
- ◎中田　靖泰（札幌南）
- 北村　正司（小樽）
- 早崎　弘晃（札幌東）
- 長谷井真信（札幌西）
- 松本　修（函館北）

世界社会奉仕
- ◎山下　博（札幌西）
- 徳苅　金吾（札幌西）
- 木村　利彦（札幌南）
- 原崎　博（札幌南）

広報
- ◎阿部文一郎（札幌西）
- 渡辺喜久雄（札幌）
- 南　順二（札幌）
- 沢田　晋（札幌）

地区委員会

拡大
- ◎[illegible]（余市）　阿部　[illegible]（留萌）
- 武田　[illegible]（[illegible]）　鈴木　[illegible]（札幌西北）
- 伊藤　[illegible]（[illegible]）　竹川　[illegible]（[illegible]）
- 黒沢幸太郎（[illegible]）

青少年奉仕
- ◎山田　功（岩見沢）
- 田中　公（札幌東）
- 佐藤　玄一（苫小牧）
- 霊泉寺　寛（札幌北）

インターアクト
- ◎田中　公（札幌東）
- 辺藤　広雄（室蘭東）
- 徳島　年久（登別）
- 山本　正信（札幌）

ローターアクト
- ◎霊泉寺　寛（札幌東）
- 渡部　英次（留萌）
- 相馬　寛（赤平）
- 本橋　昌三（深川）

ロータリー米山奨学会
- ◎林　恭雄（札幌西）
- 滝本　庄蔵（札幌西）
- 伊藤　太郎（札幌）
- 森松　定男（札幌南）

ロータリー財団
- ◎太宰　六郎（函館）
- 皆川　武夫（小樽）
- 堀元　豊（滝川）
- 芳賀　孝郎（札幌西）

財団奨学生並学友
- ◎石垣　博美（札幌西）
- 金田　祐一（札幌北）
- 浜　悦郎（札幌北）

G.S.E
- ◎山本　正夫（札幌）
- 永尾　英士（苫小牧）
- 牛島　弘晋（深川）

ロータリー文庫委員会
- ◎大野　和男（札幌）
- 西条　正博（札幌）
- 越山　司（札幌）
- 白石　欽一（札手稲）

国際ロータリー委員

アジア地域諮問委員会
- 副委員長　伊藤　義郎（札幌）

1983年国際大会（カナダ・トロント）
- 委　員　伊藤　義郎（札幌）

国内委員

ロータリー文庫運営委員会
- 委　員　大野　和男（札幌）

ロータリー米山奨学会
- 理　事　滝本　庄蔵（札幌西）

地区拡大カウンセラー委員会
- ◎1年委員　太宰　六郎（函館）
- 2年委員　小川　忠一（札幌東）
- 3年委員　佐久間三八（苫小牧）

オンツートロント委員会
- 委員長　伊藤　義郎（札幌）
- 竹山　涼一（札幌南）
- 山本　正夫（札幌）

1983～84年度 "SHARE ROTARY—SERVE PEOPLE"
「みんなにロータリーを—みんなに奉仕を」

RI会長 ウィリアムE. スケルトン　ガバナー 竹山涼一

略　　歴　昭18年旧制小樽高商卒業
昭24年竹山食品工業㈱専務取締役
昭45年竹山食品工業㈱代表取締役社長

ロータリー歴　昭31年札幌南RC入会
昭35年札幌南RC幹事
昭52年札幌南RC会長
ポール・ハリス・フェロー

生年月日　大13.3.24（札幌市）

運営方針　「みんなにロータリーを、みんなに奉仕を」分かち合うこと、それはロータリーの会員でない人にロータリーを味わって貰うこと。「会員増強」が今年度のテーマです。

重点施策　①ロータリーへの関心を高めよう
②ロータリーを知ることが楽しいクラブライフの鍵になってくるように進めよう
③ロータリー入会の時にしたロータリーとの約束をもう一度思い起こしてみよう
④ロータリーを、もっと単純化してとらえよう
⑤自分なりのロータリーの魅力を発見しよう

日本選出RI理事（1982～84）末永　直行（福岡西RC）　（1983～85）菅野多利雄（塩釜RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	20,836	1,631	60	新札幌ロータリークラブ
会員数	952,750	93,213	3,547	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第75回）	バーミンガム（英国）	6月3日～7日	ウィリアムE. スケルトン	22,452	
地区大会	北海道厚生年金会館 札幌パークホテル	10月8日 9日	ウィリアムR. ロビンズ	1,969	札幌南
	大会テーマ："ENJOYMENT FOR ALL"　みんなに楽しさを—みんなに友情を 特別講演：「この頃思うこと」　作家　城山　三郎				
地区協議会	札幌ローヤルホテル	6月17日	G：竹山　涼一 GN：河郁文一郎	494	札幌東

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	地島　綱敏	5月20日	羽幌町児童会館	羽幌	261名
第2分区	永池　暁三	3月20日	栗山中央公民館	栗山	168名
第3分区	中森　清治	4月14日	平安閣	札幌幌南	323名
第4分区	富樫美津雄	4月8日	倶知安町第一会館	倶知安	161名
第5分区	永野　滋之	4月1日	日高地方婦人会館	静内	186名
第6分区	田村　武夫	5月13日	ホテルニュージャパン	室蘭東	236名
第7分区	赤塚　繁夫	4月22日	長万部町福祉センター	長万部	277名

1．SHARE ROTARY—SERVE PEOPLE

みんなにロータリーを—みんなに奉仕を

私の年度はすべてこのテーマで終始した観がありました。一言にしていうなら拡大・増強です。実はあとで分かったのでありますが私の着任する2年前、1981年度末からの一年間に、いわゆる既存クラブの会員数が1,200人程減少したことで、危機感をもったスケルトン会長がこのテーマを択んだと思われます。

RI会長賞という言葉も私の記憶に誤りがなければ、初めて登場したのではないかと思います。そして空前絶後というと少し大げさですが、私たちがガバナー・ノミニーの頃にはこのテーマが原語で知らされ、その日本訳を公募するという形がとられました。

結局決定した訳語は表題の通りで、かなりな意訳でしたが、覚え易く会員増強の熱意を端的に表現したものでした。

当然その結果として、国内の様々な会合その他で「ロータリーは量か質か」の論議が展開されました。「ふやせば質が低下する」「いや今はもう量が質をつくり出す時代だ」等々様々な意見が先輩ガバナーから出されました。

当時の国際協議会は5月中旬頃フロリダ州が開かれましたが、当時のRI理事末永さんがご自分の担当された「会員増強」の論説の中で、現在世界は一部分を除けば、かなりな高率で中流化時代に入っているという卓見を、実例を挙げて発表されたことが、今でも私の耳に残っております。

現職ガバナーとして、私は否応なしにこの命題を実行することにしました。しかし私のやり方は会員を闇雲にふやすのではなく、換言すれば外部の人々にシェアすることと共にクラブの中でのロータリーのシェアも忘れないように強調することでした。そうでなければ、いわゆる笊で水を掬う現象が起きるからです。それから数年後「退会防止」という命題がRIから改めて強調されたのを覚えています。

2．地 区 大 会

みんなに楽しさを—みんなに友情を

スケルトン会長のテーマに語呂を合わせて大会テーマができ上がり、当時は「秋祭り」ともいわれていた地区大会は10月初旬、札幌パークホテルと厚生年金会館で開かれました。会長代理は1974—75のRI会長ビル・ロビンス氏、私のクラブの故森松パストガバナーと同年度のRI会長だったことは、力強い偶然でした。さらに加えて東ヶ崎元会長と向笠直前会長の両夫妻もおいでになり、菅野理事も出席されました。RI会長経験者が3人も揃った地区大会はめったにありません。

しかし皆さん良い方々でした。優しい心の持ち主でした。大会前夜のレセプションで私は自分の娘を東京から呼んでピアノを弾いてもらいました。そのもてなしについて、お三人とも、時折の手紙に書いてくれました。

残念ながら日本のお二方は逝去されましたが、ロビンスさんはフロリダ州で元気に暮らしておられ、未だにお便りをいたゞいています。

大会のフィナーレで、高齢だった東ヶ崎元会長以外のお二人と菅野理事、タレントの雪村いずみさんと共にステージで歌ったことの想い出は一生忘れることはないでしょう。

3．バーミンガム国際大会

私の年度の掉尾を飾る国際大会は6月初旬英国のバーミンガムで開かれましたが、そこでは予想もしないハプニングが待っていました。世界408人の地区ガバナーから何人の会長賞受賞者が出たのか、今もって判然としませんが、米国、英国、日本から三名の代表者が選ばれ、日本からの代表として私が選ばれたのです。当時の月信にも書きましたが、この栄誉のほとんどは、一年間ご協力いたゞいた全クラブの会長・分区代理・地区幹事はじめ地区のスタッフの皆さんに与えられたものと今でも確信しています。ほんとうに有り難うございました。

1996年RI理事イレクト　竹山　涼一

なごやかな地区年次大会での一コマ

1983～1984年度国際ロータリー第251地区組織図

地区ガバナー
竹山 涼一

地区協議会

地区大会

米山記念奨学会
理事
森松 定男（PG）

分区代理
1 地島 綱敏（羽幌）
2 永池 暁三（栗山）
3 中森 清治（札幌幌南）
4 富樫美津雄（倶知安）
5 永野 滋之（静内）
6 田村 武夫（室蘭東）
7 赤塚 繁夫（長万部）

ガバナー諮問委員会
坂牛直太郎 伊藤 鎮郎
滝本 庄蔵 富田 嘉市
河野 通正 太宰 六郎
富田 恭 小川 忠一
塩谷 猛 佐久間三八
森松 定男 山賀 勇
以上全員PG
河郁文一郎（GN）

ガバナー指名委員会
◎山賀 勇（PG）
富田 嘉市（PG）
太宰 六郎（PG）
小川 忠一（PG）
佐久間三八（PG）

地区資金委員会
◎佐野 肇（札幌南）
川守田勇一（札幌西）
井上 滑（小樽）

地区ロータリー文庫委員会
◎西條 正博（札幌）
越山 司（札幌）

地区幹事・会計
幹事 中村 康（札幌南）
副幹事 加藤 正雄（札幌南）
〃 金井 英明（札幌南）
〃 林 春雄（札幌西）
会計 野原 俊司（札幌南）

ロータリー文庫運営委員会
山賀 勇（PG）

ロータリーの友委員会
地区委員
川del 誠（札幌南）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕
カウンセラー
富田 嘉市（PG）

職業奉仕
カウンセラー
太宰 六郎（PG）

社会奉仕
カウンセラー
塩谷 猛（PG）

青少年奉仕
◎山田 功（岩見沢）
松丸 篤蔵（江別）
佐藤 玄一（苫小牧）
坂田 憲哉（札幌南）
〔インターアクト〕
◎田中 公（札幌東）
遠藤 広雄（室蘭東）
山本 正佃（札幌）
秦 正見（札幌幌南）
大居 正光（岩見沢）
〔ローターアクト〕
◎矢橋 温郎（札幌西）
秦泉寺 寛（札幌北）
中島 勝彦（室蘭）
庄崎 之男（岩内）
斉藤 紀一（函館北）

国際奉仕
◎白石 欽一（札幌手稲）
藤居 周一（札幌南）
徳苅 金吾（札幌西）
佐々木 爽（深川）
〔世界社会奉仕〕
◎原崎 博（札幌幌南）
野村 昭光（札幌東）
藤林 幸広（札幌西北）
金岡 祐一（札幌北）
〔青少年交換〕
○北村 正司（小樽）
長谷井真佶（札幌西）
早崎 弘晃（札幌東）
松本 修（函館北）

ロータリー財団
◎秋山 宏（札幌南）
米光 徳蔵（室蘭）
吉村 普晴（苫小牧）
〔財団奨学生並学友〕
◎石垣 博美（札幌西）
洪 悦郎（札幌北）
畠山三代喜（札幌西）
浜口 貞雄（小樽南）
〔研究グループ交換〕
◎山本 正夫（札幌）
岡崎 純（札幌西）
牛島 弘晋（深川）

広報
◎渡辺喜久雄（札幌）
沢田 晋（札幌）
大津 慶吾（札幌）
山本 遼雄（札幌）
村野源五郎（札幌南）
川崎 秀雄（札幌南）

拡大
カウンセラー
◎小川 忠一（PG）
佐久間三八（PG）
山賀 勇（PG）

会員増強
◎森松 定男（PG）
地島 綱敏（羽幌）
永池 暁三（栗山）
中森 清治（札幌幌南）
富樫美津雄（倶知安）
永野 滋之（静内）
田村 武夫（室蘭東）
赤塚 繁夫（長万部）

米山記念奨学生
◎田畑 武夫（札幌南）
伏木 忠丁（札幌西）
八戸 芳夫（札幌北）
伊藤 純（札幌南）

◎印委員長 ○印委員長代行

1984～85年度 “Discover a New World of Service”
「見つけよう　奉仕の新生面」

RI会長 カルロス・カンセコ　ガバナー 河郁文一郎

略　　歴　昭16年北大医学部卒業
　　　　　昭27年札幌医大教授
　　　　　昭58年札幌医大名誉教授
　　　　　　　登別厚生年金病院院長
ロータリー歴　昭37年札幌西RC入会
　　　　　　　昭46年札幌西RC会長
　　　　　　　昭55年第3分区代理
　　　　　　　　　ポール・ハリス・フェロー
生年月日　大6.4.15（小樽市）

運営方針　見つけよう　奉仕の折生面
重点施策　①新ロータリアンを見つけること
　　　　　②新ロータリークラブを見つけること
　　　　　③新インターアクトクラブ・新ローターアクトクラブを見つけること
　　　　　④新ロータリー友人を見つけること
　　　　　⑤新奉仕の分野を見つけること

日本選出RI理事（1983～84）　　菅野多利雄（塩釜RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	21,658	1,675	60	
会員数	983,929	96,332	3,559	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第76回）	カンザスシティー（ミズーリ州）	5月26日～30日	カルロス・カンセコ	12,920	
地区大会	北海道厚生年金会館	9月15日 16日	サビノ・サントス	1,904	札幌西
	大会テーマ：アジアとロータリー 特別演奏会：札幌交響楽団　指揮　大場陽一郎				
地区協議会	江別市民会館	4月14日	G：河郁文一郎 GN：望月　武義	545	江　別

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1・第2分区合同	宮本　外松 瓜　健夫	5月12日	砂川市・公民館	砂　川	174名
第3分区	松丸　篤蔵	3月24日	岩見沢市・文化センター	岩見沢	228名
第4・第5分区合同	勝木　郁郎 和田庄太郎	4月20日	札幌市・京王プラザホテル	札　幌	489名
第6分区	新見　健	6月2日	蘭越町・山村開発センター	蘭　越	130名
第7分区	宮崎　善夫	3月10日	苫小牧市・ホテルニュー王子	苫小牧・苫小牧北	238名
第8分区	藤井　正	2月24日	浦河町・浦河福祉センター	浦　河	126名
第9分区	寺田　茂己	3月3日	伊達市・ローヤル	伊　達	195名
第10・第11分区合同	渡部秀次郎 光銭　吉郎	4月21日	函館市・ホテル函館ロイヤル	函館東	375名

※11月21日、札幌パークホテルに於いて札幌クラブがホストとして、カルロス・カンセコRI会長夫妻歓迎インターシティミーティング開催。

わがガバナー年度をふりかえって

地区予算、地区大会、ライラなど

地区ガバナーをお引き受けしたとき私の頭に浮かんできたアイディアは、アメリカの地方都市のRCの質素で実際的な運営法だった。先ず事務費の節約だが、なかでも会議費の節約のため、地区の委員会やガバナー諮問委員会は、やむをえぬ場合を除き使用料の高いホテルを避け、ガバナー事務所で催し、近所の店からの仕出し弁当で我慢して頂いた。その結果、必要な地区活動の費用に適宜ふり向けえたのみならず、かなりの予算残額を次年度へ繰越せた。さらに年来の私の持論でもあった地区の一般予算と特別予算の安易な流用を避け、ことに特別予算については残額ないし積立金を手つかずのまま次年度送りするようにした。

その年度のRI会長カルロス・カンセコ氏の掲げたテーマが、直訳すると〝発見せよ、奉仕の新世界〟だったことを考慮し、ロータリー情報活動の推進を先ず重点目標の1つに据えた。方策としては、地区情報資料室の整備と活用であり、それによるロータリーのルールを学ぶ楽しさを会員の間に拡めたいと願ったのだが、このときの越山司委員の熱心な活動は忘れがたい。

重点事業の第2は、地区内クラブの世界社会奉仕活動の推進だった。人も知るわが地区の世界社会奉仕活動のスタートは1973～74年度からだが、その動機となったのはその前年度（塩谷ガバナー年度）の札幌市における地区大会の、特別番組ともいうべきタウン・ミーティング〝ロータリーはアジアに対してなにをなしうるか〟であった。シンポジストにはタイ国、フィリピン、韓国、日本からのリーダー的なロータリアンで、その選出は前年度のRI会長東ヶ崎潔氏の好意ある推せんに基づくものだった。果たせるかな、討議の成果は充実し、かつ極めて示唆に富むものであった。

翌年度（柿本ガバナー年度）、前記のタウン・ミーティングの議長をつとめた私が地区世界社会奉仕委員長になり、現地調査の目的でフィリピンに派遣され、同じタウン・ミーティングのシンポジストであったサビノ・サントス氏の全面的な協力でこの奉仕が本格的なものに育つことになるのだが、その詳細は1984～85年度ガバナー月信第14号を参照して頂きたい。ここではかつての夢の再現を期して、私の地区ガバナー年度の地区大会にもう一度、前回とほぼ同じ顔ぶれにマレーシアからの新人を加えて、〝アジアとロータリー〟なるタウン・ミーティングが開かれたことを報告しておきたい（1984～85年度ガバナー月信第4号参照）。その成果は十分手ごたえあるものであった。

私の年度の活動でもう一つ取り上げるとすれば、ライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム：RYLA）をはじめて断行したことであろう。ライラは1959年、オーストラリアのある地区が英国王女の来訪にさいし全国から集まった青少年リーダーを対象に催したのが発祥とされる。あっという間に全世界に拡がり、日本への導入は1976年だった。わが地区が立ち遅れたのは主として財政的な理由だったようだ。私はガバナー就任と同時にこ

フィリピン・サンパブロの障害児学校児童器楽バンドの歓迎（'84年11月）。長年にわたるWCSの成果。

アジア地域大会の姉妹提携地区等研究会（'84年11月）で演説する河郁。右から２人目がカンセコRI会長。

ライラ（'85年５月実施）第１日のグループ別討論会の実況。

フィリピン・ローターアクト研修旅行団が'85年５月末来札、地元アクターと交流し友愛を深めた。

の計画を再検討し、私案を地区の関連委員会に諮り、公式訪問のさい各クラブに提案したが、打てば響くような賛同を得た。

この第１回のライラの特徴は、地区の年度予算外の催しだったことである。参加青年の人選、札幌までの旅費負担という条件を受け入れて参加したクラブ数は、当時の地区内クラブ総数60のうち40だった。ライラは１泊２日の一部野外活動を織り込んだセミナー型とした（1995～96年度ガバナー月信第２号参照）。収穫は多大だったが、反省すべき点は参加者のほとんどがロータリアンの子弟やアクターだったことだ。各RC地域社会の各分野から現役の青少年リーダーないし候補者を選び参加させることが、今後ともライラ成功の鍵であると思う。

第2510地区パストガバナー

河郁文一郎

1984～1985年度国際ロータリー第251地区組織図

地区ガバナー
河 郁 文一郎

地区協議会

地区大会

米山記念奨学会
理　事
森松　定男(PG)

ロータリー文庫運営委員会
委　員
山賀　　勇(PG)

ロータリーの友
顧　問
竹山　涼一(PG)
地区委員
川浦　　誠(札幌南)

分区代理
1．宮本　外松(妹背牛)
2．瓜　　健夫(砂　川)
3．松丸　篤蔵(江　別)
4．勝木　郁郎(札　幌)
5．和田庄太郎(札幌南)
6．新見　　健(蘭　越)
7．宮崎　善夫(苫小牧)
8．藤井　　正(浦　河)
9．寺田　茂己(伊　達)
10．渡部秀次郎(函館亀田)
11．光銭　吉郎(函館東)

ガバナー諮問委員会
坂牛直太郎　太宰　六郎
滝本　庄蔵　小川　忠一
塩谷　　猛　佐久間三八
森松　定男　山賀　　勇
伊藤　義郎　竹山　涼一
富田　嘉市
以上全員PG
望月　武義(GN)

ガバナー指名委員会
◎竹山　涼一　(PG)
太宰　六郎　(PG)
小川　忠一　(PG)
佐久間三八　(PG)
山賀　　勇　(PG)

地区資金委員会
川守田　勇一　(札幌西)
五十嵐与一郎　(岩見沢)
佐　野　　幣　(札幌南)

地区情報資料室
◎山賀　　勇　(P　G)
○越山　　司　(札　幌)
三浦　祐晶　(札幌北)
三嶋　茂雄　(岩見沢)
西條　正博　(札　幌)

協力：札幌RC資料委員会

地区幹事・会計
幹　事　笹原　克己(札幌西)
副幹事　上井　鉄造(札幌西)
〃　岡崎　　純(札幌西)
〃　越山　　司(札　幌)
〃　浅野　勝三(岩見沢)
会　計　石丸　文蔵(札幌西)

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕
カウンセラー
小川　忠一(PG)

職業奉仕
カウンセラー
伊藤　義郎(PG)

社会奉仕
カウンセラー
富田　嘉市(PG)

青少年奉仕
◎山田　　功(岩見沢)
吉村外茂二(芦　別)
高田　春夫(札幌幌南)
佐藤　秀雄(千　歳)
〔インターアクト〕
◎田中　　公(札幌東)
山本　正信(札　幌)
宮入　紀行(岩見沢)
外村　一也(函館五稜郭)
徳島　年久(登　別)
遠藤　広雄(室蘭東)
〔ローターアクト〕
◎矢橋　温郎(札幌西)
庄崎　之男(岩　内)
斉藤　紀一(函館北)
中島　勝彦(室　蘭)
金森　邦輝(留　萌)

国際奉仕
◎塩谷　　猛(札幌西)
佐々木　実(深　川)
斉藤　利信(札幌手稲)
三浦　祐晶(札幌北)
田辺　恒義(当　別)
〔世界社会奉仕〕
◎石井禎八朗(札幌西)
原崎　　博(札幌幌南)
伏木　忠了(札幌西)
本田　　勇(札幌真駒内)
下川　安長(留　萌)
〔青少年交換〕
◎西村　雅吉(札幌西)
伊藤　千秋(札幌西)
北村　正司(小　樽)
早崎　弘晃(札幌東)
畑中　俊介(札幌南)
田中　　宏(札幌北)

ロータリー財団
◎西條　正博(札　幌)
金栄　義彦(小　樽)
秋山　　宏(札幌南)
吉村　義晴(苫小牧)
〔財団並び学友〕
◎洪　　悦郎(札幌北)
石垣　博美(札幌西)
浜口　貞雄(小樽南)
佐藤　　章(札幌北)
〔G．S．E〕
◎山本　正夫(札　幌)
洪　　悦郎(札幌北)
大久保五郎(札幌北)
牛島　弘善(深　川)
徳田　　勲(札幌西)
根田　　満(岩見沢)

広報
◎大津　慶吾(札　幌)
山本　達雄(札　幌)
花田　昂樹(札　幌)
渡辺喜久雄(札　幌)
瀬戸　丈水(札　幌)

拡大
◎佐久間三八(P　G)
山賀　　勇(P　G)
竹山　涼一(P　G)

会員増強
◎太宰　六郎(P　G)
宮本　外松(妹背牛)
瓜　　健夫(砂　川)
松丸　篤蔵(江　別)
勝木　郁郎(札　幌)
和田庄太郎(札幌南)
新見　　健(蘭　越)
宮崎　善夫(苫小牧)
藤井　　正(浦　河)
寺田　茂己(伊　達)
渡部秀次郎(函館亀田)
光銭　吉郎(函館東)

米山記念奨学会
◎田畑　武夫(札幌南)
斉藤　久名(札幌西)
八戸　芳夫(札幌北)
市川　芳夫(函館北)
三谷栄四郎(岩見沢)

1985～86年度 "YOU ARE THE KEY"
「あなたが鍵です」

RI会長 エドワードF・カドマン　ガバナー 望月武義

略　　歴　昭18年明治大学政治経済科卒業
昭19年計理士登録、23年開業
昭41年公認会計士登録、開業
ロータリー歴　昭32年岩見沢RC入会
昭33年岩見沢RC幹事
昭36年岩見沢RC会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者
生年月日　大5.1.22（長沼町）

運営方針　地域に奉仕の扉を開こう
クラブ運営の原点は親睦にある！
「他人に対する思いやりと助け合いの心」から「超我の奉仕」の実践
重点施策　◎会員増強（7名純増目標）
◎「地域社会と共に歩む奉仕活動」

日本選出RI理事（1985～87）　伊藤　恭一（大阪RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	22,365	1,727	60	
会員数	1,013,033	99,523	3,608	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第77回）	ラスベガス（ネバダ州）	6月1日～4日	エドワード・F・カドマン	18,426	
地区大会	岩見沢市民会館 岩見沢文化センター	9月20日～22日	レビット・H・クレーヴン	1,670	岩見沢 岩見沢東
	大会テーマ：地域に奉仕の扉を開こう 特別講演：「どう燃えて生きるか一私の生き方一」　女優　戸川　昌子				
地区協議会	札幌市教育文化会館	5月11日	三浦　祐昌	465	札幌西北

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1・第2分区合同	垣内　勝 坪谷　六郎	4月27日	滝川市・ホテルスエヒロ	滝　川	453名
第3分区	小山　利雄	4月13日	栗沢町・栗沢町民	栗　沢	216名
第4・第5分区合同	白石　欽一 船本　達世	4月5日	札幌市・ホテルヤマチ	札幌手稲	301名
第6分区	河崎　義章	5月25日	小樽市・北海ホテル	小樽銭函	140名
第7分区	千葉　正	3月2日	千歳市・日航ホテル	千　歳	234名
第8分区	菅　信三	2月16日	三石町・三石福祉センター	三　石	88名
第9分区	坂本　英治	3月30日	室蘭市・中島神社蓬峡殿	室蘭北	204名
第10・第11分区合同	原岡　壬吉 滝野　敏弥	4月19日	函館市・ホテルアカシア	函館五稜郭	354名

1985～'86 ロータリー年度を顧みて

私の年度における重点目標

私は地区内ロータリアンの１人１人が、自分は国際ロータリーというリングの一環であるという自覚と認識の上に立って、私共の先輩ロータリアンが、歩んで来られた軌跡を尊重しながらも、ともすれば形式的・惰性的に陥り勝ちな奉仕活動から脱却して「地域社会と共に歩む奉仕活動」に新生面を拓いていくことを重点に５つの目標を立てて参りました。

第一は、地区内ロータリアンの志気を鼓舞し、ロータリー情報の周知をはかる手段として「情報資料室月報」の発刊。

第二は、クラブ単位の奉仕活動において、地域社会と共に歩む奉仕活動への見直しをはかること。

第三は、組織の強化とクラブ運営の活性化をはかるため、会員の増強に最大の努力を払うこと。

第四は、青少年活動について一層の活性化をはかることを取り上げ、特にインターアクト、ローターアクトクラブの拡大増強とライラセミナーを効果的に実施すること。

第五は、ロータリー財団を含む国際奉仕関係のプロジェクトの推進について積極的に努力すること。

上記のプログラムの殆どを消化し、大きな成果を納めることの出来ましたことは、この上もないよろこびでありました。この成果に対し地区ガバナーの立場にあった私から深甚なる謝意と心からの敬意を表させて頂きます。皆さんご苦労様でございました。本当に有り難うございました。

（1985～'86ガバナー月信第14号より）

1985～'86年度地区年次大会を終えての感慨

９月21日、22日の両日岩見沢市民会館に於いて、地区内外から1,662名の参加を得て、カドマンR.I.会長代理として、レビットH.クレーヴンさんをお迎えし、盛況裡に終了を見ることの出来ましたことは、何にも勝る喜びであり、衷心より御礼を申し上げる次第でございます。有り難うございました。

そして本年度の地区年次大会における最大の課題は、カドマン会長の祈りにも似た希いを率直に受けとめ、ロータリアンの一人一人が「I am the key（私が鍵です）」という自覚の下に、真のロータリアンとなることを誓い合い新たな意欲をもって会員の増強に、自己研鑽による職業奉仕に、更には地域社会と共に歩む奉仕活動に挑む機会とすることにあったのであります。

この年次大会を動機づけとして、ロータリーの原点を見つめ直し、メンバー各位の自覚を通してクラブの活性化に一層の精進を続けられますよう、心から祈念申し上げる次第であります。

（1985～'86ガバナー月信第15号より）

記念演奏会 — 感動と陶酔の50分

RI会長カドマン氏と握手する
望月ガバナー

ニーハオ！ローターアクト台湾研修旅行

はなやかな交歓会—韓国ローターアクト来札

長万部RC公式訪問で未来の
ロータリアンと。

1985～1986年度国際ロータリー第251地区組織図

地区ガバナー
望月武義

ガバナーノミニー
三浦祐晶（札幌北）

米山記念奨学会
理事 森松定男（PG）

ロータリー文庫運営委員会

ロータリーの友委員会
委員 八戸芳夫（札幌北）

規定審議会代表議員
伊藤義郎（PG）

会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

分区代理

1	垣内　勝（深川）
2	坪谷六郎（滝川）
3	小山利雄（栗沢）
4	白石欽一（札幌手稲）
5	船本達世（札幌真駒内）
6	河崎義章（小樽銭函）
7	千葉　正（千歳）
8	菅　信三（三石）
9	坂本英治（室蘭北）
10	原岡壬吉（七飯）
11	滝野敏弥（函館五稜郭）

ガバナー諮問委員会
坂牛直太郎　太宰六郎
滝本庄蔵　小川忠一
塩谷　猛　佐久間三八
森松定男　山賀　勇
伊藤義郎　竹山涼一
富田嘉市　河邨文一郎

以上PG

三浦祐晶

GN

ガバナー指名委員会
○河邨文一郎　富田嘉市
坂牛直太郎　太宰六郎
滝本庄蔵　小川忠一
塩谷　猛　佐久間三八
森松定男　山賀　勇
伊藤義郎　竹山涼一

以上PG

三浦祐晶

GN

地区資金委員会
○五十嵐與一郎（岩見沢）
加藤高正（札幌北）
川守田勇一（札幌西）

地区情報資料室
○越山　司（札幌）
森居　清（岩見沢）
佐藤鉄弥（札幌北）

地区幹事・会計
幹事 浅野勝三（岩見沢）
副幹事 河瀬　登（岩見沢）
〃 武蔵信一（岩見沢）
〃 大居正光（岩見沢）
〃 亀田富三（岩見沢東）
〃 近藤良一（札幌北）

会計 片貝盛樹（岩見沢）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

四大奉仕部門

クラブ奉仕
カウンセラー
竹山　涼一（PG）

○寺田　茂己（伊達）
西沢　良知（赤平）
立川　一二（岩見沢）
白石　欽一（札幌手稲）

職業奉仕
カウンセラー
富田　嘉市（PG）

○石家久一郎（砂川）
石黒　稲平（江別）
新見　健（留萌）
小山　利雄（栗沢）

社会奉仕
カウンセラー
佐久間三八（PG）

○宮崎　善夫（苫小牧）
後藤　三雄（美唄）
渡部秀次郎（函館亀田）
河崎　義章（小樽銭函）

国際奉仕
カウンセラー
塩谷　猛（PG）

○河邨文一郎（PG）
石井稲八朗（札幌西）
洪　悦郎（札幌北）

（国際共同委員会）
○塩谷　猛（PG）
森松　定男（PG）
河邨文一郎（PG）
石井稲八朗（札幌西）

（世界社会奉仕委員会）
○石井稲八朗（札幌西）
原崎　博（札幌南）
伏木　忠了（札幌西）
本田　勇（札幌真駒内）
小林米三郎（栗山）
戸部　謙一（札幌西）

（青少年交換委員会）
○都留美都雄（札幌北）
畑中　俊介（札幌南）
田中　宏（札幌北）
岩城　秀晴（札幌南）
藤居　周一（札幌南）

地区特別委員会

青少年活動
カウンセラー
森松　定男（PG）

（ライラ委員会）
○髙田　春夫（札幌幌南）
矢橋　温郎（札幌西）
田中　公（札幌東）
沢田　豊（岩見沢）
髙野喜世志（江別）
秋　実（栗沢）

（インターアクト委員会）
○田中　公（札幌東）
山本　正信（札幌）
宮入　紀行（岩見沢）
遠藤　広雄（室蘭東）
徳島　年久（登別）
外村　一也（函館五稜郭）

（ローターアクト委員会）
○矢橋　温郎（札幌西）
斉藤　紀一（函館北）
中島　勝彦（室蘭）
金森　邦輝（留萌）
内村　久吾（岩見沢）
宮沢　正（札幌北）

広報
カウンセラー
小川　忠一（PG）

○富原　薫（札幌）
山本　達雄（札幌）
花田　昴樹（札幌）
渡辺喜久雄（札幌）

拡大
カウンセラー
山賀　勇（PG）
竹山　涼一（PG）
河邨文一郎（PG）

会員増強
カウンセラー
太宰　六郎（PG）

○松丸　篤蔵（江別）
垣内　勝（深川）
坪谷　六郎（滝川）
小山　利雄（栗沢）
白石　欽一（札幌手稲）
船本　達世（札幌真駒内）
河崎　義章（小樽銭函）
千葉　正（千歳）
菅　信三（三石）
坂本　英治（室蘭北）
原岡　壬吉（七飯）
滝野　敏弥（函館五稜郭）

ロータリー財団
カウンセラー

○西條　正博（札幌）
上井　鉄造（札幌西）
光銭　吉郎（函館東）
斉藤　宗男（札幌西北）

（財団並に学友委員会）
○石垣　博美（札幌西）
牧　陽一（岩見沢）
佐藤　章（札幌北）
浜口　貞雄（小樽南）

（GSE委員会）
○洪　悦郎（札幌北）
伊藤　千秋（札幌西）
大久保五郎（札幌北）
根田　満（岩見沢）
土谷　茂樹（江別）
岡田　泰紀（当別）
岡本　皓（滝川）

米山奨学会
カウンセラー
森松　定男（PG）

○田畑　武夫（札幌南）
笹原　克己（札幌西）
三谷栄四郎（岩見沢）
八戸　芳夫（札幌北）
市川　芳夫（函館北）
斉藤　久名（札幌西）
佐藤　健次（岩見沢東）

1986～87年度 “ROTARY BRINGS HOPE”
「ロータリーは希望をもたらす」

RI会長 マテオ・マット・カパラス　ガバナー 三浦祐晶

略　　歴　昭19年北海道大学医学部卒業
昭31年北海道大学医学部教授(皮膚科学)
昭60年北海道大学名誉教授
昭61年清田総合医療センター相談役

ロータリー歴　昭37年札幌東RC入会
昭46年札幌北RC初代会長、
ポール・ハリス・フェロー、
米山功労者

生年月日　大10.5.5（渡島管内森町）

運営方針

重点施策
①ロータリアンであることを自覚し、意欲と情熱をもって実践しよう。
②新しい希望の光をもっと多くの人々に、もっと多くの地域に注ぐために、ロータリーを増強し、拡大しよう。
③例会の出席を奨励しよう。
④次代を担う青少年の健全育成に努めよう。
⑤高齢者に対する奉仕活動を奨励し、地域における高齢者対策事業に協力しよう。
⑥国際理解を促進し、国際的な青少年育成に資することの大きい青少年交換を推進しよう。
⑦財団支援ポリオプラス計画の協力。

日本選出RI理事（1985～87）伊藤　恭一（大阪RC）　（1986～88）伊藤　義郎（札幌RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	23,095	1,779	60	
会員数	1,038,747	102,426	3,650	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第78回）	ミュンヘン（ドイツ）	6月7日～10日	マテオ・マット・カパラス	26,909	
地区大会	北海道厚生年金会館 札幌パークホテル	10月9日～11日	大橋　章一	1,897	札幌北
	大会テーマ：希望をもたらす奉仕のあり方 特別講演：「情報化時代のテレビの見方」　NHKニュースキャスター　曽我　健				
地区協議会	札幌共済サロン	5月11日	G：三浦　祐晶 GN：坂本　忠	461	札幌幌南

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	石川　健治	6月21日	留萌市・中央公民館	留萌	220名
第2分区	吉村外茂二	5月17日	芦別市・福祉センター	芦別	199名
第3分区	河瀬　登	3月15日	岩見沢市・文化センター	岩見沢	248名
第4・第5分区合同	長谷井真信 橋本　利弘	4月11日	札幌市・ローヤルホテル	札幌西 札幌東	491名
第6分区	杉江雄太郎	3月28日	小樽市・北海ホテル	小樽	151名
第7分区	清水　進	2月22日	恵庭市・市民会館	恵庭	237名

※カパラスRI会長歓迎合同例会が4月13日(水)札幌グランドホテルで市内10クラブ、710名が参加して開催される。（ホストクラブ札幌RC）

ロータリーに明け暮れた日々

私に地区ガバナー・ノミニー候補者の話があったのは、1984年（昭59）秋であるが、その頃の私は東クラブと北クラブで通算22年のロータリー歴があったとはいえ、甚だ不熱心な会員であったから、本当に思いもよらないことであった。しかし当時の北クラブの金岡祐一会長に相談したら、全面的に応援するから是非受けるようにというお薦めを頂戴し、また翌年3月には北大を定年退職することが決まっていたので、思い切って決心したのであった。幸いに北クラブ会員の皆さんの温かいご理解と精神的並びに経済的なご支援を得て、地区役員のスタッフも決まり、1985年11月には事務所が設置されて、準備が整えられたが、私自身はまだ落ち着かない気持ちで迷ったり焦ったりしている内に1986年を迎えたのである。

この年の国際協議会は、米国テネシー州・ナッシュビルのオプリーランドホテルで、1月25日から2月1日まで開催された。全世界447地区のガバナー・ノミニーが、ほとんどすべて夫人同伴で参加する国際色豊かな大会であった。「入りては学び」「出でては奉仕に邁進しよう」と、日本語を含めて8カ国語で表と裏にそれぞれ別々に書かれた大きな掲示板が天井から吊されている会場入口から入って、会場監督の出欠点検を受けながら毎日ロータリーの勉強がつづけられたが、食事やパーティーの席上では見知らぬ人達との会話もはずんで、忙しいながらも楽しい1週間であった。そして何よりもこの協議会に出席したことによりロータリーが急に身近なものになったことは確かであり、ガバナーとしての心構えもできたように思われた。帰国してから会長エレクト研修セミナーや地区協議会を終えて、6月1日から米国ラスベガスで開催された国際大会に出席したこともロータリーを知る上に大いに役立ったと思う。そして6月30日に東京でガバナー・ノミニー会議があって、7月1日からガバナーとしての年度がはじまったのである。

1986～87年度のモットー“Rotary Brings Hope”（ロータリーは希望をもたらす）を掲げて、私は7月14日の深川クラブを振り出しに約5カ月にわたる公式訪問をはじめた。私はRIの指示に従って原則的に1クラブに二日かけることとし、また各クラブの例会変更をなるべく避けるようにしたので、かなりきつい日程になったが、今まで行ったことのない地域を訪ねて多くの人達と知り合いになり、時には一緒に酒を酌み交わしながらロータリーを語り合ったことは、本当に楽しい思い出となった。クラブ協議会のあとで誘われて、二次会、三次会で良い気になってカラオケを唄って「カラオケ・ガバナー」の異名を頂戴したのは、我ながら不覚の至りであったと慚愧に堪えない。

私の年度は「ポリオ・プラス計画」が本格的に活動を開始し、また新たにロータリー村落共同体（R.V.C.）の設立が提唱された年であったが、現在ポリオ・プラスはおおむねその目的を達成し、R.V.C.は形を変えてわが地区でも結成されている。その他世界社会奉仕活動や青少年奉仕活動にもいささか意を注いだつもりであったが、それらももはや10年も前のことになってしまった。ともあれガバ

浦河ロータリークラブ公式訪問。例会で講演。'86.8.19

地区年次大会。三浦特別講演講師を紹介する。'86.10.10

長万部ロータリークラブ公式訪問。クラブ協議会のあとの懇親会。向かって左、村上分区代理(森クラブ)。右は赤塚長万部クラブ会員。'86.10.28

マット・カパラスRI会長夫妻。ミュンヘン国際大会にて。'87.6.7

ナーとしての１年間と、それに前後する２年あまりのほぼ３年余にわたる年月は、私にとっては正にロータリーに明け暮れた日々であった。もしガバナーでなかったならば、この期間は私の本来の仕事である医学書の執筆に費やされて、多分専門の著書が一冊生まれていた筈である。しかしロータリーのお陰で、私は一冊の本よりももっと貴重な何かを得たように思う。そしてそのことを私は今深く感謝しているのである。

第2510地区パストガバナー

三浦　祐晶

1986～1987年度国際ロータリー第251地区組織図

- 会長エレクト研修セミナー
- 地区協議会
- 地区大会

地区ガバナー
三浦祐晶（札幌北）

ガバナーノミニー
坂本　忠（札幌）

国際ロータリー理事
伊藤義郎（札幌）

分区代理

1	石川　健治（留萌）
2	吉村外茂二（芦別）
3	河瀬　登（岩見沢）
4	長谷井真信（札幌西）
5	橋本　利弘（札幌東）
6	杉江雄太郎（小樽）
7	清水　進（恵庭）
8	富越　誠也（えりも）
9	多田　定男（室蘭）
10	村上　栄一（森）
11	下郡山信一（函館北）

地区諮問委員会 P.G.& G.N.

滝本　庄蔵（札幌西）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
小川　忠一（札幌東）
佐久間三八（苫小牧）
山賀　勇（小樽）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
坂本　忠（札幌）

ガバナー指名委員会 P.G.& G.N.

◎望月　武義（岩見沢）
滝本　庄蔵（札幌西）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
小川　忠一（札幌東）
佐久間三八（苫小牧）
山賀　勇（小樽）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
坂本　忠（札幌）

地区資金委員会

◎加藤　高正（札幌北）
五十嵐与一郎（岩見沢）
林　鋭（札幌）

地区情報資料室

◎越山　司（札幌）
佐藤　鉄弥（札幌北）
長山　康雄（札幌北）
浅野　国夫（札幌）

地区大会委員会

委員長　佐藤　鉄弥（札幌北）

副委員長　高倉勤次郎（札幌北）
〃　長村　和雄（札幌北）
幹事　近藤　良一（札幌北）
S. A. A.　村川　舜一（札幌北）
会計　加藤　高正（札幌北）

地区幹事・会計

幹事　東泉寺　寛（札幌北）

副幹事　近藤　良一（札幌北）
〃　葛西　克己（札幌北）
〃　金田　弘夫（札幌北）
〃　堀居　信次（札幌北）
〃　越山　文哉（札幌）

会計　茂木　常一（札幌北）

ロータリーの友委員会

委員
岡崎　純（札幌西）

米山記念奨学会

理事
森松　定男（札幌南）

地区委員会

クラブ奉仕

カウンセラー　小川忠一

◎河崎　義章（小樽銭函）
深林　廣吉（札幌）
寺沢　栄一（札幌南）
戸井　康晃（滝川）

職業奉仕

カウンセラー　佐久間三八

◎船本　達世（真駒内）
新見　健（羅越）
村田　吉隆（深川）
土谷　茂樹（江別）

社会奉仕

カウンセラー　竹山涼一

◎宮崎　善夫（苫小牧）
關寺　恭朗（苫小牧北）
戸田　紀夫（当別）
宇佐美定男（新札幌）

国際奉仕

カウンセラー　塩谷猛

◎森松　定男（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
都留奥都雄（札幌北）
戸部　謙一（札幌西）
石井禎八朗（札幌西）

（国際共同委員会）
◎河邨文一郎（札幌西）
森松　定男（札幌南）
望月　武義（岩見沢）
久郷　昌夫（札幌）

（青少年交換委員会）
◎都留奥都雄（札幌北）
田中　宏（札幌北）
長沢　祐紀（札幌東）
岩瀬　一郎（札幌手稲）
渋谷　雄也（札幌西）
松本　修（函館北）
大坂　忠（札幌手稲）

（世界社会奉仕委員会）
◎戸部　謙一（札幌西）
原崎　博（札幌幌南）
石井禎八朗（札幌西）
指川　健（真駒内）

青少年奉仕

カウンセラー　森松定男

◎髙田　春夫（札幌幌南）
田中　公（札幌東）
宮沢　正（札幌北）
神代　利臣（札幌幌南）
谷口　良一（札幌北）

（インターアクト委員会）
◎田中　公（札幌東）
遠藤　広雄（室蘭東）
土合　和英（登別）
秋山　孝二（札幌）
内村　久吾（岩見沢）
松浦　百秋（五稜郭）

（ローターアクト委員会）
◎宮沢　正（札幌北）
斎藤　紀一（函館北）
千田　一彦（岩見沢）
梅庭　昭寛（岩内）
楠本　誠治（伊達）
相馬　寛（赤平）
加藤　一夫（札幌西）

広報

カウンセラー　富田嘉市

◎富原　薫（札幌）
山本　達雄（札幌）
渡辺喜久雄（札幌）

増強・拡大

カウンセラー
竹山涼一
河邨文一郎
望月武義

◎白石　欽一（札幌手稲）
石川　健治（留萌）
吉村外茂二（芦別）
河瀬　登（岩見沢）
長谷井真信（札幌西）
橋本　利弘（札幌東）
杉江雄太郎（小樽）
清水　進（恵庭）
富越　誠也（えりも）
多田　定男（室蘭）
村上　栄一（森）
下郡山信一（函館北）

ロータリー財団

カウンセラー　山賀勇

◎西條　正博（札幌）
上井　鉄造（札幌西）
藤林　幸廣（札幌西北）
光銭　吉郎（函館東）

（奨学生・学友委員会）
◎石垣　博美（札幌西）
金岡　祐一（札幌北）
浜口　貞雄（小樽南）
坂本　英治（室蘭北）

（G.S.E.委員会）
◎小林　博（札幌北）
大久保五郎（札幌北）
根田　満（岩見沢）

カウンセラー　河邨文一郎

（ポリオ・プラス委員会）
◎西條　正博（札幌）
上井　鉄造（札幌西）
光銭　吉郎（函館東）
坂本　英治（室蘭北）
根田　満（岩見沢）

米山記念奨学会

カウンセラー　望月武義

◎斎藤　久名（札幌西）
三谷栄四郎（岩見沢）
市川　芳夫（函館北）
富樫　英治（札幌南）
笹原　克己（札幌西）

1987～88年度 "ROTARIANS−UNITED IN SERVICE−DEDICATED TO PEACE"
「ロータリアン——奉仕に結束—平和に献身」

RI会長 チャールズC・ケラー　ガバナー 坂本　忠

略　　歴　昭6年愛知県第一師範学校第二部卒業
　　　　　昭43年宮澤鋼業株式会社代表取締役社長
ロータリー歴　昭36年9月6日札幌RC入会
　　　　　昭41年クラブ幹事
　　　　　昭44年地区資金委員
　　　　　昭54年クラブ会長、
　　　　　　　スターフェロー、米山功労者
生年月日　明42.11.25（山梨県）
　　　　（平7.8.2逝去 87歳）

運営方針　1987～88年度会長賞プログラムの参加　「共に奉仕するわれらの年度」
重点施策　①他者への奉仕がロータリーの真髄
　　　　　②この基本的概念のため我々は団結を強くして分裂しない
　　　　　③平和は私達の時代の唯一の至上命令です

日本選出RI理事（1986～88）　伊藤　義郎（札幌RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	23,679	1,814	61	札幌モーニングロータリークラブ
会員数	1,056,888	105,716	3,721	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第79回）	フィラデルフィア（ペンシルバニア州）	5月22日～25日	チャールズC・ケラー	16,316	
地区大会	札幌市民会館 札幌グランドホテル	9月26日 27日	宋　仁相	2,090	札幌
	大会テーマ：ロータリアン—奉仕に結束—平和に献身 特別講演：「世界の中の日本」　NHK放送総局特別主幹　磯村　尚徳				
地区協議会	札幌ロイヤルホテル	4月29日	G：坂本　忠 GN：大橋　康次	500	札幌西

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	中村　宏	5月15日	羽幌中央公民館	羽幌	202名
第2分区	相馬　寛	5月29日	赤平公民館	赤平	208名
第3分区	岡田　泰紀	4月17日	当別農業会館	当別	211名
第4・第5分区合同	武藤　健蔵 木村　利彦	4月9日	札幌ローヤルホテル	札幌西北 札幌幌南	509名
第6分区	富樫　英治	3月19日	小樽市、北海ホテル	小樽南	190名
第7分区	坂田　義和	6月4日	北広島団地住民センター	北広島	189名
第8分区	工藤　正	5月22日	様似町、中央公民館	様似	148名
第9分区	三浦　昭三	2月21日	洞爺湖、ホテル万世閣	洞爺湖	121名
第10・第11分区合同	田中　修市 棚田　清	3月26日	函館国際ホテル	函館 江差	380名

※ケラーRI会長ご夫妻歓迎合同例会が3月30日㈬札幌グランドホテルで60クラブ、387名が参加して開催される。（ホストクラブ札幌RC）

「ロータリーには哲学より倫理を」
の坂本　忠P.G.

坂本さんのGへの説得に当時クラブ会長として加担した一人であり、そしてその責任からもGとしての坂本さんに出来る限りのお手伝いをと決心した。以来病没時までの10数年、家族ぐるみのつき合いをいただき、その間自然と兄のように敬愛し思慕するようになった。その坂本PGのGE時からG期終了時までの約二年間をその時々のご自身の心情を述べられた文をここに転載して追慕することとした。

坂本PGはロータリーとは人と人とのふれ合いと、相互理解の場であり、謙虚な人間愛の上に立った心が一番大切と哲学より倫理性を重んじられたことは日頃の言動からも周知である。

「GNに推薦とは省みて自分にその資格は皆無で、むしろ恐ろしかった」。「ナッシュビルに於ける八日間の教育は素晴らしく、素人にGとして、よしやるぞと仕立てる」。この謙虚さと率直さが人情味豊かな坂本Gをよく表現している。

「家内も外国旅行に自信がついて旅行が楽しく、ローデンベルグ、ハイデルベルグ、ライン下り、パリと生まれて初めての夢のような旅行であった」。元来愛妻家であった坂本PGがこの旅行をいかに楽しまれたかが躍如としている一文である。

「公式訪問はGの持てる情報を提供申し上げ、我がクラブ、地区、そしてRIに対する知識と誇りと自覚を持てるように。そしてロータリアン同志としての友情親睦、楽しい語らい」と坂本さんらしい人間性溢れる公式訪問感である。

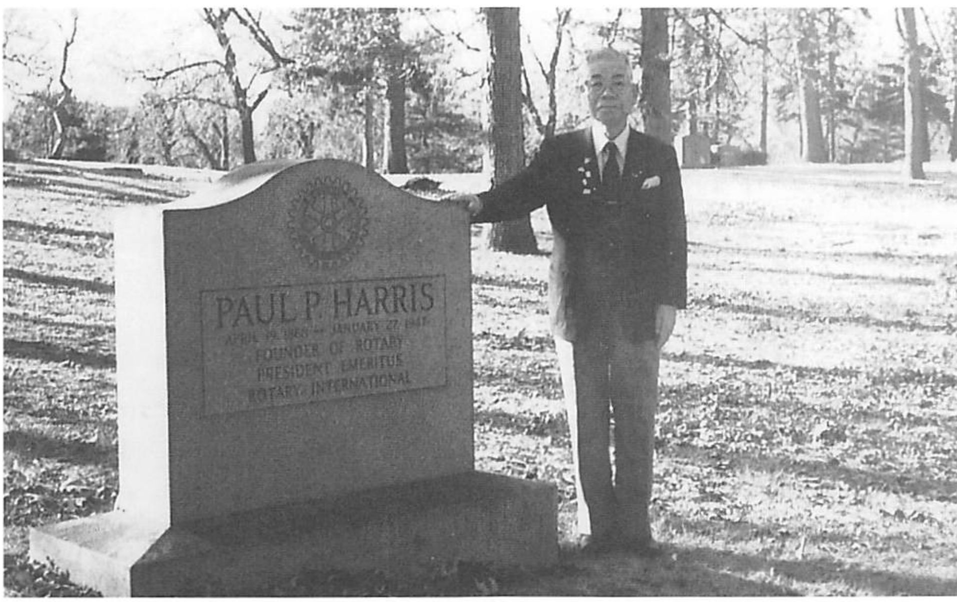
「地区最大の行事、年一度の旧交を温め、友情を交換し合う楽しさがあり、アイデアがあり、夢と喜びのある大会にさせていただきました」。大会の閉会宣言直後、壇上で宋会長代理夫人と坂本G夫人が互いに手を取り合い涙を抑えきれない姿は極めて印象的であり、地区大会としても稀有な光景で参加者の感動を誘った。ここで一言坂本PG夫人に言及する。夫人は大会準備の初期から実行委との相談役で連絡係であった。大会中は会長代理夫妻のホテルの部屋の細かい心配り、大会後の会長代理の地区内クラブ公式訪問の同行、引き続いての千歳空港までの見送りと、隠れた大会の大きな役割を見事に果たされている。

「三月八日ケラーRI会長ご夫妻を札幌にお迎えできた。伊藤組飛行機で、松江、網走、札幌、東京神田クラブを五日間で訪問された」。「ケラー会長の指示した〝モーニングクラブを作りなさい〟〝ポリオ募金を成功させなさい〟みんな出来た。これは偏に伊藤RI理事が当クラブご出身であった事。三浦PG、札幌モーニングクラブ近藤会長、堀居幹事さん、札幌北クラブのご支援、札幌クラブ会員全員にお世話になった。改めてどなた様にも深く謝意を表す」。

「私も昨年のこの月ナッシュビルから帰り、今思うと無我夢中と言うのが当時の心境でありました。早いものでもう一年になります。私はロータリークラブの発展は会長さんのリーダーシップによるものと思っています。会長さんが〝ロータリーの心〟をご指導いただ

ければ、クラブは必ず見違えるように良くなるものと確信致します」。
「人類の英知によって先人の深い思案によってここまで進展したロータリーを想う時、私は童心と寛容の精神と、善意と友情と協力でもう一踏張りしようと考えるこの頃でありまず」お元気だったありし日の坂本PGを想起させる一文です。この稿を終えるにあたり浄財1000万円を米山記念奨学会に寄贈された坂本PGのロータリーへの熱意と傾注を改めて認識しつつ、ご遺徳を偲びます。

札幌RC　久郷　昌夫



ポール・ハリスの墓前にて

いつも奥様とご同伴でした

1987～1988年度国際ロータリー第251地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

地区ガバナー
坂本　忠（札幌）

国際ロータリー理事
伊藤義郎（P.G.）

日本ポリオ・プラス委員会
委員及びトレジャラー
望月　武義（P.G.）
委員
三浦　祐晶（P.G.）

ロータリーの友委員会
委員
岡崎　純（札幌西）

米山記念奨学会
理事
森松　定男（P.G.）

分区代理
1 中村　宏（羽　幌）
2 相馬　寛（赤　平）
3 岡田泰紀（当　別）
4 武藤健蔵（札幌西北）
5 木村利彦（札幌幌南）
6 富樫英治（小樽南）
7 坂田義和（北広島）
8 工藤　正（様　似）
9 三浦昭三（洞爺湖）
10 田中修市（函　館）
11 棚田　清（江　差）

ガバナー諮問委員会（P.G.& G.N.）
塩谷　猛
森松定男
伊藤義郎
富田嘉市
太宰六郎
小川忠一
佐久間三八
竹山涼一
河邨文一郎
望月武義
三浦祐晶
大橋康次
籾谷真一

ガバナー指名委員会（P.G.& G.N.）
◎三浦祐晶
滝本庄蔵
塩谷　猛
森松定男
伊藤義郎
富田嘉市
太宰六郎
小川忠一
佐久間三八
竹山涼一
河邨文一郎
望月武義
大橋康次
籾谷真一

地区情報コーディネーター
三浦祐晶（P.G.）

地区資金委員会
◎林　饒（札　幌）
加藤高正（札幌北）
福山達彦（札幌東）

地区情報資料室
◎浅野国夫（札　幌）
林　英夫（札　幌）
長山康雄（札幌北）

地区幹事・会計
幹事　越山文哉（札　幌）
副幹事　浅野国夫（札　幌）
〃　半澤道郎（札　幌）
〃　松村亮一（札　幌）
〃　横井　久（札　幌）
〃　木村文教（札幌東）
会計　井後幸太郎（札　幌）

地区大会
委員長　佐藤　貢（札　幌）
副委員長　久郷昌夫（札　幌）
〃　森鼻武芳（札　幌）
幹事　越山　司（札　幌）
S.A.A.　小野純清（札　幌）
会計　大橋恒雄（札　幌）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕
カウンセラー
佐久間三八（P.G.）

職業奉仕
カウンセラー
竹山涼一（P.G.）

社会奉仕
カウンセラー
小川忠一（P.G.）

国際奉仕
カウンセラー
塩谷　猛（P.G.）

（国際共同委員会）
◎河邨文一郎（P.G.）

（青少年交換委員会）
◎洪　悦郎（札幌北）
佐藤　章（札幌北）
三成　脩（札幌西）
渋谷雄也（札幌西）
岩瀬一郎（札幌手稲）
大坂　忠（札幌手稲）
青木功喜（札幌東）
岩城秀晴（札幌南）
松本　修（函館北）

（世界社会奉仕委員会）
◎戸部謙一（札幌西）
佐々木敏雄（札　幌）
穂苅金吾（札幌西）
指川　健（札幌真駒内）

青少年奉仕
（インターアクト委員会）
◎岩崎鉄男（札幌東）
秋山孝二（札　幌）
田中　公（札幌東）
遠藤廣雄（室蘭東）
松浦百秋（函館五稜郭）

（ローターアクト委員会）
◎宮澤　正（札幌北）
杉村　修（深　川）
小林弘明（岩見沢）
神代利臣（札幌幌南）
篠崎俊雄（岩　内）
森　秀樹（函館北）

広報
◎富原　薫（札　幌）
伊坂重孝（札　幌）
村上達彌（札　幌）
野平昌人（札　幌）
一戸豊信（室蘭東）

拡大・会員増強
カウンセラー
河邨文一郎（P.G.）
望月武義（P.G.）
三浦祐晶（P.G.）

（拡大委員会）
◎河邨文一郎（P.G.）
望月武義（P.G.）
三浦祐晶（P.G.）

（会員増強委員会）
◎橋本利弘（札幌東）
中村　宏（羽　幌）
相馬　寛（赤　平）
岡田泰紀（当　別）
武藤健蔵（札幌西北）
木村利彦（札幌幌南）
富樫英治（小樽南）
坂田義和（北広島）
工藤　正（様　似）
三浦昭三（洞爺湖）
田中修市（函　館）
棚田　清（江　差）

ロータリー財団
◎塩谷　猛（P.G.）
藤林幸廣（札幌西北）　光銭吉郎（函館東）

（財団奨学生・学友委員会）
◎伊藤千秋（札幌西）
村山　正（札　幌）
金岡祐一（札幌北）
長谷井真信（札幌西）

（G.S.E.委員会）
◎小林　博（札幌北）
上井鉄造（札幌西）

（ポリオ・プラス委員会）
◎今井道雄（札　幌）
森鼻武芳（札　幌）
西條正博（札　幌）
佐藤　貢（札　幌）
武井正直（札　幌）
東条猛猪（札　幌）
四ツ柳高茂（札　幌）
斎藤宗男（札幌西北）
早崎弘晃（札幌東）
富田　實（札幌幌南）
小山内裕一（札幌南）

米山記念奨学会
カウンセラー
森松定男（P.G.）

◎田畑武夫（札幌南）
瓜　健夫（砂　川）
土谷茂樹（江　別）
斎藤久名（札幌西）
藤井　清（札幌東）

1988～89年度 "PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE"
「ロータリーに活力を――あなたの活力を」

RI会長 ロイス・アビー　ガバナー 大橋康次

略　　歴　昭13年北海道大学工学部土木工学科卒業
昭44年北海道電力株式会社副社長
昭52年北電興業株式会社社長
昭50年藍綬褒章受章
ロータリー歴　昭44年札幌東RC入会
昭58年札幌東RC会長
ポール・ハリス・フェロー
生年月日　大4.3.28（旭川市）

運営方針　クラブの活性化をはかりましょう
重点施策　①クラブ会員のクラブ活動への積極参加
②例会を楽しく
③会員の増強、拡大を
④全会員参加のプログラム
⑤青少年の見直し
⑥国際奉仕のプログラムの協力
⑦財団の協力、GSE、ポリオプラス達成

日本選出RI理事（1988～90）　千　宗室（京都RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	24,419	1,861	61	新札幌ロータリークラブ
会員数	1,091,056	109,779	3,841	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第80回）	ソウル（韓国）	5月21日～24日	ロイス・アビー	38,878	
地区大会	札幌市民会館 札幌グランドホテル	10月1日 2日	蔵並　定男	2,129	札幌東
	大会テーマ：ロータリーに活力を――あなたの活力を 特別講演：「勝負と人生」　大山　康晴				
地区協議会	小樽市民会館 市消防庁舎	6月4日	G：大橋　康次 GN：籾谷　真一	560	小樽

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	斉藤　昭三	5月14日	プラザホテル板倉	深川	180名
第2分区	山吹留三郎	4月23日	砂川市民会館	砂川	230名
第3分区	山田　功	3月5日	岩見沢平安閣	岩見沢東	248名
第4・第5分区合同	谷口　良一 宇佐美定男	2月25日	ホテル新札幌	新札幌 Co. 札幌北	529名
第6分区	荒木　雅	3月12日	余市中央公民館	余市	136名
第7分区	佐々木須一	6月11日	白老コミュニティセンター	白老	250名
第8分区	藤原　真二	5月28日	静内町公民館	静内	152名
第9分区	伊奈　昭夫	3月5日	登別市民会館	登別	146名
第10・第11分区合同	鈴木　繁 松崎　清	4月15日	江差追分会館	江差	319名

ロータリーに活力を

ロイス・アビー会長（88―89年度）は、温厚・親しみ易い人柄と言われていますが、ロータリー活動については、大変熱心な、積極的な取組みをされました。アビー会長は、数多くのクラブを訪問して、「クラブの20%の人がクラブ活動の80%をこなしている。」というクラブの実態を捉え、これを改善して、ロータリーの活性化を図ろうということから、アビー会長年度の「テーマ」が生まれたと思います。

アビー会長は、クラブ会長・地区ガバナーの私共に、クラブ活動に12の要請課題（指針）を提示されました。各クラブはこの要請をクラブ活動にどの様に取り入れるか夫々苦心されました。又、前年の理事会で決定された「職業奉仕に関する新方針」が公式訪問時、多くの議論を呼んだ事が印象深く思い出されます。

～地区大会～

私の年度（88～89年）は、89年1月今上陛下のご崩御があり、昭和―平成年の移りがありました。地区大会（88年10月）は陛下のご重態病臥の折であり、大会の運営面で賑やかな歌舞音曲、飲食は避けるなど、対応に苦慮しました。大会当日、参会者一同、地区大会の名において、陛下のご病気ご平癒をお祈りする決議を致しました。

地区大会は、シンポジウム「高齢化社会とロータリー」、辻　久子女史のさわやかな記念演奏が参会者の好評を得ましたが、大会2日目、会場の空席が目立ったことが反省されました。

～ポリオ・プラス～

坂本G（87―88年度）は、自らポリオガバナーと称し、この年度は地区としてポリオ募金に最も成果を挙げられましたが、私の年度はポリオ募金の推進と共に、ポリオ募金に伴う一般寄付の減少に対する調整回復に努めました。

ポリオ募金活動が最も印象的であったのは、赤平RCの公式訪問時（88年9月20日）のことです。その前日、赤平市内で「フラワーとポリオの夕べ」が赤平RC主催で開かれました。この「夕べ」は、昭和35年、当時同地方に猛威をふるった「ポリオ」に敢然と闘った医師達も参加して、当時罹患した子供達の父母より成る「くるみ会」、赤平市との共催で多くの市民の参加協力得て盛大に行われました。

この会の益金の大半はポリオ募金に回され、翌日のクラブ公式訪問のガバナーの私に渡されたのであります。ここで赤平RCは、地区内第7番目のポリオ募金100%突破、ポリオプラスキャンペーン達成宣言をされました。

～第4回ロータリー広島平和会議～

88年11月7・8日、原爆の地広島市で題記の会議が開催されました。会議第2日「太平洋時代とロータリアンの平和への貢献」と題するフォーラムがあり、参加者に深い感銘を与えました。アビー会長はフロアー発言で、ロータリーの活動の輪はロータリーの未加入国（ロシア他）にまで広げられていることに言及されました。又、当時の財団管理委員長カドマン氏は、フロアーの核廃絶に関する発言に応えて「ロータリーの平和活動は政治的活動は行わない。財団プログラムの諸事業（3H、ボランティア、災害救援、ポリオプラス、奨学金、GSE）を真面目に行っているこ

地区大会　10月1、2日

会長代理蔵並定男夫妻

辻　久子女史（夕食会にて）

広島平和会議　アビー会長と岩村　昇博士（右端）

浦河RC公式訪問

とが、ロータリーの平和活動であり、国際理解に繋がるものである。」と強調されたことに大いに共感を覚えました。

～G・S・Eについて～

当地区のGSEは1971年アメリカ第597地区（アイオワ州）とチーム交換したのが始まりであります。私の年度において、第5回のプログラムを具体化し、翌、籾谷G年度に即ち90年4～6月にオーストラリア第980地区(ビクトリア州、メルボルン）とGSEチーム交換を行いました。地区としては、引き続いて第6回92年アメリカ第5100地区（オレゴン州)、第7回94年アメリカ第5160地区（北カリフォルニア）とGSEを行い、更に97年98年とGSEが行われることが確定されています。即ち、地区としては第5回目のGSE以降、積極的にGSEプログラムを推進してきていますが特に第7回GSE（94年実施）事業は従来の事業費の約半額に当たる400万円余の予算で仕上げることが出来たことが、地区として2年続けてGSEプログラムを採り上げることが出来るようになったと思います。(96年6月記)

第2510地区　パストガバナー

大橋　康次

1988〜1989年度国際ロータリー第251地区組織図

地区ガバナー
大橋康次（札幌東）

- クラブ会長エレクト研修セミナー
- 地区協議会
- 地区大会

ガバナー・ノミナー
籾谷真一（小樽南）

オン・ツー・ソウル
◎竹山涼一（札幌南）
斉藤昭三（深川）
山吹留三郎（砂川）
山田　功（岩見沢東）
谷口良一（札幌北）
宇佐美定男（新札幌）
荒木　雅（余市）
佐々木須一（白老）
藤原真二（静内）
伊奈昭夫（登別）
鈴木　繁（長万部）
連絡 松崎　清（函館東）
担当 矢橋温郎（札幌西）
委員 中島勝彦（室蘭）

国際ロータリー
直前理事
伊藤義郎（P.G.）

米山記念奨学会
理事
森松定男（P.G.）

日本ポリオ・プラス委員会
委員及びトレジャラー
望月武義（P.G.）
委員
三浦祐品（P.G.）
坂本　忠（P.G.）

規定審議会
代表委員
竹山涼一（P.G.）

ロータリー文庫運営委員会
委員
竹山涼一（P.G.）

ロータリーの友委員会
委員
久郷昌夫（札幌）

分区代理
1 斉藤昭三（深川）
2 山吹留三郎（砂川）
3 山田　功（岩見沢東）
4 谷口良一（札幌北）
5 宇佐美定男（新札幌）
6 荒木　雅（余市）
7 佐々木須一（白老）
8 藤原真二（静内）
9 伊奈昭夫（登別）
10 鈴木　繁（長万部）
11 松崎　清（函館東）

ガバナー諮問委員会（P. G. & G. N.）
塩谷　猛
森松定男
伊藤義郎
富田嘉市
太宰六郎
小川忠一
竹山涼一
河郁文一郎
望月武義
三浦祐品
坂本　忠
籾谷真一

ガバナー指名委員会（P. G. & G. N.）
◎坂本　忠
滝本庄蔵
塩谷　猛
森松定男
伊藤義郎
富田嘉市
太宰六郎
小川忠一
竹山涼一
河郁文一郎
望月武義
三浦祐品
籾谷真一

地区情報コーディネーター
三浦祐品
（P.G.）

地区資金委員会
◎福山達彦（札幌東）
林　鋭（札幌）
高際英治（小樽南）

地区情報資料室
◎岡崎　純（札幌西）
浅野国夫（札幌）
林　英夫（札幌）
長沢祐紀（札幌東）

地区幹事・会計
幹事 木村文教（札幌東）
副幹事 野村昭光（札幌東）
〃 名塩良一郎（札幌東）
〃 塚原房樹（札幌東）
〃 奥貫一之（札幌東）
〃 関堂勝幸（札幌東）
〃 斎田義孝（小樽南）
会計 鈴木靖一（札幌東）

地区大会
委員長 高野　博（札幌東）
副委員長 西川正一（札幌東）
〃 白崎繁仁（札幌東）
幹事 野村昭光（札幌東）
S.A.A. 武田俊男（札幌東）
会計 土倉裕之（札幌東）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕
カウンセラー
望月武義（P. G.）

◎石田　誠（札幌手稲）
笠原正秀（札幌東）

職業奉仕
カウンセラー
森松定男（P. G.）

◎橋本利弘（札幌東）
船本達世（札幌真駒内）

社会奉仕
カウンセラー
塩谷　猛（P. G.）

◎西條正博（札幌）
木村利彦（札幌幌南）

国際奉仕
◎河郁文一郎（札幌西）
塩谷　猛（札幌西）　洪　悦郎（札幌北）
戸部謙一（札幌西）

（国際共同委員会）
◎塩谷　猛（札幌西）
河郁文一郎（札幌西）
望月武義（岩見沢）

（世界社会奉仕委員会）
◎戸部謙一（札幌西）
佐々木敏雄（札幌）
穂苅金吾（札幌西）
指川　健（札幌真駒内）
大　公一郎（札幌東）

（青少年交換委員会）
代行
◎三成　勝（札幌西）
佐藤　章（札幌北）
岩瀬一郎（札幌手稲）
大坂　忠（札幌手稲）
岩城秀晴（札幌南）
○青木功喜（札幌東）
松本　修（函館北）

青少年奉仕
◎三浦祐品（札幌北）
宮澤　正（札幌北）
岩崎鉄男（札幌東）

（インターアクト委員会）
◎岩崎鉄男（札幌東）
秋山孝二（札幌）
田中　公（札幌東）
遠藤廣雄（室蘭東）
松浦百秋（函館五稜郭）

（ローターアクト委員会）
◎宮澤　正（札幌北）
杉村　修（深川）
小林弘明（岩見沢）
森　秀樹（函館北）
羽部大仁（札幌幌南）
川合正修（留萌）

広報
◎高原　薫（札幌）
村上達彌（札幌）
野平昌人（札幌）
一戸登信（室蘭東）
清水義弘（小樽南）

拡大・会員増強
カウンセラー（拡大委員会）
◎望月武義（P.G.）
三浦祐品（P.G.）
坂本　忠（P.G.）

（会員増強委員会）
◎坂本　忠（札幌）
斉藤昭三（深川）
山吹留三郎（砂川）
山田　功（岩見沢東）
谷口良一（札幌北）
宇佐美定男（新札幌）
荒木　雅（余市）
佐々木須一（白老）
藤原真二（静内）
伊奈昭夫（登別）
鈴木　繁（長万部）
松崎　清（函館東）

ロータリー財団
◎竹山涼一（札幌南）
伊藤千秋（札幌西）　吉田　信（札幌東）
石垣博美（札幌西）　猪野毛健男（札幌南）

（財団奨学生・学友委員会）
◎伊藤千秋（札幌西）
村山　正（札幌）
金岡祐一（札幌北）
有馬　純（札幌東）

（GSE委員会）
◎石垣博美（札幌西）
長谷井真信（札幌西）
小林　博（札幌北）
洪　悦郎（札幌北）
名塩良一郎（札幌東）
浅原健蔵（小樽南）

（ポリオ・プラス委員会）
◎吉田　信（札幌東）
○西條正博（札幌）
早崎弘晃（札幌東）
坪谷六郎（滝川）
若林道彦（苫小牧）
渡辺雅敏（小樽南）

米山記念奨学会
代行
◎斎藤久名（札幌西）
土谷茂樹（江別）
藤井　清（札幌東）
大山猛熊（砂川）
宇佐美茂幸（札幌西北）

注：◎委員長、○副委員長

1989～90年度 "ENJOY ROTARY"
「ロータリーを楽しもう！」

RI会長 ヒュー M・アーチャー　ガバナー 籾谷真一

略　　歴　昭17年小樽商科大学卒業
　　　　　昭27年北の誉酒造株式会社専務取締役
　　　　　昭46年株式会社北海道養老の滝代表取締役社長
ロータリー歴　昭32年小樽RC入会(シニアアクチブ)
　　　　　昭58年小樽南RC会長
　　　　　ポール・ハリス・フェロー
生年月日　大10.8.1（小樽市）
　　　　　（平8.3.5逝去 76歳）

運営方針　「親睦と奉仕」に力を合わせて前進しよう

重点施策　「ロータリーの綱領」を思い起こし、1989～90年度会長賞プログラムに全クラブが参加し、「ロータリーを楽しもう」

日本選出RI理事（1988～90）　千　宗室（京都RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	25,163	1,920	61	
会員数	1,121,230	114,556	3,914	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第81回）	ポートランド（オレゴン州）	6月24日～27日	ヒューM・アーチャー	21,053	
地区大会	小樽国際ホテル 市民会館、体育館	10月6日 7日	湯原竹之助	1,792	小樽南
	大会テーマ：ロータリーを楽しもう！ 特別講演：「出逢い、ふれ愛」　日高　悟郎				
地区協議会	札幌後楽園ホテル	5月13日	G：籾谷　真一 GN：白石　欽一	461	真駒内

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1・第2分区合同	下川　安長 川村　幸雄	4月22日	留萌市中央公民館	留萌 Co. 滝川	422名
第3分区	坂東　浩	5月27日	ホテルスエヒロ（美唄）	美唄	213名
第4・第5分区合同	西條　正博 寺澤　栄一	4月21日	札幌グランドホテル	札幌 Co. 札幌南	563名
第6分区	吉田　照生	4月15日	ホテルうきよ（岩内）	岩内	169名
第7分区	藤田　信一	2月4日	恵庭市民会館	恵庭	308名
第8分区	中井　正幸	6月3日	基幹集落センター堺町会館（浦河）	浦河	123名
第9分区	原田　一洋	3月3日	ニュージャパン（室蘭）	室蘭東	174名
第10・第11分区合同	帰山　一弥 国兼　信一	4月8日	ホテルオークランド（函館）	函館亀田	312名

ロータリーを楽しもう

この年度籾谷ガバナーは、ヒューM・アーチャー会長の掲げた年度テーマである「ロータリーを楽しもう！」を念頭において、その実践活動として地区クラブ運営の重点目標に11の活動目標を示しました。その目標は、要約すると、①ロータリー綱領の熟読と実践②プログラムの充実による楽しめる例会活動の工夫③情報委員による３分間情報スピーチの奨励④会員の増強と拡大の積極的推進⑤社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕プロジェクトの積極的推進⑥ロータリー財団基金強化への協力とロータリー財団プログラムに対する協力、今年度はオーストラリア第980地区とのＧＳＥ実施計画への協力⑦米山奨学金事業に対する協力⑧青少年交換への参加、そしてインターアクト、ローターアクト、村落共同隊への積極的参加⑨世界親睦活動、ロータリー友情交換、都市連合会、国際共同委員会への参加、協力⑩地区協議会、地区大会、国際大会への積極的参加⑪1989～1990年度会長賞プログラムへの地区内全クラブの参加、という事でした。籾谷ガバナーは、これらの地区重点目標の実践を通して、アーチャーRI会長のテーマ「ロータリーを楽しもう！」の具現化が出来ると確信しておりました。そこで籾谷ガバナーは、テーマの実践に近づくように各クラブへの公式訪問の場や、地区内の各会合の機会をとらえて、各クラブにおいて積極性を持って一つでも多く地区重点目標を実現してもらうよう要請されました。

年度を終わって、会員増強においては当初目標純増３％の目標をたてたのに対して、期首会員数3791名期末会員数3914名、結果純増123名で3.24％の実績をあげる事ができました。ロータリー財団関係では、ロータリー財団委員会（竹山涼一委員長）と財団増進委員会（西條正博委員長）の対応により、当地区としては初めて「地区ロータリー財団セミナー」を５月12日に札幌後楽園ホテルで開催し、財団プログラムの理解と促進のために成果をあげました。財団寄付においてはセミナーの効果もあって各クラブの協力により一般寄付で186,000ドルと目標以上の成績をあげる事ができました。また、ポリオプラスの寄付においても５ヶ年計画の４年目にあたりましたが、前年に続き好調な伸びを見せ年度末では５ヶ年計画の最終目標数字の103％を達成しました。

また当年度は、オーストラリア980地区とのＧＳＥプログラムを実施いたしました。地区のＧＳＥ委員会（石垣博美委員長）が年度当初より準備に入り、８月には派遣チームメンバー５名を選出決定し、1990年２月には石垣委員長が渡豪し、980地区のローレンス・アトリーガバナーやＧＳＥチームリーダーに決定しているイアン・ナイトパストガバナーと会い詳細な打合せを行いました。４月20日石垣委員長を団長として251地区派遣チームが出発、５月20日の帰国までの１カ月間980地区各地を訪問、研修成果をあげました。５月19日イアン・ナイト団長以下５名の980地区派遣メンバーが来道、６月16日までの約１カ月間地区内各地を訪問、例会出席や各地施設を訪問研修しました。この間地区内の35クラブがＧＳＥチームを受け入れ、研修プログラムに協力しました。このＧＳＥプログラムの実施に

あたっては地区ＧＳＥ委員会全員の努力と地区内クラブ、ロータリアンの連携協力があってはじめて成果を得る事が出来たと痛感しました。

この他ＷＣＳの手引書を作成しそのＰ・Ｒに地区内各地で懇話会を実施した世界社会奉仕委員会をはじめ各地区委員会には積極的に活動していただきました。

この年度を考える時、「ロータリーを楽しもう！」を行動の指針として、心臓のバイパス手術後の身体でありながらハードなスケジュールをこなされ、いつもユーモア溢れる語り口と笑顔を絶やさなかった故籾谷ガバナーの姿が何よりも強い印象として残っています。

小樽南ロータリークラブ

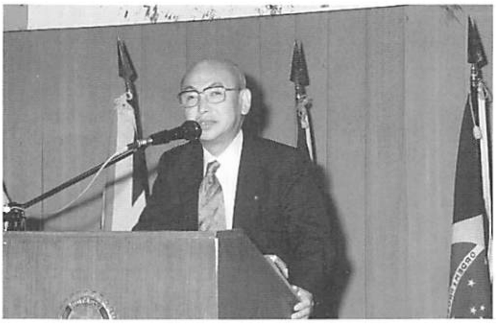
斎田　義孝

1989.11.30　札幌東クラブ公式訪問時
青少年交換学生とスナップ

1990.4.20　G・S・E980地区への派遣チーム
石垣団長以下5名を千歳空港に送る

1990.5.19　豪州980地区
G・S・Eメンバー歓迎会
にての豪980地区よりの
派遣メンバー

1990.6.3　第8分区Ｉ・Ｍにて
開催財団推進委員長と談笑



1990.6.3　浦河町にて
第8分区インターシティミーティングにて挨拶

1989～1990年度国際ロータリー第251地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

ガバナー
粟谷真一（小樽南）

ガバナー・ノミニー
白石欽一（札幌手稲）

ロータリー財団
管理委員
伊藤　義郎（P.G.）

米山記念奨学会
理事
森松　定男（P.G.）

国際ロータリー
財務委員会委員
伊藤　義郎（P.G.）

日本ポリオ・プラス委員会
委員及びトレジャラー
望月　武義（P.G.）
委員
三浦　祐晶（P.G.）
坂本　忠（P.G.）
大橋　康次（P.G.）

251地区大会役員
大会委員長　浜口　貞雄
副委員長　唐橋　有
副委員長　花野　芳雄
幹事　佐藤甚兵衛
副幹事　吹越　範義
副幹事　辻　健
副幹事　村上　元昭
SAA　山田　幸雄
副SAA　山谷　隆平
会計　阿部　之弥
副会計　尾形　秀夫

ロータリー文庫運営委員会
委員
竹山　涼一（P.G.）

ロータリーの友委員会
委員
久郷　昌夫（札幌）

オン・ツー・ポートランド
◎三浦　祐晶（P.G.）

分区代理
下川　安長（留萌）
川村　幸雄（滝川）
坂東　浩（美唄）
西條　正博（札幌）
寺澤　栄一（札幌南）
吉田　照生（岩内）
藤田　信一（苫小牧北）
中井　正幸（浦河）
原田　一洋（室蘭東）
増山　一弥（函館亀田）
国兼　信一（函館五稜郭）

ガバナー諮問委員会（P.G.&G.N.）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
小川　忠一（札幌東）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋　康次（札幌東）
白石　欽一（札幌手稲）

ガバナー指名委員会（P.G.&G.N.）
◎大橋　康次（札幌東）
滝本　庄蔵（札幌西）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
小川　忠一（札幌東）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
白石　欽一（札幌手稲）

地区資金委員会
◎宮際　英治（小樽南）
福山　達彦（札幌東）
深宮　正吉（札幌手稲）

地区情報資料室
◎高田　春夫（札幌幌南）
近藤　良一（札幌モーニング）
田中　宏（札幌北）

地区幹事・会計
幹事　斎田　義孝（小樽南）
副幹事　熊沢　隆樹（小樽）
〃　佐々木智康（小樽南）
〃　大竹　秀文（小樽南）
〃　福島　正紘（小樽南）
〃　石田　誠（札幌手稲）
副幹事補佐　堀内　晴人（小樽南）
会計　石栗　四郎（小樽南）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕
カウンセラー
望月　武義（P.G.）

◎杉江雄太郎（小樽）
河崎　義章（小樽銭函）

職業奉仕
カウンセラー
森松　定男（P.G.）

◎橋本　利弘（札幌東）
船本　達世（札幌真駒内）

社会奉仕
カウンセラー
坂本　忠（P.G.）

◎角江　哲雄（小樽）
本田　壮稜（小樽）

国際奉仕
◎河邨文一郎（札幌西）
塩谷　猛（札幌西）　三成　脩（札幌西）
白石　欽一（札幌手稲）　指川　健（札幌真駒内）

（国際共同委員会）
◎塩谷　猛（札幌西）
河邨文一郎（札幌西）
白石　欽一（札幌手稲）
阪崎健治朗（札幌西）

（世界社会奉仕委員会）
◎指川　健（札幌真駒内）
戸部　謙一（札幌西）
佐々木敏雄（札幌）
伏木　忠了（札幌西）
塚原　房樹（札幌東）

（青少年交換委員会）
◎三成　脩（札幌西）
○青木　功喜（札幌東）
佐藤　章（札幌北）
岩瀬　一郎（札幌手稲）
大坂　忠（札幌手稲）
岩城　秀晴（札幌南）
対木　正文（札幌西）
半田幸一郎（函館）
植田　俊三（恵庭）

（ロータリー・ボランティア活動委員会）
◎谷口　良一（札幌北）
倭　昭三（札幌西）
上野　修（札幌南）
森永　忠輔（札幌真駒内）
藤村　幸廣（札幌西北）

青少年奉仕
◎三浦　祐晶（札幌北）
岩崎　鉄男（札幌東）
杉村　修（深川）

（インターアクト委員会）
◎岩崎　鉄男（札幌東）
秋山　孝二（札幌）
田中　公（札幌東）
遠藤　廣雄（室蘭東）
松浦　百秋（函館五稜郭）

（ローターアクト委員会）
◎杉村　修（深川）
宮澤　正（札幌北）
北村　実（函館）
羽部　大仁（札幌幌南）
川合　正修（留萌）
沢田　豊（岩見沢）

広報
◎野平　昌人（札幌）
畠山　武（札幌南）
伊坂　重孝（札幌）
菅野　康一（室蘭）
外山　四郎（札幌）

拡大委員会
◎三浦　祐晶（P.G.）
坂本　忠（P.G.）
大橋　康次（P.G.）

会員増強委員会
◎大橋　康次（札幌東）
下川　安長（留萌）
川村　幸雄（滝川）
坂東　浩（美唄）
西條　正博（札幌）
寺澤　栄一（札幌南）
吉田　照生（岩内）
藤田　信一（苫小牧北）
中井　正幸（浦河）
原田　一洋（室蘭東）
増山　一弥（函館亀田）
国兼　信一（函館五稜郭）

ロータリー財団
◎竹山　涼一（札幌南）
伊藤　千秋（札幌西）　西條　正博（札幌）
長谷井真信（札幌西）　石垣　博美（札幌西）

（財団奨学生・学友委員会）
◎伊藤　千秋（札幌西）
村山　正（札幌）
金岡　祐一（札幌北）
猪野毛健男（札幌南）
西岡　憲廣（札幌西北）

（G.S.E.委員会）
◎石垣　博美（札幌西）
○名垣良一郎（札幌東）
浅原　健蔵（小樽南）
熊沢　隆樹（小樽）
谷口　博（札幌東）
大久保五郎（札幌北）
畑中　俊介（札幌南）
矢橋　温郎（札幌西）
西條　文雪（小樽）

（財団増進委員会）
◎西條　正博（札幌）
早崎　弘晃（札幌東）
渡辺　雅敏（小樽南）
中山　博道（札幌）
杉浦重次郎（札幌手稲）

米山記念奨学会
◎上谷　茂樹（江別）
斎藤　久名（札幌西）
大山　猛熊（砂川）
中川　哲二（札幌東）
江端　俊夫（小樽）
須田　清勝（札幌西北）

注：◎委員長、○副委員長

1990～91年度 "HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM"
「ロータリーを高めよ、思いを尽くし熱意を尽くし」

RI会長 パウロ V. C. コスタ　ガバナー 白石欽一

略　　歴　昭16年関西学院大学経済学部卒業
　　　　　昭40年札樽建材株式会社社長
ロータリー歴　昭45年札幌手稲RC入会
　　　　　昭52年札幌手稲RC会長
　　　　　昭60年第251地区分区代理
　　　　　ポール・ハリス・フェロー
　　　　　米山功労者
生年月日　大9.1.19（兵庫県）

運営方針　「親睦と奉仕」に力を合わせて前進しよう
重点施策　「拡大」
「会員増強」
「財団無条件寄付への協力」
「環境保全」
の４つの重点目標

日本選出RI理事（1990～92）　蔵並　定男（鎌倉RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	25,582	1,977	63	千歳セントラルロータリークラブ
会員数	1,143,296	119,103	4,045	札幌あけぼのロータリークラブ

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第82回）	メキシコ・シティー（メキシコ）	6月2日～5日	パウロ V. C. コスタ	15,638	
地区大会	北海道厚生年金会館 札幌パークホテル	4月26日 27日	オスカー C. DE ベネシア	2,255	札幌手稲
	大会テーマ：ロータリーを高めよ、思いを尽くし熱意を尽くし 特別講演：「地球環境保全の現状と課題」　北海道大学教授　黒柳　俊雄				
地区協議会	札幌パークホテル	5月19日	G：白石　欽一 GN：佐藤　鉄彌	494	札幌南

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	坂牛　利和 岩間　珠一	11月2日	芦別市・スターライトホテル	芦別 Co. 妹背牛
第3分区	塩見　悦次	10月28日	栗山町・中央公民館	栗山
第4・第5分区合同	近藤　良一 田中　公	3月30日	札幌市・ロイヤルホテル	札幌東 Co. 札幌モーニング
第6分区	名畑　暢夫	6月1日	倶知安町・第一会館	倶知安
第7分区	吉村　善晴	2月24日	苫小牧市・王子ホテル	苫小牧
第8分区	谷川　襄	2月17日	三石町・福祉センター	三石
第9分区	伊藤　萬吉	3月10日	伊達市・ホテルローヤル	伊達
第10・第11分区合同	中島　敏幸 高杉　重雄	3月24日	函館市・国際ホテル	函館北 Co. 函館

思い出に残る奉仕活動

この1990—91年度は世界中が正に激動の年でした。イラン、比国の大地震、湾岸戦争、今世紀最大と言われる比国ピナツボ火山の大噴火、そして平成新山の噴火等により、多くの人命が、家が失われ、多くの人々がその故郷を追われ、又膨大な環境破壊が発生した事は未だに記憶に新しい所です。

日本のロータリーもその都度救済の手をさしのべるべく対応し、地区内各クラブも度重なる救援要請に応えて協力をされました。

この年度には地区に於いて画期的な出来事がありました。初めて地区に6名の女性会員が誕生し、来年以降に大きな夢を持たせてくれましたし、3年振りに千歳セントラルRC、札幌あけぼのRCと二つの新クラブが誕生し、地区会員増強の面で大いに貢献してくれました。

コスタRI会長は非常にカリスマ性のある、迫力のある、説得力のある方でした。国際協議会に於いてブラジル人として、ブラジルの宝物とも云うべきアマゾンの密林が年々目に余る荒廃をしてきていることに言及され、年度最重点目標として『環境保全』を我々に訴えられました。そして世界中のクラブが『環境保全』に立ち上がり、地区内各クラブもこれに呼応して色々な奉仕活動に取り組んでくれました事を誇りに感じています。

又5年前から、世界からポリオを撲滅しようとR・Iが取り組んできたポリオプラス運動が一応の終末を告げる年でもありまして、各クラブも非常な熱意を持って取り組んで頂き、地区目標を遙かに越える実績を挙げてくれました。私は終末年度のガバナーとして、4月26日—27日の両日、比国のオスカーRI会長代理を迎えて開催された地区年次大会に於いて“終末宣言”をして各クラブの労を慰いました事も感銘深い思い出の一つです。

地区委員会活動として特筆すべき世界社会奉仕活動が行われました。札幌モーニングRCが石狩町消防本部より中古水槽付消防自動車の払い下げを受け、地区世界社会奉仕委員会がこれを完全整備し、自転車40台と共にアフリカ、ナイジェリア連邦共和国へ寄贈すると云う壮大な計画をたてて、外務省、笹川平和財団、道アフリカ協会等各方面の協力を頂いて大変な努力の末、資金問題、現地への搬送、操法指導等山積する難問をすべてクリヤーして、指川委員長以下数名の委員がはるばる現地迄出向いて贈呈式を行い、ロータリーの奉仕の理想とする国際親善と相互理解、思いやりと助け合いに大きく貢献してくれました。

今一つ、3月の初めに冬季世界ユニバーシアード大会が札幌で開催されるに当たり、主催者の日本オリンピック委員会より、地区ロータリーに途上国の選手が大会に参加できるように参加旅費の援助をして頂けないかとの要請がありました。

本年度は度重なる内外の災害に対して、その都度地区内ロータリアンに協力を要請してきたと言う事情もあり、又「ロータリーは寄付団体ではない」と云う様な意見もありました。

しかしながらロータリーにだけ要請があったと言う事を考えた時、やはり『思いやりと助け合い』の奉仕の理想を生かすべきと考え、この要請に応えることができた事も今となっ

ては嬉しい思い出の一つです。

ライラも数年振りに実行されました。全くの0からのスタートと云う事で、阪崎委員長以下関係者の皆さん方のご苦労は大変なものがありました。そしてこれ以降毎年開催されると言う一つの道が開けた事になりました。

正に奉仕の実践に大きな成果を挙げて頂いた年であったと言う事を特筆したいと思います。

第2510地区パストガバナー　白石　欽一

ナイジェリア、カドナ州アユーバ知事(左)に消防自動車と自転車40台の目録を贈呈する指川世界社会奉仕委員長(中央)
1990年12月4日(火)　於カドナ州知事公館

石狩町消防署から払い下げを受けナイジェリアへ贈った消防自動車

カドナ商工会議所の中庭での自転車を組立て風景

当2510地区63番目の認証状伝達式

1990～1991年度国際ロータリー第251地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

ガバナー
白石 欽一(札幌手稲)

ガバナー・ノミニー
佐藤 鉄彌(札幌北)

ロータリー財団
管理委員
伊藤 義郎(P.G.)

ロータリー文庫運営委員会
委員
竹山 涼一(P.G.)

国際ロータリー
財務委員会委員
伊藤 義郎(P.G.)

ロータリーの友委員会
顧問
籾谷 真一(P.G.)
地区委員
菊地 千之(室 蘭)

ロータリー米山記念奨学会
理事
森松 定男(P.G.)

日本ポリオプラス委員会
委員及びトレジャラー
望月 武義(P.G.)
委員
三浦 祐晶(P.G.)
坂本 忠(P.G.)
大橋 康次(P.G.)

分区代理
1. 坂井 利和(妹背牛)
2. 岩間 珠一(芦 別)
3. 塩見 悦次(栗 山)
4. 近藤 良一(札幌モーニング)
5. 田中 公(札幌東)
6. 名畑 暢夫(倶知安)
7. 吉村 善晴(苫小牧)
8. 谷川 襄(三 石)
9. 伊藤 萬吉(伊 達)
10. 中島 敏幸(函 館)
11. 高杉 重雄(函館北)

ガバナー諮問委員会(P.G. & G.N.)
塩谷 猛(札幌西)
森松 定男(札幌南)
伊藤 義郎(札 幌)
富田 嘉市(室 蘭)
太宰 六郎(函 館)
小川 忠一(札幌東)
竹山 涼一(札幌南)
河部文一郎(札幌西)
望月 武義(岩見沢)
三浦 祐晶(札幌北)
坂本 忠(札 幌)
大橋 康次(札幌東)
籾谷 真一(小樽南)
佐藤 鉄彌(札幌北)

ガバナー指名委員会(P.G. & G.N.)
◎籾谷 真一(小樽南)
塩谷 猛(札幌西)
森松 定男(札幌南)
伊藤 義郎(札 幌)
富田 嘉市(室 蘭)
太宰 六郎(函 館)
小川 忠一(札幌東)
竹山 涼一(札幌南)
河部文一郎(札幌西)
望月 武義(岩見沢)
三浦 祐晶(札幌北)
坂本 忠(札 幌)
大橋 康次(札幌東)
佐藤 鉄彌(札幌北)

地区資金委員会
◎深宮 正吉(札幌手稲)
富樫 英治(小 樽 南)
加藤 高正(札 幌 北)

地区情報資料室
◎高田 春夫(札幌幌南)
田中 宏(札 幌 北)
近藤 良一(札幌モーニング)
長沢 祐紀(札 幌 東)

地区幹事・会計
幹事 石田 誠(札幌手稲)
副幹事 杉浦重次郎(〃)
〃 犬飼 好清(〃)
〃 小山 秀昭(〃)
〃 藤本 明(〃)
〃 太田 勝久(〃)
〃 丹羽 祐而(〃)
〃 宮澤 正(札 幌 北)
会計 村木 靖雄(札幌手稲)

地区大会
委員長 深宮 正吉(札幌手稲)
副委員長 山地 庸夫(〃)
〃 北市 郁雄(〃)
幹事 飯田 英年(〃)
SSA 亀井川満男(〃)
会計 村木 靖雄(〃)

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
カウンセラー
望月 武義(P. G.)

◎中村 康(札 幌 南)
今崎 孝俊(札幌幌南)

職業奉仕委員会
カウンセラー
森松 定男(P. G.)

◎富山 惟夫(留 萌)
柳田 泰(札幌真駒内)

広報委員会
◎伊坂 重孝(札 幌)
畠山 武(札 幌 南)
菅野 康一(室 蘭)
外山 四郎(札 幌)

国際奉仕委員会
◎河部文一郎(札幌西)
塩谷 猛(札幌西)　戸部 謙一(札幌西)

(国際共同委員会)
◎塩谷 猛(札 幌 西)
河部文一郎(〃)
佐藤 鉄弥(札 幌 北)

(世界社会奉仕委員会)
◎指川 健(札幌真駒内)
佐々木敏雄(札 幌)
伏木 忠了(札 幌 西)
北市 郁雄(札幌手稲)
藤林 幸廣(札幌西北)

(青少年交換委員会)
◎青木 功喜(札 幌 東)
佐藤 章(札 幌 北)
対木 正文(札 幌 西)
半田幸一郎(函 館)
植田 俊三(恵 庭)
百石 文一(札幌手稲)
奥貫 一之(札 幌 東)
金井 重博(札 幌 南)
大坂 忠(札幌手稲)

青少年奉仕委員会
◎三浦 祐晶(札幌北)　杉村 修(深 川)
岩崎 鉄男(札幌東)　阪崎健治朗(札幌西)

(ローターアクト委員会)
◎杉村 修(深 川)
北村 実(函 館)
羽部 大仁(札幌幌南)
川合 正修(留 萌)
澤田 豊(岩 見 沢)
栗栖 義徳(伊 達)

(インターアクト委員会)
◎岩崎 鉄男(札 幌 東)
秋山 孝二(札 幌)
遠藤 広雄(室 蘭 東)
松浦 百秋(函館五稜郭)
関 峯吉(札幌幌南)

(ライラ委員会)
◎阪崎健治朗(札 幌 西)
高田 春夫(札幌幌南)
杉本 健一(札 幌 西)
北川 暁一(小 樽)
大竹 秀文(小 樽 南)

社会奉仕委員会
カウンセラー
大橋 康次(P. G.)
◎塚原 房樹(札 幌 東)
宇佐美茂幸(札幌西北)

(ボランティア活動委員会)
◎谷口 良一(札 幌 北)
倭 昭三(札 幌 西)
上野 修(札 幌 南)
森永 忠輔(札幌真駒内)
阿部 弘(札幌手稲)

(環境保全委員会)
◎上井 鉄造(札 幌 西)
今井 國雄(札 幌 南)
平 良一(札 幌 東)
和田 壬三(札幌幌南)
中島 忠美(札幌手稲)

拡大委員会
◎坂本 忠(P. G.)
大橋 康次(P. G.)
籾谷 真一(P. G.)

会員増強委員会
◎籾谷 真一(小 樽 南)
坂井 利和(妹 背 牛)
岩間 珠一(芦 別)
塩見 悦次(栗 山)
近藤 良一(札幌モーニング)
田中 公(札 幌 東)
名畑 暢夫(倶 知 安)
吉村 善晴(苫 小 牧)
谷口 襄(三 石)
伊藤 萬吉(伊 達)
中島 敏幸(函 館)
高杉 重雄(函 館 北)

ロータリー財団委員会
◎竹山 涼一(札 幌 南)
長谷井真信(札 幌 西)　伊藤 千秋(札 幌 西)

(財団奨学金委員会)
◎村山 正(札 幌)
杉野目 浩(札 幌)
猪野毛健男(札 幌 南)
西岡 憲廣(札幌西北)
土田 保穂(札 幌 北)

(G.S.E委員会)
◎石垣 博美(札 幌 西)
名塩良一郎(札 幌 東)
谷口 博(札 幌 東)
矢橋 滔郎(札 幌 西)

(財団増進委員会)
◎西條 正博(札 幌)
早崎 弘晃(札 幌 東)
菊池 正巳(札 幌 南)
中山 博道(札 幌)
池上 徳一(新 札 幌)

(財団学友委員会)
◎小沢 保知(札 幌)
畑中 俊介(札 幌 南)
大久保五郎(札 幌 北)
師尾 純一(札 幌 南)
瀬戸 国幸(小 樽 南)

米山記念奨学会委員会
◎土谷 茂樹(江 別)
大山 猛熊(砂 川)
中川 哲二(札 幌 東)
江端 俊夫(小 樽)
金子 輝夫(新 札 幌)

1991～92年度 "LOOK BEYOND YOURSELF"
「自分を超えた眼を」

RI会長 ラジェンドラK・サブー　ガバナー 佐藤鉄彌

略　　歴　昭16年東京薬学専門学校卒業(現東京薬科大学)
昭56年有限会社グッドブラザーズ商会代表取締役
ロータリー歴　昭46年札幌北RC入会(チャーターメンバー)
昭53年札幌北RC会長
昭和61年第2510地区地区大会委員長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
生年月日　大8.5.20（小樽市）

運営方針　「前進しよう！」「楽しもう！」「手を差しのべよう！」
重点施策　①奉仕活動の前進
②クラブの活性化
③地球環境の保全

日本選出RI理事（1990～92）　蔵並　定男（鎌倉RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	25,900	2,037	67	長沼ロータリークラブ 江別西ロータリークラブ 札幌はまなすロータリークラブ 苫小牧東ロータリークラブ
会員数	1,144,451	122,800	4,202	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会 (第83回)	オーランド (フロリダ州)	6月14日 ～17日	ラジェンドラK・サブー	19,111	
地区大会	ラマダ・ルネッサンス・サッポロ 北海道厚生年金会館	4月24日 25日	福島親比古	2,366	札幌北
	大会テーマ：前進しよう！　楽しもう！　手を差しのべよう！ 特別講演：「私と小説」　作家　渡辺　淳一				
地区協議会	函館国際ホテル	5月24日	G ：佐藤　鉄彌 GN：北村　實	559	函館五稜郭

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	前田　晃 柿沼　利雄	5月17日	羽幌町・中央公民館	羽幌
第3分区	鍋島　清二	9月23日	江別市・市民会館	江別
第4・第5分区合同	岩瀬　一郎 林下　忠雄	3月28日	札幌市・後楽園ホテル	札幌真駒内
第6分区	高橋　一郎	5月31日	蘭越町・山村開発センター	蘭越
第7・第8分区合同	浅利　作造 山科　幸一	2月29日	千歳市・市民文化センター	千歳
第9分区	奥山　卓郎	2月16日	室蘭市・ホテルサンルート室蘭	室蘭北
第10・第11分区合同	越田　広司 花田　浄恵	11月10日	大沼町・西武プリンスホテル	七飯

※ヒューM・アーチャー元RI会長ご夫妻歓迎合同例会が4月10日札幌パークホテルで開催される。4月9日から5日間滞在される。

わが年度のハイライト

人は一生の内に何度か自分の人生を変える出会いを持つと言いますが90年1月17日は私には正に自分を変える転機の日でありました。

三浦PGからのGへのお誘いと森松、坂本両PGの強いお勧めで予想もしなかったGの重責を担った私ですが、今もなお70を過ぎての出会いと己が人生の幸を感謝しております。

G就任後は微力ながら全力で年間計画と取組み幸にも4クラブの誕生を見た外、財団も創立75周年の年に相応しく375,000ドルを拠出できた事はGとして、この上ない歓びでした。

ここに謹んで今は亡き森松、坂本両PGのご冥福をお祈りすると共に、この間頂戴した皆様との貴重な一期一会を感謝申し上げます。

私の年度も地区大会ほか数多くの行事があり、その都度Gの重責と感激を味わいましたが何と言っても最大のハイライトは2回もの新クラブの認証状伝達式と元RI会長ヒューM・アーチャーご夫妻をお迎えした事でした。

今回、地区史編纂委員長からガバナー篇への原稿依頼を受けましたので早速、この2件を私の年度のビッグ・ニュースと思いましたが規定の枠内では、とても書き尽くせませんので新クラブに就いては、ご来賓祝辞の語録集としヒューM・アーチャーご夫妻の分は歓迎晩餐会での私の挨拶と写真を載せ、この年度のトピックスに代えたいと思います。

◎新クラブ誕生祝辞の語録集

＊ロータリーは善意を持つ人々の心の触れ合い運動です。たとえ一人ひとりの善意の灯は小さくとも温かな善意と奉仕で手に手をつなぐロータリアンにより国際間の理解と平和が推進されます…

北村　實G祝辞　於苫小牧東RC

＊自然と創造の調和する文化の町、長沼にRの鐘の音が永久に鳴り渡る事を祈念して…

柴田弘道恵庭RC会長祝辞　於長沼RC

＊今日の会場の設営や運営は発足間もないクラブとは思えず擡頭する未来のクラブを見る思い…

宮下総一郎特別代表挨拶　於長沼RC

＊この小さな長沼から世界へ向けて眼を開き友愛と奉仕の輪を広げていきたい…

清水慧子長沼クラブ初代会長祝辞

＊佐藤Gの公式訪問時の拡大への明快な卓話がクラブに強い感銘を与え新クラブ設立への直接の引き金となった…

藤田信一特別代表挨拶　於苫小牧東RC

＊新しい葡萄酒は新しい革袋に…

瀬川栄一江別クラブ会長祝辞　於江別西RC

＊江別西クラブの結成は歴史ある江別クラブがスポンサーとなりロータリーの綱領を江別に一層前進させようとする皆様の熱意と果敢な姿勢と深い感銘を覚えます…

岡　英雄江別市長祝辞　於江別西RC

＊石狩の浜辺に清く美しく咲く“はまなす”の花言葉は照り映える容姿との事、はまなすクラブの将来の姿を顕してると思う…

岡田泰紀札幌北RC会長祝辞　於札幌はまなすRC

◎元RI会長ヒューM・アーチャーご夫妻歓迎晩餐会のG挨拶

平成4年4月9日　於札幌グランドホテル

札幌の長い冬も漸く終わり桜前線の上陸も聞かれる候となりました。この好季に貴ご夫

妻をお迎え出来たことは私共にとって、この上ない喜びであります。札幌の開花は今月末頃と聞きますが私共の心は貴ご夫妻の温顔に接し早や満開の桜の下でお会いしているような暖かさを覚えます。(中略) 私共は今「エンジョイ・ロータリー」のテーマで世界のロータリアンを鼓舞され又数々の改革でワン・ロータリー・センターに新風を吹き込まれた貴殿と親しく晩餐を共にし、その謦咳に接することは、この上ない光栄に存じます。

日本には「友、遠方より来たる又楽しからずや」という諺がございますが、私共の心境は正に、この言葉そのものと申せましょう。

今夕は、どうぞ、ごゆっくりとお寛ぎ頂き、値い千金の春の一時をお過ごし下さるよう、心より祈念申し上げ、歓迎のご挨拶とします。

第2510地区パストガバナー

佐藤　鉄彌

長沼ロータリークラブ認証状伝達式　平成4年3月8日

元RI会長ヒューM・アーチャーご夫妻歓迎合同例会での歓迎の挨拶
於 札幌パークホテル　平成4年4月10日

元RI会長ヒューM・アーチャーご夫妻歓迎合同例会でのアーチャー氏のご挨拶　於札幌パークホテル

ヒューM・アーチャーご夫妻
伊藤義郎ご夫妻
佐藤鉄彌夫妻
平成4年4月12日

1991～1992年度国際ロータリー第2510地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー
地区協議会
地区大会

ガバナー
佐藤　鉄弸（札幌北）

ガバナー・ノミニー
北村　実（函館）

分区代理
1. 前田　晃（羽幌）
2. 岩間　珠一（芦別）
3. 鍋島　済二（江別）
4. 岩瀬　一郎（札幌手稲）
5. 林下　忠雄（札幌真駒内）
6. 高橋　一郎（幌加内）
7. 浅利　作造（千歳）
8. 山科　幸一（えりも）
9. 奥山　卓郎（室蘭北）
10. 越田　広司（七飯）
11. 花田　浄恵（江差）

ガバナー諮問委員会(P.G.&G.N.)
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋　康次（札幌東）
籾谷　真一（小樽南）
白石　欽一（札幌手稲）
佐藤　鉄弸（札幌北）
北村　実（函館）

ガバナー指名委員会(P.G.&G.N.)
◎白石　欽一（札幌手稲）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
太宰　六郎（函館）
竹山　涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋　康次（札幌東）
籾谷　真一（小樽南）
北村　実（函館）

地区資金委員会
◎加藤　高正（札幌北）
深宮　正吉（札幌手稲）
小原　幸男（函館）

地区情報資料室
◎近藤　良一（札幌モーニング）
葛西　克己（札幌北）
神代　利臣（札幌幌南）
関堂　勝幸（札幌東）

地区幹事・会計
幹事　宮澤　正（札幌北）
副幹事　村川　舜一（〃）
〃　加賀谷正憲（〃）
〃　佐藤　章（〃）
〃　田中　宏（〃）
〃　田中　伸和（〃）
〃　加賀屋義範（〃）
〃　亀井　敏済（函館）
会計　高原　一雄（札幌北）

地区大会
委員長　森泉寺　寛（札幌北）
副委員長　谷口　良一（〃）
〃　小林　孝夫（〃）
〃　近藤　良一（札幌モーニング）
幹事　金田　弘夫（札幌北）
SAA　長村　和雄（〃）
会計　市川　孝義（〃）

ロータリー財団
管理委員
伊藤　義郎（P.G.）

国際ロータリー
財務委員会委員
伊藤　義郎（P.G.）

ロータリー米山記念奨学会
理事
森松　定男（P.G.）

日本国内会員増強委員会
委員
森松　定男（P.G.）

日本国内情報規定委員会
委員
竹山　涼一（P.G.）

ロータリーの友委員会
地区委員
菊地　千之（室蘭）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
カウンセラー
望月　武義（P.G.）
◎金田　弘夫（札幌北）
神代　利臣（札幌幌南）

職業奉仕委員会
カウンセラー
河邨文一郎（P.G.）
◎高山　惟夫（留萌）
柳田　泰（札幌真駒内）

広報委員会
◎伊坂　重孝（札幌）
畠山　武（札幌南）
田村　誠一（札幌北）
外崎　静二（函館）

国際奉仕委員会
◎三浦　祐晶（P.G.）
籾谷　真一（P.G.）
指川　健（札幌真駒内）
脊木　功喜（札幌東）

（国際共同委員会）
◎籾谷　真一（小樽南）
富田　嘉市（室蘭）
北村　実（函館）

（世界社会奉仕委員会）
◎指川　健（札幌真駒内）
佐々木敏雄（札幌）
伏木　忠了（札幌西）
藤林　幸廣（札幌西北）
岡田　泰紀（札幌北）
堀居　倡次（札幌モーニング）

（青少年交換委員会）
◎脊木　功喜（札幌東）
奥貫　一之（〃）
対木　正文（札幌西）
金井　重博（札幌南）
半田幸一郎（函館）
佐藤　宏（札幌北）
依本　審（芦別）
中島　勉（札幌幌南）
伊藤　登（新札幌）
平柳　邦生（札幌手稲）

青少年奉仕委員会
◎坂本　忠（P.G.）
岩崎　鉄男（札幌東）
川合　正修（留萌）
阪崎健治朗（札幌西）

（ローターアクト委員会）
◎川合　正修（留萌）
栗橋　義徳（伊達）
松川　済三（札幌北）
吉田　英俊（千歳）
光銭　吉郎（函館東）
岡本　等（岩見沢）

（インターアクト委員会）
◎岩崎　鉄男（札幌東）
大口　雄一（札幌）
遠藤　広雄（室蘭東）
松浦　百秋（函館五稜郭）
山川　稔弘（札幌幌南）

（ライラ委員会）
◎阪崎健治朗（札幌西）
大竹　秀文（小樽南）
小山　秀昭（札幌手稲）
川田　弘（札幌西）
中川　東（札幌北）

社会奉仕委員会
カウンセラー
竹山　涼一（P.G.）
◎塚原　房樹（札幌東）

（ボランティア活動委員会）
◎谷口　良一（札幌北）
倭　昭三（札幌西）
上野　修（札幌南）
森永　忠輔（札幌真駒内）
阿部　弘（札幌手稲）

（環境保全委員会）
◎上井　鐵造（札幌西）
今井　国雄（札幌南）
平　良一（札幌東）
和田　壬三（札幌幌南）
中島　忠美（札幌手稲）

拡大委員会
◎大橋　康次（P.G.）
籾谷　真一（P.G.）
白石　欽一（P.G.）

会員増強委員会
◎白石　欽一（札幌手稲）
前田　晃（羽幌）
岩間　珠一（芦別）
鍋島　済二（江別）
岩瀬　一郎（札幌手稲）
林下　忠雄（札幌真駒内）
高橋　一郎（幌加内）
浅利　作造（千歳）
山科　幸一（えりも）
奥山　卓郎（室蘭北）
越田　広司（七飯）
花田　浄恵（江差）

ロータリー財団委員会
◎大橋　康次（P.G.）
木村　文教（札幌東）
越山　司（札幌）
小澤　保知（札幌）
伊藤　千秋（札幌西）
村山　正（札幌）
石垣　博美（札幌西）

（財団国際親善奨学金委員会）
◎村山　正（札幌）
杉野目　浩（〃）
熊谷　直勝（札幌西）
駒ヶ嶺大三（札幌西）
土田　保穂（札幌北）

（G.S.E委員会）
◎石垣　博美（札幌西）
名塩良一郎（札幌東）
谷口　博（〃）
矢橋　温郎（札幌西）
松本　脩三（札幌）
杉村　俊之（札幌北）

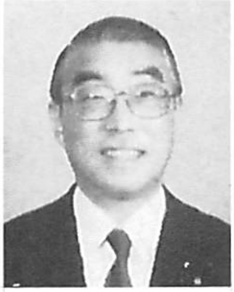
（財団増進委員会）
◎越山　司（札幌）
菊池　正巳（札幌南）
中山　博道（札幌）
池上　徳一（新札幌）
田中　修市（函館）

（財団学友委員会）
◎小澤　保知（札幌）
畑中　俊介（札幌南）
早崎　弘晃（札幌東）
大久保五郎（札幌北）
師尾　純一（札幌南）
中島　敏幸（函館）

米山記念奨学委員会
◎大山　猛熊（砂川）
土谷　茂樹（江別）
江端　俊夫（小樽）
金子　輝夫（新札幌）
浜田　正二（函館東）

1992～93年度 "Real Happiness is Helping Others"
「まことの幸福は人助けから」

RI会長 クリフォードL・ダクターマン　ガバナー 北村　實



略　　歴　昭33年中央大学法学部法律学科卒業
株式会社北村船具店代表取締役社長
函館商工会議所常議員
学校法人野又学園(函館大学)監事

ロータリー歴　昭48年函館RC入会
昭50年函館RC幹事
昭63年函館RC会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者

生年月日　昭8.2.27（函館市）

運営方針　連続性を保持し、ロータリー強化助成に努める。新なる可能性を目指してロータリー発展のため真剣に取り組む

重点施策　①均衡のよくとれたロータリープログラムの推進　③ロータリー財団への支援
②ロータリーに関しての知識と理解の向上　④ロータリーを会員増強によって推進

日本選出RI理事（1992～94）　松本　卓臣（福山RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	26,494	2,091	68	由仁ロータリークラブ
会員数	1,174,059	125,292	4,256	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第84回）	メルボルン（オーストラリア）	9月23日～26日	クリフォードL・ダクターマン	22,083	
地区大会	函館市民会館 函館国際ホテル	4月23日 24日	板橋　敏雄	1,923	函館RC
	大会テーマ：ロータリー、邂逅そして開眼 特別講演：「私の相撲人生」　元横綱初代若の花　花田　勝治				
地区協議会	留萌文化センター ホテルカクセン	5月16日	G：北村　實 GN：富山　惟夫	632	留　萌

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	中田　治巳	11月1日	滝川市ホテルスエヒロ	滝　川
第3分区	管野　是道	9月27日	栗沢町民センター	栗　沢
第4・第5分区合同	西村　雅吉	3月13日	札幌共済ホール	札幌西
第6分区	藤田　政昭	5月8日	小樽グランドホテル	小樽銭函
第7分区	伊藤　進	3月7日	恵庭市民会館	恵　庭
第8分区	氏江　欣一	2月21日	様似町中央公民館	様　似
第9分区	青木　春雄	2月28日	室蘭プリンスホテル	室　蘭
第10・第11分区合同	杉本　力夫	11月15日	函館市ホテル函館ロイヤル	函館東

ロータリー邂逅そして開眼

●地区のテーマ　クリフ・ダクターマンRI会長は、今年度テーマとして「まことの幸福は人助けから」を掲げられました。このテーマを受けて地区の活動方針として、次の言葉を提唱します。「日々の生活にロータリーのこころを、さりげない奉仕の実践を」。ロータリーのこころとは綱領であります。奉仕の理想とは他人に対する思いやりとお役立ちの心のことです。超我の奉仕とは、決して滅私奉仕ではありません。超我とはクラブのなかでの切磋琢磨を通して、我々をさらに高く生かすことであります。我を超えるとは自我を捨てることです。つまり共存共栄こそがロータリーの心なのです。大事なことは、自分は他人によって、日々生かされているということを自覚することです。ロータリーは対立ではなく統合です。人間の大道である「共に生きるため」の奉仕こそが、真の奉仕と言えるのではないでしょうか。しかもさりげなく……。

（月信１号）

●地区大会テーマ　1992-93当地区の年次大会のテーマは、函館出身の評論家亀井勝一郎氏の言葉をお借りして、「ロータリー邂逅そして開眼」とさせて頂きました。亀井勝一郎氏の哲理には、皆さんも青春時代にふれられたことと思います。私たちはもしあの時ロータリーと邂逅していなければ、今どうなっていたであろうか。そして大勢のロータリアンと邂逅していなければ、今の自分はあったであろうか。巡り会いによる開眼こそ人生において感謝すべき第一でありましょう。どうか来たる地区大会で新たな邂逅を求め、また古き友人との再会を喜び、感動を分かち合って下さるようお願いいたします。　（月信10号）

●龍安寺　百人のロータリアンがいれば、百のロータリー観がある。私はふと京都の龍安寺の「石庭」を思い浮かべました。The Rock Garden として海外にも広く紹介されているこの庭は、石の像（かたち）、石群、その集合、離散、遠近、起伏が禅であれ、哲学であれ、その見る人の思想、信条によって多岐に解され、心を魅きつけるのだそうです。

この様に人間とは、さまざまな価値観をもって生きています。ロータリーの究極の目的は「民主的価値観」を、ロータリアンの心に育むことにありましょう。それはポール・ハリスの提唱した寛容の精神に立ち、少数意見にも謙虚に耳を傾けること、すなわち相対的な理想主義であろうかと思うのです。

（月信12号）

●故北村ガバナーを偲んで　最後に「ロータリーの友」掲載の“新ガバナーのプロフィール”の記事をご紹介します。「さしたる趣味を持たない彼は、その精力を地域の奉仕にとその全てを捧げ（中略）…、常に誠実をモットーとし奉仕の実践を遂行されての日夜は、我々ロータリアンの範とするものであります。その情熱は、まさに奉仕の趣味人とも言えると思います」。ガバナーの重責を終えほっとしたのか、その年の12月60歳の若さで急逝されました。ロータリーのニューリーダーと

して嘱望されていたのに、かえすがえすも惜しい人を亡くしました。君は何故「ロータリーの世界に彗星の如く現れ、輝き、燃えつきたのか」。故北村ガバナーのご冥福をお祈り申しあげます。

1992～93年　第2510地区幹事　亀井　敏清

カンザス・シティー　国際協議会にて　1992.6

13年振りの函館開催となった地区大会

地区大会記念シンポジウムで地区大会を大いに盛上げていただいたパストガバナーの面々と

1992～1993年度国際ロータリー第2510地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

ガバナー
北村　實(函　館)

ガバナー・ノミニー
冨山　惟夫(留　萌)

分区代理
1. 石川　健治(留　萌)
2. 中田　治巳(滝　川)
3. 菅野　是道(栗　沢)
4. 西村　雅吉(札幌西)
5. 今崎　孝俊(札幌幌南)
6. 藤田　政昭(小樽銭函)
7. 伊藤　　進(恵　庭)
8. 氏江　欣一(様　似)
9. 青木　春雄(室　蘭)
10. 倉地　孝男(　森　)
11. 杉本　力夫(函館東)

ガバナー諮問委員会(P.G.&G.N.)
塩谷　　猛(札幌西)
森松　定男(札幌南)
伊藤　義郎(札　幌)
富田　嘉市(室　蘭)
太宰　六郎(函　館)
竹山　涼一(札幌南)
河邨文一郎(札幌西)
望月　武義(岩見沢)
三浦　祐晶(札幌北)
坂本　　忠(札　幌)
大橋　康次(札幌東)
籾谷　真一(小樽南)
白石　欽一(札幌手稲)
佐藤　鉄彌(札幌北)
北村　　實(函　館)
冨山　惟夫(留　萌)

ガバナー指名委員会(P.G.&G.N.)
◎佐藤　鉄彌(札幌北)
塩谷　　猛(札幌西)
森松　定男(札幌南)
伊藤　義郎(札　幌)
富田　嘉市(室　蘭)
太宰　六郎(函　館)
竹山　涼一(札幌南)
河邨文一郎(札幌西)
望月　武義(岩見沢)
三浦　祐晶(札幌北)
坂本　　忠(札　幌)
大橋　康次(札幌東)
籾谷　真一(小樽南)
白石　欽一(札幌手稲)
北村　　實(函　館)
冨山　惟夫(留　萌)

地区資金委員会
◎小原　幸男(函　館)
加藤　高正(札幌北)
対馬　良行(留　萌)

地区リーダーシップ養成グループ
議長　竹山　涼一(P．G)
副議長　塚原　房樹(札幌東)
〃　　桧山　一弥(函館亀田)

地区情報資料室
◎田中　　宏(札幌北)
長谷川振一(札幌東)
神代　利臣(札幌幌南)

地区幹事・会計
幹　事　亀井　敏清(函　館)
副幹事　田林　政徳(　〃　)
〃　　中野　孝二(　〃　)
〃　　半田幸一郎(　〃　)
〃　　太刀川善一(　〃　)
〃　　森川　順治(　〃　)
〃　　稲荷　康弘(　〃　)
〃　　塚原　房樹(札幌東)
〃　　寺西　保博(留　萌)
会　計　小林　　明(函　館)

地区大会
委員長　池見　厚一(函　館)
副委員長　渡辺恒三郎(　〃　)
幹　事　若山　　直(函　館)
SAA　石田　　勉(　〃　)
会　計　小林　　明(　〃　)

ロータリー米山記念奨学会
理　事
森松　定男(P.G.)

日本国内会員増強委員会
委　員
森松　定男(P.G.)

日本国内情報規定委員会
委　員
竹山　涼一(P．G)

ロータリーの友委員会
地区委員
西條　正博(札　幌)

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
カウンセラー
望月　武義(P．G)
◎田中　修市(函　館)
棚田　　清(江　差)

職業奉仕委員会
カウンセラー
白石　欽一(P．G)
◎中村　　康(札幌南)
堀　　　寛(札　幌)
谷口　良一(札幌北)

広報委員会
◎伊坂　重孝(札　幌)
田村　誠一(札幌北)
外崎　静二(函　館)
作田　和幸(札幌東)

国際奉仕委員会
◎三浦　祐晶(P．G)
伊藤　千秋(札幌西)
青木　功喜(札幌東)

(世界社会奉仕委員会)
◎伊藤　千秋(札幌西)
渡辺恒三郎(函　館)
北市　郁雄(札幌あけぼの)
岩倉　賢周(苫小牧)
杉浦重次郎(札幌手稲)
藤林　幸宏(札幌西北)
中島　一郎(札幌南)

(青少年交換委員会)
◎青木　功喜(札幌東)
○金井　重博(札幌南)
○奥貫　一之(札幌東)
平柳　邦生(札幌手稲)
佐藤　　宏(札幌北)
中島　　勉(札幌幌南)
伊藤　　豊(新札幌)
伏木　忠了(札幌西)
西村　憲人(函館五稜郭)
斉藤　　洌(北広島)

青少年奉仕委員会
◎河邨文一郎(P．G)
大口　雄一(札　幌)
川合　正修(留　萌)
阪崎健治朗(札幌西)

(ローターアクト委員会)
◎川合　正修(留　萌)
光銭　吉郎(函館東)
松川　清三(札幌北)
吉田　英俊(千　歳)
岡本　　等(岩見沢)
栗田　　進(伊　達)

(インターアクト委員会)
◎大口　雄一(札　幌)
関堂　勝幸(札幌東)
遠藤　広雄(室蘭東)
松浦　百秋(函五稜郭)
山川　稔弘(札幌幌南)

(ライラ委員会)
◎阪崎健治朗(札幌西)
中川　　東(札幌北)
川田　　弘(札幌西)
秋山　孝二(札　幌)
田中　伸和(札幌北)
太刀川善一(函　館)
梅津　茂樹(　森　)

社会奉仕委員会
カウンセラー
籾谷　真一(P．G)
◎石田　　誠(札幌手稲)
近藤　良一(札幌モーニング)

(人間尊重委員会)
◎太田康太郎(札幌東)
佐々木　弘(七　飯)
神山　寛郎(赤　平)
畑中　俊介(札幌南)

(環境保全委員会)
◎上井　鉄造(札幌西)
加藤健太郎(函　館)
和田　壬三(札幌幌南)
田中　四郎(札幌東)

(地域開発委員会)
◎矢橋　温郎(札幌西)
宮内　　優(札幌南)
三本木　元(函館北)
岩本　　貴(札幌幌南)

拡大委員会
◎籾谷　真一(P．G)
白石　欽一(P．G)
佐藤　鉄彌(P．G)

会員増強委員会
◎佐藤　鉄弥(札幌北)
石川　健治(留　萌)
中田　治巳(滝　川)
菅野　是道(栗　沢)
西村　雅吉(札幌西)
今崎　孝俊(札幌幌南)
藤田　正昭(小樽銭函)
伊藤　　進(恵　庭)
氏江　欣一(様　似)
青木　春雄(室　蘭)
倉地　孝男(　森　)
杉本　力夫(函館東)

ロータリー財団委員会
◎大橋　康次(P．G)
石垣　博美(札幌西)
杉野目　浩(札　幌)
越山　　司(札　幌)
岸　　　力(札　幌)
小澤　保知(札　幌)

(財団国際親善奨学金委員会)
◎杉野目　浩(札　幌)
駒ヶ嶺大三(札幌西)
上田　保穂(札幌北)
鳥津　宏興(札幌南)

(G.S.E委員会)
◎小澤　保知(札　幌)
谷口　　博(札幌東)
佐藤　　章(札幌北)
大坂　　忠(札幌手稲)

(財団増進委員会)
◎越山　　司(札　幌)
富原　　薫(札　幌)
菊池　正己(札幌南)
池上　徳一(新札幌)
川端　久雄(函　館)

(財団学友委員会)
◎岸　　　力(札　幌)
植田　英隆(札　幌)
小林　　博(札幌北)
千葉　峻三(札幌東)
師尾　純一(札幌南)
中島　敏幸(函　館)

米山記念奨学委員会
◎岩城　秀晴(札幌南)
大山　猛熊(砂　川)
浜田　正二(函館東)
西岡　憲唐(札幌西北)
北島　　悳(札幌南)

1993～94年度 “Believe in what you do. Do what you believe in”
「行動に信念を　信念は行動に」

RI会長 ロバートR・バース　ガバナー 富山惟夫

略　　歴　昭25年北海道大学医学部卒業
富山整形外科病院院長
北海道ゲートボール連合会長

ロータリー歴　昭40年留萌RC入会
昭45年留萌RC幹事
昭49年留萌RC会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
米山功労者、メモリアル・コントリビューター

生年月日　大14.8.17（留萌市）

運営方針　信念そして理念と因縁

重点施策　①会員増強と、地区拡大の推進
②会員間の親睦と仲間意識の向上
③ロータリーに関して知識と理解の向上
④環境保全の促進、財団の支援、青少年への奉仕

日本選出RI理事（1992～94）　財務長　松本　卓臣（福山RC）

	世界	日本	地区	結成新クラブ
クラブ数	26,979	2,131	68	
会員数	1,190,923	126,579	4,213	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第85回）	台北（中華民国）	6月12日～15日	ロバートR・バース	31,161	
地区大会	ロイトン札幌 北海道厚生年金会館	5月13日 14日	松本　卓臣	2,744	札幌幌南
	大会テーマ：ロータリーの心、そしてその展開 特別講演：「我が国の福祉」　寛仁親王殿下				
地区協議会	札幌パークホテル	5月29日	G：富山　惟夫 GN：富原　薫	520	札幌モーニング

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	登録者数
第1・第2分区合同	鈴木　美彦 小泉　洌	5月22日	深川市生きがい文化センター	深川	347名
第3分区	武藤　信一	10月24日	岩見沢ホテルサンプラザ	岩見沢	277名
第4・第5分区合同	藤林　幸廣 西田　常一	3月26日	札幌プリンスホテル	札幌西北	613名
第6分区	高橋　良造	4月16日	小樽グランドホテル	小樽	208名
第7分区	宮崎　真	5月21日	北広島石狩教育研修センター	北広島	405名
第8分区	佐藤　隆司	2月27日	静内町公民館	静内	145名
第9分区	遠藤　秀雄	2月20日	登別グランドホテル	登別	173名
第10・第11分区合同	小原　幸男 外村　一也	11月14日	函館市五島軒本店	函館	281名

※7月12日発生した北海道南西沖地震に対して被災者へ救援活動を実施する。

感激の１年

はじめに：ノミニー時代を含めて、私のガバナーの思い出は正に感激の１年であり、感謝の日々であった。これらに比重の差はないが、こゝでは備忘の意味も兼ねて、その幾つかを記してみたい。

１．北海道南西沖地震

この発生は全く予期しないものであったが、私の年度を通じて大きなウエイトを占める出来事となった。1993年７月12日夜、公式訪問がはじまって間もない私は、当別町のホテルで大きな揺れを感じたが、予感通り奥尻島を中心とする大地震に加えての津波・火災の発生であった。翌13日の午前中はホテルの一室が対策本部となり、武蔵第３分区代理・福井当別クラブ会長・前田幹事の皆さんのお手伝いを頂き乍ら地区事務所と連絡をとり合った。と同時にRIバース会長様・松本卓臣理事様をはじめとして、地区内外から多くの義援金が寄せられたが、私は地区の先輩ガバナー、同期ガバナー、地区内関係委員会、地区事務所のスタッフ等のアドバイスを受けて、この義援金の一部を被災青少年の為に使わせて頂くべく決心をした。結局は北海道高等学校長協会に事務取扱いを寄託し、1995年３月末日をもって閉鎖したが、その簡略は以下の通りである。

①義援金の総額は145,489,000円であり、その全額を災害救助に使用した。②総額のうち80,489,000円は日赤道支部へ寄付し、残りの65,000,000円が青少年支援に使われた。③奨学金を支給した生徒数は117名であり、高校数は21校、その拡がりは６支庁管内に及んだ。願わくは、これらの生徒諸君が、将来地球規模でものを考えられる人に、国際理解のある善良な日本国民に成長してくれる事を願うと共に、思いやりの心を育んでくれることを祈って已まない。

２．公式訪問

公式訪問は７月４日から開始したが、手はじめは三石クラブであった。はじめての日高路の旅は、私にとっては不安と期待の交錯したものであったが、ご夫人方を交えた心温まる例会は、ロータリーの良さをしみじみと私に味わわせてくれた。浦河クラブでは有名な５冠馬シンザンと記念写真を撮る機会があったし、又静内クラブでは馬のたねつけを見学させて頂いたのははじめての経験であった。又松前町ははじめての訪問であったが、会員の少ない同クラブで、総数６名による例会開催とロータリーソングの斉唱は感激ですらあった。又松前では歴代藩主の墓所をご案内頂いたが、偶然発見したのが椿姫という名の奥方の墓であった。扉に十字架の刻まれたこの墓は私に限りない空想を惹き出させてくれたが、後日私は月信に「日本の椿姫」という一文を載せる端緒ともなった。江差追分の流れる町江差クラブの訪問も忘れ難い。いずれにしても、どのクラブの公式訪問も感激の連続であったし、好意と友情をしみじみと感じた旅であった。

３．地区大会

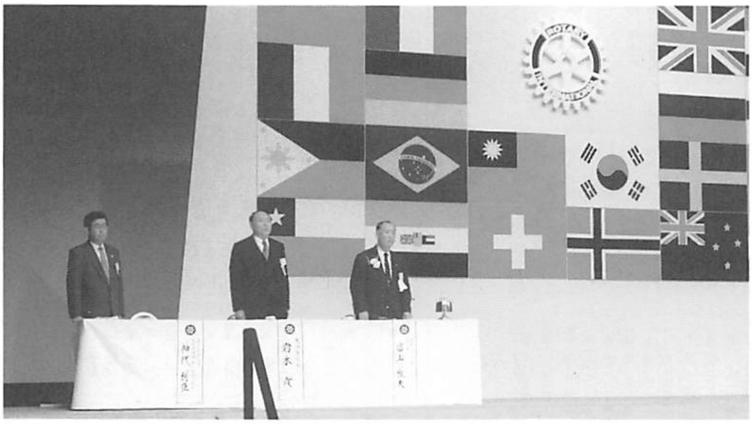
地区大会は、ホストをお引き受け下さった札幌幌南クラブのお陰で、空前の登録者と、企画力と、好天と、松本卓臣RI会長代理のお人柄によって成功裡に終了した。ホテルロイトンで行われた初日のハイライトはビデオ上

映「憶えていてください〜ロータリー・災害の救援〜」で、製作者亀井敏清氏とナレーター塚原孝子様の力作は、視聴者の涙を誘った。厚生年金会館での開幕はトランペッターのシルエットとその音色で参加者の度肝を抜いたし、寛仁親王殿下の軽妙な記念講演は感銘的なものであった。

おわりに：ガバナー終わって間もない私にとって、今は只感謝の念が残るだけである。願わくはこの経験をロータリーの為にお返しできればと願っている現在の心境である。

第2510地区パストガバナー　富山　惟夫

南西沖地震の奨学資金贈呈式（於函館、野呂・鈴木親子を囲んで）



地区大会２日目（厚生年金会館）、左より札幌幌南RC神代会長、岩本大会委員長、富山ガバナー

五冠馬シンザンと共に（浦河にて）

歴代松前藩主の墓所を訪ねて（松前町、椿姫の墓所にて）

1993～1994年度国際ロータリー第2510地区組織図

ロータタリー米山記念奨学会
理　事
白石　欽一（P・G）

世界親睦活動実行グループ
実行メンバー
竹山　涼一（P・G）

ポリオ・プラス実行グループ
実行メンバー
阿部文一郎（P・G）

ロータリーの友委員会
地区委員
中村　康（札幌南）

クラブ会長エレクト研修セミナー

地区協議会

地区大会

ガバナー
富山　惟夫（留萌）

ガバナー・ノミニー
富原　薫（札幌）

分区代理
1. 鈴木　英彦（深川）
2. 小泉　洌（砂川）
3. 武藏　信一（岩見沢）
4. 藤林　幸廣（札幌西北）
5. 西田　常一（新札幌）
6. 高橋　良造（小樽）
7. 宮崎　真（北広島）
8. 佐藤　隆司（静内）
9. 遠藤　秀雄（登別）
10. 小原　幸男（函館）
11. 外村　一也（函館五稜郭）

ガバナー諮問委員会
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
竹山　涼一（札幌南）
阿部文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋　康次（札幌東）
籾谷　真一（小樽南）
白石　欽一（札幌手稲）
佐藤　鉄彌（札幌北）
北村　實（函館）
富原　薫（札幌）

ガバナー指名委員会
◎坂本　忠（札幌）
塩谷　猛（札幌西）
森松　定男（札幌南）
伊藤　義郎（札幌）
富田　嘉市（室蘭）
竹山　涼一（札幌南）
阿部文一郎（札幌西）
望月　武義（岩見沢）
三浦　祐晶（札幌北）
大橋　康次（札幌東）
籾谷　真一（小樽南）
白石　欽一（札幌手稲）
佐藤　鉄彌（札幌北）
北村　實（函館）
富原　薫（札幌）

地区財務委員会
◎対馬　良行（留萌）②
小原　幸男（函館）①
越山　司（札幌）③
澤井　定七（留萌）①

地区研修リーダー
研修リーダー
竹山　涼一（P・G）
研修サブリーダー
塚原　功樹（札幌東）

地区情報資料室
◎神代　利臣（札幌幌南）
飯田　英年（札幌あけぼの）
亀井　敏清（函館）
長谷川拓一（札幌東）

地区幹事
幹事　寺西　保博（留萌）
副幹事　井内　球雄（留萌）
副幹事　大桶　修一（留萌）
副幹事　越野　俊興（留萌）
副幹事　近藤　良一（札幌モーニング）
副幹事　西條　正博（札幌）
副幹事　佐藤　傑（留萌）
副幹事　立山　一三（留萌）
副幹事　辺　直幸（留萌）

地区大会
大会委員長　岩本　貫（札幌幌南）
副委員長　浅井　雅雄（札幌幌南）
副委員長　上林　登（札幌幌南）
副委員長　吉田　彰（札幌幌南）
幹事　羽部　大仁（札幌幌南）
S・A・A　木村　利彦（札幌幌南）
会計　戸井　敏夫（札幌幌南）

オン・ツー台北委員会
アドバイザー　富原　薫（札幌）
委員長　三浦　祐晶（札幌北）
副委員長　指川　健（札幌真駒内）
副委員長　佐々木敏雄（札幌）
委員　堀居　信次（札幌モーニング）
伏木　忠了（札幌西）
越田　広司（七飯）
山下　真史（砂川）
黒田　一夫（札幌真駒内）
池上　徳一（新札幌）
土屋　孝人（苫小牧北）
志比川　武（留萌）
小沢　敏三（恵庭）
戸部　謙一（札幌西）
石川　健治（留萌）
川合　正修（留萌）
井内　球雄（留萌）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
カウンセラー
佐藤　鉄彌（P・G）
◎石川　健治（留萌）
泰泉寺　寛（札幌北）

職業奉仕委員会
カウンセーラー
望月　武義（P・G）
◎土谷　茂樹（江別西）
堀　寛（札幌）
渡邊　一義（深川）

広報委員会
◎畠山　武（札幌南）
川崎　秀雄（札幌南）
平井　誠治（留萌）

国際奉仕委員会
◎三浦　祐晶（P・G）
伊藤　千秋（札幌西）
村山　正（札幌）

（世界社会奉仕委員会）
◎伊藤　千秋（札幌西）
岩倉　賢周（苫小牧）
猪股　栄三（滝川）
北市　郁雄（札幌あけぼの）
霊滓　忠宜（伊達）
越田　広司（七飯）
佐藤　亮雄（札幌モーニング）
杉浦重次郎（札幌手稲）

（青少年交換委員会）
◎村山　正（札幌）
井口　光雄（札幌西北）
金子　隆（札幌手稲）
佐藤　宏（札幌北）
鍛々堀重孝（栗山）
清水　慧子（長沼）
土倉　裕之（札幌東）
中島　勉（札幌幌南）
半田幸一郎（函館）
伏木　忠了（札幌西）

青少年奉仕委員会
◎阿部文一郎（P・G）
大口　雄一（札幌）
阪崎健治朗（札幌西）
川合　正修（留萌）
戸井　康発（滝川）

（ローターアクト委員会）
◎川合　正修（留萌）
笠原　邦之（岩内）
菊池　敬夫（室蘭北）
西沢　良知（赤平）
浜田　正二（函館東）
松川　清三（札幌北）
村上　利夫（恵庭）

（インターアクト委員会）
◎大口　雄一（札幌）
浅野　剛（岩見沢）
遠藤　広雄（室蘭東）
関堂　勝幸（札幌東）
土合　和英（登別）
堀川　孝明（札幌モーニング）
松浦　百秋（函館五稜郭）
山川　稔弘（札幌幌南）

（ライラ委員会）
◎戸井　康発（滝川）
秋山　孝二（札幌）
太刀川善一（函館）
中川　東（札幌北）
中村　宏（羽幌）
水島　孝嗣（砂川）

地区社会奉仕委員会
カウンセラー
籾谷　真一（P・G）
◎藤田　信一（苫小牧北）
田中　四郎（札幌東）
和田　壬三（札幌幌南）
加藤健太郎（函館）

（人間尊重委員会）
◎田中　四郎（札幌東）
神山　寛郎（赤平）
畑中　俊介（札幌南）

（環境保全委員会）
◎和田　壬三（札幌幌南）
丹治　秀一（千歳）
藤崎　義光（札幌西北）

（地域発展委員会）
◎加藤健太郎（函館）
末永　信一（芦別）
宮内　優（札幌南）

地区拡大委員会
◎白石　欽一（P・G）
佐藤　鉄彌（P・G）
北村　實（P・G）

会員増強委員会
◎北村　實（P・G）
鈴木　英彦（深川）
小泉　洌（砂川）
武藏　信一（岩見沢）
藤林　幸廣（札幌西北）
西田　常一（新札幌）
高橋　良造（小樽）
宮崎　真（北広島）
佐藤　隆司（静内）
遠藤　秀雄（登別）
小原　幸男（函館）
外村　一也（函館五稜郭）

ロータリー財団委員会
◎大橋　康次（P・G）
杉野目　浩（札幌）
越山　司（札幌）
石垣　博英（札幌西）
小澤　保知（札幌）
岸　力（札幌）
石田　誠（札幌手稲）

（財団国際親善奨学金委員会）
◎杉野目　浩（札幌）
斎藤　和雄（札幌北）
島津　宏興（札幌南）
松本　脩三（札幌）
奥貫　一之（札幌東）

（G・S・E委員会）
◎小澤　保知（札幌）
大阪　忠（札幌手稲）
佐藤　章（札幌北）
谷口　博（札幌東）
星野　恭亮（札幌東）
堀口　郁夫（札幌モーニング）
矢橋　潤郎（札幌西）
渡部　英次（留萌）

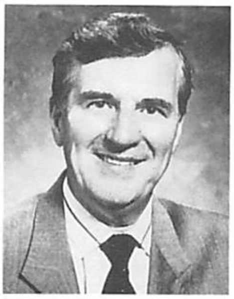
（財団増進委員会）
◎越山　司（札幌）
池上　徳一（新札幌）
梅田　恒（札幌あけぼの）
菊池　正巳（札幌南）
横井　久（札幌）

（財団学友委員会）
◎岸　力（札幌）
植田　英隆（札幌）
須賀　昭（室蘭北）
千葉　峻三（札幌東）
福田　武男（千歳）
渡辺　雅敏（小樽南）

米山記念奨学委員会
◎岩城　秀晴（札幌幌南）
大山　猛航（砂川）
太田　實（札幌真駒内）
北島　廣（札幌南）
針谷　龍宜（札幌手稲）

1994～95年度 "Be a friend"
「友達になろう」

RI会長 ウィリアムH・ハントレー　ガバナー 富原　薫



略　　歴　早稲田大学専門部法科修了
　　　　　北海道放送株式会社社長
ロータリー歴　シニア・アクチブ（放送）
　　　　　昭56年札幌RC入会
　　　　　平2～3年札幌RC会長
　　　　　昭60年地区広報委員長
　　　　　ポール・ハリス・フェロー
生年月日　大5.3.20

運営方針　共通の目的をもって一緒に歩こう!!
重点施策　①地元や職場で友達になろう　②地域の人々と友達になろう　③遠く離れた人々と友達になろう
重点目標　①地区の拡大と会員増強　②ロータリーに関しての知識と理解向上　③財団と米山への支援

日本選出RI理事（1994～96）　服部禮次郎（東京銀座RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	27,486	2,178	68	
会員数	1,208,324	127,263	4,209	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第86回）	ニース（フランス）	6月11日～14日	ウィリアムH・ハントレー	34,077	
地区大会	札幌プリンスホテル 北海道厚生年金会館 札幌グランドホテル	4月22日 23日	服部禮次郎	2,236	札　幌
	大会テーマ：友達になろう 特別講演：「新世紀への挑戦—創知産業で北海道の活力を—」　福川　伸次				
地区協議会	札幌パークホテル	4月9日	G：富原　薫 GN：西條　正博	523	新札幌

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	上野　鴻洋 岡田　知治	5月21日	赤平市文化会館、赤平市総合体育館	赤　平
第3分区	戸田　紀夫	10月22日	当別町農村環境改善センター、田西会館	当　別
第4・第5分区合同	北市　郁雄 菊池　正巳	4月1日	札幌パークホテル	札幌南
第6分区	西　信博	4月15日	小樽国際ホテル	小樽南
第7分区	高塚　信和	2月26日	びーとる101	千歳セントラル
第8分区	浜田　豊	3月12日	浦河町基幹集落センター、堺町会館	浦　河
第9分区	金沢　智光	2月5日	室蘭蓬峡殿	室蘭東
第10・第11分区合同	佐藤　一雄 川村　昭夫	2月18日	函館ロイヤルホテル	函館五稜郭

※1月17日発生した阪神大震災に際し、2680地区へ義援金として1千万円を送金する。

千歳不易・一時流行

今振り返ってみますと、1994年から95年にかけての一年間は、まさに、激動、騒然たる一年であった、と思います。ガバナーとしては、戦後五十年の節目の年への想いとあわせて、阪神大震災からオウム事件と戦後の意味を問われるような世情のなかで、不易流行、いかに日常の活動が大切であるかを、教えられつづけた一年であった、との感がしきりです。千歳不易の価値を見据えて努力を重ねる志には、それなりの覚悟が必要です。

94年、6月の台湾で行われた国際大会でのことです。ゲストに招待された96歳になるパーシー・チュウという中国人のオールドロータリアンの言葉に打たれました。

ロータリーの本質を、政治、宗教、民族を超越した奉仕の精神、と言い切った彼の言葉には、1934年度、戦争直前の国際都市、上海クラブの会長を経て、戦中から長い国際的な孤立の時代を生き抜いてきた人の確固とした信念が込められていました。

1万5千人を越える会員を前にして、説得力のある矍鑠（カクシャク）たる語調でした。

そこから、私の地区内68のクラブへの公式訪問の旅が始まったわけです。行脚の初めに、私は二つの事を考えました。一つは訪問する全クラブのことを、12回にわたる月信に記してゆきたい。そのための配慮と構想をたてました。また、もう一つは、多様な活動のなかから環境の問題をテーマにして、会員の活動を軸にしたテレビのドキュメンタリーの番組を創りたい、ということでした。

今、12回にわたる月信を、読み返してみますと、公式訪問でのさまざまな出会いと、その帰途に考えた、と言うより考えさせられた多くのことが鮮明に甦ってきます。

身体障害者の保護公園に植樹しつづけた梅の木に実がなりました。そのクラブでは、梅班を編成して、梅干し造りに町ぐるみで取り組み、その収入を施設へと還元していました。

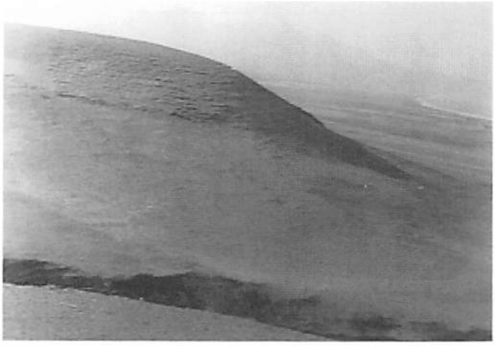
大輪の向日葵が、太陽にむかって明るく咲いていました。

不毛の砂漠といわれた海辺に、昔は大きな切り株があったという一言から、苦節四十年、木を植えつづけ、ようやく育った美しい森を見ました。森のおかげで、海が甦り、昆布と魚が帰ってきたという話を聞いて、思わず呟いた言葉の思い出。

「地球が、どんなによろこんぶ」

過疎の現実、高齢化にともなう福祉への取り組み、そうしたなかでの村おこし、町おこしの努力がつづいていました。鰊場跡、駅の跡、そしてオロロン鳥を呼び返すための計画。「これからですよ」そう言って、爽やかに笑った人たちの顔が、夜の帰り道、日本海に浮かぶイカ釣りの漁火に、いつまでもだぶっていました。その遠い明かりにむかって、私は、「こころあらば、オロロンよ。鰊をつれて戻ってこい」と、祈りのように呼びかけていました。

百年後のことをにらんで続けられている植樹活動、渡り鳥の食害と農家の間にはいって共存の道をさぐりつづけている人たち、そしてまた、郷土の画家のため、美術館建設に12年の時間をかけて完成させた人たち、思い出は尽きることがありません。日常のなかで千歳不易の価値をみつめて、それこそ地域ごと


不毛の砂漠といわれた40年前のえりも岬

今日も、植樹活動を続けるえりもロータリーのみなさん

に、政治、宗教、民族を越えた具体的な活動がつづけられているのです。

私のもう一つの宿題だったテレビのドキュメンタリーは、番組のスタッフがそのタイトルを、「あした」と名づけました。

世界の各地、そして北海道の第2510地区で、地球環境のために活動している人たちの姿を一年にわたって取材してまとめたものです。

「もしもあした、世界が滅びるとしても、それでも今日、私は種を蒔きます。あしたのために」

中世のアッシジで、そう言った聖人の言葉をキイ・コンセプトとした作品でした。

第2510地区パストガバナー

富原　薫

1994～1995年度国際ロータリー第2510地区組織図

- クラブ会長エレクト研修セミナー
- 地区協議会
- 地区大会

ガバナー
富山　薫(札　幌)

ガバナー・ノミニー
西條　正博(札　幌)

◎　委員長

分区代理

1. 上野　鴻洋(小　平)
2. 岡田　知治(赤　平)
3. 戸田　紀夫(当　別)
4. 北市　郁雄(札幌あけぼの)
5. 菊池　正巳(札幌南)
6. 西　信博(小樽南)
7. 高塚　信和(千歳セントラル)
8. 浜田　豊(浦　河)
9. 金沢　智光(室蘭東)
10. 佐藤　一雄(長万部)
11. 川村　昭夫(函館北)

ガバナー諮問委員会

塩谷　猛(札幌西)
森松　定男(札幌南)
伊藤　義郎(札　幌)
富田　嘉市(室　蘭)
竹山　涼一(札幌南)
河邨文一郎(札幌西)
望月　武義(岩見沢)
三浦　祐晶(札幌北)
坂本　忠(札　幌)
大橋　康次(札幌東)
籾谷　真一(小樽南)
白石　欽一(札幌手稲)
佐藤　鉄彌(札幌北)
富山　惟夫(留　萌)
西條　正博(札　幌)

ガバナー指名委員会

◎籾谷　真一(小樽南)
塩谷　猛(札幌西)
森松　定男(札幌南)
伊藤　義郎(札　幌)
富田　嘉市(室　蘭)
竹山　涼一(札幌南)
河邨文一郎(札幌西)
望月　武義(岩見沢)
三浦　祐晶(札幌北)
坂本　忠(札　幌)
大橋　康次(札幌東)
白石　欽一(札幌手稲)
佐藤　鉄彌(札幌北)
富山　惟夫(留　萌)
西條　正博(札　幌)

地区財務委員会

◎越山　司(札　幌)
対馬　良行(留　萌)
高薄　浩志(札　幌)

地区研修リーダー

研修リーダー
竹山　涼　(P. G)
研修サブリーダー
塚原　房樹(札幌東)

地区情報資料室

カウンセラー
竹山　涼一(P. G)
◎神代　利臣(札幌幌南)
飯田　英年(札幌あけぼの)
亀井　敏清(函　館)
長谷川振一(札幌東)

地区幹事

幹　事　西條　正博(札　幌)
副幹事　松村　尭一(札　幌)
副幹事　植田　英隆(札　幌)
副幹事　竹内　宏二(札　幌)
副幹事　廣川　雄一(札　幌)

地区大会

大会委員長　中野　友雄(札　幌)
大会副委員長　久郷　昌夫(札　幌)
大会副委員長　堀　真(札　幌)
大会幹事　浅野　国夫(札　幌)
大会副幹事　大沼　哲夫(札　幌)
大会副幹事　荒　紀男(札　幌)
大会副幹事　高薄　浩志(札　幌)
大会S.A.A.　横井　久(札　幌)
大会会計　仲村　参郎(札　幌)

国内委員会

ロータリー米山記念奨学会

理　事
白石　欽一(P. G)

ロータリーの友委員会

地区委員
山中　善夫(札　幌)

11月からガバナースタッフの一部異動

西條地区幹事が1995～96年度地区ガバナーノミニーに決定いたしましたので、下表のように異動。

ガバナー　富原　薫			
財務委員会	委員長	木須　利平(札幌)※	予算・決算・監査
	委　員	立山　一三(留萌)※	
	委　員	寺井隆太郎(札幌)※	
	委　員	高薄　浩志(札幌)	会　計
地区幹事・副幹事	幹事(代行)	越山　司(札幌)※	総　括
	副幹事	松村　尭一(札幌)	ガバナー月信・分区代理
	副幹事	植田　英隆(札幌)	公式訪問・三大行事
	副幹事	竹内　宏二(札幌)	国際関係委員会
	副幹事	廣川　雄一(札幌)	国内関係委員会

※印が新任・異動です

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会

カウンセラー
佐藤　鉄彌(P. G)
◎桑泉寺　真(札幌北)
笠原　正秀(札幌東)
津田　晴美(新札幌)

職業奉仕委員会

カウンセラー
望月　武義(P. G)
◎土谷　茂樹(江別西)
堀　昭良(岩見沢東)
渡辺　一義(深　川)

広報委員会

◎武田　圭策(札　幌)
滝井　稲夫(札　幌)

国際奉仕委員会

◎三浦　祐晶(P. G)
伊藤　千秋(札幌西)
村山　正(札　幌)
畑中　俊介(札幌南)

(世界社会奉仕委員会)

◎伊藤　千秋(札幌西)
越田　広司(七　飯)
杉浦重次郎(札幌手稲)
宮本　隆文(札幌西)
大栃　修一(留　萌)
西岡　憲廣(札幌西北)
井後幸太郎(札　幌)

(趣味・職業別親睦活動委員会)

◎畑中　俊介(札幌南)
山形　常夫(札幌南)
牧野　利春(札幌モーニング)

(青少年交換委員会)

◎村山　正(札　幌)
井口　光雄(札幌西北)
金子　隆(札幌手稲)
玉木　弘孝(札幌北)
鶴々堀重孝(栗　山)
清水　慧子(長　沼)
上倉　裕之(札幌東)
上谷　享(札幌幌南)
石田　勉(函　館)
伏木　忠了(札幌西)

青少年奉仕委員会

◎河邨文一郎(P. G)
川合　正修(留　萌)
大竹昭三郎(札　幌)
阪崎健治朗(札幌西)

(ローターアクト委員会)

◎川合　正修(留　萌)
笠原　邦之(岩　内)
西沢　良知(赤　平)
浜田　正二(函館東)
松川　清三(札幌北)
村上　利雄(恵　庭)
川岸　洋一(伊　達)

(インターアクト委員会)

◎大竹昭三郎(札　幌)
山川　稔弘(札幌幌南)
関堂　勝幸(札幌東)
堀川　孝明(札幌モーニング)
両角　栄三(札　幌)
岡田　健一(室蘭東)
澤田　忠治(函館五稜郭)
五十嵐　剛(岩見沢)
上合　和英(登　別)
細川　好弘(静　内)

(ライラ委員会)

◎阪崎健治朗(札幌西)
戸井　康堯(滝　川)
石黒　安雅(滝　川)
菅原　耕治(札幌北)
太桑　康紀(札幌西)
小山　秀明(札幌手稲)

社会奉仕委員会

カウンセラー
籾谷　真一(P. G)
◎藤田　信一(苫小牧北)
道　重幸(留　萌)
和田　壬三(札幌幌南)
加藤健太郎(函　館)

(人間尊重委員会)

◎道　重幸(留　萌)
神山　寛郎(赤　平)
阿部　光一(苫小牧北)

(環境保全委員会)

◎和田　壬三(札幌幌南)
丹治　秀一(千　歳)
藤崎　義光(札幌西北)

(地域発展委員会)

◎加藤健太郎(函　館)
末永　信一(芦　別)
宮内　優(札幌南)

拡大委員会

◎佐藤　鉄彌(P. G)
富山　惟夫(P. G)

会員増強委員会

◎富山　惟夫(P. G)
上野　鴻洋(小　平)
岡田　知治(赤　平)
戸田　紀夫(当　別)
北市　郁雄(札幌あけぼの)
菊池　正巳(札幌南)
西　信博(小樽南)
高塚　信和(千歳セントラル)
浜田　豊(浦　河)
金沢　智光(室蘭東)
佐藤　一雄(長万部)
川村　昭夫(函館北)

ロータリー財団委員会

◎大橋　康次(P. G)
斎藤　和雄(札幌北)
小澤　保知(札　幌)
横井　久(札　幌)
岸　力(札　幌)
石垣　博美(札幌西)
石田　誠(札幌手稲)

(財団国際親善奨学金委員会)

◎斎藤　和雄(札幌北)
島津　宏興(札幌南)
松本　脩三(札　幌)
内山　洋一(札　幌)
奥貫　一之(札幌東)

(財団増進委員会)

◎横井　久(札　幌)
池上　徳一(新札幌)
梅田　恒(札幌あけぼの)

(G.S.E.委員会)

◎小澤　保知(札　幌)
青木　功喜(札幌東)
大坂　忠(札幌手稲)
佐藤　章(札幌北)
堀口　郁夫(札幌モーニング)
矢橋　温郎(札幌西)

(財団学友委員会)

◎岸　力(札　幌)
市川　唯行(札　幌)
須賀　昭(室蘭北)
千葉　峻三(札幌東)
福田　武男(千　歳)
渡辺　雅敏(小樽南)

米山記念奨学委員会

◎岩城　秀晴(札幌南)
太田　實(札幌真駒内)
針谷　龍宜(札幌手稲)
堀居　信次(札幌モーニング)
川崎　秀雄(札幌南)

1995～96年度 “Act with Integrity, Serve with Love, Work for Peace.”
「真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身」

RI会長 ハーバートG・ブラウン　ガバナー 西 條 正 博

略　　歴　㈱道水常勤監査役
昭23年東北大学法学部経済科卒業
「小さな親切」北海道本部副代表

ロータリー歴　昭43年札幌RC入会
昭45-46札幌RC幹事
昭51-52第251地区地区幹事
昭62-63札幌RC会長
ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー、
米山功労者

生年月日　大12.2.1（釧路市）

運営方針　「会員増強」を!!

重点施策　「女性会員を積極的に入会させよう」
「若い人を積極的に入会させよう」
「退会防止」

日本選出RI理事（1994～96）服部禮次郎（東京銀座RC）　　（1995～97）今井　鎮雄（神戸西RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	28,134	2,214	68	
会員数	1,206,112	129,875	4,254	

会　合	場　所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第87回）	カルガリー（カナダ）	6月23日～26日	ハーバートG・ブラウン		
地区大会	北海道厚生年金会館 札幌グランドホテル 札幌プリンスホテル	5月10日 11日	小久保晴行	2,436	札　幌
	大会テーマ：もっと、明日へ 特別講演：「元気にしなやかに、したたかに」　コーディネーター　加藤　タキ				
地区協議会	小樽市民会館	4月14日	G ：西條　正博 GN：野口　信夫	501	小樽南

分　区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	佐藤　猛 森沢　勲	10月15日	羽幌町・羽幌中央公民館	羽　幌
第3分区	山口　宏道	10月21日	岩見沢市・岩見沢平安閣	岩見沢
第4・第5分区合同	加藤　高正 白崎　繁仁	4月6日	ロイトン札幌	札幌北
第6分区	柳田　貞夫	4月29日	余市町・余市中央公民館	余　市
第7分区	水元　修治	3月17日	苫小牧市・ホテル・ニュー王子	苫小牧
第8分区	佐々木初之助	2月11日	三石町・三石町福祉センター	三　石
第9分区	日下　哲夫	2月4日	伊達市・だて歴史の杜カルチャーセンター	伊　達
第10・第11分区合同	田中　仁 山中　謙治	2月10日	森町・プラザ武蔵	森

※ロータリー創立以来初の女性ガバナーが8名誕生した。

私の年度におきた特徴のある出来事のなかから3つを採り出して記録にとどめます。

◎6人目のガバナー

日本で同じロータリー・クラブから2年連続ガバナーを選出したことが3回あります。私は3回目の2人目ですから、日本で6人目のガバナーになります。

まず、東京RCが昭和34年に柏原孫左衛門、翌年、田 誠。次は当地区の札幌RCが昭和51年に大野和男、翌年伊藤義郎。そして平成6年に同じ札幌RCから富原薫、翌年、西條正博。

東京RCはガバナーを14名、札幌RCは私を含めて11名、次いで大阪RCと京都RCが夫々10名を選出しています。

この時、地区大会をどのように開催したかということが興味をひきますが、3回共特徴のある開催の仕方をしています。

東京では、初年度川崎RCのホストで川崎市民会館において開催、参加者970名と小規模でしたが、2年目は東京RC自身のホストで東京都体育会館において、4地区連合地区大会を開催(全国7地区)参加者3,618名という当時としては大変な規模のものでした。当地区では1年目、札幌RCのホストで東北・北海道5地区連合地区大会を札幌市の真駒内アイス・アリーナで開催、参加者4,664名、世界一の大地区大会にロバート・A・マンチェスターRI会長自らが出席。2年目は小樽南RCのホストで小樽市民会館において開催、参加者は1,294名でした。今回のように二年連続、同じ会場で、同じクラブがホストしたというのは日本の地区大会史上はじめてのことです。こういうことがすんなりと実現した訳ではありませんが、登録者数が富原年度2,236名、西條年度2,436名と極めて順調に運営されまして、心からの喜びを禁じ得ません。

◎50万人目のポール・ハリス・フェロー

岩見沢RCの中田英彦(えいけん)会員が50万人目のポール・ハリス・フェローに選出されました。

私宛の手紙を下記に掲載します。

西條正博　様

認証及び寄付報告室長

クリスティン・ペトロスキー

1995年10月24日、50万人を達成したP. H. F. の中から6人目の代表が選ばれました。6人の中の一人として日本から貴地区の岩見沢ロータリークラブの中田英彦(えいけん)氏が選ばれました事をお知らせでき私は大変光栄に思っております。選ばれた6人は次の方々です。

(詳細省略。ドイツ、ブラジル、日本、アメリカ、ニュージーランド、ザンビア)

中田氏にはパウロ・V・C・コスタRI財団管理委員長とハーバート・ブラウンRI会長自筆の署名入りのポール・ハリス・フェロー認証状を特製の額にお入れして贈呈いたします。

この6名の方々は「ザ・ロータリアン」「ロータリーワールド」「ロータリーバスケット」の2月号に大きく取りあげられます。ロータリーへの貢献に感謝申し上げます。

◎RCC一地域共同隊一の結成

ロータリー村落共同隊は、丁度10年前の1986年に提唱され、その後先進国では「地域共同隊」と呼ぶことになりました。

改善プロジェクトを実施して自分たちの地域社会の手助けをしたいという、ロータリアンでない人たちを組織したロータリー・クラブ提唱のグループをいいますが、苫小牧北RC

が日本で11番目の地域共同隊を結成し、10月29日にRCC認証状伝達式を挙行、半年の講習会を経て、家庭と地域社会に対する献身としての新しい取り組みを開始しており、地区内の多くのクラブにこの新しい試みが貴重な示唆を与えております。

第2510地区パストガバナー

西條　正博

地区大会での参加クラブ紹介で拍手に応える西條ガバナー

地区大会のフィナーレ「手に手つないで」を全員で唱和

1995～1996年度国際ロータリー第2510地区組織図

○ 委員長

クラブ会長エレクト研修セミナー
地区協議会
地区大会

ガバナー
西條正博（札幌）

ガバナー・ノミニー
野口信夫（小樽）

分区代理
1. 佐藤　猛（羽幌）
2. 森沢　勲（芦別）
3. 山口宏道（岩見沢東）
4. 加藤高正（札幌北）
5. 白崎繁仁（札幌東）
6. 桝田貞夫（余市）
7. 水元修治（苫小牧東）
8. 佐々木初之助（三石）
9. 日下哲夫（伊達）
10. 田中　仁（函館亀田）
11. 山中謙治（江差）

ガバナー諮問委員会
塩谷　猛（札幌西）
伊藤義郎（札幌）
富田嘉市（室蘭）
竹山涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月武義（岩見沢）
三浦祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋康次（札幌東）
籾谷真一（小樽南）
白石欽一（札幌手稲）
佐藤鉄彌（札幌北）
富山惟夫（留萌）
富原　薫（札幌）
野口信夫（小樽）

ガバナー指名委員会
◎白石欽一（札幌手稲）
塩谷　猛（札幌西）
伊藤義郎（札幌）
富田嘉市（室蘭）
竹山涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月武義（岩見沢）
三浦祐晶（札幌北）
坂本　忠（札幌）
大橋康次（札幌東）
籾谷真一（小樽南）
佐藤鉄彌（札幌北）
富山惟夫（留萌）
富原　薫（札幌）
野口信夫（小樽）

地区財務委員会
◎寺井隆太郎（札幌）
木須利平（札幌）
吉村克之（小樽）
高濱浩志（札幌）

地区研修リーダー
研修リーダー　竹山涼一（P.G.）

地区文献資料室
カウンセラー
竹山涼一（P.G.）
◎亀井敏清（函館）
飯田英年（札幌あけぼの）
黒澤昌彦（札幌東）
羽部大仁（札幌幌南）

地区幹事
幹事　越山　司（札幌）
副幹事　松村亮一（札幌）
副幹事　植田英隆（札幌）
副幹事　竹内宏二（札幌）
副幹事　廣川雄一（札幌）
副幹事　平山希雄（小樽）

地区大会
大会委員長　堀　寛（札幌）
副委員長　仲村参郎（札幌）
副委員長　岡部卓司（札幌）
大会幹事　荒　紀男（札幌）
副幹事　藤岡雅彦（札幌）
副幹事　山中善夫（札幌）
副幹事　杉野目　浩（札幌）
大会会計　上濱　博（札幌）

国内委員会

ロータリー米山記念奨学会
理事
白石欽一（P.G.）

ロータリーの友委員会
地区委員
山中善夫（札幌）

オン・ツー・カルガリー委員会
◎大橋康次（P.G.）
名塩良一郎（札幌東）
久保田俊昭（札幌）

意義ある業績賞選考委員会
◎佐藤鉄彌（P.G.）
富山惟夫（P.G.）
富原　薫（P.G.）
越山　司（地区幹事）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
カウンセラー
大橋康次（P.G.）
◎桑泉寺　寛（札幌北）
宮澤　正（札幌北）
芝木秀臣（札幌モーニング）

情報委員会
◎塚原房樹（札幌東）
中村　康（札幌南）
川崎秀雄（札幌南）

広報委員会
◎武田圭顕（札幌）
滝井禎夫（札幌）

職業奉仕委員会
カウンセラー
望月武義（P.G.）
◎土谷茂樹（江別西）
堀　昭良（岩見沢東）
渡辺一義（深川）

社会奉仕委員会
カウンセラー
籾谷真一（P.G.）
◎須田義雄（札幌南）
和田壬三（札幌幌南）
阿部光一（苫小牧北）
高澤哲男（札幌南）

青少年奉仕委員会
◎河邨文一郎（P.G.）
浜田正二（函館東）
大竹昭三郎（札幌）

（ローターアクト委員会）
◎浜田正二（函館東）
井内球雄（留萌）
金子　均（札幌幌南）
菊地敬夫（室蘭北）
津田恭衛（深川）
村上利雄（恵庭）
仁平　誠（札幌西）

（インターアクト委員会）
◎大竹昭三郎（札幌）
山川稔弘（札幌幌南）
関堂勝幸（札幌東）
堀川孝明（札幌モーニング）
西角栄三（札幌）
岡田健一（室蘭東）
澤田恵治（函館五稜郭）
五十嵐　閑（岩見沢）
上合和英（登別）
細川好弘（静内）

国際奉仕委員会
◎三浦祐晶（P.G.）
西岡憲廣（札幌西北）
佐藤　章（札幌北）
牧野利春（札幌モーニング）

（世界社会奉仕委員会）
◎西岡憲廣（札幌西北）
越田広司（七飯）
対木正文（札幌西）
村木靖雄（札幌手稲）
大植修一（留萌）
井後幸太郎（札幌）
鈴木種治（札幌モーニング）

（趣味・職業別親睦活動委員会）
◎牧野利春（札幌モーニング）
片山英男（札幌南）
畑中俊介（札幌南）
高濱浩志（札幌）
針谷　毅（札幌幌南）

（青少年交換委員会）
◎佐藤　章（札幌北）
片口光雄（札幌西北）
近藤良一（札幌モーニング）
玉木弘孝（札幌北）
鈴々畑重孝（栗山）
土谷　亨（札幌幌南）
石田　勉（函館）
瀧川哲夫（札幌手稲）
赤泊史昭（札幌東）
川田　弘（札幌西）
戸部アナマリア（札幌はまなす）

ロータリー財団委員会
カウンセラー
大橋康次（P.G.）
◎佐藤鉄彌（P.G.）
斎藤和雄（札幌北）
青木功喬（札幌東）
駒野幸一（札幌）
岸　力（札幌）
石垣博美（札幌西）
石田　誠（札幌手稲）

（財団国際親善奨学金委員会）
◎斎藤和雄（札幌北）
島津宏興（札幌南）
松本節三（札幌）
内山洋一（札幌）
奥貫一之（札幌東）
米山道男（札幌北）

（財団増進委員会）
◎駒野幸一（札幌）
横井　久（札幌）
梅田　恒（札幌あけぼの）
加藤正雄（札幌南）
坂田道昭（小樽）

（G. S. E. 委員会）
◎青木功喬（札幌東）
堀口郁夫（札幌モーニング）
金井重博（札幌南）
中島　勉（札幌幌南）
平榊俱仁夫（札幌手稲）
星野恭亮（札幌東）
森　秀樹（函館北）

（財団学友委員会）
◎岸　力（札幌）
市川唯行（札幌）
須賀　昭（室蘭北）
千葉峻三（札幌東）
福田武男（千歳）
渡辺雅敏（小樽南）

拡大委員会
◎富山惟夫（P.G.）
富原　薫（P.G.）
松浦有秋（函館五稜郭）
藤井哲夫（恵庭）
上林　登（札幌幌南）

会員増強委員会
◎富原　薫（P.G.）
佐藤　猛（羽幌）
森沢　勲（芦別）
山口宏道（岩見沢東）
加藤高正（札幌北）
白崎繁仁（札幌東）
桝田貞夫（余市）
水元修治（苫小牧東）
佐々木初之助（三石）
日下哲夫（伊達）
田中　仁（函館亀田）
山中謙治（江差）

米山記念奨学委員会
◎菊池正巳（札幌南）
太田　實（札幌真駒内）
堀居信次（札幌モーニング）
吉田　彰（札幌幌南）
勝木純一（札幌南）

1996～97年度 "Build the future—With action and vision"
「築け未来を—行動力と先見の眼で！」

RI会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ　ガバナー 野口信夫

略　　歴　昭23年東京大学文学部卒業
昭26～46年協和醗酵工業㈱
昭46～平4年㈱丸ヨ野口社長・会長
現在㈱秀映社社長

ロータリー歴　昭46年小樽RC入会
昭57年小樽RC幹事
昭61年小樽RC会長
ポール・ハリス・フェロー、
ベネファクター、米山功労者

生年月日　大14.3.9（小樽市）

運営方針

重点施策　①会員増強
②青少年奉仕
③ロータリー財団への支援

日本選出RI理事（1995～97）　今井　鎮雄（神戸西RC）

	世　界	日　本	地　区	結成新クラブ
クラブ数	28,018	2,196	68	
会員数	1,188,172	130,289	4,294	

会合	場所	開催日	RI会長・RI会長代理	参加者	ホストクラブ
国際大会（第88回）	グラスゴー（スコットランド）	6月15日～18日	ルイス・ビセンテ・ジアイ		
地区大会	小樽市民会館	5月16日 17日			小　樽
	大会テーマ： 特別講演：浄土宗知恩院門主　高瀬　広居				
地区協議会	ロイトン札幌	4月12日 13日	G：野口　信夫 GN：石垣　博美		札幌北

分区	フォーラムリーダー	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ
第1・第2分区合同	大西　幹男 山下　真史	10月13日	砂川市	砂　川
第3分区	雉子谷松次	4月5日	江別市	江別西
第4・第5分区合同	横井　久 金井　義司	3月15日	ホテルライフォート札幌	札幌真駒内
第6分区	東山　洋徹	4月20日	岩内町	岩　内
第7分区	有馬　利春	3月16日	由仁町	由　仁
第8分区	富越　誠也	3月9日	えりも町	えりも
第9分区	菊地　敬夫	2月11日	室蘭市	室蘭北
第10・第11分区合同	美村　文雄 吉村　昭二	2月23日	函館市	函館北

1996～1997年度国際ロータリー第2510地区組織図

〇 委員長

- グラブ会長エレクト研修セミナー
- 地区協議会
- 地区大会

ガバナー
野口侶夫（小樽）

ガバナー・ノミニー
石垣博美（札幌西）

分区代理
1.大西幹男（妹背牛）
2.山下真史（砂川）
3.雉子谷松次（江別西）
4.横井久（札幌）
5.金井義司（札幌真駒内）
6.東山洋徹（岩内）
7.有馬利春（由仁）
8.富越誠也（えりも）
9.菊地敬夫（室蘭北）
10.奥村文雄（七飯）
11.吉村昭二（函館東）

ガバナー諮問委員会
塩谷猛（札幌西）
伊藤義郎（札幌）
富田嘉市（室蘭）
竹山涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月武義（岩見沢）
三浦祐晶（札幌北）
大橋康次（札幌東）
白石鉄一（札幌手稲）
佐藤鉄彌（札幌北）
富山惟夫（留萌）
富原薫（札幌）
西條正博（札幌）
石垣博美（札幌西）

ガバナー指名委員会
〇佐藤鉄彌（札幌北）
塩谷猛（札幌西）
伊藤義郎（札幌）
富田嘉市（室蘭）
竹山涼一（札幌南）
河邨文一郎（札幌西）
望月武義（岩見沢）
三浦祐晶（札幌北）
大橋康次（札幌東）
白石鉄一（札幌手稲）
富山惟夫（留萌）
富原薫（札幌）
西條正博（札幌）
石垣博美（札幌西）

地区財務委員会
〇吉村克之（小樽）
寺井隆太郎（札幌）
藤原昭三（小樽）
穂刈金吾（札幌西）

地区幹事
幹事 平山希雄（小樽）
副幹事 金栄善彦（小樽）
副幹事 熊沢隆樹（小樽）
副幹事 西條文晋（小樽）
副幹事 伊藤枝一（小樽）
副幹事 猪股昌幸（小樽）
副幹事 矢嶋温郎（札幌西）
（会計）藤原昭三（小樽）

地区大会
大会委員長 角江哲雄（小樽）
副委員長 小林吉之助（小樽）
副委員長 柳澤昭吉（小樽）
副委員長 栗健二（小樽）
幹事 鳥口義昭（小樽）
副幹事 鮎谷佳一（小樽）
副幹事 笠間茂（小樽）
SAA 藤山朝三郎（小樽）
会計 福田賢治（小樽）

地区研修リーダー
研修リーダー 三浦祐晶（P.G.）

地区史編纂委員会
〇西條正博（P.G.）
〇亀井敏清（函館）
〇塚原房樹（札幌東）
右近清（小樽）
飯田英年（札幌あけぼの）
黒澤昌彦（札幌東）
羽部大仁（札幌幌南）
（会計）越山司（札幌）

地区文献資料室
カウンセラー
竹山涼一（P.G.）
〇亀井敏清（函館）
飯田英年（札幌あけぼの）
黒澤昌彦（札幌東）
羽部大仁（札幌幌南）

オン・ツー・バンコック委員会
〇河邨文一郎（P.G.）
指川健（札幌真駒内）
山下真史（砂川）
堀居信次（札幌モーニング）
川合正修（留萌）
伏木忠了（札幌西）
加賀屋義範（札幌北）
土屋孝人（苫小牧北）
平柳供仁夫（札幌手稲）
荒紀男（札幌）
黒田一夫（札幌真駒内）

国内委員会

ロータリー米山記念奨学会
理事 白石鉄一（P.G.）

ロータリーの友委員会
地区委員 金栄善彦（小樽）

オン・ツー・グラスゴー委員会
〇大橋康次（P.G.）
名塩良一郎（札幌東）
久保田俊昭（札幌）

意義ある業績賞選考委員会
〇富山惟夫（P.G.）
富原薫（P.G.）
西條正博（P.G.）
平山希雄（小樽）

地区カウンセラー及び地区諮問委員会

クラブ奉仕委員会
〇宮澤正（札幌北）
芝木秀臣（札幌モーニング）

情報委員会
〇塚原房樹（札幌東）
中村康（札幌南）
川崎秀雄（札幌南）

広報委員会
〇武田圭策（札幌）
片山誠二郎（札幌）

職業奉仕委員会
カウンセラー
望月武義（P.G.）
〇土谷茂樹（江別西）
瓜俊雄（砂川）
大塚秋雄（新札幌）
村山富夫（札幌東）

社会奉仕委員会
〇須田義雄（札幌南）
和田壬三（札幌幌南）
岡寺恭朗（苫小牧北）
渡辺敏夫（札幌南）
森祐平（函館）

ライラ委員会
〇阪崎健治朗（札幌西）
馬場哲成（札幌西）
菅原耕治（札幌北）
大竹秀文（小樽南）
宮本和彦（小樽）

青少年奉仕委員会
〇河邨文一郎（P.G.）
浜田正二（函館東）
山川稔弘（札幌幌南）
阪崎健治朗（札幌西）

（ローターアクト委員会）
〇浜田正二（函館東）
井内琢雄（留萌）
金子均（札幌幌南）
津田恭衛（深川）
村上利雄（恵庭）
澤田豊（室蘭）

（インターアクト委員会）
〇山川稔弘（札幌幌南）
関堂勝幸（札幌東）
堀川孝明（札幌モーニング）
岡角栄三（札幌）
澤田恵治（函館五稜郭）
五十嵐闊（岩見沢）
土合和英（登別）
細川好弘（静内）

国際奉仕委員会
〇三浦祐晶（P.G.）
西岡憲廣（札幌西北）
佐藤章（札幌北）
徳中征之（札幌南）

（世界社会奉仕委員会）
〇西岡憲廣（札幌西北）
対木正文（札幌西）
村木靖雄（札幌手稲）
大橋修一（留萌）
井後幸太郎（札幌）
鈴木確治（札幌モーニング）
井口光雄（札幌西北）

（趣味・職業別親睦活動委員会）
〇徳中征之（札幌南）
西條文晋（小樽）
高澤浩志（札幌）
畑中俊介（札幌南）
杉目幹雄（札幌南）
片山英男（札幌南）
針谷毅（札幌幌南）
牧野利春（札幌モーニング）
大坂忠（札幌手稲）

（青少年交換委員会）
〇佐藤章（札幌北）
近藤良一（札幌モーニング）
玉木弘孝（札幌北）
土谷享（札幌幌南）
瀧川哲夫（札幌手稲）
赤泊史昭（札幌東）
戸部アナマリア（札幌はまなす）
川田弘（札幌西）
柴田弘道（恵庭）
武田忠和（札幌西北）
畑竜英（小樽南）

ロータリー財団委員会
カウンセラー
大橋康次（P.G.）
〇佐藤鉄彌（P.G.）
小澤保知（札幌）
斎藤和雄（札幌北）
青木功喜（札幌東）
坂田道昭（小樽）
市川唯行（札幌）

（財団国際親善奨学金委員会）
〇斎藤和雄（札幌北）
森本正夫（札幌西北）
松本脩三（札幌）
内山洋一（札幌）
奥貫一之（札幌東）
米山道男（札幌北）

（財団増進委員会）
〇坂田道昭（小樽）
駒野幸一（札幌）
加藤正雄（札幌南）
三浦康弘（小樽）

（G. S. E.委員会）
〇青木功喜（札幌東）
金井重博（札幌南）
中島勉（札幌幌南）
平柳供仁夫（札幌手稲）
星野恭充（札幌東）
森秀樹（函館北）
畑中正義（苫小牧東）
小林英夫（小樽南）

（財団学友委員会）
〇市川唯行（札幌）
千葉峻三（札幌東）
福田武男（千歳）
渡辺雅敏（小樽南）
林正道（札幌）
山藤雅弘（札幌西北）

拡大委員会
〇富山惟夫（P.G.）
富原薫（P.G.）
西條正博（P.G.）
松浦百秋（函館五稜郭）
藤井哲夫（恵庭）
上林登（札幌幌南）

会員増強委員会
〇西條正博（P.G.）
大西幹男（妹背牛）
山下真史（砂川）
雉子谷松次（江別西）
横井久（札幌）
金井義司（札幌真駒内）
東山洋徹（岩内）
有馬利春（由仁）
富越誠也（えりも）
菊地敬夫（室蘭北）
奥村文雄（七飯）
吉村昭二（函館東）

米山記念奨学委員会
〇堀居信次（札幌モーニング）
太田實（札幌真駒内）
吉田彰（札幌幌南）
勝木純一（札幌南）
池田幸男（江別）

トピックス

第2510地区・女性会長No.1

1989年シンガポールの規定審議会で女性の入会をクラブの裁量とする旨の制定案が採択されたという報せを聞いて「男女共学」の教育を受けたことのない年代は、青天の霹靂とばかりびっくりしました。それ以来女性会員のロータリーへの参加は年々増加しています。

世界中で、女性のクラブ会長を選出しているクラブは数知れずあります。それどころか女性ガバナーも多数誕生しました。まさにロータリーの歴史は書き換えられました。もはやロータリーが男性の聖域であったことは過去の物語となってしまいました。女性入会を時期早尚として見送っていたクラブもだんだん外堀を埋められ、孤立感を覚えるようになってきました。「男女７才にして席を同じゅうせず」といった時代に生きたものとして複雑な思いに駆られます。そのようなおり、わが地区でも長沼ロータリークラブに全道初の女性創立会長として、清水慧子会長が誕生しました。チャーターナイトの席上、「小さな長沼から世界に目を向け友愛の絆を強めたい」と落ち着いた口調で会員とともに研鑽を誓った式典を終え、美人の誉れ高い清水会長が一転祝賀会では艶やかな和服姿で現れると、会場は思わず感嘆の声が上がりました。清水会長の誕生は、地区の女性会員の増強に弾みをつける大きな転機となりました。

また特筆すべきことは、チャーターナイトの一月後にヒュー・アーチャー元RI会長ご夫妻が伊藤義郎元RI理事のご案内で長沼ロータリー・クラブを来訪されたことです。「山椒は小粒でも…」の通り、一躍小さな長沼ロータリー・クラブが世界から注目された輝かしい出来事でした。

露口四郎氏の葉書

戦後、ともにRIへの復帰運動に挺身した、ロータリー文献“邦訳”の功労者、札幌RCの宮脇富氏と、関西ロータリーの“生き字引”といわれた大阪RCの露口四郎氏の二人は、日本ロータリー界にとって東西を代表する恩人である。

大阪RC50年史の年譜によると、「露口四郎氏は、1923年大阪RCの初代幹事福島喜三次氏の補佐役として事務を手伝う。翌年11月会員となる。」とある。幹事歴任の長さですぐ頭に浮かぶのは、1908年にシカゴRCに入会、1910-1942年までの32年間国際ロータリーの幹事、事務総長を務めたチェスレー・ペリーのことであろう。彼は第5番目のロータリアンでロータリー・ソングの創始者ハリー・ラグルスの紹介で入会、極めて組織化と事務能力に優れ、当時全米に発展しつつあったロータリー・クラブの連合会の結成に成功し、その第1回の〈全米ロータリー・クラブ連合会〉をシカゴで開催した。時に1910年のことであった。そして初代の連合会長はポール・ハリス、自らはその初代幹事に就任し、その後30数年間事務総長としてロータリーの発展に尽くした。ポール・ハリスがペリーを「ロータリーの建設者」と評したのは実にうまいたとえである。ペリーは1942年に高齢のため事務総長を辞任した。そして1954年のシアトルの国際大会において彼に対して〈名誉事務総長〉の称号を送るべき決議がなされたとき、彼は決然とした態度で壇上に上り、ロータリーのロータリーたるゆえんは一会員としての奉仕にある。したがって〈名誉事務総長〉の称号を持つよりも、あくまで一会員としてとどまりたい旨を述べ、その決議の撤回を要求したのである。ここにロータリーの美しい伝統を見ることができる。

ひるがえって、わが露口氏も副幹事4回を含め、戦前、戦中、戦後を通して実に連続23回の幹事歴は、日本ロータリー史上勿論レコードである。露口氏の歩みは、即大阪RCの歩みである。

その露口氏が宮脇氏に宛てた1通の葉書が、地区文献資料室移転の際に落ちたのであろうか、書架と壁の隙間から埃にまみれて見つかった。内容は、宮脇氏が翻訳した「手続要覧」の中に一部「字句」が脱落していることを知らせている。そして自身も印刷業に携わるものとして「印刷物の誤字、脱落には我々毎々汗のかき通しです。ご同情申し上げます」とあるのは宮脇氏に対する思いやりであろう。そしてもしやと思い、札幌RCの資料の中の1959年の「手続要覧」の193頁を開くと、矢張りそこに露口氏の指摘通りの「字句」が宮脇氏自身の文字で書き加えられていた。(写真は露口氏の葉書と「手続要覧」に書き込まれた宮脇氏の直筆)

二十五年又はそれ以上勤務した元事務総長及び

R.I. 細　則

でなければならない。各代表は，その代表する地区におけるクラブの正会員，シニア・アクチブ会員，或はパスト・サービス会員でなければならない。

(ロ)　直前会長のすぐ前に連なる元会長4名。

(ハ)　会長が彼れに代ってその任務に当らしめるために任命した審議会議長。

(ニ)　会長によって指名された地区に属しないクラブの代表1名。

(ホ)　会長によって指名された3名より多からざる自由代表。

(ヘ)　投票をしない審議会員として，会長，他の理事，事務総長及び定款細則委員長。

(ト)　投票をしない審議会員として，国又は地域単位の会長。

(チ)　投票をしない審議会員として，直前会長のすぐ前に連なる元会長4名を除く国際ロータリー元会長全部。

折角病気中ウー済しかったと思ひますが、お元気になると又暑さがぶり返したようです。呉々お元気のこと祈上ます。扨過日は「手続要覧」を見ますと、一九三頁の上から七行目（チ）投票を要しない審議会員の項に「廿五年以上勤務の事務総長」と云ふ字句が脱落して居ります。既にお気付きかと思ひますが一寸御含置き願ひます。印刷物の誤字、脱落には私共毎々汗のかき通しです。御同情申上げます。暑さの折柄御身御自愛の程を

郵便はがき

東京都新宿区筑土八幡町
三四
宮脇富様

大阪南 34 8.10

大阪市南区西清水町大丸西別館
大丸印刷株式会社
露口四郎

佐藤昌介ガバナー指名の裏話

昭和11年5月2日、神戸阪急会館で開かれた第8回第70地区年次大会で、札幌RC初代会長、元北海道帝国大学総長、佐藤昌介男爵がガバナー・ノミニーに選ばれましたが、『"Boys be ambitious"の北海道は日本の中でもロータリーを受け入れるのに最も都合のよい土地柄であり、佐藤昌介はまた名実ともに北海道における「最高の人」であった』と『ロータリー日本50年史』で最高の賛辞をおくられております。

実は、ガバナーに指名された時はまだ札幌RCの会長を続けており、この年6月の任期満了で、3年7カ月におよぶ会長在任期間に終止符を打ったのであります。

佐藤男爵は札幌RCの会長の椅子がすっかり気に入ってしまい、4期目に入っても一向にやめる気配がなかったので、たまりかねた会員有志が汽車と連絡船を乗り継いでひそかに上京し、米山梅吉と相談したところ、米山梅吉は、ぽんと胸をたたいて即座に"私におまかせ下さい。佐藤さんをガバナーにいたしましょう。"と答え、やがて佐藤男爵は会長の座を去って、朝吹ガバナーと共に日本としてははじめて米国アトランティック・シティー国際大会にガバナー・ノミニーとして出席したのでした。

知る人ぞ知る秘話であります。

RIに念書をとられた日本のロータリー

国際ロータリーを離脱してから戦後まで例会を続けていたクラブは、48RC中の19RC、会員数は1,050名であった。これらのクラブは一日も早い国際ロータリーへの復帰を目指して、昭和22年に「ロータリー復帰協議会」を設置した。

この年の9月早々、ジョージ・ミーンズ（後に事務総長）が、日本ロータリーの現状を見るために来日し、"復帰には努力するが、それまではロータリーという名称や歯車の記章の使用などは慎しむよう"厳重に注意して帰米した。

その後、音沙汰はなかったが、昭和24年3月、突然再来日して復帰が可能になった旨を告げ、3月から5月までに、東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌、の順で7クラブがRIに再登録されるにいたった。

この時、次の3点を再建の条件として、復帰協議会の役員一同署名捺印して誓約させられた。

1．現在の各曜会、各曜クラブを解散すること。

これは戦前のクラブを復帰させるのではなく、新しくクラブを創設する意図を表すものであった。

2．国際ロータリーの定款・細則を厳守すること。

日本のロータリーは、念書をとられたからという理由よりも、9年の空白期間によってあまりにも国際ロータリーの現状に立ち遅れていることを痛感して、定款・細則の勉強に励み、所謂「定款・細則時代」と呼ばれる時期を経ることになった。

3．戦前の日本ロータリーが犯した国際ロータリーに対する数々の没義道を再び犯さないこと。

イギリスのRIBIにならって、日満ロータリー（RIJM）をつくって、これを強引に黙認させたこと、等を指している。

宮脇　冨（あつし）のこと

農学博士、宮脇　冨は島根県大田市の出身、札幌農学校農芸科を経て、米国カンサス州立農科大学で7年間酪農を研究し、明治44年帰国、後に北大教授に就任し、昭和16年4月帯広高等獣医専門学校新設に伴い校長に転じ、戦後、昇格した帯広畜産大学の学長となり、昭和28年9月辞任。日本酪農界の功績者でありました。

他方、ロータリーにおいても世界最高の権威者でした。ジョージ・ミーンズ事務総長が“宮脇さんこそ日本ロータリーの今日の発展を招来した偉大な功労者である。あの時代に宮脇さんによるロータリーの文献の日本語訳がなかったら、日本のロータリーの発展は今少しおくれていたであろう。”とエバンストンで湯浅恭三に言っています。東ケ崎潔は次の言葉をきいています。“馬鹿な奴だ、と思う人もあるかも知れないが、ぼくの後半生の全部はロータリーのために捧げようと決心してしまったのだから仕方ないよ。ぼくは頑固だからね。”

ロータリーに対する輝かしい業績の幾つかを下記に列記します。

第一に、手続要覧その他の文献を、はじめて和訳されたことです。宮脇さんの翻訳文献はわかりにくくて困る、との非難が起こり、今でもその非難は無くなってはおりませんが、“分かりやすい文章を書くことぐらい出来るよ、だが正確を期するためには寸毫の主観的解釈も加味してはならないと思うのだ”と決して、妥協することがありませんでした。

第二に、「ロータリー問答」を「ロータリーの友」に約10年に亘って掲載し、多くのロー

タリアンの質問に懇切丁寧に答えたことであり、ロータリー法規の解釈は余人のできないことでした。後に単行本になり、昭和31年には改訂版も出した不朽の名著でありました。

ロータリー歴にふれておきます。

昭和９年、札幌RCチャーター・メンバーとして入会したのが発端です。昭和15年11月～昭和16年12月第７代会長、昭和16年４月退会して帯広RCに入会。昭和28～29年度第60区（東日本）ガバナーに就任、同年、札幌RCのホストで地区大会を開催しました。後、東京RCの会員として真面目を発揮、縦横の活躍をしましたが、昭和43年、健康を害して退会、名誉会員に推戴され、５月29日、84歳で亡くなりました。

佐藤千寿PG（東京東）は宮脇　冨に「瞬間湯わかし器」というニックネームを奉りましたが、RI一辺倒の頑固爺さんではなく、むしろ、ロータリーの基本理念を守るという立場から、RIの手強い批判者であったといいます。“僕もおとなしくなったものだよ。”と述懐するのを聞いて、あれでおとなしくなったと言われるなら、昔はどんなに激しかったことだろう、と佐藤PGは呆れたそうです。

小樽ロータリークラブのダンス教室

当クラブは札幌クラブに次ぐ道内２番目に創立され、今年（平成８年度現在）で63年という永い歴史がある。従って多くの逸話があるが、その一つとして『ダンス教室』というものがあった。

当時駅前通りの一角にあった北海ホテルを例会場としていたがそこにモンパリというキャバレーがあって沢山のホステスが居た。

今から36年前のことである。能島会長時代で針谷、山本（信）、そして現在もお元気で活躍しておられる朽木各会員が中心になり例会終了後まだ客の来ない広いホールでホステス相手に思う存分ダンスを楽しんだ。当時の会員は85人で50歳代の元気な会員が多く、この『教室』に12～３人も通っただろうか。お陰で全く踊れなかった会員もメキメキ腕を上げたものであると同時に親睦を深めるにまたとない機会であった。昭和43年新北海ホテルが出来、例会場も移したがキャバレーもなく、折角の『教室』も自然消滅した。

思えば当時の小樽はまだまだ華やかで活気に溢れ、そのくせ長閑なよき時代の想い出である。

小樽ロータリー倶楽部小史抄

88.36%≒100%

昭和12年4月～13年3月の第70区出席率競争で我が小樽ロータリー倶楽部は見事優勝した。表題の88.36%はその出席率である。

当時の第70区は、日本のロータリーの黎明期で、日本・台湾・朝鮮・満州という広大な範囲に亘ったが、クラブ数は僅か43、ちなみに小樽の会員数は41名であり、道内では他に札幌・函館・旭川・帯広・室蘭の5クラブで札幌以外は遠くメークアップも容易でなかったはずである。しかし70区の平均出席率は77.58%で小樽のそれは群を抜いている。ロータリーはご承知の様に、例会出席が第一歩であり基本である。この鉄則は一見平凡にみえるが、その実行は必ずしも容易でない事は各位が先刻ご承知の通りである。60年前の先輩は、しかし、この鉄則をよくわきまえメークアップ困難な状況下で88.36%という高率を出している。

何がそうさせたか。私は当時の会員であった、坂牛直太郎（故人）さんや、久野岩治（故人）さんから度々この全国優勝のお話を伺った。ロータリー入会以前からである。お二人とも余程嬉しかったとみえこの話になるといたく昂奮され力が入った。このことから当時の倶楽部の意気込みが伺われる。

団体による競争は全て個人の闘志とチームワークにかかる。優勝を目前にした昭和13年3月22日の例会記を見てみよう。『昭和12年4月～13年1月迄の出席率　小樽87.05%、岐阜86.14%とデットヒートを演じている最中、本日の出席率100%で、伴会長・山本幹事・渡辺出席奨励委員長の奮闘目ざまし』とある。まさに意気旺んな全員の闘志とチームワークが目に見える様な気がする。

そうして昭和13年5月、会員と家族10余人は、意気揚々津軽と対馬の二つの海峡を渡って、京城における第70区第10次年次大会で悲願の出席率競争優勝旗を手にするのである。

ここで表題の数式、88.36%≒100%に戻る。88.36は勿論100よりは少ないが、100に限りなく近いという意味である。黎明期大先輩が打ち立てた一大金字塔に対し万感の思いを込め敢えて独善的なこの数式を捧げたい。

英語教室

その年は英語で始まり英語で終わった。

昭和29年7月からの松浦会長の施政方針は、四つのテストであった。しかも英語で。毎例会の初頭指名されたリーダーに従って全員発声、唱和したものである。この年はロータ

リー創立50周年の記念すべき年にあたり、時の柳瀬省吾ガバナーの示唆もあったらしい。

なお戦前の70区は昭和24年9月、小樽が復帰した時点では日本全土が60区となり、昭和29年からこれを二分して東京以北を60区、以西を61区と再編された。そうして60区のガバナーの公式訪問は年度初めの小樽から始まった。

この時、私は親睦委員長の大役を仰せつかってクラブアッセンブリーに臨んだ。まだロータリー一年生の分際で緊張そのもので何か煙たい感じのガバナーをお迎えした。しかしこの先入観は見事覆された。『歴史が古くベテランの多い小樽の公式訪問は私にはとって不安で、苦手で、宜しくお願いします。』と冒頭の柳瀬ガバナーの率直なご挨拶は誠に微笑ましい感じで、むしろ親近感を覚え、公式訪問は和やかに終了した。そうしてこの公式訪問で柳瀬ガバナーが特に示唆された四つのテストの英語斉唱は更に熱を帯びるに至った。リーダーに従って神妙にお題目を唱える様に発声を反復することで自然に暗記してしまったのである。しかも何となくぎこちない日本語よりも英語のほうがより直截で分かり易かった。

英語教室は大きな収穫を残したのである。

幻の加盟認証状発見

函館ロータリークラブは戦前、戦中、戦後を体験し、60余年に亘るクラブ歴史の物語は多く、その資料保存と整理のためクラブ独自の資料室を開設したのは1993年であります。

幾度も変わったクラブ事務所のため、資料の大部分は国際ロータリーに復帰した後の書類でありますが、奇跡的に残されたものの中に1934年（昭和9年）当時のD.70ガバナー村田省蔵氏自らが、函館ロータリークラブ創立すべく国際ロータリー Chairman Extension Commitee と交わしたタイプ文書等を始めとする加盟申請書の総てが残されております。

更に1935年1月29日付をもって認証されたことを記念すべく1935年6月6日に挙行されたチャーターナイト記念誌も残されております。

この記念誌の第1頁に掲載されている加盟認証状 Club No. 3747 はその行方が判らず永年クラブ元老諸氏に尋ねても確答は得られず現在に至っておりました。

今年4月24日に国際ロータリー日本支局に赴く機会を得、大島支局長、片岡翻訳室長にこの件をお伺いしたところ、ご親切に函館ロータリークラブの分厚いファイル（日本支局開設以前はエバストンの国際ロータリー世界本部に保管）を検索してくれました。

その中に当クラブの永年行方のわからなかった加盟認証状と対面することができたので

This certifies that the Rotary Club of

Hakodate, Nippon

having been duly organized and having agreed, through its officers and members, to be bound by the Constitution and By-laws of Rotary International which agreement is evidenced by the acceptance of this certificate, is now a duly elected member of

Rotary International

Club No. 3747

and is entitled to all the rights and privileges of such membership.

In witness whereof the seal of Rotary International is hereto affixed and the signatures of its officers, duly authorized, are subscribed hereto this twenty-ninth day of January Anno Domini 1935.

President, Rotary International

Secretary, Rotary International

THIS CHARTER IS CANCELED

CHESLEY R. PERRY, Secretary

す。その認証状にはTHIS CHARTER IS CANCELEDのスタンプに事務総長CHESLEY. R. PERRYのサインが記されてありました。

1940年9月4日に解散した函館RCの原　忠雄会長、加藤茂富幹事は総てのRI分担金を精算し、国際ロータリーに認証状を返還したことも確認されたのであります。

1934年創立から6年目にして脱退の止むなきに至り翌日よりは函館職能協会と名を変え、伏節9年1949年（昭和24年）9月16日をもって函館ロータリークラブとして再認証されました。国際ロータリー離脱に当たってRI細則に準じて脱会したことにクラブ会員一同安堵すると共に先人達の御苦労とその心中を改めて想い起こさせる幻の認証状の発見でありました。

どちらが先か・双子の兄弟

北海道のロータリーの歴史は、日本で8番目のクラブとして、1932年12月の札幌RCの創立から始まる。その後村田省蔵ガバナーの在任中に、小樽、函館、旭川、帯広RCが結成された。ご承知のようにロータリー・クラブの誕生日は創立総会を開いた創立年月日とRIから加盟を承認された承認年月日がある。この設立の順序を巡って函館RCと旭川RCの間にどちらが先かという、微笑ましい兄弟喧嘩（当事者同士は、割合真面目？）のエピソードがある。

函館RCの創立は1934年10月25日
旭川RCの創立は1934年10月26日

共にスポンサークラブは小樽クラブである。このように創立年月日はあくまでも函館RCが旭川RCより1日先輩であることは、一目瞭然である。しかし国際ロータリーからの加盟承認年月日は、

旭川RCの認証年月日は1935年1月18日　認証番号3744
函館RCの認証年月日は1935年1月29日　認証番号3747

ここでクラブ設立の順序は、創立年月日を取るのか、認証年月日をとるのかという問題が持ち上がった。函館RCの創立総会では、村田ガバナーが挨拶の中で、「函館RCは道内3番目のクラブの誕生であり、明日旭川RCが4番目のクラブとして誕生する」と述べている。一方旭川RCでは、創立日は1日遅れだが国際ロータリーへの加盟番号はアルファベット順なので函館より先で、旭川こそ3番目のクラブであると主張していたらしい。

その当時両クラブ間で「どちらが先か」の話題が持ち上がっていたのであろう。朝吹常吉ガバナーは、旭川のチャーターナイトで、旭川RCの顔を立てて、「函館・旭川両RCはスポンサー（小樽RC）も同じで、同時に生まれたのだから双子の兄弟である。旭川は函館の翌日に創立されたが、日本の習慣から見て双子の兄弟は後から生まれた方が兄さんだ。チャーターナイトも旭川が遅いし、チャーターナンバーの示す通り、旭川は日本流にいっても兄さんだ」とユーモアたっぷりに挨拶をされたと記録に残っている。

日本ロータリーの拡大の黄金期と言われた1933～35年頃の、ロータリーの草創期のエピソードである。

クラブ編（創立順）

RI第2510地区 第 4 分 区	**札幌ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日 RI再承認年月日	1932年(昭7)12月3日 1933年(昭8)1月18日 1949年(昭24)5月2日

例会場 住所・TEL	札幌グランドホテル 札幌市中央区北1条西4丁目　011-261-3311	例会日時	水曜日　12時30分

創立時 ガバナー	井坂　孝	スポンサー クラブ	東京ロータリークラブ	特別代表	小林　雅一

創立時 会員数	30名	現在 会員数	1996年1月1日現在 148名　内：正会員76名、シニア72名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立 佐藤 昌介	1933 佐藤 昌介	1934 佐藤 昌介	1935 佐藤 昌介	1936 平塚 直治	1937 笠原 十司	1938 桜井久我治
1939 岡田 信	1940 今 裕	1940 宮脇 冨	1941 宮脇 冨	1942 阿部 良夫	1943 小竹文次郎	1944 大野 精七
1945 伊藤 豊次	1946 阿久津国造	1946 佐藤 昌彦	1947 林 敏雄	1948 永井 一夫	1949 伊藤 豊次	1950 福山甚三郎
1951 小熊倉次郎	1952 越山 友之	1953 大野 精七	1954 林 常夫	1955 古谷辰四郎	1956 真崎 健夫	1957 佐藤 貢
1958 阿部 謙夫	1959 道家 斉次	1960 太秦 康光	1961 島本 融	1962 今井 道雄	1963 奥田 義正	1964 穴釜 升夫
1965 杉野目晴貞	1966 秋山康之進	1967 山藤 国八	1968 伊藤 義郎	1969 山田 良秀	1970 植田 英武	1971 高山 坦三
1972 岡部 卓司	1973 大野 和男	1974 勝木 郁郎	1975 山田 尚道	1976 福山 卓爾	1977 高桑 栄松	1978 斎藤 秀雄
1979 坂本 忠	1980 大塚 武	1981 小原啓三郎	1982 林 哲夫	1983 半沢 道郎	1984 越山 文敬	1985 久郷 昌夫
1986 楠本 胤二	1987 西條 正博	1988 越山 司	1989 堀 寛	1990 富原 薫	1991 岸 力	1992 中野 友雄
1993 林 毅	1994 小野 純清	1995 横井 久	1996 柴田 四朗			

結成した 新クラブ	小樽RC(S8.12.12)　帯広RC(S10.3.15)　室蘭RC(S11.10.26)　釧路RC(S11.11.23) 網走RC(S28.11.10)　岩見沢RC(S29.5.5)　札幌南RC(S31.6.22)　札幌西RC(S35.9.27) 千歳RC(S43.4.26)　札幌北RC(S46.5.24)

ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ	第一高等学校 インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　9：30～17：00（月～金曜日）

クラブの沿革と特徴

1932（昭和7）年12月3日　創立総会を豊平館で挙行、日本で8番目のクラブとして誕生　(1)スポンサークラブ　東京RC　(2)チャーターメンバー　30名　(3)第1回例会は12月7日　例会場　豊平館

1933（昭和8）年1月18日　RI加盟承認番号　1,621B（昭和24年の再承認番号も同じ）

1940（昭和15）年9月28日　戦雲急となり解散、以後、『札幌職能倶楽部』、『札幌水曜会』と名称を変え、毎週、例会を継続した。

1949（昭和24）年　(1)4月20日　創立総会をニューグランド（狸小路6丁目）で挙行、チャーターメンバーは45名　(2)5月2日　RI加盟承認の電報を受領　(3)5月4日　再承認第1回の例会をニューグランドで開催

1982（昭和57）年10月6日　創立50周年記念式典・祝賀会を札幌グランドホテルで挙行、記念彫像『奉仕の道』を大通公園に建立

1993（平成3）年1月13日　創立60周年記念式典・祝賀会をグランドホテルで挙行、記念事業は大通公園の日時計を札幌市に寄贈

クラブの特徴　1．北海道のオリジナルクラブとして、歴史と伝統をもっている。　2．創立以来、地区に11人のガバナーを送り出し、地区活動に貢献してきた。

奉仕の実績

1．“公共事業団体優良職員感謝の会”公的機関で実際に“奉仕の理想”を実践している方を例会に招待し、表彰しています。今年で40回になりました。　2．“若い人と語ろう会”会員企業の将来性ある若者と会員が語り合う会です。23年を経ました。　3．“在宅高齢者を看護しているお嫁さんの褒賞”高齢化社会において、日常、身近で老人のお世話をしているお嫁さんを褒賞しています。　4．R財団、米山の奨学生のお世話　札幌RCは、R財団の送り出しについても、米山記念奨学生の受け入れについても、その発足の頃より、お世話をしてきました。

RI第2510地区 第 6 分区	小樽ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日 RI再承認年月日	1933年(昭8)12月12日 1934年(昭9)2月26日 1949年(昭24)9月16日

例会場 住所・TEL	小樽グランドホテル 小樽市稲穂1丁目4番1号　0134-25-1515	例会日時	火曜日　12時30分
創立時ガバナー	井坂　　孝	スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
特別代表	村田　省蔵		
創立時会員数	30 名	現在会員数	1996年1月1日現在 109名　内：正会員56名，シニア53名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	伴　房次郎	1934	伴　房次郎	1935	伴　房次郎	1936	伴　房次郎	1937	伴　房次郎	1938	伴　房次郎	1939	中山　登
1940	中山　登	1941	苫米地英俊	1942	苫米地英俊	1943	若命　又男	1943	坂牛直太郎	1944	中山　登	1944	酒井　正七
1945	菅野　修蔵	1945	黒崎　三市	1946	片岡　種英	1947	片岡　種英	1948	猪股　孫八	1949	飯川　文三	1949	橋本　博介
1950	坂牛直太郎	1951	青木　一雄	1952	寿原　九郎	1953	久野　岩治	1954	松浦　三平	1955	森　久則	1956	大野　純一
1957	金榮　酉吉	1958	上野彦太郎	1959	池田　市造	1960	杉江　猛	1961	能島　正一	1962	山本　信岡	1963	朽木　英一
1964	吉川　英次	1965	堀岡　清	1966	秋野　武夫	1967	野口誠一郎	1968	今井　寛	1969	山賀　勇	1970	川田　稔
1971	星野　一彦	1972	津田　政則	1973	角江　哲雄	1974	栂元　民夫	1975	皆川　武夫	1976	村山　裕	1977	本多　敬
1978	新谷篤太郎	1979	杉江雄太郎	1980	藤山頼三郎	1981	島　迅	1982	箕輪　正治	1983	金榮　尊彦	1984	高橋　政幸
1985	高橋　良造	1986	野口　信夫	1987	清水孫四郎	1988	長谷川直春	1989	足立　竹士	1990	坪井　真範	1991	小林吉之助
1992	米山　清一	1993	横沢　昭吉	1994	高橋　広安	1995	秦　健二	1996	大本　勤				

結成した新クラブ	旭川RC(S9.10.26)　函館RC(S9.10.25)　小樽南RC(S35.2.5) 余市RC(S36.4.29)　岩内RC(S37.4.10)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	小樽市稲穂1丁目4番1号　小樽グランドホテル内 TEL0134-25-1515　12：00～14：30（火曜日）

クラブの沿革と特徴

1933年（昭和8年）12月12日全国13番目（現国内10番目）のクラブとして創立。

1940年（昭和15年）日満ロータリー連合本部の指示に基づきクラブの解散を決議、国際ロータリーの組織より脱退する。1941年（昭和16年）小樽火曜倶楽部の名で新組織を発足する。会員数45名、戦時中苦労して例会を続行。

1949年（昭和24年）9月408例会をもって小樽火曜倶楽部解散、小樽ロータリークラブとして再発足し、国際ロータリーへ同じ登録番号3695番で復帰した。当時会員29名であった。1995年12月末迄の例会数3058回を行っている。また現在までに5名のガバナーが選出されている。坂牛直太郎、寿原九郎、青木一雄、山賀勇、そして現在の野口信夫である。このようにあの不幸な大戦中もロータリー精神を守りつづけた偉大な先輩がおられた歴史と伝統のクラブである。

奉仕の実績

小樽クラブは創立より63年もの長い歴史をもっているので、その間多種多様の奉仕活動を行ってきた。スポンサークラブとして、5クラブの創立のお手伝をしてきた。又小樽市の花園公園には何年にもわたり「ロータリーの杜」を造成し、現在迄1700本以上の植樹をしたうえ、その前庭に小公園を作りこの事業を完了させた。さらに手宮緑化植物園、朝里ダム周辺公園の植樹、又小樽市花園緑地帯整備事業には「人工の滝」建設資金を、そして有名な小樽運河には他クラブと合同で水飲場「ふれあいの泉」を贈呈、最近は交通記念館にも水飲場を贈っている。その他、フィリピンへ車椅子や消防車を贈る。又他のクラブ同様、災害地への救援義援金、3H運動やポリオプラスに積極的に参加し、又ポールハリスフェロー、スタフェロー、ベネファクターにも多数の参加者がいる。交換留学生の受入れ送り出しが出来たのもクラブの会員の奉仕の賜と感謝するしだいである。

RI第2510地区 第 10 分 区	**函館ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日 RI再承認年月日	1934年(昭9)10月25日 1935年(昭10) 1月29日 1949年(昭24) 9月16日

例会場 住所・TEL	五島軒本店 函館市末広町4—5　0138-23-1106	例会日時	木曜日　12時30分

創立時 ガバナー	村田　省藏	スポンサー クラブ	小樽ロータリークラブ	特別代表	

創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 124名　内：正会員76名、シニア48名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	大塚　巌	1935	大塚　巌	1936	西出孫左衛門	1937	西出孫左衛門	1938	西出孫左衛門	1939	西出孫左衛門	1940	原　忠雄
1941	原　忠雄	1942	登坂　良作	1943	登坂　良作	1944	登坂　良作	1945	登坂　良作	1946	登坂　良作	1947	小川弥四郎
1948	西出孫左衛門	1949	西出孫左衛門	1950	渡辺熊四郎	1951	堤　清治郎	1952	堤　清治郎	1953	原　忠雄	1954	清水　亮
1955	伊部政次郎	1956	岡本　信三	1957	小畑　信愛	1958	大沼　文雄	1959	光銭源吉郎	1960	村田　喜一	1961	竹田侃一郎
1962	徳田和太郎	1963	川守田完三	1964	相馬　哲平	1965	勝木　鉄雄	1966	四倉　太郎	1967	築　良平	1968	大鎌　又一
1969	棟方　忠	1970	谷　森之助	1971	鷲尾　英一	1972	能登　幸恵	1973	石塚弥一郎	1974	太宰　六郎	1975	大　総一郎
1976	葛西　知二	1977	田中　修市	1978	額賀吉之助	1979	成田　太	1980	庄子　正治	1981	高野　洋蔵	1982	渡辺　良一
1983	池見　厚一	1984	若山徳次郎	1985	小原　幸男	1986	深瀬　寛	1987	中島　敏幸	1988	北村　実	1989	渡辺恒三郎
1990	大斎　公男	1991	高橋　研二	1992	渡辺　靖夫	1993	森　迪康	1994	亀井　敏済	1995	中山　浩一	1996	石田　勉

結成した 新クラブ	函館東RC(S32.8.29)　江差RC(S37.6.13)　森RC(S39.3.22) 松前RC(S44.2.26)

ローター アクト クラブ	函館ローター アクトクラブ	インター アクト クラブ		姉妹 クラブ	RI3660地区　澎湖ロータリークラブ RI2650地区　京都洛中ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	函館市大手町5—10　ニチロビル3階 TEL0138-23-3870・26-3170　FAX0138-22-2251　9：30～17：00(月～土曜日)

クラブの沿革と特徴

函館の復興と共に誕生したクラブ。

1934年は函館にとって非常に不幸な年であった。全市の3分の1が全焼し罹災者10万人を越えた大火災発生の年、時のガバナー村田省蔵は日本ロータリーの初期黄金時代といわれるロータリー拡大の中、日本で15番北海道で3番目のクラブとして発足した。爾来60有余年、世界情勢の移り変わりの中、時の体制の弾圧で国際ロータリーの退会をしながらも名を変えロータリーの法灯を守り続けたことこそ我クラブの強固な基盤となっている。

今日迄4名のガバナーを輩出し先達としてロータリーの道を歩んできた。その歴史は創立25年史40、50、60年史として刊行し我クラブの道標としている。特に25年史は今、日本のロータリーの定本となっている〝ロータリー日本50年史〟の刊行を遡ること11年前、国際ロータリー・日本ロータリーの歴史を含めロータリーの解説を付して発刊されたクラブ史誌は当時はもとより現在も全国に誇るものである。

奉仕の実績

60有余年に亘る奉仕の実践は時々の社会体制に目を向け時の地域社会のニードに対しての奉仕の実践を遂行してきた。特記すれば、「函R奨学金制度」クラブ創立30周年記念事業として発足した函R奨学会は32年間に亘り131名の就学困難な学生に返済無しの奨学金を総額23,000,000円余支給している。「絶滅寸前のエゾヒキガエル保護活動」近年世界規模で危惧されている環境問題に対して地域の環境の動植物に及ぼす問題に取り組み、地域しか生息していない絶滅寸前のエゾヒキガエルの保護活動を行っている。カエル増殖地の造成、特にカエルロードの設定にカエル標識設置は多くの市民の野生動物への関心を高めている。「函Rバードサンクチュアリ事業」野鳥をはじめとする自然と人間の触れ合いの場として函館山山麓に2万平方米に及ぶ野鳥の聖地を造成し、観察小屋給水池を造成し、巣箱掛け、植林を行い野鳥と人間の触れ合いの聖地を造成した。

RI第2510地区 第 9 分 区	室蘭ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日 RI再承認年月日	1936年(昭11)10月26日 1936年(昭11)12月 5 日 1950年(昭25)12月15日
例会場 住所・TEL	室蘭プリンスホテル 室蘭市中央町1丁目4－9　0143-22-5555	例会日時	木曜日　12時30分
創立時 ガバナー	佐藤　昌介	スポンサー クラブ	札幌ロータリークラブ
特別代表	伊藤　豊次		
創立時 会員数	23 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 83名　内：正会員48名，シニア34名，パストサービス会員1名(女性会員0名)

歴代会長

創立　栗林　徳一	1937　栗林　徳一	1938　栗林　徳一	1939　栗林　徳一	1950　香春三樹次	1951　香春三樹次
1952　香春三樹次	1953　水田　正	1954　井口　鹿象	1955　斎藤義太郎	1956　小林　秀光	1957　谷村金次郎
1958　佐藤　正義	1959　吾々津偕一	1960　佐藤　久次	1961　鈴木　栄	1962　佐山　励一	1963　冨田　嘉市
1964　柘植　亜夫	1965　栗林　徳光	1966　栗林　忠平	1967　藤田　健一	1968　松岡　幸七	1969　尾道　孝璋
1970　塩谷　栄一	1971　水田　泰	1972　田所　良穂	1973　斉藤　錆吾	1974　佐藤　晋弘	1975　米光　徳蔵
1976　国田嘉一郎	1977　別所　次郎	1978　林　一男	1979　髙橋　栄一	1980　菅原　巽一	1981　小林嘉兵衛
1982　上田　智夫	1983　田尻　毅	1984　多田　定男	1985　牧口　精一	1986　阿部　昭治	1987　西村　昭男
1988　菊地　千之	1989　齊木　春雄	1990　安斎　哲郎	1991　塩野谷茂昭	1992　鴨井　消一	1993　大橋　庄一
1994　北川　一雄	1995　寺尾　幸正	1996　斎藤　修弥			

結成した新クラブ	苫小牧RC(S32.1.25)　伊達RC(S35.11.17)　室蘭東RC(S36.1.25)		
ローターアクトクラブ	室蘭ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	
姉妹クラブ 友好クラブ			
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	室蘭市海岸町2－3－2　室蘭産業会館4F TEL0143-22-7545　10：00～15：00（火・水・木・金曜日）		

クラブの沿革と特徴

室蘭ＲＣは、1936年北大総長であった佐藤昌介男爵などの働きかけにより、札幌ＲＣをスポンサーとし、栗林徳一氏を初代会長として創立された。(承認番号4070)

大戦中は一時ＲＩより退会せざるを得なかったが、「室蘭経済懇談会」として例会の灯を守りつづけた。戦後は1950年にＲＩに復帰して、本年をもって創立60周年を迎える。

奉仕事業の一例をあげれば、プロビデンス号来航記念碑は、市内各企業の全面的協力を得て遂行され、現在に至るまで英国軍艦の入港時には各艦長の表敬訪問があり、また故拓植会員がロンドンクラブを訪れて報告を行うなど、日英両国の親善に寄与している。

地区発展の為、苫小牧、伊達、室蘭東各クラブの創立スポンサーとなったほか、多くの孫クラブの創設に努力して来た。

クラブは現在人口の減少に悩みながら、規定を忠実に遵守し、自主独立をつらぬきながら、将来に向かって前進をつづけている。

奉仕の実績

○総合美術展覧会（1952. 6. 1より）東京国立博物館収蔵品ほか200点。観覧者4万人。
○国旗掲揚運動（1953. 10. 1）地区年次大会において、井口鹿象会員提唱。
○プロビデンス号来航記念碑（1955. 10. 23）水族館に同碑、大黒島に水兵オルソンの墓を建設。英国大使（代理）ほか出席。
○マスイチ展望台の寄贈（1962. 7. 30）室蘭RC25周年記念事業。
○彫像「協奏」の寄贈（1967. 4. 26）地区大会記念として文化センターに建設。
○市民憲章の碑の建立（1978. 11. 8）
○オルソンの墓由来碑の建設（1980. 5. 22）
○室蘭ルネッサンスの提唱（1987. 10. 11）
○地球岬「ロータリーの広場」造成（1988. 4. 30）室蘭RC50周年記念事業。
○植樹　測量山、入江公園など2300本以上。
○図書館ロータリー文庫　積算　1413冊。
○室蘭育英資金　累算　269万円。

RI第2510地区 第 3 分 区	岩見沢ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1954年(昭29) 5月5日 1954年(昭29) 6月1日
例会場 住所・TEL	ホテル・サンプラザ 岩見沢市4条東1丁目　0126-23-7788			例会日時	金曜日　12時30分
創立時 ガバナー	宮脇　富	スポンサー クラブ	札幌ロータリークラブ	特別代表	伊藤　豊次
創立時 会員数	20 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 111名　内：正会員71名、シニア38名、パストサービス会員2名(女性会員0名)		
結成した 新クラブ	芦別RC(S32.12. 4)　赤平RC(S35.12.13)　栗沢RC(S39. 6 . 3) 栗山RC(S45. 1 .16)　美唄RC(S48. 5 .31)　岩見沢東RC(S58. 6 .28)				
ローターアクトクラブ	岩見沢ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	駒沢高校インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	岩見沢市4条西4丁目　IHKビル2F TEL0126-24-0700　10：00～12：30（月～金曜日）				

歴代会長

創立	三谷栄次郎	1954	三谷栄次郎	1955	牧　進	1956	鎌田　厳	1957	中島　正	1958	橋本安太郎
1959	栗山　雅智	1960	齊野　修一	1961	望月　武義	1962	原　保	1963	柿本　恒一	1964	堀　金松
1965	吉井　実	1966	荒木　政治	1967	金子　順治	1968	立川　一雄	1969	古川　春雄	1970	福岡　永泰
1971	山田　功	1972	浅野　勝三	1973	武蔵　消一	1974	大居　政義	1975	南　和成	1976	坂上　正洋
1977	冨士　順三	1978	五本日出夫	1979	三田　武	1980	三嶋　茂雄	1981	亀田　冨三	1982	河瀬　登
1983	五十嵐与一郎	1984	牧　陽一	1985	本橋　令司	1986	長谷川暢一	1987	武蔵　信一	1988	前川　英雄
1989	竹山　濱雄	1990	髙山　富雄	1991	根田　満	1992	菊谷　悟	1993	岡山　一	1994	江島　俊昭
1995	小坂　昭男	1996	向田　甚市								

クラブの沿革と特徴

岩見沢ＲＣは朝鮮動乱が終結し国内の産業と経済発展が上昇している昭和29年6月1日にＲＩ承認を受け道内9番目のクラブとして戦後初めて誕生し既に故柿本・望月ガバナーを輩出しました。設立時には札幌ロータリークラブ会長であった札幌医大学長故大野精七先生の熱心なお力添えを頂き伊藤豊次特別代表を派遣されご助言、ご指導を頂きながら創立にチャーターメンバーの会員がご苦労されたと考える時感謝の念で一杯であります。

以来活発な奉仕活動をつづけながら会員増強にも努め近隣クラブの拡大も芦別・赤平・栗沢・栗山・美唄・岩見沢東ＲＣと六つを数えております。又ローターアクトクラブ、駒沢高校インターアクトクラブも設立し青少年奉仕活動にも力を注いでおります。

社会奉仕部門に地域発展委員会と環境保全委員会を設置しこれからの時代に対応する事業を地域社会・他団体・行政当局と協議しながらロータリーとしての奉仕を実行致します。

奉仕の実績

1961～62年第8代望月武義会長年度に於て岩見沢駅前ロータリーに《愛の母子像》日展会員山脇正邦氏作を設置。

1963～64年第10代柿本恒一会長年度に市民会館落成を記念し前庭にロータリーの杜を造成（文化センター建設に伴い移転)。

1968～69年第15代立川一雄会長年度に岩見沢市役所前に岩見沢市民憲章碑を建立。

1983～84年度第30代五十嵐与一郎会長年度に岩見沢ロータリー創立30周年並びに岩見沢東ロータリークラブ創立記念・岩見沢開基100年・市制施行40周年を併せ記念して萩園公園に本格的ロータリーの杜を造成。

1986～87年第33代長谷川暢一会長年度にポリオ撲滅と環境保全のチャリティービールパーティーを開催し10回を終え継続中。

1991～92年第38代根田満会長年度から南空知中学校選抜野球大会を主催し継続中。

毎年12月チビッ子もちつき大会を主催。

RI第2510地区 第 5 分 区	**札幌南ロータリークラブ**	創立年月日	1956年(昭31) 6月22日
		RI承認年月日	1956年(昭31) 6月29日

例会場 住所・TEL	札幌パークホテル 札幌市中央区南10条西3丁目　011-511-3131	例会日時	月曜日　12時30分

創立時 ガバナー	小松　　隆	スポンサー クラブ	札幌ロータリークラブ	特別代表	伊藤　豊次

創立時 会員数	34 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 143名　内：正会員100名、シニア43名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立 富樫 長吉	1956 富樫 長吉	1957 富樫 長吉	1958 中山 五平	1959 藤木 定	1959 中山 五平
1960 古谷 晋	1961 田中時次郎	1962 森松 定男	1963 繁野 三郎	1964 石上 寿夫	1965 佐藤麟太郎
1966 川浦 誠	1967 佐佐木貫士児	1968 青木 栄吉	1969 秋山 宏	1970 九島勝太郎	1971 藤井 司郎
1972 水出 久雄	1973 仁平 実	1974 高橋 長雄	1975 坂 尚謙	1976 多田 久志	1977 竹山 涼一
1978 佐野 肇	1979 太田 隆賢	1980 西尾 長光	1981 田畑 武夫	1982 和田庄太郎	1983 杉山 允保
1984 富樫 英治	1985 寺沢 栄一	1986 菊池 正巳	1987 高谷 俊	1988 中村 康	1989 百留 次雄
1990 岩城 秀晴	1991 藤林 稔充	1992 藤居 周一	1993 加藤 正雄	1994 斎藤 元護	1995 畑中 俊介
1996 鈴木 秀明					

結成した 新クラブ	札幌東RC(S34.2.19)　札幌西RC(S35.9.27) 江別RC(S37.2.3)

ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	東京東ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　9：30～17：00 (月～金曜日)

クラブの沿革と特徴

北海道で初めてのアディショナル・クラブとして34名でスタート、創立から承認まで1週間という当時としては異例の早さであった。現在3名のチャーターメンバーが健在である。創立当初の特色として、出席優秀で初代富樫会長の人柄と運営方針から前垂れクラブの異名を頂き、なごやかなクラブといわれたが、現在も寛容で自由な空気、なごやかながらも節度を外さない気風は連綿と続いていると自負している。創立時の産業会館から現在の札幌パークホテルに例会場を移して30年を超え、ほぼ同じ頃北海道ビルにクラブ事務所も移転、現在は札幌市内9クラブ合同の事務所となっている。350地区当時、東北の352地区との合同地区大会をホストしたのをはじめ、大会、地区協議会、ゾーン研究会などのホストを多く務めている。一時は市内他クラブメンバーの応援も受けて室内楽団もできるなど、音楽や絵画など会員の特技を生かした活動も活発に行われて来た。

奉仕の実績

社会奉仕委員会と音楽委員会が共同で施設を音楽慰問。又、辻久子協賛札幌5ロータリークラブ合同演奏会を開催して市民にも公開、益金を札幌市に寄付。札幌育児園の児童を会員の庭園に招待、会員の画伯の絵画指導で子供達と一緒に写生会を実施。天使之園を毎年慰問、情操教育の一環として楽器を贈呈、児童が例会でその成果を披露。肢体不自由児施設の子供達をプロ野球観戦に招待。その後雪まつり招待に切り替え、山の手養護学校の児童生徒を真駒内の雪まつり主会場に招待、現在まで継続している。外国のクラブと児童画を交換、市内のデパートで国際親善児童画展を開催、市民に公開した。毎年中島公園内日本庭園に継続して植樹。職業奉仕委員会で会員職場従業員を例会に招待。駐在所夫人を例会に招待、慰労。公募によりボランティアの活動に支援金を贈呈。小学校などに空き缶プレス機贈呈。交通安全協会と協力、交通安全啓蒙の機材を寄付。

RI第2510地区 第 7 分区	苫小牧ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1957年(昭32) 1 月25日 1957年(昭32) 4 月15日

例会場 住所・TEL	ホテルニュー王子 苫小牧市表町１－１－30　0144-33-6121	例会日時	金曜日　12時30分

創立時 ガバナー	伊藤　文吉	スポンサー クラブ	室蘭ロータリークラブ	特別代表	小林　秀光

創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年１月１日現在 89名　内：正会員58名、シニア31名、パストサービス会員０名(女性会員０名)

歴代会長

創立 早川 昇	1957 早川 昇	1958 三輪 馨	1959 佐久間三八	1960 中村潤一郎	1961 宮本 義勝
1962 藤田 隆一	1963 矢倉安太郎	1964 葛森 春明	1965 岩倉 巻次	1966 藤井 倡造	1967 飛鍋洋三郎
1968 藤田 俊介	1969 沖 幸一	1970 渡辺 三郎	1971 中村 光雄	1972 阿部 敏雄	1973 佐藤 玄一
1974 山下 正	1975 朝倉 治郎	1976 宮崎 晋夫	1977 下村 辰治	1978 吉村 尊晴	1979 坂 勝雄
1980 加藤 悟	1981 小保方一雄	1982 君島 滋康	1983 若林 道彦	1984 岩倉 賢周	1985 松井 義一
1986 吉鶴 松生	1987 高松 諄	1988 小山藤市郎	1989 田中 正臣	1990 熊谷 成由	1991 須飼 康絹
1992 近藤 亘明	1993 安藤 芳男	1994 永井 高明	1995 斑目 広行	1996 宮田 昭一	

結成した 新クラブ	浦河RC(S36.9.10)　苫小牧北RC(S45.1.20)

ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	相模原ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	苫小牧市表町１－１－13 TEL0144-36-2688　FAX0144-33-3159　９：30～17：00

クラブの沿革と特徴

昭和31年８月に室蘭ロータリークラブ会長、小林秀光氏の勧誘を受けて設立に踏みきる。発会式は昭和32年１月25日。我が国200番目、道内13番目のクラブとして発足した。４月15日付で国際ロータリー加盟が正式に認証。昭和32年６月８日チャーターナイトには伊藤文吉ガバナー始め全国会員が150名の多くの方々の列席をえて伝達式が挙行された。チャーターメンバーは24名でした。以来39年を経て現在は90名を前後しております。クラブの特徴として39年の歴史が有るだけに、パスト会長や、古い会員が多く、また企業や銀行保険会社等の支店長の転勤による異動が多い。

奉仕の実績

〈地区内行事の主催〉

1．昭和34年９月18日　ＩＧＦを開催。
2．昭和42年５月21日　ＩＧＦを開催。
3．昭和46年６月24日　第351地区協議会を市民会館に於いて開催。
4．昭和49年10月５日。第351地区年次大会を開催。

〈姉妹クラブの締結〉

昭和45年10月、相模原ＲＣと姉妹クラブの締結を行う。

〈ガバナーの選出〉

国際ロータリー第251地区ガバナーとして1981―82年度佐久間三八会員を選出。

〈交換学生〉

受入れ。1970年トレシー・ドウリンさん(アメリカ、ニューヨーク州)

1972年ジョン・ベリーさん（アメリカ、ニューヨーク州ハミルトン市)

派遣。1971年中島君代さん（アメリカ、ニューヨーク州シェリール市)

クラブ独自の事業として今迄109人の青年にロータリークラブ奨学金を支給した。

RI第2510地区 第 11 分 区	**函館東ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1957年(昭32) 8 月29日 1958年(昭33) 1 月 2 日

例 会 場 住所・TEL	ホテル函館ロイヤル 函館市大森町16－9　0138-26-8181	例会日時	火曜日　12時30分

創 立 時 ガバナー	佐藤　幸三	スポンサー ク ラ ブ	函館ロータリークラブ	特別代表	伊部政次郎

創 立 時 会 員 数	30 名	現 在 会員数	1996年1月1日現在 100名　内：正会員68名、シニア32名、パストサービス会員0名(女性会員7名)

歴代会長

創立	渡辺熊四郎	1958	渡辺熊四郎	1959	富田　恭	1960	登坂　良作	1961	新　晋次
1962	渡辺　絹彦	1963	近江政太郎	1964	太桊　康光	1965	小南　武一	1966	森岡　勝
1967	新谷武四郎	1968	鈴木　武二	1969	北野　治	1970	大鎌　政雄	1971	小山　欽司
1972	嶋田　敬	1973	大脇　健介	1974	神田　弘	1975	小田　常雄	1976	杉本　力夫
1977	光銭　吉郎	1978	晳　泉	1979	丸山　一男	1980	本間　竹松	1981	松崎　済
1982	日下部一博	1983	渡辺　彰	1984	山田　英蔵	1985	八田　俊男	1986	宮崎　安吉
1987	宮崎徳三郎	1988	浜田　正二	1989	鎌田　剛	1990	嶋田　敬	1991	八木橋哲四郎
1992	小野　孝良	1993	吉村　昭二	1994	戸嶋　浩	1995	福嶋　貢	1996	平形　隆司

結成した 新クラブ	函館北RC(S39.6.16)　函館五稜郭RC(S45.1.24)　函館亀田RC(S47.5.29)

ローター アクト クラブ	函館大学ローター アクトクラブ	インター アクト クラブ		友 好 クラブ	青森東ロータリークラブ 長崎東ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	函館市大手町5－10　ニチロビル　TEL0138-23-3870 月曜日～金曜日　午前9：00～17：00　但し土曜日午前9：00～12：00

クラブの沿革と特徴

1957年伊部政次郎特別代表は、前年から函館ＲＣに入会して準備された会員13名の移籍により新クラブを設立した。これが函館の駅前通りから、五稜郭を隣接する我が函館東ＲＣの設立である。世の経済動向を写すかの様に会員数の増減が激しかったが、間もなく40周年を会員100名余で迎える。71～72年度には、富田恭ガバナーを輩出し、この年度には3人に1人のＰＨＦが出て地区内第1位、全国第10位の貢献度を示した。富田ガバナーの人徳の結果といえよう。またこれを前後して三つの子クラブを誕生させ拡大に力を入れた。即ちＳ39年に函館北ＲＣ、Ｓ45年に函館五稜郭ＲＣ、Ｓ47年函館亀田ＲＣで各々のクラブが立派に歴史を刻んでいる事は私共の誇りと思う。我がクラブは常に明るく、交わりを大切にする人達の集まりで、他人の為に役に立つ立場に自分を常に置いているかどうか？　理論だけが1人歩きすることがない様、常に優しさを保っているのが当クラブの姿だ。

奉仕の実績

創立20周年の記念事業として会員の預託金により、クラブ奨学会が設立された。経済的理由で進学が困難な高校生を対称に授与して来ました。今は市役所のリストに掲載され、公認された活動であります。

富田Ｇの時代から、Ｒ財団への関心度が高く現在もＰＨＦ、マルチプルＰＨＦの参加者が絶えません。

又函館は啄木と深い関りをもって参りましたので、大森浜岸壁450Mに小学生200名と共に啄木にちなんだ絵を画き、市民はもとより観光客にも大いに喜ばれ、今年は表彰を受けるに至りました。また身障者と一緒にグランドゴルフを開催しました。グランドゴルフは、協会が何時でも何処でも誰でもという目標を掲げ、それに賛同した結果200名の参加者で健常者も身障者もその別なく交流をはかりました。又ロータリーで安らぎと絆を合言葉にして特殊学級生をクルージングで函館港を一周して子供の喜びを会員の喜びとしました。

RI第2510地区 第2分区	芦別ロータリークラブ	創立年月日	1957年(昭32)12月4日
		RI承認年月日	1958年(昭33)3月18日

例会場 住所・TEL	芦別商工会議所 芦別市北南1条東1丁目10番地6　01242-2-3444	例会日時	金曜日　12時15分

創立時ガバナー	佐藤　幸三	スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	鎌田　厳

創立時会員数	25名	現在会員数	1996年1月1日現在 65名　内：正会員32名、シニア33名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立　岩間　謙吉	1958　中野　重雄	1959　中野　重雄	1960　川守田勇一	1961　滝沢　敏夫
1962　乗好　吉助	1963　小野寺利男	1964　野口　恂	1965　青木　弘	1966　角幡　芳男
1967　志田　隆三	1968　浅沼　寅一	1969　吉村外茂二	1970　大西　武一	1971　小野寺利男
1972　北村　外吉	1973　米田　義一	1974　田村藤次郎	1975　吉岡　浩	1976　渡辺　京
1977　岩間　珠一	1978　末永　信一	1979　沢田　英夫	1980　大崎　克彦	1981　久保　邦夫
1982　田中　正之	1983　橋浦　弘	1984　川島　昭二	1985　森沢　勲	1986　大鎌　幸雄
1987　小西　修身	1988　依本　蕃	1989　古川　敏一	1990　中山　幸雄	1991　石川　博識
1992　松本　公元	1993　関口　孝八	1994　土山　久男	1995　瀬戸　一郎	1996　神野　一民

結成した新クラブ	

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	芦別市南1条東1丁目10番地6　芦別商工会議所 TEL01242-2-3444　9：30～17：00

クラブの沿革と特徴

昭和32年12月4日、当時、石炭産業で躍進の一途をたどり、人口75,000人を数える空知の炭都芦別市に、岩見沢ロータリークラブをスポンサーとして、北海道で18番目の芦別ロータリークラブが誕生しました。会員数25名で発足した芦別ロータリークラブは、翌昭和33年3月18日、RIより日本で第238番目のロータリークラブとして承認されました。爾来歳月を重ね、40年目を迎えようとしています。

この間、石炭産業の衰退とともに当時の人口75,000人の3分の一を割る23,218人（本年4月現在）の過疎化の進む厳しい地域環境にありますが、65名（本年5月現在）の会員が、今なお健在で37年間100％出席達成、更に記録更新中のチャーターメンバー(中野重雄会員)を中心として、奉仕の高き理想を秀峰芦別岳に、友愛の広がりを清流空知川に準えて表現した芦別クラブバナーの基に相集い、活動しています。

奉仕の実績

昭和43年に、芦別ロータリー創立10周年記念事業として、市の中央部を俯瞰する高地旭山に市の協力を得て、「ロータリーの森」を造成しました。以来28年の歳月を経た現在、当時の幼木もすばらしい樹木に成長し、市民憩いの森林公園として親しまれております。1986年、この公園の中心部に直径30メートルのロータリーのマークを縁どりした花壇を造成しました。私達のこの環境保全に対する取り組みに対し、芦別市は、延べ8キロメートルの森周辺の遊歩道、さらに森林拡張などの整備拡張が進められました。

3.7ヘクタールの面積に、当初、松・白樺・榛の木・ポプラ等15種3421本が植えられましたが、年々の整備が実り、およそ4100本に達する豊かな美しい森となっております。1995～96国際ロータリー第2510地区大会において、この私達の活動が認められて、「ガバナー表彰」の栄誉を受け、会員一同の誇りとしています。

RI第2510地区 第 2 分 区	滝川ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1958年(昭33) 8 月16日 1958年(昭33) 11月13日

例会場 住所・TEL	ホテルスエヒロ 滝川市明神町２丁目２番16号　0125-22-3344	例会日時	木曜日　12時30分
創立時 ガバナー	伊部政次郎	スポンサー クラブ	旭川ロータリークラブ
		特別代表	

創立時 会員数	27 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 131名　内：正会員96名、シニア35名、パストサービス会員０名(女性会員２名)

歴代会長

創立	久保　茂雄	1959	久保　茂雄	1960	前田　久吉	1961	山田　滑巷	1962	中川孫太郎
1963	神部　弘二	1964	武田　勝夫	1965	岩本　正義	1966	柴田　棟造	1967	田中君太郎
1968	今野　正義	1969	山口　滑	1970	川村　幸雄	1971	中川　正	1972	広部和気雄
1973	土井　恒隆	1974	武内　敏彦	1975	米倉　謙一	1976	柳元　豊	1977	中田　治巳
1978	吉田　英治	1979	渡辺　弘	1980	坪谷　六郎	1981	近藤良四郎	1982	鈴木　英市
1983	吉田　守人	1984	岡本　皓	1985	戸井　康堯	1986	種田　良一	1987	熊本　博一
1988	中山　弘三	1989	花摘　誠吉	1990	野瀬　武二	1991	武田　邦彦	1992	渡辺　恭久
1993	柳　義文	1994	今野　陽一	1995	吉田　正治	1996	宮崎　次郎		

結成した 新クラブ	砂川RC(S45.1.13)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	滝川商業高校に1968年に結成 (現在は消滅)	姉妹クラブ 友好クラブ	アルゼンチンのロータリークラブ、ブルックウッド (左2クラブは現在交流なし) 千倉ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	滝川市明神町２丁目２番16号　ホテルスエヒロ７F TEL0125-22-3344　FAX0125-24-2755　10：00～16：00 (祝・祭日・土曜日を除く)

クラブの沿革と特徴

昭和33年８月16日、創立総会開催。滝川RCの誕生。チャーターメンバー７名を含む27名でスタート。先達の努力の積み上げにより、ロータリー精神を培い徐々に幅広い奉仕活動を進めながら、43年に52名、53年に78名、63年に105名、38年目を歩んでいる現在132名を擁する迄に成長。創立以来、ロータリーに対して熱心に研究し、奉仕の意義を体し、各部門中心に活動を展開して来たと共にクラブ内充実を常に考え、未来へ繋ぐクラブ運営に努力。その間、ガバナー代理１名、分区代理５名を出した。大世帯で年齢格差の広がる中「奉仕」の指標の下、和やかに地道に活動を続けている。このことが特徴といえようか。

奉仕の実績

創立以来の奉仕の実績として数年に亘るものを列挙する。

里親会の実施、無医村巡回医療サービス、各種医療器機の寄贈、交通安全運動への参加、交通安全塔の寄贈、防犯課への支援、レスキュー隊へスノーモービルの寄贈、市へデジタルタワー、シンボルツリーの寄贈、桜の園創設、北海道の森他への植樹運動、歳末たすけ合いへの協力、海外へ世界社会奉仕として消防車、自転車、学用品の寄贈。交通災害児への支援。幼稚園児絵画展、小中学生書道展、水泳大会、青少年自然体験キャンプ、スポーツ少年交流会。職業奉仕の団体、優良従業員他、顕著な実績の個人表彰、優良勤労者、勤労学生他を顕彰、鼓舞。

青少年交換学生の受け入れ(３名)、派遣(３名)、RＩ財団奨学生３名推薦支援、GSE受け入れ、派遣１名。

RＩ財団への継続協力により、ベネファクター９名、PHF99名、マルチ25名。計H８．４現在173,773.^{05}＄の実績。

米山記念奨学会への協力。(普)寄付4,663,850円，(特)寄付8,440,000円，その他485,450円，合計13,589,300円の実績。

RI第2510地区 第 5 分 区	**札幌東ロータリークラブ**		創立年月日	1959年(昭34) 2月19日
			RI承認年月日	1959年(昭34) 3月14日
例会場 住所・TEL	札幌ロイヤルホテル 札幌市中央区南7条東1丁目　011-511-2121		例会日時	木曜日　12時30分
創立時 ガバナー	伊部政次郎	スポンサー クラブ	札幌南ロータリークラブ	特別代表	富樫　長吉
創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 146名　内：正会員73名、シニア73名、パストサービス会員0名(女性会員0名)	

歴代会長

創立　柴田　衛治	1959　柴田　衛治	1960　村川　嘉一	1961　西本　嘉一	1962　山本　修吾
1963　古谷　倡治	1964　曽我部直治	1965　鈴木　幹郎	1966　斎藤滑一郎	1967　髙薄　敏男
1968　小川　忠一	1969　岩本　常次	1970　江守　武雄	1971　三浦　寅夫	1972　堀田　章三
1973　落合　定雄	1974　石井　次三	1975　福山　遼彦	1976　斎藤　譲一	1977　大場　二郎
1978　松本　恒一	1979　吉田　倡	1980　野澤　悌三	1981　鷲山　寿丸	1982　木村　文教
1983　大橋　康次	1984　橋本　利弘	1985　山中　三郎	1986　大谷　輝雄	1987　髙野　博
1988　田中　公	1989　白崎　繁仁	1990　西川　正一	1991　笠原　正秀	1992　名塩良一郎
1993　武田　俊男	1994　野村　昭光	1995　横山　安行	1996　田尾　重良	

結成した新クラブ	札幌幌南RC(S39.11.13)　札幌北RC(S46.5.24)　新札幌RC(S59.6.21)				
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	北海高校 インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	姉妹：北ポートランドロータリークラブ 友好：釜山東南ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　9：30～17：00 (月～金曜日)				

クラブの沿革と特徴

当クラブは1999年2月に創立40周年を迎えますが、諸先輩が作り上げた伝統と歴史の重みを更に輝かせる様、ロータリーの原点“奉仕の理想”に向かって情熱を持って歩むと共に会員同志の親睦、友愛が温かく例会に来るのが楽しみと言われている通称“ナッパ服クラブ”です。当クラブは昭和34年2月19日、札幌南RC富樫長吉特別代表の御指導により仮クラブを結成し、同年3月14日国際ロータリーに正式に加盟が承認されました。昭和39年には札幌幌南RC、昭和46年には札幌北RC、昭和59年には新札幌RCのスポンサークラブとして広大な地域をその発展の基礎として提供しました。この間、1980年～81年に小川忠一、1988年～89年に大橋康次と2人のガバナーを出しており地区委員会には毎年10人前後の会員を参加させ、地区の活動に積極的に協力しています。昨年迄にポールハリスフェロー112人、米山功労者20人と財団奨学生12人、受入れGSE6グループを数えています。

奉仕の実績

平成8年度地区大会で優秀賞を受けた会員各位の職業を通じての職業奉仕分野におけるきめ細かい奉仕活動を土台に、クラブ奉仕では例会出席が楽しみと多くの会員をして言わしめる雰囲気と、多彩なプログラムがクラブ・ライフを充実させております。社会奉仕部門では他に先駆けてスパイクタイヤの返上宣言、300名の一般市民を集めての地球環境フォーラム開催、更には道内初のプロバスクラブ結成と幅広く、国際奉仕部門と協力しての「交換留学生の名を冠した植樹」は留学生の再来日と末長い交流に大きな役割を果たしています。国際奉仕部門は交換留学生の派遣35名受け入れ34名と地区内随一の人数のみでなく、質の向上を使命とし、帰国後の交流も世界大会出席時の夕食会招待など長く続いており、帰国留学生もREXとして幅広くロータリー活動に参加しております。インターアクトの活動支援も活発であとはローターアクトをどう捕まえるかが課題となっております。

RI第2510地区 第 1 分 区	# 深川ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1959年(昭34) 2月3日 1959年(昭34) 4月16日

例会場 住所・TEL	プラザホテル板倉 深川市3条6番7号 0164-23-2121	例会日時	火曜日 12時30分

創立時 ガバナー	伊部政次郎	スポンサー クラブ	旭川ロータリークラブ	特別代表	板井 一治

創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 68名 内：正会員47名，シニア21名，パストサービス会員0名(女性会員2名)

歴代会長

創立	河野 通正	1959	河野 通正	1960	河野 通正	1961	河野 通正	1962	松井 弘消
1963	尾崎 正一	1964	小林弥三郎	1965	増田 司	1966	北川 誠一	1967	成田 武雄
1968	関 雅一	1969	伊藤 博	1970	小六 亀一	1971	中 秋雄	1972	垣内 勝
1973	斉藤孝太郎	1974	能登 一雄	1975	髙林 保	1976	斉藤 昭三	1977	佐々木 実
1978	大谷 武	1979	真田 収	1980	本橋 昌三	1981	渡辺 晃久	1982	鈴木 奕彦
1983	津田 恭衛	1984	真田 睦郎	1985	村田 吉隆	1986	滝井 發	1987	後藤田隆雄
1988	大橋 亮二	1989	関 恵造	1990	伊藤 崇	1991	杉村 修	1992	林 正衛
1993	宇野 利一	1994	三浦 隆雄	1995	吉本 勲	1996	渡辺 一毅		

結成した 新クラブ	妹背牛RC(S42.5.28)

ローターアクトクラブ	拓殖大学北海道短期大学 ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	韓国南海ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	深川市3条6番7号 プラザホテル板倉内 TEL0164-23-2121 FAX0164-23-2125

クラブの沿革と特徴

明治23年深川に開拓の鍬がおろされ明治25年石狩国雨龍郡深川村が誕生した。深川ＲＣは1959年２月３日深川市内の職業人25名のチャーターメンバーで創立1959年４月16日旭川ＲＣのスポンサーで全国284番目のＲＣとして承認された。1960年５月28日承認伝達式が行われＲＣの仲間入りをする。1967年全国で786番目妹背牛ＲＣのスポンサークラブとして任を果す。1969年５月30日拓殖大学北海道短期大学ＲＡＣを提唱1970年５月30日創立する。1973年５月12日韓国南海ＲＣと姉妹クラブ締結友好調印する。深川ＲＣは1996年６月末会員数66名で日々職業奉仕を通し地域社会に根差した奉仕活動に精進している。

奉仕の実績

深川ＲＣ創立承認から38年先輩の築いた足跡を継承し地域社会の要請に応えんと奉仕の理想を掲げ実績を重ねてきた。拓大ローターアクトクラブを提唱創立育成に努める。韓国南海ＲＣと姉妹クラブ締結毎年交互に訪問交流３年毎に友交調印式を行い友情を深め高令者福祉施設へ少額ではあるが援助をしている炉辺会合を行い先輩会員と若い会員との親睦を計っている。よろず相談は会員の専門職を生かし市民の多様な相談を受け交流を計る。交通安全街頭キャンペーンの実施、職場訪問は会員の職場を訪問異業種の理解を深め研鑽する。フリーマーケットは全員から提供の商品を市民に安値で販売環境保全活動資金の造成を計る。会員の健康増進のため歩こう会を行い共に親睦を計る。貸切リゾート列車に身障の方々を招待し会員と交流福祉について理解を深める。青少年サッカー、バドミントン、主張大会、リーダー研修を後援し青少年の健全育成に努める。年末には会員家族との親睦のクリスマスパーティーを開催。ローターアクトメンバーを招待する。意義ある業績賞、ガバナー特別賞、ロータリー財団協力優秀賞、米山功労クラブ賞を受賞、会員増強に努力、会員の協力で真摯に奉仕活動を行う。

RI第2510地区 第 9 分区	伊達ロータリークラブ	創立年月日	1959年(昭34)11月17日
		RI承認年月日	1960年(昭35)1月8日

例会場 住所・TEL	伊達ローヤルホテル 伊達市末永町33－3　0142-23-0512	例会日時	火曜日　12時30分
創立時ガバナー	真崎　健夫	スポンサークラブ	室蘭ロータリークラブ	特別代表	工藤　賢一
創立時会員数	32 名	現在会員数	1996年1月1日現在 75名　内：正会員41名，シニア34名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立　高岸喜久雄	1960　高岸喜久雄	1961　木村　一郎	1962　斉藤　一雄	1963　寺田　茂巳
1964　若狭　函寿	1965　守谷　学而	1966　木幡　圭三	1967　冨山　静男	1968　尾崎　利明
1969　伊達　廉夫	1970　栗本　渭一	1971　国本亮太郎	1972　安井　淳	1973　関髙　遼
1974　福田　重信	1975　上条　資喜	1976　黒田　耕一	1977　和田長一郎	1978　池田　実
1979　小笠原栄一	1980　渭野　一夫	1981　宮沢　久雄	1982　伊藤　萬吉	1983　楠本　誠治
1984　日下　哲夫	1985　松本　淳一	1986　稀王　祐右	1987　和歌　宏允	1988　栗橋　義徳
1989　堅田　進	1990　平松　渭吉	1991　川南　忠三	1992　佐久間重行	1993　唯木　久弥
1994　木村　定吉	1995　工藤　賢一	1996　加藤　駉郎		

結成した新クラブ	洞爺湖RC(S44.2.3)
ローターアクトクラブ	伊達ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	仙台亘理ロータリークラブ 茅が崎湘南ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	伊達市末永町33－3　伊達ローヤルホテル TEL0142-23-0512

クラブの沿革と特徴

1959年、室蘭ＲＣの働きかけにより11月17日設立総会を開く。1960年１月８日承認された。1960年５月24日創立記念式典を挙行。

1969年２月24日新クラブとして洞爺湖ＲＣが結成され、会員７名が移動した。

1990年創立30周年記念式典を挙行。

1995年創立35周年記念の例会を開催。

1996年２月４日第９分区のＩＭを当クラブ主管のもとに本市で開催盛会裡に終始した。

会員32名で発足した当クラブも、本市の人口増加と共に会員が増え現在75名となっている。適正な規模で会員相互の交流も極めて円滑で、各委員会を通じて計画的な奉仕活動を実践している。

北の湘南にふさわしい恵まれた環境をより一層快適なものとするため、河川の清掃、錦鯉の放流、植栽活動等を継続している。

奉仕の実績

当クラブが一貫して行って来た奉仕活動に市と連携した植栽活動がある。

市道、河川沿え、公園等に植栽してきたが最近は、道立太陽の園（社会福祉施設）園内に桜を植栽、将来は桜の名所として市民に親しまれる憩いの場となることを期待している。

そのほか主な奉仕の実績は次のとおり。

1．伊達ボーイスカウト団に育成金贈呈
2．市街中心部を流れる紋別川に錦鯉の放流
3．市内中学校英語暗唱大会にトロフィ寄贈
4．サッカースポーツ少年団に助成
5．通勤センターへ遊具の寄贈
6．市少年野球連盟に助成
7．伊達国際交流協会に協力
8．太陽の園納涼祭に助成
9．伊達高校生へ奨学金の贈呈
10．歳末助け合い運動に寄付協力
11．緑の羽根募金運動に協力
12．災害見舞金（随時）
13．ロータークトに助成

RI第2510地区 第 6 分 区	**小樽南ロータリークラブ**	創立年月日	1960年(昭35) 2月5日	RI承認年月日	1960年(昭35) 2月12日
例会場 住所・TEL	小樽グランドホテル 小樽市稲穂1丁目4番1号　0134-25-1515	例会日時	金曜日　12時30分		
創立時ガバナー	真崎　健夫	スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ	特別代表	寿原　九郎
創立時会員数	22 名	現在会員数	1996年1月1日現在 86名　内：正会員55名，シニア31名，パストサービス会員0名(女性会員0名)		
結成した新クラブ	小樽銭函RC(S50.9.18)				
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	小樽市稲穂1丁目4番1号　小樽グランドホテル TEL0134-25-1515　10：00～15：00（毎週金曜日）				

歴代会長

創立	神野　新三	1960	神野　新三	1961	太田　秀夫	1962	髙山　隆行	1963	竹田　潤治
1964	籾谷　知治	1965	中山　謹治	1966	瀬戸　国男	1967	辻　長吉	1968	本間　誠一
1969	馬場　栄一	1970	髙橋　敏男	1971	阿久津　勇	1972	佐川　秀逸	1973	岡田　一次
1974	青木　髙志	1975	石川　潤	1976	白石　政雄	1977	山本　勉	1978	本多英五郎
1979	冨樫　英治	1980	吉川　登治	1981	畑　竜英	1982	猪股　昌介	1983	籾谷　真一
1984	宝福　道彦	1985	浜口　貞雄	1986	野村　定玄	1987	駒木　喬	1988	沢田　卓一
1989	西　偕博	1990	渡辺　雅敏	1991	米山　八郎	1992	唐橋　宥	1993	山田　幸雄
1994	中川　武弥	1995	瀬戸　國幸	1996	髙木　正光				

クラブの沿革と特徴

1960年2月、小樽ロータリークラブの指導のもとに設立された。当時の会員数は22名で、20歳代の会員も多く、活気にあふれた出発であった。

例会場は明治初年に開設された歴史ある料亭・海陽亭である。日露戦争のあと伊藤博文たちが、日露国境協定を結んだ大広間がある。海陽亭は一部を改装して例会場とし、和風料理を主体としたメニューを提供した。ビジターが驚嘆するような、特色ある例会が開かれ、家族懇親会、期末懇親会などは、由緒ある大広間で開催された。

その後会員の増加につれて、例会場を1978年北海ホテルへ、1990年小樽グランドホテルへ移転したが、昔の海陽亭の雰囲気と、名物女将の宮町幸代さんを懐かしむ声も多い。

小樽運河の埋立が全国的な話題となり、小樽の知名度が上がり、観光産業が盛んとなった。この動きのなかで、多くの会員が地域振興のために努力を続けている。

1975年、青木一雄ガバナーの指導のもとに、小樽銭函ロータリークラブが結成された。当クラブがスポンサークラブとなり、特別代表として、太田秀夫が尽力した。

1977年10月、伊藤義郎ガバナーのもとで、小樽市民会館で国際ロータリー第251地区年次大会を主催した。当時の会員数は50名あまりであった。

1989年、チャーターメンバーの籾谷真一が、当クラブからはじめて第2510地区ガバナーに就任し、小樽市民会館で年次大会を主催した。当時会員数は80名に達していた。

奉仕の実績

当クラブは発足以来、地域密着型の奉仕活動を続けてきた。小樽公園の植樹、花壇の造成、運河公園の整備、公共施設等への寄付、例えば美術館への絵画贈呈などが行われた。

また地域の青少年活動への援助を積極的に行っている。毎年市内の高校から推薦された優秀卒業生を表彰したり、高齢者住宅への除雪ボランティア活動を支援している。

RI第2510地区 第 4 分 区	**札幌西ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1960年(昭35) 9月27日 1960年(昭35)11月 3 日

例会場 住所・TEL	三越札幌店 4 階 札幌市中央区南 1 条西 3 丁目　271-3311	例会日時	火曜日　12時30分
創立時 ガバナー	坂牛直太郎	スポンサー クラブ	札幌ロータリークラブ 札幌南ロータリークラブ
特別代表	大野　精七		

創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年 1 月 1 日現在 122名　内：正会員49名，シニア73名，パストサービス会員 0 名(女性会員 0 名)

歴代会長

創立	滝本　庄蔵	1961	滝本　庄蔵	1962	滝本　庄蔵	1963	唐笠　　学	1964	新保幸太郎
1965	小熊　米雄	1966	吉田三郎平	1967	中川　秀三	1968	田井　直治	1969	塩谷　　猛
1970	五十嵐彦仁	1971	河郁文一郎	1972	海老沢義道	1973	竹田　　勇	1974	小野寺　彰
1975	小城　消二	1976	渡辺　和英	1977	鳴田　　力	1978	前田　勝也	1979	長谷井真信
1980	時任　正夫	1981	山下　　博	1982	林　　春雄	1983	石井禧八朗	1984	藤井　信夫
1984	石垣　博英	1985	芳賀　孝郎	1986	平佐　　忍	1987	伏木　忠了	1988	笹原　克己
1989	上井　鉄造	1990	穂苅　金吾	1991	川守田勇一	1992	森田　恭誕	1993	大金　武夫
1994	石垣　博英	1995	伊藤　千秋	1996	芹田　　馨				

結成した 新クラブ	札幌手稲RC(S45.6.29)　　札幌西北RC(S52.4.21)

ローター アクト クラブ	札幌西ローター アクトクラブ	インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	マカティ・ウエストロータリークラブ、 ウエスト・ダバオロータリークラブ（フィリピン)、 ユチカロータリークラブ（アメリカ)

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	札幌市中央区北 2 条西 4 丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　9：30～17：00（月～金曜日)

クラブの沿革と特徴

札幌西ＲＣは1960年に大野精七代表指導の下、札幌、札幌南のＲＣがスポンサーとなって呱々の声をあげた。滝本庄蔵会長の下24名のメンバーを数えた。加盟承認は1960年11月 3 日で日本では398番目のＲＣである。爾来今年で35年の年月を経た。昨1995年 9 月26日創立35周年記念式典を挙行した。この間会員は次第に増え、一時140名余を数えたが近年停滞気味で現在122名である。市内中央区西南地区をテリトリーとしている関係か専門職関係者より実業人の会員が多い。最近言われることは高齢化(平均年齢65歳？)の故かクラブ活動は地味にしっとりとし過ぎた気味があるのでは、と自省している。良識（手前口上？）と見識を基準に、職業、社会、国際奉仕の分野に万遍なく関心を持てるのが特徴か？どうも直接体の行動の点では忸怩たる感を免れ難いが。

奉仕の実績

言うまでもなくＲＣの大きな使命は奉仕である。その態様は様々で職業、社会、国際の諸分野での働きがある。札西ＲＣは35年の歴史の中で相応の実績を残してきている。職業、社会の奉仕の働きはローカルを主体としたもので色々の地域社会の働きの援助をさせてもらってきている。詳細は割愛したい。国際奉仕は滝本初代会長の意向もあって当初から関心の高いものであった。ユチカ（米国)、マカティ・ウエスト、ダバオ・ウエスト（フィリピン）のＲＣと姉妹提携を結び、一応の実績を生んだ。青少年交換、技術学習者に就学機会の提供、交流相互訪問等がその実態である。ＷＣＳ（世界社会奉仕)、ＧＳＥ等のプロジェクトにも積極的に参加してきた。創立30周年記念の際には東南アジア、韓国、その他からの10数名青少年を招待し「環太平洋生活様態—21世紀における」テーマの元で、地元の高校生も多数参加して討論を行い、理解を深めたのは圧巻と言える。こういう事は華々しさに目を奪われがちだが地に着いて一歩一歩進めるのが肝要である。その意味で青少年交換は本当に大事である。

RI第2510地区 第 2 分 区	**赤平ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1960年(昭35)12月13日 1961年(昭36) 2 月 9 日

例会場 住所・TEL	赤平文化会館２階 赤平市大町４－５　0125-32-3125	例会日時	火曜日　12時30分

創立時 ガバナー	坂牛直太郎	スポンサー クラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	鎌田　　巌

創立時 会員数	49 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 51名　内：正会員38名、シニア13名、パストサービス会員０名(女性会員０名)

歴代会長

創立　田中　昇	1961　田中　昇	1962　村上虎之助	1962　松永　信義	1963　佐々木金太郎
1964　西出　喜一	1965　水上　久作	1966　長谷川芳晴	1967　藤田　安男	1968　宇戸　滝雄
1969　杉本　敏一	1970　森　茂	1971　長土居誠吾	1972　佐藤　銀	1973　西沢　良知
1974　髙橋　竹次	1975　鈴木　義秋	1976　清水　潔顕	1977　真田　正幸	1978　北野　福志
1979　平間　広一	1980　相馬　寛	1981　石川　豊治	1982　竹俣　紀一	1983　北野　正昭
1984　立林宇一郎	1985　武田　昭	1986　柿沼　利雄	1987　神山　寛郎	1988　岡田　知治
1989　田島　隆男	1990　上村　克彦	1991　井上　信亜	1992　竹島耕出雄	1993　西出　勝利
1994　藤永　貞治	1995　松田　光幸	1996　藤原　税		

結成した 新クラブ	

ローター アクト クラブ	赤平ローター アクトクラブ	インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	韓国ロータリークラブ 晋州ロータリークラブ 仙鶴ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	赤平市本町２丁目１番地　西沢税理事務所内 TEL0125-32-2200　9：00～17：00（月～土曜日）

クラブの沿革と特徴

赤平、炭鉱のまち、炭鉱で育ったまちです。昭和35年、石炭不況の合理化の嵐が吹きすさび、荒廃とした地域社会のなかで「活力と奉仕」を求め、岩見沢ＲＣ鎌田巌先生の助言をえて、昭和35年12月赤平ロータリークラブは誕生いたしました。

以来36年産炭地という厳しい特殊な地域社会のなかで、我々は何をすべきか、奉仕の実践とは何か、模索つづけてまいりました。

経済成長とともに生活環境が変わり、物の豊かさがみたされ、心の貧しさが問われる今日、いつしか（心の奉仕の実践）がわがクラブの奉仕活動の特徴として定着いたしました。

又、親睦と友情、楽しい例会は、ロータリーの永遠のテーマでありこの問題に関係会員の努力と工夫により一定の成果を伝統的に守り続けていることも赤平ロータリークラブの特徴と思います。楽しい例会はニコニコボックスが例会を沸かします。ユーモアなすっぱ抜きに一層親睦の輪が広がります。

奉仕の実績

赤平ロータリークラブの奉仕の実績は、ここ数年特に（心の奉仕の実践）を重点的に取り組まれてきた。高齢化社会のなかで社会的弱者といわれる、在宅寝たきり老人、痴呆症老人、独り暮らし老人、高齢虚弱老人等のおとしよりに、心と心の奉仕活動を幼稚園児がおとずれ、おとしよりの方をポンポンたたき、一緒に歌をうたい、踊りをおどり会話を交わし園児手作りのお土産を渡すこれらの交流は平均年齢85歳のおとしより、平均年齢５歳の幼稚園児の年の差をとりのぞき、気持ちは一体となり涙を流して喜んで貰い、必ずまたきて下さいと約束させられる。いまおとしよりが何より求めているのは物質ではない。

心と心の愛情の欠如が如何に大きいかを都度思い知らされるのである。残念ながらこれらの施設は多くなり園児数は少なくなりおとしよりと約束をした一年一回の交流が出来ない現状である。

RI第2510地区 第 1 分 区	留萌ロータリークラブ	創立年月日	1961年(昭36) 2月1日
		RI承認年月日	1961年(昭36) 4月20日

例会場 住所・TEL	留萌産業会館 留萌市錦町1丁目　0164-42-2058	例会日時	水曜日　12時15分
創立時ガバナー	坂牛直太郎	スポンサークラブ	旭川西ロータリークラブ
特別代表	岸田　国光		
創立時会員数	26 名	現在会員数	1996年1月1日現在 102名　内：正会員57名、シニア45名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立　小沢　久吉	1961　小沢　久吉	1962　堀田　文輔	1963　東　典俊	1964　対馬　良行
1965　小沢久次郎	1966　天内　雄作	1967　福田　耕治	1968　矢野　慶治	1969　岩崎　一郎
1970　阿部　渭晴	1971　加地　民一	1972　石川　健治	1973　米津　義一	1974　富山　惟夫
1975　宮尾　孝一	1976　下川　安長	1977　久保田八十八	1978　村田　久男	1979　金森　邦輝
1980　坂井　渭	1981　香城　芳麿	1982　寺西　保博	1983　澤井　定七	1984　平井　誠治
1985　越野　俊興	1986　二ノ宮節雄	1987　川合　正修	1988　捻金　昭二	1989　宮原　文人
1990　渡部　英次	1991　門脇　則充	1992　森本　一	1993　深瀬　晏男	1994　井内　球雄
1995　松本　孝一	1996　西埜　義郎			

結成した新クラブ	小平RC(S49.7.15)　羽幌RC(S54.5.16)
ローターアクトクラブ	留萌ローターアクトクラブ
インターアクトクラブ	
姉妹クラブ 友好クラブ	論山ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	留萌市錦町1丁目　留萌産業会館 TEL0164-42-2058

クラブの沿革と特徴

35年前26名の会員によって創立されたわがクラブは、諸先輩のご努力によって今や100名を超えるクラブに成長し、更にこの間小平・羽幌両RC及び留萌RACのスポンサーとしての感激を味わうことが出来、又1993～94年度の地区ガバナーとして富山惟夫君を送り出し、地区内有数クラブの1つとなり得たことは慶びに堪えない。

クラブの特徴といえば当然のことながら、ロータリーの理念に基づいた活力と親睦であり少年達にとっては、留萌RCは面倒味のある小父さん達であり、又高齢者にとっては、老後を支えてくれる人達の集団であるとの意識が定着している。囲碁・カメラ等趣味を通じての9つの愛好会の結成は、他に例をみない親睦の好例であろう。又クラブレベルでの世界社会奉仕は地区内での先駆的事業であり、今後地域に密着した行事、世界を見据えた奉仕の実践を、会員間の年齢差にかかわりなく誓いあっている昨今である。

奉仕の実績

職業奉仕：○ワープロ教室○職業談話○職場例会○職業活動表彰

社会奉仕：○市立図書館へロータリー文庫創設○公園にロータリー花壇・時計塔等の設置○海洋少年団・ボーイスカウト・特殊学級・勤労学生等に対する教具・資材等の援助○市内の植樹、水飲み場設置○黄金岬に記念塔建立○僻地医療活動○高齢者ゲートボール大会（16年間）○市民及び学童に対する環境保全の啓蒙（1996年RI会長より意義ある業績賞受賞）○RACの育成○青少年に対する剣道・卓球大会の主催○身障者への援助○地域イベントに参加（やん衆あんどん祭り）

国際奉仕：○韓国論山RCとの姉妹結縁及び相互訪問（1973年より）○論山愛育園（孤児収容施設）に対する世界社会奉仕○R財団及び米山奨学会に対する高率の寄付及びバギオ基金に対する支援○国際青少年交換の実施（シャロン・メイ・スキリー嬢及村田久恵さん）

室蘭東ロータリークラブ

RI第2510地区 第 9 分 区	室蘭東ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1961年(昭36) 1月25日 1961年(昭36) 4月26日

例会場 住所・TEL	ニュージャパン 室蘭市輪西町２－４－18　0143-44-3322	例会日時	水曜日　12時30分

創立時 ガバナー	坂牛直太郎	スポンサー クラブ	室蘭ロータリークラブ	特別代表	谷村金次郎

創立時 会員数	30 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 73名　内：正会員42名、シニア31名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	村田　巌	1961	村田　巌	1962	東　栄	1963	大西　湞	1964	東　栄
1965	中島　勝美	1966	市来　仲	1967	前田　忠蔵	1968	間宮　邦彦	1969	斎藤　直意
1970	熊崎　茂男	1971	国本　鎮雄	1972	糸氏　年雄	1973	上野　六郎	1974	遠藤　広雄
1975	国本　時夫	1976	髙本　直次	1977	藤川　武彦	1978	原田　一洋	1979	田村　武夫
1980	小林　定光	1981	霪寺　健一	1982	鈴木　久雄	1983	岩倉　博	1984	金沢　智光
1985	神島　茂夫	1986	勝谷　亘	1987	一戸　登信	1988	小野瀬宏勝	1989	天谷　富雄
1990	山本　尚夫	1991	佐々木勝男	1992	黒田　秀雄	1993	新宮　正直	1994	児玉　直彦
1995	板垣　道男	1996	菅原　俊行						

結成した新クラブ	登別RC(S44.12.14)　　室蘭北RC(S46.12.19)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	室蘭大谷高等学校 インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	室蘭市輪西町２－４－19　ニュージャパン内 TEL0143-44-3322　(水曜日)

クラブの沿革と特徴

1960～61、地区ガバナーより室蘭と登別の両市をテリトリーとする室蘭ＲＣに対し登別市を含む室蘭市の東部地区に新クラブを設立するよう数年来強い要望があり同ＲＣはこれを引き延ばし得ない状況にあった。室蘭市の地形は大きな重要港湾を抱き込んだ馬蹄形の平地の少ない半島部が多く、その半島の西部方面は古くから公共埠頭や官公庁商店街があり、また室蘭ＲＣの例会場と事務所もここにあった。室蘭市の東部や北部方面には北海道が誇る大工場や中小工業、大学等が多く、さらにその東隣りには世界的に有名な温泉のある登別町が接していて交通観光の要衝となっているところから、近年は室蘭市の中心が西部よりこの東部方面に移動する様相を呈してきた。そうした情勢から1961.１.25 室蘭ＲＣを親クラブとし、チャーターメンバー30名をもって室蘭市民会館において創立総会を開催、クラブを結成した。ちなみに国内414番目の仲よい壮年期のクラブです。

奉仕の実績

ここ10年内で特筆できる奉仕活動として、次の二つを紹介します。1988～89（昭63～平１）89.１.９～14、当クラブとシンガポール・ジュロンＲＣの協力で室蘭大谷高校吹奏楽部海外演奏を、ジュロンＲＣ社会奉仕活動のシンガポール家庭看護財団の在宅老人や病人の看護サービス。ジュロン地区救急車輌購入基金のための演奏会を開催した。10日、ジュロンＲＣの例会を訪問し親善交流を深め、20時から第１回市民向け演奏会、名士、ＲＣ関係者と家族が参集、盛大な拍手を受け、第２回はジュロン・ジュニア・カレッジで二つのＩＡＣを持つ高校生1000人が聴衆、熱狂的な拍手が続く。演奏後学生同志の交歓会も盛会で、これまでにない国際奉仕を果たした。1990～91（平２～３）クラブ創立30周年を記念し室蘭岳山麓総合自然公園市民の森にエゾヤマザクラ135本（成木）を全会員の手で額に汗して植樹寄贈し社会奉仕の環境保全活動の一役を果たしました。

RI第2510地区 第 6 分 区	余市ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1961年(昭36) 4 月29日 1961年(昭36) 5 月18日
例 会 場 住所・TEL	北海信用金庫本店地下 1 階ホール 余市町黒川町 4 丁目 5 番地　0135-22-2121			例会日時	水曜日　12時30分
創 立 時 ガバナー	坂牛直太郎	スポンサー ク ラ ブ	小樽ロータリークラブ	特別代表	寿原　九郎
創 立 時 会 員 数	23 名	現 在 会員数	1996年 1 月 1 日現在 46名　内：正会員33名，シニア13名，パストサービス会員 0 名(女性会員 0 名)		
歴代会長	創立 荒木長之助　1961 荒木長之助　1962 五十嵐彦仁　1963 安田 琢寿　1964 五十嵐留治 1965 篠崎 正奕　1966 館山 喜夫　1967 三森 喜八　1968 森 杉夫　1969 石垣兼太郎 1970 山本 義満　1971 荒木 雅　1972 渡部 忠一　1973 菅原 英夫　1974 杉本 賢吉 1975 目黒 幸男　1976 久保 勝利　1977 森 剛　1978 安田 甚吾　1979 藤田 享也 1980 北川 敏夫　1981 柳田 貞夫　1982 石垣 彰一　1983 朝 順一　1984 角井 利雄 1985 佐藤 隆　1986 森 保一　1987 古川 勇　1988 中根 力　1989 白鳥 和男 1990 納谷 準一　1991 長谷川栄治　1992 近藤 拓哉　1993 毛利 吉宏　1994 林 正秀 1995 萬屋 達雄　1996 佐々木建一				
結成した 新クラブ					
ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	会津若松城南ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	余市郡余市町黒川町 4 —112　北洋銀行余市支店 TEL0135-23-2194				

クラブの沿革と特徴

昭和36年 4 月29日小樽ロータリークラブがスポンサークラブとなり創立され、同年 5 月18日にＲＩ加盟承認がなされました。23名の創立会員によって産声をあげました余市ロータリークラブは、〝親睦と奉仕〟を目的として会員相互の親睦と友和を図りながら奉仕の理想のもとに着実に地域社会の中に奉仕の輪を広げて参りました。ロータリー活動はこれからも未来永劫に続くものであり、更に会員同志の仲間意識を高め、人間社会の幸せを願い人類の平和を求めてゆくものであります。また私共クラブが創立致すと同時に婦人部を結成し、影ながら支援下さっております25名の御婦人には心より感謝申し上げると共に、我々クラブの最大の特徴であると考えております。

奉仕の実績

昭和45年より、余市ロータリー杯後志少年ジャンプ大会を15年間開催致してまいりましたが、ジャンプ人口の減少により中止となりました。現在、国内はもとよりオリンピックの代表選手のほとんどがこの大会より巣立ってゆきました。

今年度、社会奉仕委員会の中の環境保全に於いて骨髄性白血病についての調査をしております。私達ロータリアンはこの病気について何が出来るのかという初歩的なところからです。

RI第2510地区 第 8 分 区	浦河ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1961年(昭36) 9月10日 1961年(昭36)10月12日

例会場 住所・TEL	日高信用金庫 浦河郡浦河町大通2丁目31の2　01462-2-4111	例会日時	火曜日　12時30分
創立時 ガバナー	両角　克治	スポンサー クラブ	苫小牧ロータリークラブ
特別代表	中林清一郎		

創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 54名　内：正会員29名、シニア25名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	奥田惣兵衛	1962	奥田惣兵衛	1963	木田　佐市	1964	大井　守雄	1965	嘉戸　達也
1966	高津　政三	1967	森　君一	1968	加藤　久太	1969	大針　光吉	1970	平井　省三
1971	古市　一二	1972	金濱　武夫	1973	谷　守雄	1974	高杉　虎雄	1975	藤井　正
1976	三上　房吉	1977	濱田　登	1978	田中　久雄	1979	大森　幸男	1980	山形　正
1981	小野　正也	1982	中井　正幸	1983	堤田　幸男	1984	三上　政義	1985	古田　圓祥
1986	川越　潤行	1987	網谷　敏夫	1988	前田　紘陽	1989	榎本　一志	1990	塚田　吉隆
1991	出口　宣己	1992	高田　弘之	1993	原田　淳也	1994	工藤　一雄	1995	村田　亜敏
1996	砂原　磐								

結成した 新クラブ	様似RC(S43.7.26)　三石RC(S45.11.18)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	韓国平沢ロータリークラブ 台湾中壢ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	浦河郡浦河町大通2丁目31の2　日高信用金庫 TEL01462-2-4111　FAX01462-2-0994

クラブの沿革と特徴

1、創立以来の会員の推移（年度当初）

年度	1961	71	81	91	96
会員数	27	43	46	52	57

2、クラブ地域の概況

1）クラブ区域　浦河町

東西38.6km　南北60.0km　周囲129.5km

海岸線21.2km　総面積693.2平方km

2）浦河町の人口（国調）

1950年　3,599世帯19,435人

1960年　4,709世帯21,915人

1970年　5,681世帯20,922人

1980年　6,409世帯19,408人

1990年　6,502世帯17,862人

1995年　6,975世帯17,186人

3、クラブの主な行事

1）1974年6月：韓国平沢R・Cと姉妹締結（以来継続現在に至る。）

2）77年10月：創立15周年記念式典

3）80年9月：台湾中壢R・Cと姉妹締結（以来3年毎に相互訪問、95年9月台湾中壢において第6次締結を行った）。

4）91年5月：創立30周年記念式典

奉仕の実績

社会奉仕：職業奉仕：

1）交通防犯、麻薬乱用等の標語板の設置。2）交通安全街頭啓発参加。3）職場従業員、模範勤労青少年表彰。4）身障者家庭訪問。5）青少年健全育成交換会の開催。6）老人ホーム施設学院の慰問。7）道路海浜の清掃。8）環境美化運動記念植樹の実施。9）ロータリーベンチ寄贈。10）無線搭載救急用自動車の寄贈。11）海の少女像碑設置。12）町民顕彰之碑設置

：国際奉仕：

1）第一回アジアロータリー親善会議参加。2）平沢R・C、台湾中壢R・C等姉妹クラブとの親善交流。3）交換留学生を例会に招待。4）南米パラグアイ図書の浦河文庫へ経済援助。5）軽種馬生産従事外国人と国際交流会開催。6）浦河町国際交流クラブの活動に参加。

RI第2510地区 第 3 分 区	江別ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1962年(昭37) 2月 3日 1962年(昭37) 2月19日
例 会 場 住所・TEL	石狩中央信用金庫本店 6 F 江別市萩ヶ岡 1 番地 5　011-382-0939			例会日時	木曜日　12時30分
創 立 時 ガバナー	両角　克己	スポンサー ク ラ ブ	札幌南ロータリークラブ	特別代表	富樫　長吉
創 立 時 会 員 数	24 名	現　在 会員数	1996年 1 月 1 日現在 70名　内：正会員42名、シニア28名、パストサービス会員 0 名(女性会員 0 名)		
結成した 新クラブ	江別西RC(H4.4.28)				
ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	江別市萩ヶ岡 1 番地 5　石狩中央信用金庫内 TEL011-382-0939　FAX011-382-0939				

歴代会長

創立　岩田　政勝	1962　岩田　政勝	1963　岩田　政勝	1964　岸本　三郎	1965　松丸　篤蔵
1966　泉　重陽	1967　林　政次	1968　木村　博介	1969　田中　睦人	1970　海津晋三郎
1971　御坊田晋雄	1972　石黒　潤平	1973　土谷　茂樹	1974　菅原　市蔵	1975　雉子谷松次
1976　稲垣　慶治	1977　今井　保治	1978　玉木　俊平	1979　小島　昭次	1980　郷　冨士男
1981　岩田　雅明	1982　鍋島　淸二	1983　竹内　偕男	1984　高野喜世志	1985　最上　光明
1986　細田　正次	1987　西　照夫	1988　梶野　芳章	1989　野村　昭松	1990　佐伯　宮彦
1991　瀬川　榮一	1992　八島　壯之	1993　藤原　克彦	1994　進藤　忠明	1995　拝野　賢治
1996　原　利之				

クラブの沿革と特徴

創立＝昭和37年 2 月 3 日、承認＝昭和37年 2 月19日、認証状伝達式＝昭和37年10月 7 日、創立会員＝24名、スポンサークラブ＝札幌南ロータリークラブ、特別代表＝富樫長吉、創立時ガバナー＝両角克己（釧路北）

96年度現在、会員数は73名で 6 名の創立会員がおり、なかでも、初代会長岩田政勝と初代幹事松丸篤蔵の各正会員が元気で活躍していることはクラブの誇りです。長年の念願でありました女性が 1 名入会し、クラブ内が一段と明るくなりました。近年の傾向として、毎年度に入会してくる会員年齢が若くなってきましたが、その要因の一つに、それぞれのチャーターメンバーや古参会員は常に謙虚な姿勢で親身に接していることが、若い会員に好感を持たれていると思います。このように、当クラブ内では会員間の地位や名誉さらに先輩や後輩などによる偏見差はまったく感じられなく、いつも和気あいあいと親しまれる奉仕活動をしているのが大きな特徴です。

奉仕の実績

73年度財団奉仕賞、74年度運動公園ロータリーの森つくる、76年度公民館江別ロータリー文庫つくる、79年度オーストラリアジュニアオーケストラ演奏会開催市民招待、82年度洪水被害江別市へ見舞金265万円、社会奉仕事業推進賞、86年度世界社会奉仕プロジェクト参加フィリピン中古消防自動車贈る、87年度クラブ活性貢献賞、会員増強貢献賞、88年度ポリオ・プラス・キャンペーン事業ダンスとワインの夕べ実施募金総額2,609,000円870名参加、89年度ポリオプラス協力優秀賞、会員増強優秀賞、90年度米山功労クラブ賞、優良クラブ賞、91年度米山功労クラブ賞、惑星地球の維持保全部門賞、92年度江別市へ衛生放送受信機器 3 台グランドピアノ 1 台贈る、米山功労クラブ賞、93年度ＲＩ会長賞、バランスのとれた業績賞、94年度会員増強優秀賞、95年度阪神淡路大震災義援金50万円贈る、96年度市民運動公園ロータリー栗の森つくる、米山功労クラブ賞

RI第2510地区 第 6 分 区	岩内ロータリークラブ		創立年月日 RI承認年月日	1962年(昭37) 4月10日 1962年(昭37) 6月29日
例会場 住所・TEL	ホテルうきよ 岩内町字万代1番地の4 0135-62-1201		例会日時	木曜日 12時30分
創立時 ガバナー	両角 克治	スポンサー クラブ 小樽ロータリークラブ	特別代表	杉山 猛
創立時 会員数	24名	現在 会員数	1996年1月1日現在 46名 内：正会員22名、シニア24名、パストサービス会員0名(女性会員0名)	

歴代会長

創立 本間 哲衛	1962 本間 哲衛	1963 本間 哲衛	1964 若狭 等	1965 平野 了
1966 桜居 甚吉	1967 今井 慎一	1968 田村 潤蔵	1969 紀 八郎	1970 野口 民蔵
1971 森 輝雄	1972 林 彦三郎	1973 石山 淳英	1974 加藤 豊雄	1975 勝戸 昭二
1976 小森 雅允	1977 広田 満男	1978 小林 栄	1979 軍司 豊実	1980 吉田 輝雄
1981 池田 正朋	1982 手塚 久平	1983 波田 晋助	1984 今井 省三	1985 倉科 孝治
1986 篠崎 俊雄	1987 佐藤 信義	1988 中川 潤	1989 髙井 三也	1990 鳴海 磐誠
1991 梅庭 昭寛	1992 金田外喜男	1993 前田 稔	1994 石村 省悦	1995 東山 洋徹
1996 浜田 五郎				

結成した 新クラブ	倶知安RC(S39.12.3)			
ローターアクトクラブ	岩内ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	直江津ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	岩内町字万代1番地の4 ホテルうきよ TEL0135-62-1201			

クラブの沿革と特徴

若しも、岩内が大火に遭遇しなかったら、札幌、小樽、函館、旭川、帯広、室蘭、釧路、北見、網走に続いて、道内で10番目に発足出来た運命にあったのでした。

実は1953年11月、札幌ＲＣの元老故福山甚三郎翁が、所用があって拙宅に泊った事がありました。それは静かな夜でした。

たまたま、札幌ＲＣ会長を下番なされた胸中には、依然としてロータリーの炎が、燃えたぎって居られたことでありましょう。

「以前ならいざ知らず、奉仕の情熱と、それを具現化する機能を整えられるなら、どこにでもクラブの発足は歓迎されるでしょう。これを御縁にやってみましょうよ」暮から春に向ってエンジンは始動されました。

洞爺丸をのみ込んだ15号台風は、一夜にして私達を焦土に化しました。数年経って仲間の協力と、小樽ＲＣ杉江特別代表の御指導と全世界の会員祝福の中で発足を見ました。

道内40番目の登録でした。(本間哲衛記)

奉仕の実績

1 1988～1989年度
消防署へ心臓蘇生ダミー、一式贈呈

2 1992～1993年度
環境問題をテーマで講演（忠鉢 繁氏）
岩内出身の科学者 オゾンホール世界第一発見者

3 1994～1995年度
木田金次郎美術館の建設を提唱し続け10年 平成6年11月3日、開館 その努力にたいして（ＲＩ会長賞 ガバナー特別表彰）

4 ○町内の川において、蛍の増殖の協力
○桜の植樹
○福祉施設 厚生園、あけぼの学園に物品寄贈
○岩内町障害児の卒業式に記念品を贈る
○岩内町特殊教育振興会の活動に協力

RI第2510地区 第 11 分 区	江差ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1962年(昭37) 6月13日 1962年(昭37) 6月29日
例会場 住所・TEL	レストラン津花館 桧山郡江差町字橋本町100 01395-2-5151			例会日時	火曜日 12時30分
創立時 ガバナー	両角 克治	スポンサー クラブ	函館ロータリークラブ	特別代表	光銭源吉郎
創立時 会員数	33 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 30名 内：正会員18名，シニア12名，パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長				
創立 辻 以智郎	1962 辻 以智郎	1963 堀井 安則	1964 瀬川 精悦	1965 登 規矩郎
1966 田島 逸郎	1967 新井哲之輔	1968 今川 徳郎	1969 今川 徳郎	1970 中瀬 公一
1971 山中 謙治	1972 滑川 貫一	1973 山岸 淳一	1974 赤石 喜郎	1975 赤石 喜郎
1976 沖舘 純吉	1977 鈴木 隆昌	1978 佐々木三夫	1979 山田 一郎	1980 棚田 消
1981 辻 正勝	1982 小笠原吉郎	1983 瀬野田昭義	1984 瀬野田昭義	1985 渡辺 誠治
1986 田村 巌	1987 花田 浄恵	1988 松吉 昭悦	1989 小笠原 隆	1990 打越東亜夫
1991 山崎 欽一	1992 神 偕雄	1993 山中 謙治	1994 深見 秀治	1995 小辻 民三
1996 小辻 民三				

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	岩谷堂ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	桧山郡江差町字橋本町100 レストラン津花館内 TEL01395-2-5151				

クラブの沿革と特徴

1962年6月に函館ロータリークラブがスポンサーとして早期発足を目指し、準備会を結成し、同月13日に設立の運びとなった。そして、同月29日に設立承認を受け会員33名を以て創立される。引続き函館ロータリーの協力を受け同年10月14日に他クラブより84名出席のもと念願のチャーターナイトの式典を盛大に行う事ができ、会全体の士気が高まった。初代会長に当時の江差町長が就任している事は特筆される。

設立後の最初の事業は何と、奥尻町大火の見舞金である。1976年6月には地名が同じ「えさし」であることから岩手県江刺市の岩谷堂クラブと姉妹クラブを締結し、以後毎年交流（1年交替でお互いのクラブを訪問）を行っている。その間一時は会員の増加が図られたが過疎化と高齢化が例外なく進行している地域環境から新入会員となる対象者が少なく、会員増強に支障を来している。また、会員の高齢化が進んでいる現状です。

奉仕の実績

社会奉仕活動としては、福祉事業団体に対しての寄金と各種公共施設に対して物品等の寄贈・観光施設の美化清掃と備品の設置・町有地に「ロータリーの森」を設置して継続事業として5年間「植樹」を続けている。

青少年奉仕活動としては、新聞配達少年の招待慰労・小中学校にロータリー図書館の寄贈と備品の寄贈・各種スポーツ大会の後援が主な事業。

国際奉仕活動としては、交換留学生の受入れと分区内留学生の受入れクラブへの資金援助・2510地区の受入れ学生の当地見学に対してのプログラム設定と案内などの協力を行っている。

職業奉仕活動としては、会員による無医村地区・辺地での無料検診の実施・職場見学・優良従業員と技能優秀者の「勤労感謝の日」表彰が挙げられる。設立当初の新聞配達少年の慰労～無医村地区の無料検診～植樹と時代の変遷に沿った奉仕活動の展開が窺われる。

RI第2510地区 第 10 分 区	森ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1964年(昭39) 3月22日 1964年(昭39) 4月6日

例会場 住所・TEL	森商工会議所 茅部郡森町字御幸町23番地の12　01374-2-2432	例会日時	水曜日　12時00分

創立時ガバナー	滝本　庄蔵	スポンサークラブ	函館ロータリークラブ	特別代表	大沼　文雄

創立時会員数	25 名	現在会員数	1996年1月1日現在 41名　内：正会員41名、シニア10名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	落合稼久蔵	1964	落合稼久蔵	1965	山科　雄平	1966	長佐古精一	1967	村上　栄一
1968	鎌田　忠	1969	菊地　忠義	1970	髙橋　利夫	1971	福沢　弘毅	1972	佐藤　昌
1973	谷　義一	1974	倉地　孝男	1975	渡辺　順一	1976	川村伊佐男	1977	小嶋　久治
1978	嶋崎　武	1979	谷内　光雄	1980	上沢　孝	1981	川野　修	1982	吉田　清吾
1983	吉田喜一郎	1984	大水　康和	1985	村上　栄一	1986	岩田　卓一	1987㊤	川村伊佐男
1987㊦	谷　義一	1988	梅津　茂樹	1989	嶋崎　武	1990	田村　貞雄	1991	金見謙之介
1992	柳田　晃	1993	三浦　祐伸	1994	武蔵　寿俊	1995	玉木　勝彦	1996	木村　章

結成した新クラブ	長万部RC(S43.2.13)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	茅部郡森町字御幸町23番地の12　森商工会議所内 TEL01374-2-2432　FAX01374-2-2684

クラブの沿革と特徴

昭和39年3月22日設立、発起人5名を含む25名のメンバーにより発足。

昭和39年4月6日、国際ロータリーより認証された当クラブは、爾来32年内外幾多の先輩の指導を仰ぎながら、先人の偉業を継承し、人口16,500余の町に、ライオンズ青年会議所、また、各サークル等の団体のある中、会員増強に努力した結果、40名を越える会員数となり、平均年令も54才と若返り、今後は奉仕の精神で会員一同、32年の歴史に恥じないよう、新旧会員の融和を保ち地域社会の活性化のために努力する所存であります。

奉仕の実績

◎3年前より、森町への記念植樹として、桜（ソメイヨシノ　樹令15～25年）の木をクラブ会員一同が参加し、毎年植樹祭を行っている。又、初年度には、町内各戸に桜の苗木を配布し、各家庭にも植樹をお願いした。

◎当クラブ恒例のXマス家族会において、チャリティーオークションを開催し、その収益金を森町社会福祉協議会へ寄贈している。

◎町内各ボランティア団体の行事等活動に対し、金品等を寄贈している。

RI第2510地区 第 3 分 区	栗沢ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1964年(昭39) 6 月 3 日 1964年(昭39) 6 月10日

例会場 住所・TEL	栗沢町商工会館内 空知郡栗沢町本町11番地　0126-45-2002	例会日時	水曜日　12時10分

創立時 ガバナー	滝本　庄蔵	スポンサー クラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	橋本安太郎

創立時 会員数	29 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 37名　内：正会員14名，シニア23名，パストサービス会員0名(女性会員2名)

歴代会長									
創立	武蔵　清一	1964	武蔵　清一	1965	本田　正之	1966	川西　重	1967	沢田　登治
1968	佐井栄次郎	1969	沖田　兵蔵	1970	西村　務	1970	鈴木　重男	1971	鈴木　重男
1972	渋谷　外二	1973	小山　利雄	1974	宮森　三郎	1975	藤井　良造	1976	藤田　政雄
1977	黒島　充	1978	秋　実	1979	桃井　正次	1980	木村　剛	1981	松永　寅雄
1982	中谷　茂	1983	本田　正一	1984	小関　昇	1985	鈴木　正夫	1986	中村　一二
1987	川西　重彦	1988	段坂　清吉	1989	管野　是道	1990	棚田　仁作	1991	三沢　晶夫
1992	西村　公記	1993	橋谷　勉	1994	東海林　健	1995	早田　辿	1996	井形　昇

結成した新クラブ	

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	空知郡栗沢町本町11番地　栗沢町商工会館内 TEL0126-45-2002　9：00～13：00（毎週水曜日）

クラブの沿革と特徴

32年前の1964年（S39年）２月中旬栗沢町在住の岩見沢ＲＣ会員であった武蔵、本田、川西の三氏と栗沢町の壮青年層の間に栗沢にロータリークラブを結成しようとの機運が高まり、４月６日発起人代表として、上記三氏の連名でＲＣ説明会を富士家で開催、当日はスポンサークラブである岩見沢ＲＣから橋本特別代表、柿本会長外を迎え説明を受けて結成に向けて意見の一致を見る。尚10名の準備委員を選出する。その後、創立総会に向けて諸準備が進められ、６月３日午後０時30分よりモナコ会館で、北海道53番目のＲＣとして、橋本特別代表の点鐘によって、創立総会を開催、会長に武蔵清一氏、外理事役員を決定する。６月14日第１回例会を武蔵会長の点鐘で開催する。会員29名であった。10月７日栗小体育館に於て、国際ロータリー認証状伝達式が挙行された。時あたかも東京オリンピックの年で、日本経済や文化も発展途上の好調期であった。その後幾星霜、栗沢ＲＣは少人口の町にも拘らず幾多の苦難を乗り越えながら堅実な発展を遂げ、奉仕の理想を基本理念に活躍を続けながら35周年を迎えようとしている。今は亡き創立会員の御霊をお慰めすると共に、今も元気旺盛で、チャーターメンバーとして活躍中の小山・木村・藤井会員に敬意を表わす次第である。

奉仕の実績

1965年６月：栗沢ＲＣ創立１周年記念に町総合グランドに国旗掲揚塔を贈る。
1967年８月：栗沢小学校鼓笛隊に楽器を寄贈。
1970年６月：本年度社会奉仕活動優秀なりとしてガバナー優秀活動賞を受賞。
1974年５月：10周年記念事業として栗沢町体育館にローター文庫一セット寄贈。
1979年３月：交通安全旗を交通安全協会に寄贈。
1984年４月：20周年記念事業として町民センターに国旗掲揚塔寄贈。
1986年10月：クラブ活動活性化貢献賞会員増強貢献賞受賞。
1994年４月：創立30周年記念事業としてバス停２棟を寄贈する。
1996年５月：会員増強賞受賞。

RI第2510地区 第11分区	函館北ロータリークラブ	創立年月日 / RI承認年月日	1964年(昭39)6月16日 / 1964年(昭39)10月19日

例会場 住所・TEL	函館国際ホテル 函館市大手町5－10　0138-23-5151	例会日時	水曜日　12時30分

創立時ガバナー	スポンサークラブ	特別代表
寿原　九郎	函館東ロータリークラブ	富田　恭

創立時会員数	現在会員数
30名	1996年1月1日現在 71名　内：正会員47名、シニア24名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立　新　善次	1964　新　善次	1965　遠藤　尚義	1966　飯田　神生	1967　保野　純夫
1968　深瀬鴻一郎	1969　外山　定男	1970　木屋　守迪	1971　船矢健喜智	1972　市川　芳夫
1973　駒井　幸一	1974　青柳　喜一	1975　成田　勇司	1976　戸栗　力	1977　下郡山信一
1978　髙杉　重雄	1979　平野　義勝	1980　角谷　隆一	1981　岩塚　陽一	1982　佐々木椎名
1983　成澤善次郎	1984　宮崎　英一	1985　椎谷　龍彦	1986　沢田　鶴造	1987　川村　邦雄
1988　飯田　貢一	1989　松橋　博	1990　斉藤　紀一	1991　川村　昭夫	1992　伊藤　康男
1993　森　秀樹	1994　濱　武	1995　中野　亮	1996　西尾　昇一	

結成した新クラブ	七飯RC(S45.4.18)

ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ
函館北部ローターアクトクラブ		台北東北ロータリークラブ 千葉港ロータリークラブ 和歌山城南ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	函館市大手町5－10　ニチロビル3F TEL0138-23-3870　9：00～17：00(月～金曜日)　9：00～12：00(土曜日)

クラブの沿革と特徴

昭和39年6月16日、函館東RCのスポンサーにより、明治生命館（旧）にて、函館北RCの発会式を行う。同年10月19日、RIより正式加盟、承認され、市内3番目のクラブとなる。(当時会員30名)

平成5年9月26日、創立30周年記念式典を挙行、今年度33年目を迎える。会員70名を擁する中堅クラブである。

この30有余年の間、IMのホスト3回（S41、S52、H3）を担当し、S54年には太宰Gの指導の下、地区年次大会をホストしている。またS45年には七飯RCをスポンサーし、S53年には北部RACを設立、S59年には創立20周年記念事業として、交換学生を単独受入れた。友好クラブとしては、台北東北RC、和歌山城南RC、千葉港RCが有る。

ここ数年、財団に対する認識も深まりPHF、米山功労者の数も増え、その他の各部門におけるバランスの取れた奉仕活動を伴ったクラブである。

奉仕の実績

○洞爺丸慰霊碑の保全

昭和42年5月、初代会長新善次会員の提唱により七重浜の慰霊碑の周囲に植樹を行って以来、今日まで30年に渉り、毎年お盆の頃に継続事業として清掃奉仕を実施して来た。特に創立25周年には、函館市、上磯町、JR北海道の協力をとり、七重浜海緑地公園に、海難慰霊碑を建立した。

○函館北RC奨学会による奨学金の支給

昭和47年、故遠藤尚義会員より「貧者の一灯、一隅を照らす」の心で、以来毎年10万円の寄付を積立てた。「遠藤基金」をもとにして、昭和56年4月より、市内の高校生に対し奨学金の支給を開始した（当初、月額5千円から、現在1万円を支給している）。

○財団への寄与

現在、在籍会員69名中、PHFは20名（内7名はマルチプル）、更に米山功労者は7名を数える。

RI第2510地区 第 6 分 区	倶知安ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1964年(昭39)12月 3 日 1965年(昭40) 1 月 9 日

例会場 住所・TEL	ホテル第一会舘 虻田郡倶知安町南 3 条西 2 丁目　0136-22-1158	例会日時	水曜日　12時15分
創立時 ガバナー	寿原　九郎	スポンサー クラブ 岩内ロータリークラブ	特別代表 本間　哲衛

創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年 1 月 1 日現在 53名　内：正会員28名，シニア25名，パストサービス会員　名(女性会員　名)

歴代会長

創立	氏家　忠良	1965	氏家　忠良	1966	佐久間三樹	1967	佐藤　定夫	1968	名畑　暢夫
1969	和田　義雄	1970	梶　菊夫	1971	松井　啓紀	1972	宇田　文雄	1973	田尻　文雄
1974	中井　宏治	1975	内田　秀雄	1976	髙橋　康夫	1977	冨樫奕津雄	1978	笹原　弘
1979	髙田　幸夫	1980	助工　輝夫	1981	佐竹　義一	1982	石見　邦夫	1983	細田　昭和
1984	皆川　岩保	1985	安達　直孝	1986	原　実	1987	中野　隆司	1988	須藤　久雄
1989	千葉　就男	1990	金井　政二	1991	宗像　直孝	1992	石本　達雄	1993	松本　守
1994	関　幸吉	1995	朝倉　直治	1996	佐藤　慎一				

結成した 新クラブ	蘭越RC(S43.4.22)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	虻田郡倶知安町南 3 条西 2 丁目　ホテル第一会舘 2 階（寿の間） TEL0136-22-1158　FAX0136-23-2258

クラブの沿革と特徴

●沿革～「えぞ富士」と称される秀峰羊蹄山と東洋のサンモリッツとして親しまれてきたスキーのメッカニセコ連峰に代表される倶知安町にロータリーづくりが芽生えたのは1964年 3 月のことである。当時岩内ロータリークラブの本間哲衛氏が寿原九郎ガバナーの特別代表として倶知安町に入り、倶知安町の氏家忠良（創立会長）氏等有志数名に働きかけクラブづくりにとり組み同年12月 3 日会員25名をもって設立総会を開催、翌1965年 1 月 9 日ＲＩ加盟認証、同年 6 月18日認証伝達式挙行、以来地道ではあるが健全な歩みを続けて昨年（1995年 6 月 3 日）会員55名を擁して創立30周年記念を祝った。

●特徴～1993年ころから若い会員の増強により、クラブは次第に若返りつつあり、老若渾然一体となってクラブ全体が活気に満ちて楽しいクラブづくりに意気軒昂のクラブである。

奉仕の実績

創立以来会員相互の親睦と友情を基調として高い奉仕の理想を掲げ、地域に根ざした奉仕活動の推進に努めてきた。その概要は、

●公共施設等への奉仕～町内交通信号機建設基金及び消防風向風速計の寄贈、公民館にロータリー文庫の設置、町内公園にロータリー噴水及び電子時計塔の建設、羊蹄山登山コースに大型案内板の建設　●教育関係への奉仕～町内の小中高校に各々不足している教材の寄贈及び高校定時制に振興資金の支援　●福祉関係への奉仕～特老養護施設に介護用資器材の寄贈及び施設訪問による入園者の慰問激励を実施　●青少年活動への奉仕～青少年の健全育成のため例年各種スポーツ大会、書画展等に表彰並びに記念品を贈りこれが振興に努めてきた　●災害救援奉仕～国内外における噴火地震等の災害地に対する救援見舞の実施　●各種助け合い運動の基金造成チャリティーバザーを例年 2 回実施し益金を贈ってきた。

RI第2510地区 第 5 分 区	札幌幌南ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1964年(昭39)11月13日 1965年(昭40) 1月20日

例会場 住所・TEL	サッポロルネッサンスホテル 札幌市豊平区豊平4条1丁目1－1　011-821-1111	例会日時	金曜日　12時30分 (最終例会　18時00分)

創立時 ガバナー	寿原　九郎	スポンサー クラブ	札幌東ロータリークラブ	特別代表	古谷　信治

創立時 会員数	34 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 104名：正会員51名、シニア53名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長									
創立	上原轍三郎	1965	上原轍三郎	1966	井戸垣　強	1967	田中　政士	1968	椿原　春雄
1969	奥田　正治	1970	田所　一栄	1971	吉岡平八郎	1972	窪田　潤蔵	1973	岡本　理一
1974	郷　敏栄	1975	友寄　英正	1976	登坂　三夫	1977	河合　秀男	1978	江指栄太郎
1979	中森　潤治	1980	北山　誠	1981	相川　大助	1982	木村　利彦	1983	増山三稚男
1984	冨田　貢	1985	麥倉　元	1986	今崎　孝俊	1987	岩本　貢	1988	金野　茂
1989	吉田　彰	1990	櫪木　光雄	1991	浅井　雅雄	1992	上林　登	1993	神代　利臣
1994	遠藤　正之	1995	髙島　英寿	1996	板橋　俊				

結成した 新クラブ	恵庭RC(S45.3.24)　札幌真駒内RC(S49.1.3)　北広島RC(S55.4.10)

ローターアクトクラブ	札幌幌南ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ	札幌商業高校インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル5階507号室 TEL011-231-1297　9：30～17：00 (月～金曜日)

クラブの沿革と特徴

わが札幌幌南ロータリークラブは、昭和39年11月、豊平をテリトリーとして、34名の会員で設立し、翌40年1月に国際ロータリーへの加盟が承認されて以来、31年を経た今日まで、歴代会長、幹事、役員の方々並びに諸先輩のロータリアンが築かれた業績を踏まえ、数々の地域社会への奉仕活動は勿論、国際間の理解と親睦を実践しつつ、大なる成果を挙げて参りました。創立当時からのチャーターメンバー5名の方々も現在健在で、提唱された札幌商業高校IAC及び札幌大学RACも前年1月14日にそれぞれ25周年、20周年の合同式典を挙行することができました。さらに、昨年5月に札幌市で開催された地区大会では、当幌南クラブがホスト役を引き受け、出席者2,744名という地区はじまって以来の会員多数参加のもと成功裡に終了できました。次に、当幌南クラブの特徴を申しますと、〝硬軟合わせ持った自由闊達〟なるクラブと言えましょう。

奉仕の実績

札幌幌南RC31年の歴史の中で奉仕活動の実績を要約する。①社会福祉活動。盲人福祉連合会に点字タイプライター、盲人の杖贈呈。視力障害者協会に折りたたみ式拡声機・点字タイプライター・印刷機の寄贈。盲導犬協会への寄付。高齢者問題提言パンフレットの発行。ゲートボール大会の主催。豊平区言語治療教室設置期成会への援助。②都市安全面での活動。地域交通安全及び防火活動への積極的、具体的奉仕に参加。③緑化運動・環境保全活動。豊平地区及び月寒体育館等への記念植樹、美園りんご並木の保全奉仕20年間、銭函一石狩浜のクリーンアップ作戦活動。④青少年育成活動。少年スポーツ大会及びボーイスカウトの助成、定時制・通信制高校生・勤労学生への援助。⑤国際奉仕について、1968年より現在まで、アメリカ・オーストラリア・スウェーデンの3カ国から24名の留学生の受け入れ。同年間、同3カ国に22名の留学生を送り出す。

RI第2510地区 第 1 分区	妹背牛ロータリークラブ					創立年月日 RI承認年月日	1967年(昭42) 1月18日 1967年(昭42) 2月6日
例会場 住所・TEL	妹背牛商工会館 雨竜郡妹背牛町1区7町内 0164-32-2025					例会日時	水曜日 12時30分
創立時 ガバナー	岡田 正雄		スポンサー クラブ	深川ロータリークラブ		特別代表	
創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 20名 内：正会員13名，シニア6名，パストサービス会員1名(女性会員0名)				
歴代会長	創立 山田昇一郎 1967 山田昇一郎 1968 山田昇一郎 1969 夏井坂正之 1970 石窪 竹司 1971 岡田 一夫 1972 増谷 襄二 1973 江幡 一雄 1974 森川 栄三 1975 藤原 康男 1976 後藤 正七 1977 坂井 利和 1978 太田 力 1979 小田島勺二 1980 佐藤 義明 1981 村上 正明 1982 宮本 外松 1983 髙橋 靖了 1984 大西 幹男 1985 宗石 康秀 1986 佐藤 義明 1987 藤原 康男 1988 太田 力 1989 菊入 崇之 1990 村上 正明 1991 沼田 正人 1992 大西 幹男 1993 江幡 進 1994 長田 宗正 1995 菊入 崇之 1996 梅沢 見堂						
結成した 新クラブ							
ローター アクト クラブ			インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ		
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	雨竜郡妹背牛町1区7町内 妹背牛商工会館内 TEL0164-32-2025 FAX0164-32-2003						

クラブの沿革と特徴

1967年（昭和42年）深川ＲＣがスポンサーになり、1月18日に創立、同年2月6日にＲＩ承認を得て、初代会長山田昇一郎氏以下23名にて発足、30年を迎え様としています。

当初24名の会員を有しておりましたが、町の過疎化に伴い、人口も激減、何とか会員数だけは確保しようと努力してきました。今現在20名の会員数にて、ロータリー四つのテストの精神に則り、お互いの調和の基、和気藹藹にて会を運営しているしだいです。

今年は、30年と云う節目の年でもあり、会員そろって「30周年記念式典をしようじゃないか」と云う意見が出て、今、一歩一歩と式典に向け、1人何役も受け持ち、萬々円成する事を冀い計画しております。

当クラブの特徴は、心を一つにしてお互いが助け合い、目標に向って進んでいく事であります。

奉仕の実績

社会奉仕の一環として、町民憲章文記念碑公民館、学校に図書等の寄贈、職業奉仕委員会と社会奉仕委員会がタイアップしてのサクランボ苗木の植樹、更に温泉「ペペル」の落成祝に姿見の鏡、最近では老人保養センター「りぶれ」のオープンを記念して「からくり時計」の寄贈と物心両面に渉り何か町のお役に立てばと思考錯誤の中、奉仕活動を進めております。

RI第2510地区 第 10 分 区	**長万部ロータリークラブ**	創立年月日	1968年(昭43) 2 月13日
		RI承認年月日	1968年(昭43) 4 月14日

例会場 住所・TEL	長万部商工会館 山越郡長万部町本町　01377-2-2270	例会日時	火曜日　12時10分

創立時ガバナー	小畑　信愛	スポンサークラブ	森ロータリークラブ	特別代表	落合嘉久蔵
創立時会員数	29 名	現在会員数	1996年1月1日現在 19名　内：正会員12名、シニア7名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長									
創立	金谷勝次郎	1968	金谷勝次郎	1969	北村　彰	1970	片山政五郎	1971	鈴木　繁
1972	辰巳　章一	1973	石川　武	1974	赤塚　繁夫	1975	室本　正雄	1976	北村　幸雄
1977	松岡　博	1978	北川　武雄	1979	石垣　博則	1980	加藤　忠助	1981	張田　孝男
1982	米林　仁行	1983	前川　俊雄	1984	森　喜義	1985	鈴木　浩	1986	田中　敏夫
1987	佐藤　一雄	1988	髙森　治光	1989	荒木　紀一	1990	後藤　昭憲	1991	北川　武雄
1992	片山　幸夫	1993	佐藤　一雄	1994	髙森　治光	1995	髙森　治光	1996	佐藤　一雄

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	山越郡長万部町本町　長万部商工会館 TEL01377-2-2270				

クラブの沿革と特徴

昭和39年、森ロータリークラブが創立された後、41年に同クラブより誘いがあって、町内有志が再三再四会合を重ね、43年春創立の運びとなった。森クラブの落合会員、村上会員には随分お世話になった。当時の長万部町は交通の要衝でもあり、第一次産業も落付いており、商工業活動も活発で、人口も1万5千人を数え、地域経済も安定していた。

創立時会員29名も、町内の職種も網羅し、若さに満ち溢れ、奉仕こそ我が命と、意欲満々のスタートであった。創立年度の地区大会は、北海道、東北の3地区連合で仙台の東北大学記念講堂で開催され、当クラブより11名が参加、その盛会さには、さすがロータリーと出席者一同驚いたものだった。50年中期以降一次産業の衰退に加え、国鉄の合理化等もあって過疎化が進み、地域経済も沈滞の一途を辿っているのが現状である。会員数の減少が一番の悩みだが、会員家族とも親交が厚く、小さいながらも楽しいロータリークラブである。

奉仕の実績

主たるもの次のとおり。

交通安全＝看板と検問所の設置

環境保全＝クズ篭設置と、ゴミを捨てない看板設置とチラシ折り込み・長万部公園に桜、つつじの植樹・海岸清掃の継続

青少年対策＝高校進学奨学金制度・スポーツ少年4グループへの活動資金援助

人権尊重＝身障老人の温泉入浴送迎サービス・老人ホーム慰問・小学校特殊学級生徒を札幌円山球場の巨人：阪神戦に招待

地域発展＝長万部町花見会の創設(昭和54年)4年間主催し、以後観光協会に引継いで、毎年継続援助している。

職業活動＝創立時以来町内企業の優良永年勤続従業員の表彰に賛助している。

親睦活動＝毎月最終火曜日は夜間例会、12月のクリスマス家族合同例会、5月の家族合同花見会等会員及び家族の親睦に努めている。

記念事業

10周年　長万部町民憲章碑の建之

20周年　駅前広場に時計塔設置

25周年　長万部町学習文化センターへ大型からくり時計寄贈

RI第2510地区 第 6 分区	蘭越ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1968年(昭43) 4月22日 1968年(昭43) 6月3日
例会場 住所・TEL	ふれあいプラザ21 磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2　0136-57-5437	例会日時	火曜日　12時15分
創立時 ガバナー	伊藤　義郎	スポンサー クラブ	倶知安ロータリークラブ
特別代表	佐藤　定夫		
創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 20名　内：正会員13名，シニア7名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	小林栄三郎	1968	小林栄三郎	1969	熊谷　幸雄	1970	本間　守	1971	丸田　利治
1972	古矢　勝己	1937	坪田　四郎	1974	荒井　貞雄	1975	堀　貞雄	1976	熊谷　和幸
1977	朝比奈太郎	1978	新見　健	1979	明上山寿郎	1980	深尾　公蔵	1981	川崎　謙平
1982	髙橋　一郎	1983	室野　真	1984	金子　一憲	1985	藤沢　辰雄	1986	吉崎　重仁
1987	堀川強太郎	1988	本間　義明	1989	新見　健	1990	白石　勇	1991	熊谷　和幸
1992	室野　真	1993	金子　一憲	1994	志比川　武	1995	髙橋　一郎	1996	中嶋　春一

結成した新クラブ	
ローターアクトクラブ	
インターアクトクラブ	
姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2　ふれあいプラザ21 TEL0136-57-5437

クラブの沿革と特徴

創立当時25名、現在20名のクラブです。会員数は少ないクラブですが、何事も積極的に協力をおしまずまとまりの有るクラブです。

近年は若い世代の会員も加わりだんだん活気が付いて来ている状況です。若い会員と先輩会員のコミュニケーションも大変楽しくはずみ今後も若い会員の増強を積極的に取り組んで行きたいと考えます。

風光明媚な蘭越町一円のすばらしい環境の地で蘭越ロータリークラブは今後も皆様と共に奉仕の精神を忘れず地域の皆様に理解を深めていただき、さらなる活動を続けて行きたいと考えています。

奉仕の実績

社会奉仕委員会では、町の施設へ備品の提供、福祉施設（老人ホーム灯園）養護施設（北海愛星学園）への慰問活動、町で行うクリーン作戦への参加等を行っております。

青少年奉仕委員会では、子供カルタ大会。スケートリンク場へ、それぞれ寄付活動を行っております。

世界社会奉仕ではアフリカへ中古消防自動車（タンク付）を贈っております。

又ポールハリスフェローは18名になっております。

RI第2510地区 第 7 分 区	**千歳ロータリークラブ**		創立年月日	1968年(昭43) 4月26日	
			RI承認年月日	1968年(昭43) 6月20日	
例会場 住所・TEL	西洋軒内 千歳市千代田町1丁目　0123-23-4470			例会日時	木曜日　12時30分
創立時ガバナー	島本　　融	スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ	特別代表	秋山康之進
創立時会員数	22 名	現在会員数	1996年1月1日現在 99名　内：正会員79名，シニア20名，パストサービス会員0名(女性会員1名)		

歴代会長					
	創立　吉田　信一	1968　吉田　信一	1969　右近　久雄	1970　山崎　　満	1971　千葉　　正
	1972　新沼　武雄	1973　北岡　体一	1974　近川　宗信	1975　小原　正男	1976　内藤　詩郎
	1977　谷本　和夫	1978　浅利　作造	1979　倉内　　潤	1980　藤川　昭三	1981　斎藤　　弘
	1982　村上　正治	1983　中浦　忠男	1984　丹治　秀一	1985　髙田　昭治	1986　斉藤　公彦
	1987　武石　忠俊	1988　田中　適昭	1989　村上　光輝	1990　佐藤　秀雄	1991　山田　睦雄
	1992　髙慶　繁博	1993　沼山佐太郎	1994　長澤　邦雄	1995　須藤　文夫	1996　木村　照男

結成した新クラブ	千歳セントラルRC(H2.11.19)				
ローターアクトクラブ	千歳ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	アンカレジロータリークラブ バンフロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	千歳市千代田町1丁目　西洋軒内 TEL0123-23-4470				

クラブの沿革と特徴

1968年4月26日に、札幌ＲＣにスポンサーとしてのご支援をいただき地区では32番目のクラブとして発足、同年6月20日に国際ロータリーに加盟承認されました。ご協力をいただいた当時のチャーターメンバーは22名。札幌ＲＣの秋山康之進さんを特別代表に奉仕の理想のもと、一人ひとりが大いなる友情と親睦を深める努力を誓い合って、今や30年に近い歴史を刻んで、会員も100名にならんとしております。以来、歴代会長をはじめとして会員が一致協力、それぞれの職業を通しての努力で基礎は強固となり、内容も充実し、地域産業経済の発展、地域文化地域福祉の向上に奉仕活動をしております。

奉仕の実績

変化の激しい時代、価値観の多様化が指摘されている中で環境が都市の安全、職業の尊さ、青少年の健全育成と地域社会の幸せのため、活発な活動を展開しております。国際化時代、情報化時代という背景、特に新千歳空港という特殊な地域ということから国際社会との交流やインターネットに代表される国際情報化社会への変化に、自ら学ぶ努力も重ねております。アメリカのアンカレジＲＣ、カナダのバンフＲＣとの姉妹クラブ盟約提携をし、環境問題では道路やキャンプ場、千歳川などの清掃とシバザクラを植えるなどのほかロータリーの森への桜の植樹、国際姉妹クラブ盟約記念の記念植樹、地球環境を守るという意義のほか収益事業も含ませたユニークなロータリーの森林（分収造林）事業も大きな成果を収めております。

・5周年記念事業　アンカレジの森造成のグリーンバンク、スポーツ振興基金贈呈・10周年記念事業　市にブロンズ像、演壇寄贈・15周年記念事業　青少年コンクール・20周年記念事業　市立図書館にステンドグラス寄贈・25周年記念事業　桜を植樹

RI第2510地区 第 8 分 区	様似ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1968年(昭43) 7月26日 1968年(昭43) 9月10日

例会場 住所・TEL	日高信用金庫大通支店２Ｆ 様似郡様似町大通２丁目 01463-6-2341	例会日時	金曜日 12時30分
創立時 ガバナー	島本 融	スポンサー クラブ	浦河ロータリークラブ
特別代表	森 君一		

創立時 会員数	21 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 36名 内：正会員21名，シニア15名，パストサービス会員０名(女性会員０名)

歴代会長

創立 武岡 春雄	1969 武岡 春雄	1970 髙田 英彦	1971 留目 四朗	1972 森 録雄
1973 小林 秀一	1974 平田 武雄	1975 伊藤 繁樹	1976 西村恭太郎	1977 太田 卿
1978 氏江 欣一	1979 山本 則夫	1980 永井 達男	1981 工藤 正	1982 酒井 明光
1983 笹島 正	1984 神田 芳男	1985 髙橋 初輝	1986 酒井克比古	1987 本郷 栄一
1988 盛 外茂治	1989 島田 政勝	1990 山中 勇	1991 竹中 猛	1992 加藤 鉄二
1993 下村 昭壱	1994 伊川 慶一	1995 田中 滑春	1996 郷司 公雄	

結成した 新クラブ	えりもRC(S47.9.7)
ローターアクトクラブ	
インターアクトクラブ	
姉妹クラブ 友好クラブ	韓国、馬山第１ロータリークラブ（姉妹）
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	様似郡様似町大通２丁目 日高信用金庫大通支店 TEL01463-6-2341

クラブの沿革と特徴

○ 昭和43年９月にＲＩ加盟認をうけて以来28年を迎えた。当時様似町の人口は 1万人を越えていた。またＲＣ会員が、21名であった。年々人口が減少し現在、6850人である。それにもかかわらず現在、会員数が、36名に増えてきたのが特徴と思う。

チャーターメンバー、３名を加え平均年齢が、62歳と高齢化しているので若返りが必要である。

○ 平成７年６月14日、韓国馬山第１ＲＣと姉妹結縁書に調印し第１回目の相互親善交流を果たした。（３年間）

○ えりもＲＣと毎年、友好親睦会を行って絆を深めている。

○ 創立、10年、20年記念行事及び記念誌上梓

以上

奉仕の実績

○ 毎年、５～６月に、ロータリーの森の整備と懇親会を行っている。

○ ロータリーゼミナール（年２会程度）開催している。「町民を含む」

○ 優良企業の視察研修。

○ 善行表彰。

○ 町内、近隣に居住している外国人を夜間例会に招待して交流を深めた。

○ カンカンリサイクルに協力。

○ 赤十字、輸血に協力。

以上

RI第2510地区 第 9 分 区	洞爺湖ロータリークラブ			創立年月日	1969年(昭44) 2月3日
				RI承認年月日	1969年(昭44) 2月24日
例会場 住所・TEL	ホテル万世閣 虻田郡虻田町字洞爺湖温泉町 0142-75-2171			例会日時	金曜日 12時30分 (最終例会 16時30分)
創立時 ガバナー	島本 融	スポンサー クラブ	伊達ロータリークラブ	特別代表	寺田 茂巳
創立時 会員数	26 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 13名 内：正会員6名，シニア7名，パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長									
創立	浜野増次郎	1969	浜野増次郎	1970	広瀬 昇	1971	冨山 静男	1972	川村 義隆
1973	朝倉 英隆	1974	若狭 秀蔵	1975	岩山 幸昌	1976	奥山 幾一	1977	三浦 昭三
1978	八重樫信夫	1979	岡村 興二	1980	黒川 克己	1981	川南 明則	1982	阿野 康春
1983	亀田 彦一	1984	亀田 彦一	1985	西村 勝治	1986	深山 和圀	1987	斉藤 武司
1988	川上 大良	1989	秋田 昌昭	1990	斉藤 武司	1991	三浦 昭三	1992	川上 大良
1993	川南 明則	1994	秋田 昌昭	1995	阿野 康春	1995	前谷 休市	1996	前谷 休市

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	虻田郡虻田町字洞爺湖温泉 秋田ビル211号 TEL0142-75-3345 FAX0142-75-2430				

クラブの沿革と特徴

当クラブは、伊達ロータリークラブをスポンサークラブとして、昭和44年2月3日創立、同年2月24日ＲＩ加盟承認を得て今日に至っています。

創立以来、一致団結し、親睦と奉仕の心に燃え、地道ながら活動を続けて参ったところでありますが、クラブにとって、大きな出来事がありました。それは昭和52年の有珠山の大噴火であり、クラブの存亡にかかわる出来事でした。

危惧していたとおり、一人二人と会員が減り始め11名にまで減少しましたが、残った会員一同洞爺湖クラブの灯を消したくないとの一心で頑張ってきました。

現在13名の少数会員クラブではありますがロータリーの歯車の象徴を心のよりどころにようやく会員増への芽が出てきましたので、会員一同思を新たに精一杯の活動を展開してまいります。

奉仕の実績

創立以来各種の奉仕活動を行ってきていますが、特に長期継続の活動及び近年の主なものを列挙いたします。

○昭和57年から、花和小・中学校の芋掘り奉仕活動を現在まで毎年行っています。芋はネムの木学園に贈呈。
○有珠山植樹祭に例年参加。
○町の廃棄物回収奉仕に例年参加。
○交通安全人の波運動に例年参加。
○町歳末助け合いへ例年賛助。
○みずうみ読書の家に図書寄贈。
○各水害・噴火への見舞。
○青少年功績賞援与。

RI第2510地区 第 11 分 区	**松前ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1969年(昭44) 2月26日 1969年(昭44) 3月17日

例会場 住所・TEL	スターダスト2階 松前郡松前町朝日475　01394-2-5252	例会日時	土曜日　12時15分
創立時 ガバナー	島本　融	スポンサー クラブ	函館ロータリークラブ
特別代表			
創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 8名　内：正会員5名、シニア3名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長				
創立　武田　勇作	1969　武田　勇作	1970　押田　三郎	1971　中村　喜男	1972　中村　喜男
1973　富江　徳蔵	1974　富江　徳蔵	1975　相馬　信勝	1976　水田　耕作	1977　水田　耕作
1978　水田　耕作	1979　木村　豊一	1980　福原　栄市	1981　中川　猛	1982　松尾潤太郎
1983　長岡　武久	1984　平田　栄吉	1985　水田　耕作	1986　桑田　治	1987　木村　豊一
1988　福原　栄市	1989　水田　耕作	1990　水田　耕作	1991　木村　正男	1992　木村　正男
1993　木村　正男	1994　木村　正男	1995　長岡　武久	1996　長岡　武久	

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	松前郡松前町字唐津101　(有)長岡屋内 TEL01394-2-2229　FAX01394-2-3498　9：00～18：00 (月～土曜日、期中のいずれか)				

クラブの沿革と特徴

1969年3月　松前ロータリークラブ活動開始、会員24名でスタート。しかし1年前にライオンズクラブが30名の会員でスタートしていた。

1974年　会員27名で地域交流も活発。松前公園の植樹・環境整備にも物身両面で奉仕する。

1979年　10周年。町の施設全開で地区来訪ロータリアンと共に盛大に祝う。

20年もそろそろというとき、クラブ内にキレツが生じ、1993年頃長岡会員一人の時もすぐに他クラブの応援で今日に至る。現在ライオンズ55名の会員である。

奉仕の実績

1969年設立より5年間位は

海浜公園清掃、ゴミ箱設置、図書館・松前学校へ教育本の贈呈、公園への植樹、スポーツ大会、歳末助け合い、交通安全に物身両面の援助

1975年頃より上記の他に下記活動に力が入る

古切手収集他、海外旅行者の経験を生かし国際交流も積極的に果たした。会員の職場でのコンダン会、従業員表彰等慰問激励等会員の職場家庭の交流を大切にして来た。

1985年頃よりは

ライオンズともからみ（ロータリアンがライオンズに移ったり）会員弱体化してきて奉仕活動も弱くなってきたが、ここ数年来、河川の美化環境に力を入れ、河川敷の清掃と看板による啓発と併行して運動している。

RI第2510地区 第 9 分 区	登別ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1969年(昭44)12月14日 1970年(昭45) 1月2日
例会場 住所・TEL	ホテル平安 登別市中央町5丁目1－1　0143-88-0331			例会日時	水曜日　12時30分
創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	室蘭東ロータリークラブ	特別代表	東　　栄
創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 40名　内：正会員28名、シニア12名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長									
創立	南　邦夫	1970	南　邦夫	1971	皆川　英貞	1972	桜井　弘	1973	宮武　清一
1974	上田　邦男	1975	深瀬　泰一	1976	徳島　年久	1977	広瀬　欽也	1978	猿田　武弘
1979	宮武　忠史	1980	遠藤　秀雄	1981	藤田　隆雄	1982	梯　成輝	1983	石山　春男
1984	鈴木　実	1985	伊奈　昭夫	1986	堂谷　一雄	1987	村上　忠雄	1988	村上　忠雄
1989	吉田　正	1990	坂庭　晴夫	1991	土合　和英	1992	若木日出男	1993	堅田　勇
1994	和田正二郎	1995	皆川　和廣	1996	戸塚　守夫				

結成した新クラブ	白老RC(S54.6.17)				
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	登別大谷高等学校 インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	登別市中央町5丁目6－1　登別商工会議所会館 TEL0143-85-4111				

クラブの沿革と特徴

登別RCは、室蘭東RCをホストクラブとして、特別代表東栄氏の御指導のもとに1969年12月14日初代会長南邦夫を中心として、24名のチャーターメンバーにより創立総会をもったのであります。1970年2月国際ロータリー加盟認証状伝達式を挙行。1973年2月当クラブ最初のIGF開催。1978年9月ポールハリスフェロー一挙に5名誕生。1979年6月登別RC故宮武清一氏を特別代表として、白老RC発足、以後毎年親子クラブとして合同懇親例会を開催している。1979年6月登別大谷高等学校インターアクトクラブ発会式を挙行。1979年9月韓国釜山の「日本図書院」へ図書120冊寄贈。1980年5月登別RC創立10周年記念式典挙行。1983年9月登別集中豪雨の為、中央、温泉、登別地区被災、1983年10月ガバナー公式訪問に於いて竹山ガバナーより登別集中豪雨災害見舞として金百万円が贈られる。1990年4月クラブ創立20周年記念式典挙行。1995年3月クラブ創立25周年記念式典挙行…現在に至る。

奉仕の実績

1. 1979年9月韓国釜山の「日本図書院」へ図書120冊寄贈
2. 1980年5月市営日の出球場造成に協力
3. 1981年1月交換留学生ジェニーマドックス嬢受け入れ
4. 登別市図書館ロータリー文庫基金寄付
5. 日本国際飢餓対策機構への援助
6. 公園、しんた21等の緑化、並びに美化事業の推進
7. 古切手の収集（登別市社協へ）
8. 交通安全活動への協力
9. カレンダーを世界に贈る運動への協力
10. 1996年6月登別点訳赤十字奉仕団へ点訳機の寄贈

RI第2510地区 第 2 分 区	**砂川ロータリークラブ**			創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45) 1月13日 1970年(昭45) 1月30日
例会場 住所・TEL	砂川パークホテル 砂川市東2条北3丁目　0125-52-3989			例会日時	水曜日　12時30分
創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	滝川ロータリークラブ	特別代表	久保　茂雄
創立時 会員数	27 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 69名　内：正会員38名、シニア31名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		
歴代会長	創立　佐々木正信　1970　佐々木正信　1971　山吹留三郎　1972　石家久一郎　1973　吉野　繁夫 1974　松井　淯賢　1975　菅野　啓一　1976　瓜　健夫　1977　鈴木　盛明　1978　大谷　春男 1979　吉田　邦雄　1980　西川　俶是　1981　阿部　博一　1982　五井　栄吾　1983　外川　恒正 1984　小泉　洌　1985　大山　猛熊　1986　岩田　晟　1987　山澤　芳夫　1988　沖田比呂志 1989　山下　真史　1990　沖中　磐　1991　木村　正勝　1992　梅沢　和弘　1993　山本　洋 1994　山本敬一郎　1995　西川　博久　1996　武田　昭二				
結成した 新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	石垣ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	砂川市東2条北3丁目　砂川パークホテル TEL0125-52-3989　FAX0125-52-4572				

クラブの沿革と特徴

1960年（昭和35年）に砂川ライオンズクラブが発足し、それから10年遅れてのロータリークラブ設立だったので、チャーターメンバーの方々のご苦労は、大変なものだったと記されております。

その後、順調に増強活動が行われ、この25年間に期首会員数が、前年を下まわったことは一度もありません。

1983—84から約6年間、出席率100％を継続。派閥らしきものもなく、趣味の会も充実していて、新旧会員の交流も比較的順調に行われているクラブであると自負できるところです。

奉仕の実績

○設立、砂川希望学院へミュージックチャイムを贈り、ナナカマド30本を記念植樹。
○国際青少年交換の実施。オーストラリアよりサリー・バイス受入れ。
　石垣島ＲＣとの交流始まる。
○エイヤーＲＣとの交流。
○母子家庭の小学生児童4名を芦別レジャーランドに招待。
○第250地区交換留学生の3日間ホームステイ受入れ実施。
○砂川全市の高齢者ゲートボール大会実施。
○カナダとの交換留学生を受入れ。
○ポリオプラス協賛落語独演会開催。同チャリティビールパーティ開催。
○ソウル国際大会へ6名参加。
○ジュニアスキー大会を主催。
○関西学院大学マンドリンクラブ招請。
○ライラへ推せん青年2名を参加させる。
○砂川市にロータリーの並木。ロータリーの「こもれび」を造成、植樹。

RI第2510地区 第 3 分 区	**栗山ロータリークラブ**	創立年月日	1970年(昭45) 1月16日
		RI承認年月日	1970年(昭45) 2月4日

例会場 住所・TEL	栗山産業会館 夕張郡栗山町中央1丁目　01237-2-1278			例会日時	火曜日　12時30分
創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	立川　一雄
創立時 会員数	35 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 45名　内：正会員28名、シニア17名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長									
創立	小笠原治郎	1970	小笠原治郎	1971	谷田　涼一	1972	村上　太作	1973	吉田　栄
1974	梶　良市	1975	永池　暁三	1976	和田嘉一郎	1977	篠原　武	1978	今井　宇吉
1979	松原東一郎	1980	山崎　勇吉	1981	小林米三郎	1982	髙田　正一	1983	古野元一郎
1984	砂田　靜夫	1985	石田　利光	1986	金崎　哲也	1987	塩見　悦次	1988	落合　宏
1988	塩見　悦次	1989	古野元一郎	1990	髙田　恒規	1990	関　司	1991	松下　留男
1992	板垣　正樹	1993	磯見　燾希	1994	伊藤　博	1995	北野　一義	1996	小寺　進

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	宮城県　角田ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	夕張郡栗山町中央1丁目　栗山商工会議所内 TEL01237-2-1278　9：00～17：00（月～金曜日）				

クラブの沿革と特徴

栗山ロータリークラブは、1970年1月16日に創立、翌月4日、国際ロータリーの加盟承認を受け、現在に至っている。創立に当たり、親クラブの岩見沢クラブ(立川一雄特別代表)の多年に亘るご支援が大であった。気鋭の創立会員は35名。当時、町の人口は19,348人(1970. 10. 1)。本年5月1日現在は15,706人。町の様相と同じく、当クラブにもこの26年の間に、成長と変化の歴史がある。

結成当初、クラブ活動の基調は二つ、親睦と規律の重視であった。親睦と交流による相互協力の醸成とロータリアンの資質研鑽の歯車がうまく回転していた。会員数も次第に増加し、1985～86年度は57人を数えていた。

ところが、ここ数年来、事業縮小や死亡による会員減を新会員増で支えきれなくなった。今、私たちは、「また会いたいロータリアン、また集まろう例会」を合い言葉に、創立時の理念、「親睦」と「規律」に則り活動を続けている。現会員46名中、創立会員は、5名。

奉仕の実績

奉仕の実績を大別すると(イ)、平年度と、(ロ)、記念事業年度の二つになる。

(イ)　平年度の実績

(1)　物品の贈呈。例えば、自転車通学の小学生への安全ヘルメット、ロータリー花壇の設置と管理、自転車公園の開設など。

(2)　労力と時間の提供。例えば、交通安全のための市中行進参加、黄色い羽根街頭募金参加、町障害者レクリエーション大会の運営協力など。

(ロ)　記念事業年度

創立10周年(1980)、町民憲章碑の建立、20周年(1990)、養護老人ホーム庭園造成、25周年(1995)、知的障害者授産施設へ大型洗濯物乾燥機設置など。

栗山町は、住民の顔が見える福祉の街、ここに視点を定めた活動が、「地域に密着したロータリー活動として、顔の見える福祉の街づくりに尽力した」として、1995年4月の地区大会でガバナー賞を受けている。

RI第2510地区 第 7 分 区	**苫小牧北ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45) 1月20日 1970年(昭45) 2月 4 日

例会場 住所・TEL	ホテルニュー王子 苫小牧市表町２丁目１—30　0144-33-6121	例会日時	火曜日　12時30分 (最終例会　18時00分)

創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	苫小牧ロータリークラブ	特別代表	蔦森　春明

創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年１月１日現在 66名　内：正会員35名、シニア31名、パストサービス会員０名(女性会員０名)

歴代会長														
創立	横張	旭	1970	横張	旭	1971	山崎	正寿	1972	藤田	信一	1973	小島	啓道
1974	小栗	淳	1975	池田	作哉	1976	角野	毅	1977	若林	治	1978	田辺	信夫
1979	川端	納	1980	広瀬	信平	1981	山崎	昭三	1982	佐藤	登明	1983	杉浦	英城
1984	伊藤	竹雄	1985	関寺	恭朗	1986	今井	重行	1987	門脇	滑	1988	鈴木	隆
1989	石田	貫	1990	藤倉	澄雄	1991	古戸	寅雄	1992	伊藤	長英	1993	阿部	光一
1994	髙田	鉄男	1995	丸屋	憲一	1996	土屋	孝人						

結成した 新クラブ	苫小牧東RC(H4.6.11)

ローターアクトクラブ		村落 共同隊	地域共同隊 苫小牧北ＲＣ地域共同隊 (苫小牧家庭生活カウンセリング協会)	姉妹クラブ 友好クラブ	石巻ＲＣ タラデールＲＣ(ニュージーランド、ネーピア市)

クラブ事務所 住所・ＴＥＬ 執務時間(　曜日)	苫小牧市新中野町３丁目１—12　川端ビル１階 TEL0144-33-0112　FAX0144-33-7744

クラブの沿革と特徴

1970年１月20日　創立総会を開催。

1970年２月４日　我が国976番目のＲＣとして国際ロータリーへの加盟が認証。

1974年２月　第５分区I.G.F.のホストクラブを担当。

1980年１月20日　創立10周年記念式典・祝賀会。

1981～82年度　第251地区年次大会ホストクラブを務める。

1984年　当クラブは第７分区に所属変更。

1990年　I.G.F.ホストクラブと同時に創立20周年記念式典を開催。

1991年６月　石巻ＲＣと友好クラブの締結。

1993年６月　当クラブのスポンサーにより会員数32名で苫小牧東ＲＣが誕生。

1995年８月　日本で11番目のＲＣＣ（地域共同体）別名『苫小牧家庭生活カウンセリング協会』提唱し創立。

1996年３月　ＮＺタラデールＲＣと友好クラブ盟約を締結。

奉仕の実績

クラブ奉仕部門：７月焼肉ビールパーティー、１月に新年家族会及びゴルフ・麻雀・囲碁大会等により会員及び家族の親睦を計る。対外的広報として、記者クラブとの懇談会を開催。

社会奉仕部門：青少年関連として、青少年主張発表大会、チビッコアイスホッケー大会、ロータリー杯フェンシング大会、ロータリーソロ音楽コンクール、少年サッカー大会等。又環境保全関連として、環境問題をテーマとした絵画コンクール、及び作文コンクール、ならびに苫小牧市の植樹にも協力しております。

職業奉仕部門：会員の健康診断、会員等の優良企業職場訪問及び社是社訓集「我等の生業」を発行。

国際奉仕部門：例年国際大会への参加を積極的に呼びかけ多数参加。苫小牧国際交流関係団体に参加国際理解教育推進に協力。ニュージーランド、ネーピア市タラデールＲＣと友好クラブを締結。

RI第2510地区 第 11 分 区	函館五稜郭ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45) 1月24日 1970年(昭45) 2月 6日

例会場 住所・TEL	ホテル法華クラブ函館店 函館市本町27—1　0138-52-3121	例会日時	金曜日　12時30分
創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	函館東ロータリークラブ
特別代表	渡辺　綱彦・森岡　勝		
創立時 会員数	28 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 75名　内：正会員49名，シニア26名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長				
創立　小南　武一	1970　小南　武一	1971　安田　幸夫	1972　滝野　敏弥	1973　飯淵　至大
1974　西林　雅吉	1975　国乗　信一	1976　山形　道文	1977　羽野　栄一	1978　後町登美男
1979　黒沢幸太郎	1980　髙草　礼介	1981　池上　謙一	1982　福徳　勲	1983　村田　栄司
1984　松浦　百秋	1985　外村　一也	1986　渡辺　爽峰	1987　背田　秋彦	1988　松本　明
1989　奥山　三雄	1990　曽根　滋吉	1991　越前　適郎	1992　浜野　達夫	1993　五十嵐匡俊
1994　松浦　百秋	1995　伊藤　弘之	1996　酒井　正人		

結成した新クラブ	
ローターアクトクラブ	
インターアクトクラブ	函館ラ・サール高校インターアクトクラブ
姉妹クラブ 友好クラブ	東京日野ロータリークラブ 東京飛火野ロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	函館市大手町5—10　ニチロビル TEL0138-23-3870　9：00～17：00（月～金曜日）9：00～12：00（土曜日）

クラブの沿革と特徴

1970年函館東ＲＣのスポンサーで、秋山ガバナー、富田地区拡大委員の活動により函館五稜郭ＲＣは呱々の声をあげた。創立会員28名の発足だった。3年後出席100％を達成以来22年間100％を続けている。無理をせずにクラブの集まりを楽しみながら…

また史跡五稜郭公園をテリトリーに持ち、函館の歴史にまつわる新選組土方歳三の縁で東京日野ＲＣと東京飛火野ＲＣとの間に友好クラブを結び、友情を育てている。

1966年～67年度にはインターアクトクラブを設立させ、強力なバックアップ体制を作り、優良インターアクトクラブとしてＲＩから表彰されるにいたった。創立25周年を期して、Ｒ財団への協力姿勢が強まり、今年度地区大会で第2位の表彰を受けた。わがクラブの特徴は会員同士が大変仲が良い事であり、一度でも当クラブに来た方は、その和気あいあいたる空気に包まれている様が忘れられないと言われます。これこそロータリーの神髄！

奉仕の実績

25周年を終わったばかりの当クラブはテリトリーに五稜郭公園をもっているので、当クラブの奉仕事業はこの史跡と切り離して考える事はできない。毎年、公園の環境保全に配慮して清掃作業、設備品の贈呈などを続けている。また函館の歴史を脚本とした函館野外劇には、会員の経済的、人的協力を惜しまず運営、出演と各自の能力によって協力し、これを盛り上げている。また市民無料相談を開催し税、建築、血圧、法律などについて市民との対話を続けている。

特筆すべきは永年にわたりミヤンマーの日本語学校に日本語の教科書を送り続けたことである。ミヤンマーのウ・テンソウ先生と助手のチャウチャウキンさんを函館に招待し、クラブ会員と、深い交流が続いた。ウ・テンソウ先生は今でも元気にミヤンマーで日本語を教えている。国交に先んじて民間の交流と奉仕を果たした。前述したように66～67年度に創設したインターアクターとともに老人ホームへの労働奉仕を行い、また北大水産学部の留学生を例会に招き交流を大切にしている。

RI第2510地区 第 7 分 区	恵庭ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45) 3月24日 1970年(昭45) 4月6日

例会場 住所・TEL	案山子レストラン 恵庭市住吉町180　0123-32-2044	例会日時	水曜日　12時30分 (第4例会　18時30分)

創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	札幌幌南ロータリークラブ	特別代表	田中　政士

創立時 会員数	23 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 74名　内：正会員59名，シニア15名，パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	奥田　英二	1970	奥田　英二	1971	西村　昭	1972	清水　進	1973	伊藤　進
1974	松浦　一夫	1975	西村　昭	1976	山下　勇	1977	宮下総一郎	1978	小原　健栄
1979	野口　幸男	1980	山本　茂	1981	早瀬　定男	1982	村上　利雄	1983	植田　俊三
1984	伊藤　進	1985	山岸　貢	1986	弘中　正利	1987	三上　春吉	1988	青木　定雄
1989	垣原　鉄司	1990	藤井　哲夫	1991	柴田　弘道	1992	横道　勇	1993	山田　邦昭
1994	日下　健三	1995	阿部　功	1996	新川　進				

結成した 新クラブ	長沼RC(H3.12.1)　　由仁RC(H4.9.10)

ローター アクト クラブ	恵庭ローター アクトクラブ	インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	バーレイ・ヘッズロータリークラブ (オーストラリア・ウイーンズランド州・ゴールドコースト)

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	恵庭市住吉町180　案山子レストラン内 TEL0123-32-2388　FAX0123-32-6066

クラブの沿革と特徴

1970年（昭和45年）恵庭は人口33,600人で広大な土地に民家が散在し恵庭駅と島松駅を中心とする2市街地からなる町であり、他奉仕団体のクラブが既に活躍していた。当時は350地区秋山ガバナーが恵庭と広島の両町を一地域として新クラブ設立の為、地区委員会で話され、スポンサークラブに札幌幌南ＲＣ、コ・スポンサークラブに千歳ＲＣ、特別代表に札幌幌南ＲＣの田中政士氏が指名された。田中特別代表は椿原分区代理、札幌幌南ＲＣ、千歳ＲＣ、キーメンバーの清水進氏、伊藤進氏、宮下総一郎氏の3メンバーと幾度かの会合と甚大なる努力の結果23名のチャーターメンバーによって目出度く同年3月に恵庭ロータリークラブが誕生した。

創立以来26年が経過し恵庭市は恵み野地域の都市開発と共に人口が増大し現在62,700人、クラブ会員74名に増強した現状にある。奉仕活動としては国際青少年交換事業、奨学金、少年野球大会、子供相撲大会の協力、ローターアクト活動への参加協力など青少年育成事業に盛んなクラブである。

奉仕の実績

1971年度	交換留学生派遣受入開始、継続中
1974年度	ロータリーの森植樹管理、継続中
1984年度	2高校4名に奨学金支給、継続中
1985年度	恵庭ロータリー旗争奪少年野球大会開催、継続中
1990年度	オーストラリア・バーレイヘッズロータリークラブと姉妹提携
1991年度	長沼ロータリークラブ設立
1992年度	恵庭ローターアクトクラブ設立
1992年度	第2510地区クラブ会長エレクト研修セミナー実施
1992年度	由仁ロータリークラブ設立
1993年度	第7分区ＩＭ実施
1993年度	米山功労者、今後10年間毎年1名出す事決定、継続中
1993年度	第2510地区ローターアクト地区大会実施
1995年度	恵庭ロータリークラブ歯車基金設立

RI第2510地区 第 10 分 区	七飯ロータリークラブ			創立年月日	1970年(昭45) 4 月18日
				RI承認年月日	1970年(昭45) 5 月20日
例会場 住所・TEL	ホテルニットー大沼 亀田郡七飯町字大沼町322番地 0138-67-3131			例会日時	火曜日 18時30分
創立時ガバナー	秋山康之進	スポンサークラブ	函館北ロータリークラブ	特別代表	遠藤 尚義
創立時会員数	21 名	現在会員数	1996年1月1日現在 46名 内：正会員32名、シニア14名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長				
創立 工藤 武三	1970 工藤 武三	1971 遠藤 済	1972 相馬 富雄	1973 大竹幸次郎
1974 原岡 壬吉	1975 吉田 一郎	1976 池田庄三郎	1977 加納 誠一	1978 草野 鎮照
1979 越田 広司	1980 太田 兼吉	1981 藤田 耕三	1982 中島 弘雄	1983 西谷 理
1984 佐藤 毅	1985 石井 鉄弥	1986 美村 文雄	1987 佐藤 孝男	1988 山崎 勲
1989 石田 勉	1990 西谷 雅行	1991 佐々木 弘	1992 葛西 春夫	1993 坂本 済春
1994 川端 正二	1995 上野 一裘	1996 加藤 直樹		

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	亀田郡七飯町字大沼町322番地 ホテルニットー大沼内 TEL0138-67-3131				

クラブの沿革と特徴

七飯町全域を地域とする我がクラブは、地域の北端に位置する大沼国定公園にしか大型のホテルがないため例会場を地域の中央に置くことができません。このため例会場が多くの会員にとって遠方になるため、やむをえず創立時より夜間例会となっています。夜間例会はどうしてもお酒の入る機会が多く、また気の置けない会員と一献酌み交わすのを何よりの楽しみにしている会員もみられます。したがいまして会員の親睦を深めるのには好都合ですし、なにかをやると決まると、まとまりが良く全員一致して見事にやり上げますが、お酒のせいか、ロータリーとは？ 奉仕とは？ などという生真面目な話はあまり起こらず、全員一致の大仕事の機会が少ないのが難点とも言えましょう。ともあれ、和気あいあい大きな潜在能力を秘めたクラブといえましょう。

奉仕の実績

☆大沼国定公園に関係した社会奉仕

全国的にも有名な大沼国定公園の景観を守るため創立以来種々な奉仕活動を行っていますが、主なものを上げますと

1. 鳥の巣箱かけ
2. 樹木名板の寄贈
3. 空き缶プレス機の寄贈
4. 秋に空き缶拾い

☆継続的な事業として

1. 善行青少年の表彰
2. 社会福祉協議会への寄付

☆特別事業として

今年完成した町文化センターへ300万円相当の置時計の寄贈

RI第2510地区 第 4 分 区	札幌手稲ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45) 6月29日 1970年(昭45) 7月20日

例会場 住所・TEL	三越札幌店4階 札幌市中央区南1条西3丁目　011-271-3311	例会日時	土曜日　12時30分

創立時 ガバナー	秋山康之進	スポンサー クラブ	札幌西ロータリークラブ	特別代表	小熊　米雄

創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 82名　内：正会員64名、シニア18名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長

創立	蓑輪早三郎	1970	蓑輪早三郎	1971	蓑輪早三郎	1972	山本　節男	1973	斉藤　利信
1974	若林　二郎	1975	山地　庸夫	1976	深宮　正吉	1977	白石　欽一	1978	久津見　侃
1979	茂木　満雄	1980	村井　重勝	1981	岩瀬　一郎	1982	山田　新一	1983	石田　誠
1984	伊藤　弘義	1985	阿部　武房	1986	亀卦川満男	1987	鈴木　義雄	1988	北市　郁雄
1989	辻　與一	1990	太田　博視	1991	築山　一三	1992	佐藤　良三	1993	久末　満三
1994	阿部　弘	1995	田中　良治	1996	犬飼　好濟				

結成した新クラブ	札幌あけぼのRC(H3.3.15)

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	名古屋瑞穂ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　FAX011-231-6724

クラブの沿革と特徴

近くに札幌冬季オリンピックの会場ともなった手稲山を臨み、市内を流れる発寒川の中心線以西の緑多き自然に恵まれた西区及び手稲区をテリトリーとして、1970年6月29日札幌西ロータリークラブをスポンサークラブに、札幌市内では6番目のクラブとして誕生致しました。創立2年目より札幌三越を例会場と定め、近ごろでは数少なくなった「土曜日例会」のクラブとして、例会場のロケーションも相俟って、ビジターが平均40名弱と市内でも屈指のビジターの多いクラブで有ります。当クラブより初めて誕生した白石ガバナー年度の1991年には「札幌あけぼのロータリークラブ」誕生のスポンサークラブとなり会員数が一時的に減少した時期が有りましたが、現在では80名前後で推移して居ります。会員の半数近くが30代～40代の会員で有り平均年齢は約53歳と若いものの、「地域に根ざした奉仕活動」を目標に活発な活動を展開して居ります。

奉仕の実績

1．1983年より既に14回を数える「西区・手稲区中学校スポーツ大会」を当初は当クラブ単独で開催して居りましたが、参加校の増加に伴い、札幌西北並びに札幌あけぼのロータリークラブと共に開催し、現在では多くの方々のご協力を頂き、西区並びに手稲区の全中学校が参加する大会となって居ります。

2．1988年より区域内の高校生に奨学金を支給させて頂いて居り、更に、奨学金の安定支給を目指し、5年計画で「奨学金基金」を創設し、本年度で目標額に到達致しました。

3．1973年に最初の交換留学生の派遣・受入れをさせて頂いてから、既に、派遣及び受入れ各々20名を超える交換留学生のお世話をさせて頂いて居ります。

4．米山記念奨学会の功労クラブとして5年連続地区大会で表彰を受けると共に、毎年、米山奨学生並びにロータリー財団奨学生のお世話をさせて頂いて居ります。

RI第2510地区 第 8 分 区	三石ロータリークラブ						創立年月日 RI承認年月日	1970年(昭45)11月18日 1970年(昭45)12月 3 日
例会場 住所・TEL	日高信用金庫三石支店 三石郡三石町字本町54　01463-3-2311						例会日時	月曜日　12時30分
創立時 ガバナー	河野　通正		スポンサー クラブ	浦河ロータリークラブ			特別代表	大針　光吉
創立時 会員数	22 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 23名　内：正会員12名、シニア11名、パストサービス会員0名(女性会員0名)					
結成した 新クラブ	静内RC(S46.6.28)							
ローター アクト クラブ			インター アクト クラブ				姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	三石郡三石町字本町54　日高信用金庫三石支店 TEL01463-3-2311							

歴代会長

創立　松浦　作蔵	1971　佐々木初之助	1972　佐々木初之助	1973　佐々木初之助	1974　秋田仙四郎
1975　菅　信三	1976　西谷内　章	1977　村川　繁樹	1978　佐々木初之助	1979　佐々木初之助
1980　鈴木　尹	1981　佐々木初之助	1982　谷川　聚	1983　佐々木初之助	1984　山田　博継
1985　木島　信行	1986　木島　信行	1987　佐々木初之助	1988　亀田　浄	1989　池田　實
1990　冨永　信	1991　山崎　昇	1992　出口　弘史	1993　川端　武男	1994　秋田仙四郎
1995　山田　博継	1996　石垣　文雄			

クラブの沿革と特徴

1970年11月、元村長松浦作蔵氏の呼びかけでチャーターメンバーに近い人数が集合し、浦河RCの大針光吉氏のロータリーに関する説明を聞いた。早速ＲＣを結成することで意見が一致し、11月18日創立総会。

しかし三石ＲＣのつまずきは直ちにやってきた。12月11日松浦氏の死亡、後を追うように次期会長と目された坂東氏の死亡、かてて加えて新入会員の清水氏の急死、認証状伝達式を待たずの相次ぐ会員の死に会員の意気は消沈し、退会者が相ついだ。しかし残された会員の結束は強く、チャーターナイト及び静内クラブの認証を機にやや持ち直した。

その後数度の危機を乗り越えて、若手の新入会員の活躍もあり創立時の会員数に回復し、クラブとして数度の受賞にも輝いている。

当クラブの特徴は、苦難の時に計り知れぬ辛抱強さを発揮する点、及び政治的に全く中庸を守り通して結束した点にあると言える。

奉仕の実績

1970年11月創立したばかりの当クラブが、1971年６月に、静内ＲＣ創立の為のスポンサークラブになって、佐々木初之助会員が特別代表に任命されクラブ会員一丸となって静内ＲＣ創立の大役を果たした。

クラブ創立以来一貫して交通安全に取り組み、交通安全協会の役職に会員がそれぞれ就任して、また会員が直接街頭指導に当たり、交通安全に成果をあげている。また1990～91年度第８分区のＩＭのホストを勤めましたとき、警察署の第一線の交通係長を講師にお招きして「交通事故防止と最近の傾向」の演題でお話しを頂き、ご来席のロータリアンに認識を新たにして頂きました。

町民の知・情・意の向上に図書館の果たす役割の重要性に鑑み、町立図書館の中にロータリー文庫を設置して頂き、毎年クラブが実施しているチャリティーオークションによる益金をもって図書購入資金を寄贈している。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 4 分 区</td><td colspan="3">札幌北ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td>1971年(昭46) 5月24日
1971年(昭46) 6月1日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="3">センチュリーロイヤルホテル
札幌市中央区北5条西5丁目 011-221-2121</td><td>例会日時</td><td>月曜日 12時30分</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td>河野 通正</td><td>スポンサー
クラブ</td><td>札幌ロータリークラブ
札幌東ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>秋山康之進</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>23 名</td><td>現在
会員数</td><td colspan="3">1996年1月1日現在
114名 内：正会員67名、シニア47名、パストサービス会員0名(女性会員1名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="5">創立 三浦 祐晶　1971 三浦 祐晶　1972 足立伊佐武　1973 実藤 保　1974 小川 玄一
1975 前田 治　1976 佐藤 一郎　1977 藥泉寺 寛　1978 佐藤 鉄弥　1979 長村 和雄
1980 武藤 竜吉　1981 田村 誠一　1982 中田 公治　1983 宮崎 時雄　1984 金岡 祐一
1985 村川 舜一　1986 洪 悦郎　1987 谷口 良一　1988 金田 弘夫　1989 宮澤 正
1990 小林 孝夫　1991 塩入 久之　1992 岡田 泰紀　1993 加藤 髙正　1994 小林 博
1995 髙倉勤次郎　1996 田中 宏</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="5">当別RC(S51.4.6)　札幌モーニングRC(S63.6.23)
札幌はまなすRC(H4.6.7)</td></tr>
<tr><td>ローターアクトクラブ</td><td>札幌北ローターアクトクラブ</td><td>インターアクトクラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td>ウェルビーロータリークラブ
(9800地区オーストラリア)</td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="5">札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル507号室
TEL011-231-1297 9：30～17：00 (月～金曜日)</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

昭和46年2月、札幌市内既存6クラブの協議により、札幌クラブと札幌東クラブの一部区域を割譲し仮称札幌北クラブとして結成されることが決定された。

この区域内には、北海道大学があるが、これを特別区域として札幌クラブの区域としても入れられることが申し合わされた。

爾来、昭和51年から今年6月8日の創立25周年まで、5年毎の各記念式典を挙行し、文字通りクラブとしての成年期に入ってきた。

一方会員数の推移をみると、発足時の24名から10年後には114名と順調な増加傾向をたどったが、その後は数人の増減を繰り返して現在に至っている。

当クラブでは会員夫人で構成の「さつき会」結成で家族との融和をはかり、また創立15周年を記念して会員の作詞した「札幌北ロータリークラブ賛歌」がつくられている。

奉仕の実績

1．ロータリー財団寄付実績累計（'95末）
　$197,953.36

2．米山記念奨学金寄付実績累計（'95末）
　¥15,867,575

3．周年記念事業実績

5周年記念事業
(1)ロータリー財団へ1,000ドル寄付
(2)札幌北警察署へ屋外両面ポール型時計寄贈
(3)札幌市冒険公園へ擬木水飲台寄贈

10周年記念事業
(1)札幌市東北公園内記念植樹
(2)日本ボーイスカウト北海道連盟に心肺蘇生訓練用人形一式

15周年記念事業
(1)さっぽろ花と緑の博覧会会場案内板寄贈

20周年記念事業
(1)札幌市芸術の森美術館にグランドピアノ寄贈

25周年記念事業
(1)北海道インターナショナルスクールへ人体模型と教材寄贈

RI第2510地区 第 8 分 区	静内ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1971年(昭46) 6月28日 1971年(昭46) 7月23日

例会場 住所・TEL	商業組合日専連静内会しずせん会館3F 静内郡静内町御幸町2丁目1番9号　01464-3-2481	例会日時	水曜日　12時30分

創立時 ガバナー	河野　通正	スポンサー クラブ	三石ロータリークラブ	特別代表	佐々木初之助

創立時 会員数	22名	現在 会員数	1996年1月1日現在 71名　内：正会員45名、シニア26名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長				
創立　落合　敏博	1971　落合　敏博	1972　永野　滋之	1973　藤原　真二	1974　種本　彊
1975　土屋　喜一	1976　吉田　恵一	1977　大門　司郎	1978　四ツ屋義一	1979　中島　滋
1980　増本　一男	1981　岡村　弘	1982　沢田　正	1983　藤原　祥三	1984　佐藤　隆司
1985　賀集　健三	1986　髙橋　正亘	1987　細川　好弘	1988　髙橋　輝美	1989　見上　粂松
1990　小坂　政成	1991　平野井　繁	1992　山田　一孝	1993　武岡　大信	1994　米子　雄二
1995　在田　瑞昌	1996　宮内　正寿			

結成した新クラブ	

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	北海道静内高等学校 インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	第2670地区脇町ロータリークラブ 第2680地区洲本ロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	静内郡静内町御幸町2丁目1番9号　商業組合日専連静内会しずせん会館3F TEL01464-3-2481　FAX01464-3-2481　10：00～15：00

クラブの沿革と特徴

昭和46年6月28日会員22名で創立。同年7月23日付でRIの認証を受ける。昭和51年5月創立5周年記念式典を開催、記念事業として滝川市立江陵中学校ブラスバンドの演奏会を開催し一般公開。昭和53年山手町の近隣都市公園に築山を寄贈、紺綬褒章を受章。平成2年10月創立20周年記念式典を挙行、伊奈かっぺい氏の公開講演会には580名の一般町民が入場した。昭和57年青少年の健全育成に重点をおき青少年委員会を社会奉仕委員会から独立、昭和59年以来財団法人修養団静内支部と共催で静内少年少女キャンプを毎年7月に継続開催、延べ参加者は高校生等のリーダーを含めて千余名となり、少年少女の健全育成に多大の効果をあげている。平成6年北海道静内高等学校にインターアクトクラブを創立、現在60名の会員を擁し、福祉施設訪問や車椅子マップ・福祉ガイドブックの製作など幅広いボランティア事業が自発的に推進されている。

奉仕の実績

昭和57年8月青少年委員会が非行防止キャンペーンを実施、ポスター看板を作成、チラシを新聞折込などで町内全戸に配付、2年継続。

平成2年7月「青少年の健全育成を語る野外ふれあいフォーラム」を開催、教育関係者など約百名が参加。

平成5年7月ロシアのノボシビルスク市少年野球団の野球少年を招待し、地元の野球少年団との交歓試合のあと関係者を招いて交流会を開催、ロシアの少年は地元の野球少年宅にホームスティ。

平成5年生涯学習を応援するため、静内町公民館に液晶ビデオプロジェクターを寄贈。同6年4月児童生徒の交通安全教育用として教材信号機を静内町に寄贈。

平成7年昭和59年以来継続実施の少年少女キャンプが第12回を終了、参加延べ人員は千名を超える。リーダーとして3年間継続参加の高校生に青年功績賞を贈って表彰。

RI第2510地区 第 9 分 区	**室蘭北ロータリークラブ**	創立年月日 RI承認年月日	1971年(昭46)12月19日 1972年(昭47) 1月1日

例会場 住所・TEL	ホテルサンルート室蘭 室蘭市中島町2丁目28—6　0143-43-2333	例会日時	火曜日　12時30分

創立時ガバナー	富田　恭	スポンサークラブ	室蘭東ロータリークラブ	特別代表	大西　清

創立時会員数	31 名	現在会員数	1996年1月1日現在 64名　内：正会員64名，シニア22名，パストサービス会員0名(女性会員2名)

歴代会長

創立　斎藤　直意	1972　中村　秀	1973　宇田川精一	1974　吉村　政勝	1975　太田　燊正
1976　吉井　政人	1977　坂本　英治	1978　泉波　秀雄	1979　奥山　卓郎	1980　及川彦三郎
1981　種田　登	1982　城本　義光	1983　斎藤友紀雄	1984　斎藤　義寛	1985　髙島　倡治
1986　下地　晋	1987　田中　伸幸	1988　熊谷　弘夫	1989　矢澤　光男	1990　須賀　昭
1991　澤山　登	1992　小林　恒松	1993　久保　隆司	1994　菊地　敬夫	1995　附田　博
1996　及川　力				

結成した新クラブ	

ローターアクトクラブ	室蘭北ローターアクトクラブ	インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	室蘭市中島町1丁目25—9　中村AP2F TEL・FAX0143-45-6569　10：00～15：00（毎週月・火・金曜日）

クラブの沿革と特徴

S46年、故富田恭PGが室蘭東RC公式訪問時に新RC誕生を熱望。当時の市来分区代理は室蘭の将来性を洞察し、中島町を中心にJR路線北区をテリトリーとした地域を考え、約4カ月余りの期間で創立会員31名でRIの認証を得た。天然の良港の海運業と鉄の町室蘭は北海道に一時代を築いたが、今の室蘭は中島町が室蘭の繁華街の顔で25年前に現在を見据えた先輩ロータリアンに敬服し64名の会員は燃えている。白鳥の飛来した港と湾を横断する「夢のかけ橋」白鳥大橋は平成10年に完成する。

RCバナーも室蘭岳と白鳥湾から太陽に向かって羽搏く白鳥を図案化し、未来に限りなく飛躍する若々しさを表現する。リストラで経営努力を続ける企業城下町だが、JCのOB等新入会員を求め分区内初の女性会員2名を擁し家族例会を増やしロータリーを正しく理解する努力を続けている。平均年齢55.4歳の25年目を迎えたRCで同時誕生のRACも26名の世帯になった健全なRCである。60代50代40代の年齢構成も満足。

奉仕の実績

創立当初より将来の街造りに支点をおいたR奉仕精神が伺い知れる。環境整備、青少年育成へ積極的参加が見られる。現在までにR財団奨学生3名を送り出している。RACと合同の老人ホーム慰問、海水浴場清掃、家族同伴例会時のオークション益金を福祉協会寄付etcは現在も継続中であり地元の女子短大留学生のホームステイ受け入れによる国際交流も地味な活動として続いている。年次別実績としてS47、48、55年、中島公園周辺美化植樹（桜、柳）S49年、中島公園正面へ「職業に励み社会に奉仕しよう」の石碑建立、S47～H3年小、中、高校への教材、図書、運動用具寄贈、S57年、市民少年野球場の放送設備完備と優勝旗寄贈、S57～H2年、ボーイ・ガールスカウトへ物心両面支援、S60、H4年、駅前通り「ふれあい広場」へ木製ベンチ設置と温度計付き時計塔寄贈、H1年、単年度でRI活動のポリオプラス事業目標額の完済、以上が主な奉仕実績である。

RI第2510地区 第 10 分 区	函館亀田ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1972年(昭47) 5月29日 1972年(昭47) 6月20日

例会場 住所・TEL	ホテルオークランド 函館市昭和4丁目34-12 0138-43-1121			例会日時	月曜日 12時30分
創立時 ガバナー	富田 恭	スポンサー クラブ	函館東ロータリークラブ	特別代表	鈴木 武二
創立時 会員数	25 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 55名 内:正会員38名, シニア17名, パストサービス会員 名(女性会員1名)		

歴代会長				
創立 三谷 勇平	1972 三谷 勇平	1973 松崎 勉	1974 成田 鉄蔵	1975 桜井 洵勝
1976 田中 仁	1977 江端 章	1978 木戸浦隆一	1979 石塚与喜雄	1980 帰山 一弥
1981 宮崎 穣	1982 松崎 和夫	1983 渡部秀次郎	1984 松浦 富男	1985 佐々木一明
1986 坪山 元彦	1987 坂本 幸市	1988 山本 英介	1989 北原 普通	1990 小島 悦郎
1991 西川 忠弘	1992 鹿野 文男	1993 柴田 明知	1994 森 光春	1995 清水 修
1996 安達 智紀				

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	函館市大手町5—10 ニチロビル TEL0138-23-3870 9:00~17:00(月~金曜日) 9:00~12:00(土曜日)				

クラブの沿革と特徴

1972年函館東RCがスポンサークラブとなり鈴木武二氏を特別代表として函館亀田RCは創立した。創立会員25名で発足して24年になるが、チャーターメンバー5人は健在で、リーダーシップを発揮している。

当時亀田は市に昇格したばかりの町だったので亀田RCと呼称されたが、1年後函館市と亀田市の合併によって発展改称され、現在のように函館亀田RCとなり、会員数55名で奉仕活動に努力している。

間もなく創立25周年を迎えるに当たり、我がクラブのスポンサーである函館東RCがRIの方針をいち早く受け入れて、女性会員を入会推薦した姿勢に共感して、この度市内では二番目の柔軟さで、女性会員の入会を実現させた。今後会員の増強と積極的な奉仕活動、そして原点に立ち返ったクラブ運営を目ざして結束していくことと思う。

奉仕の実績

25周年を迎える函館亀田RCは、地域に根ざした奉仕活動をめざして活動して来た。人々の流れが東部に向かっている事で、テリトリー内に新設校が多く、永年にわたり新設校には必ず記念樹を贈呈して来た。また「安全と公害」を主題として車輌点検、ドライバーの血圧測定等も永年にわたり続けて来た。

史跡四稜郭については清掃、整備に励み、かつて雑然としていた所だったが、当クラブの働きかけで、函館市をうごかし、今では、ゴミの処理、清掃等も市が引き継いで、保全する迄になった。又テリトリー内の施設の子供達と共に、いも掘りを行い、会員の庭で一緒に楽しむ等、大いに喜ばれた。更に20周年を記念して環境保全を前進させ、亀田川を美しくする会に協力して、育成の可能性を研究しながら「ニジマスの稚魚」放流を続け、ニジマスの成育することにより、亀田川の美化を確認し、川を美しくする事への意識高揚に努めている。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 8 分 区</td><td colspan="3">えりもロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1972年(昭47) 9月8日
1972年(昭47)10月7日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="4">日高信用金庫えりも支店
幌泉郡えりも町字本町170の1　01466-2-2311</td><td>例会日時</td><td>木曜日　12時15分</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td>塩谷　猛</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">様似ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>武岡　春雄</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>24 名</td><td>現在
会員数</td><td colspan="4">1996年1月1日現在
26名　内：正会員26名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="6">創立　浅井岩五郎　1973　浅井岩五郎　1974　大石　昇司　1975　岩間幸次郎　1976　曽田　進
1977　西川　周三　1978　川村　貫一　1979　栗山　亀一　1980　紺野　誠一　1981　冨越　誠也
1982　坂田　遼　1983　芹　恭信　1984　国下　隆郎　1985　佐藤　幸雄　1986　植木奨代治
1987　田下　道康　1987　木林　龍夫　1988　木林　龍夫　1989　山科　幸一　1990　真田　由雄
1991　村本　昭二　1992　渡辺　公平　1993　林　宏曜　1994　三島　力雄　1995　西川　周三
1996　奈良　富雄</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>ローターアクトクラブ</td><td></td><td>インターアクトクラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="6">幌泉郡えりも町字本町170の1　日高信用金庫えりも支店
TEL01466-2-2311　8：30～17：00（月～金曜日）</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

当クラブは隣接町の様似町ロータリークラブ武岡春雄氏の約1年間に亘る熱心な勧誘により漸く1972年9月8日設立総会、同年10月7日国際ロータリーより正式に認証状の伝達を受けた。

チャーターメンバーは24名であり、殆どのメンバーは自営業であった。

最大の奉仕は、会員の行動で、町民に共鳴を与えることだと考え実施してきた。

1974年には大阪市との交流事業でウイリアム・R・ロビンズRI会長より「意義ある業績賞」を受賞。

最近若手会員の入会と相俟って「緑の森作り」等、環境問題に積極的に取り組んでいる。

奉仕の実績

- 1974年　・大阪市青年とえりも町青年の交流事業（ウイリアム・R・ロビンズRI会長より意義ある業績賞）
- 〃　・新入学児童へランドセルカバー寄贈、現在も継続
- 1975年　・町を明るくする「挨拶運動」
- 〃　・春秋2回、町を美しくする清掃運動（町民参加により現在も継続）
- 1982年　・創立10周年を記念してえりも町図書館へ文庫寄贈
- 1984年　・えりも町へ石庭造園工事「庭園」寄贈
- 1986年　・フィリピンへ救急車を寄贈
- 1990年　・優良勤労青少年を表彰。現在も継続
- 1992年　・創立20周年記念事業としてえりも町へ特別養護老人ホーム設立基金として200万円寄付
- 1994年　・えりも岬緑化事業「緑の森づくり」運動植樹に協力。現在も継続

RI第2510地区 第 3 分 区	美唄ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1973年(昭48) 5 月31日 1973年(昭48) 6 月 7 日

例会場 住所・TEL	美唄ホテルスエヒロ 美唄市西 2 条南 2 丁目 2 ― 3　01266-2-2501	例会日時	木曜日　12時15分

創立時 ガバナー	塩谷　猛	スポンサー クラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	福岡　永泰

創立時 会員数	24 名	現在 会員数	1996年 1 月 1 日現在 50名　内：正会員18名、シニア32名、パストサービス会員 0 名(女性会員 0 名)

歴代会長

創立	若松不二夫	1973	若松不二夫	1974	角谷　弘一	1975	坂東　浩	1976	後藤　三雄
1977	井沢　弘喜	1978	竹松　洋	1979	関　宏	1980	宝崎　錠二	1981	谷敷　由松
1982	木原　菊男	1983	吉沢　義一	1984	井門　英明	1985	中川　広吉	1986	岸山　皓次
1987	中込　茂	1988	毛利　润徳	1989	阿部　稔	1990	山田　寛一	1991	坂東　和夫
1992	髙橋　稔	1993	伊原　洋三	1994	吉村　誠治	1995	大野　久夫	1996	工藤　信

結成した 新クラブ					
ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	美唄市西 2 条南 2 丁目 2 ― 3　美唄ホテルスエヒロ TEL01266-2-2501　FAX01266-3-4942

クラブの沿革と特徴

昭和48年 5 月31日岩見沢ロータリークラブをスポンサークラブとして創立。

6 月 7 日国際ロータリーに加盟を承認され、当クラブは本年で24年を迎えました。

当時美唄は産業構造の変化に伴う相次ぐ炭鉱の閉山によって人口は激減し農業工業都市へ向けて新たな歩みを始めていた頃でした。

創立当初はロータリークラブの研究会、会員の和、会員増強を重点目標に動きだし、 2 年目の認証状伝達式のころは会員数24名で、その後会長会員の努力により現在会員数は50名で創立当時の倍増ができました。

これからも地域社会をより良くするために、他人に対する思いやり他人のために尽くすことを使命とし、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕の四部門を事業を通して郷土美唄の豊かな発展に一層の努力をしてまいります。

奉仕の実績

昭和49年創立記念事業として国際ロータリー加盟認証状伝達式を記念し、美唄市立中央小学校並びに美唄市立東小学校 2 校に校旗贈呈。

昭和53年創立 5 周年記念として美唄市中央公園に水飲み器並びに東明保育園にミニプール贈呈。

昭和58年創立10周年記念事業として美唄市に図書並びに植樹贈呈。

平成 4 年創立20周年記念事業として美唄市内各小学校に一輪車80台並びに美唄青少年育成基金として金一封贈呈。

平成 6 年美唄市に図書並びに植樹贈呈。

平成 7 年美唄市市民交通課に交通指導用ダミーボーヤ贈呈。

平成 7 年渡り鳥の寄留地宮島沼環境保護に対し宮島沼の会員に全会員入会。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 5 分 区</td><td colspan="4">札幌真駒内ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td>1974年(昭49) 1 月 3 日
1974年(昭49) 2 月 8 日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="4">ホテルアカシヤ　札幌市中央区南12条西1丁目　011-521-5211('96.12月末まで)
ホテルライフォート札幌　札幌市中央区南10条西1丁目　011-521-5211('97.3月より)</td><td>例会日時</td><td>水曜日　12時30分</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td>柿本　恒一</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">札幌幌南ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>吉岡平八郎</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>25 名</td><td>現在
会員数</td><td colspan="4">1996年1月1日現在
58名　内：正会員33名，シニア25名，パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="6">創立　船本　達世　1974　船本　達世　1975　井出　忠一　1976　関口　久作
1977　古川　幸道　1978　金森　祥一　1979　柳田　泰　1980　横田　正二
1981　片原　豊吉　1982　指川　健　1983　太田　寳　1984　林下　忠雄
1985　梅津　正敏　1986　金井　義司　1987　里見　健次　1988　森永　忠輔
1989　渡辺　慶衛　1990　黒田　一夫　1991　本田　勇　1992　安井　修
1993　中村　正夫　1994　髙橋　健一　1995　留目　正　1996　佐久間正巳</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="2">東ポートランドロータリークラブ（アメリカ）</td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(　曜日)</td><td colspan="6">札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室
TEL011-231-1297　（月～金曜日）</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

札幌幌南ＲＣをスポンサークラブとして1974年1月に創立。札幌市南区全域をテリトリーとしていて南区澄川、川沿、定山渓より中山峠に至るまでの広大な面積を有しており札幌市内ＲＣの中では最も大きなテリトリーを誇っている。しかし地理的な意味で山岳地帯が多いため人口は市内各区の中で最も少なくまた住宅地でもあり、事業所が少ないため当クラブも創立以来20有余年がたっているがその割りには会員数は少ない。

適当な人数で住居所在で在籍している会員が多いため親睦は密度が濃い。穏やかな良きロータリーの雰囲気を存続している。地域的な状況から、ＲＩ、地区の方針に拘らず、毎年会員増強をテーマとして取り組んでいる所である。

奉仕の実績

地域に密着した奉仕活動を旨とし、10周年記念事業として真駒内中央公園に子供用遊具を寄贈。91～92年度の社会奉仕、青少年活動ではテリトリー内の全中学校を対象に「環境保全作文コンクール」を実施し、年末家族会での表彰式の模様はテレビでも放映され地区の青少年奉仕功労賞を受賞。92～93年度は同じく社会奉仕委員会の事業として道立真駒内公園に八重桜300本を会員総出で植樹し環境保全功労賞を受賞する。又クラブ創立20周年事業として、世界的にも活躍している札幌交響楽団基金への寄付を行った。地域内にある北海道青少年会館の「コイノボリ」は歴代当クラブの寄贈によるもので、毎年5月5日の「コイノボリをあげよう会」にはクラブ会員が列席している。また当クラブでは特にアジア諸国から来ている留学生を支援する米山奨学会の事業には力を入れており、寄付の推進は勿論、現在まで7名の米山奨学生の内2名をＣＹ（クラブ米山）としてお世話している。そのほか、南区少年少女親善スポーツ大会に対して「優勝旗」の寄贈、盲導犬協会への寄付、老人福祉施設に対する慰問等を行っている。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 1 分 区</td><td colspan="3">小平ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1974年(昭49) 7月15日
1974年(昭49) 8月22日</td></tr>
<tr><td>例 会 場
住所・TEL</td><td colspan="4">小平町商工会会議室
留萌郡小平町字小平町389-2 0164-59-1111</td><td>例会日時</td><td>金曜日 12時15分</td></tr>
<tr><td>創 立 時
ガバナー</td><td>森松 定男</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">留萌ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>小沢 久吉</td></tr>
<tr><td>創 立 時
会 員 数</td><td>27 名</td><td>現 在
会員数</td><td colspan="4">1996年1月1日現在
13名 内：正会員11名、シニア2名、パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="6">創立 木下 昭一　1975 上野 鴻洋　1976 岡野 茂　1977 小笠原敏武
1978 神田徳次郎　1979 石黒 勝巳　1980 木下 昭一　1981 工藤 克見
1982 角谷 丞司　1983 上野 鴻洋　1984 石黒 勝巳　1985 上野 鴻洋
1986 角谷 丞司　1987 谷澤 三由　1988 神田徳次郎　1989 斉藤 博
1990 桜田 鑿　1991 泉 晃暢　1992 久末 祥彦　1993 山内 祐司
1994 小笠原敏武　1995 川森康次郎　1996 横浜 暦</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹
クラブ
友好
クラブ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="6">留萌郡小平町字小平町389-2 小平町商工会内
TEL0164-59-1111</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

22年前の1974年留萌ロータリークラブがスポンサーとして、27名の会員によって創立された当クラブは、その後諸般の事情により会員の退会が続出し、一時は在籍会員7名まで減少した。もちろん会員増強については、毎年最重点目標として在籍会員一同鋭意努力をしているところであるが、過疎化に伴う後継者の不在等…問題が山積し、なかなか困難な現状である。せっかく点った奉仕と友情の灯を、なんとか消すことなく灯し続けたいという願いのもとに、一同努力を続けている毎日である。

奉仕の実績

社会奉仕

○特別養護老人施設の慰問援助（年4回）

○知的障害者との交流援助（年1回）

○身体障害者用資材の援助

青少年奉仕

○ロータリー杯争奪少年野球大会(年1回)

○幼稚園児との餅つき交流（年1回）

国際奉仕

○国際ボランティア貯金への全員加入

RI第2510地区 第 6 分 区	小樽銭函ロータリークラブ	創立年月日	1975年(昭50) 9月18日		
		RI承認年月日	1975年(昭50) 10月21日		
例会場 住所・TEL	助六にしん場店 小樽市銭函2丁目12—13 0134-62-2525	例会日時	木曜日 12時30分 (最終例会 18時00分)		
創立時ガバナー	青木 一雄	スポンサークラブ	小樽南ロータリークラブ	特別代表	太田 秀夫
創立時会員数	23 名	現在会員数	1996年1月1日現在 17名 内:正会員17名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		

歴代会長							
創立	湊 顕	1976	湊 顕	1977	鈴木 春雄	1978	和田 英伸
1979	河崎 義章	1980	石田 昌象	1981	太田 節郎	1982	藤田 政昭
1983	上村 昌毅	1984	山内 豊茂	1985	和田 英伸	1986	佐々木康使
1987	江刺家俊輔	1988	藤中 博文	1989	藤田 政昭	1990	茂木 久
1991	長尾 繁範	1992	上村 昌毅	1993	松本 光世	1994	藤川 正二
1995	本間 啓司	1996	石岡 信之				

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	会長・幹事宅				

クラブの沿革と特徴

1975年9月18日第351地区ガバナー青木一雄氏、並びに小樽南RC会員特別代表太田秀夫氏、分区代理角江哲雄のご尽力により、小樽シーサイドホテルに於いて、小樽銭函仮RCの創立総会を行う。10月21日付けでRIより正式加盟承認の通知があり、小樽銭函RCとして発足した。翌1976年5月30日、小樽銭函市民センターに於いて認証状伝達式を行う。発足時の会員数は23名であった。発足時の例会場であった小樽シーサイドホテルが閉店となり、例会場を「にしん場」の2階大広間に移し現在もこの場所で行っている。第2510地区で畳の部屋で例会を行っているのは当クラブだけだそうである。現在の会員数は17名である。少人数のため会員間の意志の疎通を諮りやすい反面、一人の会員が何役もこなさなければならず忙しさもまた格別である。20周年を機に会員をもっと増やそうというのが会員の総意である。

奉仕の実績

銭函RCの奉仕活動は、地元重視で行い平年度と5年毎の記念事業に分けられる。平年度の奉仕活動としては少年野球大会、植樹、また銭函町民運動会の協賛等がある。少年野球大会は今年で11回目、だいたい10月に行う。東小樽、朝里、銭函地区から8つの野球チームが参加し2日間の日程で行う。この地区で6年生が出場できる最後の大会として大好評である。又、植樹は銭函地区にある心身障害者の施設、札幌緑花会の広大な敷地に行っている。今年で9年目である。毎年、桜の木を10本、梅の木を10本づつ行っていたが1995年度は創立20周年記念として、友好RCとして交際のある常陸大宮RCより寄贈を受けた、水戸の梅200本を植樹した。又、5年毎の奉仕事業としては、国道5号線に交通安全の看板、銭函市民センターの緞帳巻き上げ機、銭函公園の野球場にベンチ3脚、銭函地区の小、中学校4校に図書の寄贈等がある。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 3 分 区</td><td colspan="3">当別ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="3">1976年(昭51) 4月6日
1976年(昭51) 4月19日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="4">田西会館
石狩郡当別町弥生1091　01332-3-4050</td><td>例会日時</td><td colspan="2">火曜日　12時30分</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td>青木　一雄</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">札幌北ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td colspan="2">前田　　治</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>22 名</td><td>現 在
会員数</td><td colspan="5">1996年1月1日現在
41名　内：正会員36名、シニア5名、パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="7">創立　千葉　荘康　1976　千葉　荘康　1977　戸田　紀夫　1978　辻野　修
1979　河村　澔美　1980　田辺　恒義　1981　氏家　守　1982　三宅　昌幸
1983　片岡　弘二　1984　白井　喆応　1985　武田　昭龍　1986　岡田　泰紀
1987　千葉　一男　1988　神田　光男　1989　安藤　正　1990　下段　寿之
1991　米口　稔　1992　平出理三郎　1993　福井　昭和　1994　内海　英徳
1995　泉亭　俊徳　1996　竹田　和雄</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>ローターアクトクラブ</td><td></td><td>インターアクトクラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="3">岩出山ロータリークラブ</td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="7">石狩郡当別町弥生1091　田西会館
TEL・FAX01332-2-0507</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

当別ロータリークラブは、1976年4月6日青木一雄ガバナー、前田治特別代表の指導のもと、札幌北ロータリークラブをスポンサークラブとして22名のチャーターメンバーで仮クラブを創立し、同年4月19日国際ロータリーに加盟承認されました。1981年、1988年第3分区ＩＧＦ開催、1994年第3分区ＩＭ開催、1980年岩出山ロータリークラブと姉妹クラブ締結。1996年創立20周年。石狩川をはさんで札幌市江別市と隣接し、120年以上の開拓の歴史を持つ当別町をエリアとする当クラブは、少人数ながら地域にしっかりと根をおろし伝統を大切にするメンバー１人１人の顔の見える、団結力の強いクラブです。

奉仕の実績

創立10周年の記念事業として当別町に寄付されたロータリークラブ育英基金は毎年2、3名の高校生に学資援助を続けています。町役場に隣接する公園にはロータリーの森と名付けられた一画があり、毎年植樹を続けています。町内を流れるパンケ川の清掃を役場、町内会の人々と協力して長年行ってきましたが、少ない数ながら数年前からサケが溯上するようになりました。春、秋の交通安全週間には毎年クラブメンバーが街頭に立ってドライバーに安全運転を呼び掛けています。町内には養護老人ホーム長寿園があり身の回りの品物やお菓子等を持って慰問をしています。当別町はスウェーデンレクサンド市と姉妹都市締結をしており、ガラス工芸木工工芸を中心とするスウェーデン交流センターが建設されています。同センターで技術指導するために在住している外国人とその家族を年忘れ会に毎年招待して、楽しい時間を過ごしながら国際交流を深めています。町内で開催される青少年の各スポーツ大会に協賛し積極的にスポーツ振興に努めています。当別町でおこなわれる夏のイベント夏至祭、冬のイベントあそ雪の広場に協賛しています。創立20周年には当別町に自動車を寄付し社会福祉活動に利用していただいています。当別ロータリークラブは地域の要望にこたえこれら奉仕活動を今後も続けていきます。

RI第2510地区 第 4 分 区	札幌西北ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1977年（昭52）4月21日 1977年（昭52）4月25日
例 会 場 住所・TEL	三越札幌店4階 札幌市中央区南1条西3丁目　011-271-3311			例会日時	木曜日　12時30分
創 立 時 ガバナー	大野　和男	スポンサー クラブ	札幌西ロータリークラブ	特別代表	武田　　勇
創 立 時 会 員 数	31 名	現 在 会員数	1996年1月1日現在 84名　内：正会員52名、シニア30名、パストサービス会員0名（女性会員0名）		
歴代会長	創立　清水　省吾　1977　清水　省吾　1978　武藤　健蔵　1979　森田　俊雄 1980　松島　達明　1981　藤林　幸廣　1982　小原　　堯　1983　森本　正夫 1984　斉藤　宗男　1985　宇佐美茂幸　1986　須田　清勝　1987　多米　　豊 1988　竹林　照格　1989　菅原　孝悦　1990　八木　忠雄　1991　渡辺　　恒 1992　小西　啓義　1993　山藤　雅弘　1994　冨岡　公治　1995　新井田孝市 1996　出口　元治				
結成した 新クラブ					
ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間（ 曜日）	札幌市中央区北2条西4丁目　北海道ビル507号室 TEL011-231-1297　（月～金曜日）				

クラブの沿革と特徴

札幌西ＲＣをスポンサークラブとして1977年4月に創立。札幌市中央区の西北部、西区の南西部をテリトリーとしており琴似の商店街、中央区の宮の森、山の手の住宅地が含まれている。又中央卸売市場がテリトリー内にあるため創立時には市場の関係会員も多かった。平均年齢は比較的若く、30代の会員も多く在籍。創立当時からの会長の方針である「明るく、楽しい、出席しやすいクラブ」の伝統は現在も存続しておりゴルフ同好会等若く、新しい会員が中心となってクラブ会員数の八割強が同好会員となり整然とした組織運営を行っている。若く活力に満ちたエネルギッシュなクラブであるが、チャーターメンバーやロータリー歴の長い会員との調整は情報委員会、シニア委員会等で頻繁に会合を設けて親睦をはかっている。今後若い会員の益々の増加に伴いこれらの委員会の役割が重要になってくると思われる。

奉仕の実績

地域密着型の奉仕活動で、5周年には西区青少年キャンプ場へ「鐘」と西所轄交番へ交通安全の回転灯を寄贈。10周年ではモエレ沼公園へ桜の成木40本を寄贈し現在では西北ＲＣの立派な桜の森となっている。'81～'82年度より毎年開催している手稲、あけぼのＲＣと共催の冬の室内スポーツ大会「西区・手稲区中学校スポーツ大会」は来期で15周年を迎え、西区、手稲区の全中学校を対象として総員千五百名を超える大会に発展しており、'89～'90年度にはＲＩ会長賞「ワンスタークラブ賞」を、'94～'95年度の「ガバナー賞」を受賞。'94年には国際医療協力のため、東海第四高校のブラスバンドの協力を得てチャリティーコンサートを実施した。財団寄付促進のため新しい会員を対象に「ポール・ハリスフェローを育てる会」を実施し財団への関心と寄付の増加を促している。その成果か、寄付はマルチプルよりは底辺が広く、殆どの会員がフェローか準フェローとなっているのが特徴である。

RI第2510地区 第 1 分区	羽幌ロータリークラブ			創立年月日	1979年（昭54）5月16日
				RI承認年月日	1979年（昭54）6月6日
例会場 住所・TEL	サンセットプラザはぼろ 羽幌町北3条1丁目29番地 01646-2-4455			例会日時	木曜日 12時15分
創立時ガバナー	富田 嘉市	スポンサークラブ	留萌ロータリークラブ	特別代表	東 典俊
創立時会員数	30名	現在会員数	1996年1月1日現在 55名 内：正会員38名、シニア13名、パストサービス会員4名（女性会員1名）		

歴代会長			
創立 吉本 富治	1979 吉本 富治	1980 地島 綱敏	1981 中村 宏
1982 藤岡 和男	1983 前田 晃	1984 水上 潔	1985 金浜 豊隆
1986 佐藤 猛	1987 石野 勇美	1988 大石 洋一	1989 西山 久二
1990 山本三次郎	1991 成沢 卓爾	1992 齊藤 吉信	1993 田原 昇一
1994 舟橋 隆宏	1995 石川 士史	1996 小川原幸紀	

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間（ 曜日）	羽幌町南大通り6丁目 羽幌町商工会館内 TEL01646-2-4189 12：15（木曜日）				

クラブの沿革と特徴

昭和54年5月にスポンサー留萌ロータリークラブ、コ・スポンサー小平ロータリークラブの皆さんのご協力により、30名の会員によって創立されました。一時は羽幌炭坑も栄え人口も市制執行実現も夢見た事もありましたが、事情が一転し1万人強まで減少する中、先輩を先頭に全会員の努力によって今や50数名のクラブに成長し小規模のクラブとしては活発的な活動を展開して居ります。クラブの特徴は、親睦を重点にし、ゴルフ、パークゴルフ、マージャン、歌謡、旬の食べる会など各愛好会などで親睦を深め、地域の障害者施設を始め、特別養護老人ホーム等の慰問寄贈など、更に社会奉仕の分野では継続的な献血推進事業。全道的に呼びかけ、サッカー少年少女が毎年集まる羽幌として親しまれている第2510地区では最北のクラブであります。

奉仕の実績

1979年12月20日初代吉本富治会長の始めての事業として町のヘルパー5名を招き平素の労をねぎらい感謝状並びに記念品を贈呈。1981年3月5日献血協力に参加し会員の熱心な呼びかけで、400名の献血者を実績とし以後継続事業として現在に至って居ります。1982年2月14日「チビッ子雪祭り」に参加し、めん類販売益金を町に寄付。以来現在も継続。1982年5月26日創立3周年記念事業として「ロータリーの森」に記念植樹。1986年9月25日献血運動厚生大臣感謝状受賞し祝賀会開催。1988年8月1日チミケャップ国際キャンプへ羽幌高校生2名派遣。1989年7月29～30日第1回羽幌ＲＣ杯全道少年少女サッカー大会開催。翌年、西ドイツ、ゲルトミュラー、ヘルムート、ハーラー両氏によるサッカー教室開催。1993年5月8日創立15周年記念式典挙行。記念事業として高齢化社会の保健福祉の充実にと、羽幌町に保健指導車1500cc車、2両寄贈する。

RI第2510地区 第 7 分区	白老ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1979年(昭54) 6 月17日 1979年(昭54) 9 月 7 日

例会場 住所・TEL	白老観光センター２階 白老郡白老町若草町２丁目３番１号　0144-85-2736	例会日時	水曜日　12時30分
創立時 ガバナー	富田　嘉市　／　スポンサークラブ：登別ロータリークラブ	特別代表	宮武　清一
創立時 会員数	30 名	現在 会員数	1996年１月１日現在 35名　内：正会員18名、シニア16名、パストサービス会員１名(女性会員１名)

歴代会長							
創立	川田　清	1980	山本　平雄	1981	佐々木須一	1982	壬生竜之介
1983	梅津　喬	1984	杉村　孝	1985	加藤　信雄	1986	山川　力雄
1987	伊東　稔	1988	川上　一	1989	木下助五郎	1990	山本　平雄
1991	藤岡　和男	1992	大道　賈	1993	熊谷　昴	1994	田辺　真一
1995	安達　清志	1996	戸田実津男				

結成した新クラブ	

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	国内　仙台西ロータリークラブ 外国　(カナダB．C州) ケネルロータリークラブ

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	白老郡白老町若草町２丁目３番１号　白老観光センター２階 TEL0144-85-2736　FAX0144-85-2736　10：00～15：00（月～金曜日）

クラブの沿革と特徴

白老クラブは1979年６月スポンサー登別クラブのお世話で創立致しました。

創立後1981年大昭和製紙が進出しているカナダブリテッシュコロンビア州ケネル市ロータリークラブと姉妹提携を結びました。その数カ月後に白老町とケネル市が姉妹都市提携されましたが、ロータリークラブの姉妹提携のため代表団がケネル市を訪問したのが起爆剤になったと当時のケネル市長が述べております。又1982年には町内にある仙台藩陣屋跡の縁をもって仙台西ロータリークラブとの姉妹クラブ提携に調印し、以後隔年相互訪問を行い現在も交流を続けております。一方地域においては青少年心身障害委員会(現人間尊重委員会)の活動として青少年スポーツ活動を行うとともに心身障害者施設への慰問を続けております。特に留学生の交換事業では本年度から地区としてお世話になりますがそれまではクラブ間で行い一度の事故もなかったことは関係者の努力であったと思います。

奉仕の実績

白老クラブは国際交流を重視した点から1981年にケネル市ロータリークラブと姉妹提携し、以後隔年毎留学生の交換を続けて参りました。特にクラブ間の交換ではありますが歴代会長を始め国際委員長のきめ細かな計画と派遣者の選考の結果現在派遣中を含み無事故で続けて参りました。本年度札幌市で行われた地区大会において国際交流に貢献したとの理由で西條ガバナーから表彰されました。このことはクラブの誇りであるとともに西條ガバナーに心からお礼を申し上げます。

又地域においては青少年問題を重視し心身障害者施設の慰問、少年サッカー大会の支援、学生の登校時の声かけ運動等を行うとともに町立図書館への図書購入資金の贈呈を15年間続けております。

今後も会員相互の親睦を図りながら地区内クラブとの交流を続けて参りたいと思います。今後ともクラブの活動についてガバナーのご指導をお願いし報告と致します。

RI第2510地区 第 7 分 区	北広島ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1980年(昭55) 4月10日 1980年(昭55) 5月12日

例会場 住所・TEL	札幌広島プリンスホテル 北広島市中の沢450ー1　011-373-1111	例会日時	火曜日　12時30分

創立時 ガバナー	小川　忠一	スポンサー クラブ	札幌幌南ロータリークラブ	特別代表	登坂　三夫

創立時 会員数	22 名	現　在 会員数	1996年1月1日現在 21名　内：正会員20名、シニア1名、パストサービス会員0名(女性会員0名)

歴代会長							
創立	坂田　義和	1981	井藤　俊信	1982	武田　武	1983	山根　勧
1984	加々見盛幸	1985	伊藤　義一	1986	加藤　寛治	1987	宮崎　眞
1988	杉山　重義	1989	竹内　実	1990	鈴木　政夫	1991	武田　武
1992	佐藤寛太郎	1993	斉藤　洌	1994	田嶋　稔	1995	加藤　寛治
1996	石坂　忠輝						

結成した 新クラブ	

ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(　曜日)	北広島市新富町西3ー1　レストランコステンハイム2F TEL・FAX011-373-8892

クラブの沿革と特徴

当クラブは、1980年4月10日に札幌幌南RCをスポンサークラブ(特別代表登坂三夫氏)とし、チャーターメンバー22名で発足いたしました。その後、30名にまで増員しましたが、町人口の増加に相反し、現在では設立当時の22名の会員数に減少してしまいました。しかし、自由でのびのびと明るく親愛の雰囲気溢れるクラブです。

設立当時よりミニクラブとして数多くの奉仕活動を行ってきました。また、この間、2回の分区代理を引き受け、1990年には10周年記念式典を行いました。近隣クラブと年1回合同例会並びに親睦ゴルフコンペを開催するなど親交を深めてきております。

しかし、予算及び会員数が少ない条件下で思うような活動ができない実状であります。

本年秋より市制施行となり新生北広島市として出発いたします。今後は市の名に恥じないクラブとして会員増加はもちろん、活動内容の充実に努めて参りたいと考えております。

奉仕の実績

社会奉仕

・札幌養護学校共栄分校「富ヶ丘学園」の園生とのバス見学を数回実施。

・青少年スポーツ育成の一環とし、野球大会剣道大会への協力。

・緑十字啓発少年団への援助。

・国際障害者年を記念し、バイオリンコンサートの開催。収益金を町内障害者施設へ寄付。

・継続事業として桜の植樹を毎年実施。

国際奉仕

・'96年までに2名の交換留学生を受け入れ、財団奨学生としてアメリカ合衆国、イギリスに派遣。

・消防車、救急車をフィリピンに寄贈。

・設立以来、使用済み切手を会員の職場で集め、アジアへの医療協力をしている。

職業奉仕

・会員の職場訪問を年1～2回実施。

・職場に関する会員卓話を数多く実施。

RI第2510地区 第 3 分 区	岩見沢東ロータリークラブ	創立年月日	1983年(昭58) 6月28日
		RI承認年月日	1983年(昭58) 6月30日

例会場 住所・TEL	岩見沢平安閣 岩見沢市5条東2丁目　0126-23-4581	例会日時	火曜日　12時30分 (第3例会　18時00分)

創立時 ガバナー	山賀　勇	スポンサー クラブ	岩見沢ロータリークラブ	特別代表	山田　功

創立時 会員数	22名	現在 会員数	1996年1月1日現在 46名　内：正会員46名、シニア10名、パストサービス会員1名(女性会員3名)

歴代会長	創立	安井　辰雄	1984	佐藤　健次	1985	石若　由松	1986	竹山　俊男
	1987	西原　宗幸	1988	佐々木龍一	1989	野村　頼房	1990	山口　宏道
	1991	赤松　茂	1992	上野　弘美	1993	金子　賢一	1994	早坂　克己
	1995	藤井　清一						

結成した 新クラブ	

ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	

クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	岩見沢市6条東1丁目　平安ビル2F TEL0126-23-0945　FAX0126-23-0945　10：00～12：30（月～金曜日）

クラブの沿革と特徴

岩見沢開基100年、市政施行40年の記念すべき1983年6月第2510地区（現在）中59番目のクラブとして、また、地区内最初の二階建クラブとして誕生いたしました。クラブの結成に当たりましては、岩見沢ロータリークラブの深いご理解とご協力、特別代表山田功氏の情熱溢れるご指導とご尽力により移籍会員17名、新会員5名の22名によって創立、翌々日にはＲＩより加盟承認を受けると言う異例の早さで正式に発足致しました。現在会員数46名、女性会員も3名と常に明るい雰囲気の中で奉仕を志し、かつ実践に意欲を燃やしております。特に毎月第三例会日は夜間例会でもあり、終了後はセルフサービスのアルコールも用意され毎回賑やかに楽しく親睦を深めております。

奉仕の実績

○交通安全キャンペーンの参加

毎年春秋の二回開催されます、地域総ぐるみ交通安全キャンペーンに全会員がクラブのハッピを着用の上参加、交通安全の啓蒙に努めております。

○クリーングリン作戦に参加

市が河川環境整備の一つとして実施致しております、クリーングリン作戦には社会奉仕委員会が中心となり、毎回多くの会員が積極的に参加致しております。

○青少年育成のための山田功基金

山田功会員よりクラブ創立10周年を記念して贈呈ありました金員を基に、氏のご功績を称え氏の名を冠した特別基金制度を設け青少年の健全育成に努めております。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 5 分 区</td><td colspan="3">新札幌ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td>1984年(昭59) 6 月21日
1984年(昭59) 6 月27日</td></tr>
<tr><td>例 会 場
住所・TEL</td><td colspan="3">ホテル新札幌新館
札幌市白石区本通19丁目南 1 —11　011-862-1711</td><td>例会日時</td><td>水曜日　12時30分</td></tr>
<tr><td>創 立 時
ガバナー</td><td>竹山　涼一</td><td>スポンサー
ク ラ ブ</td><td>札幌東ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>鷲山　寿丸</td></tr>
<tr><td>創 立 時
会 員 数</td><td>28 名</td><td>現　在
会員数</td><td colspan="3">1996年 1 月 1 日現在
58名　内：正会員48名，シニア10名，パストサービス会員 0 名(女性会員 0 名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="5">創立　宇佐美定男　1985　西田　常一　1986　綱木　秀松　1987　中野　武文
1988　須合　一雄　1989　池上　徳一　1990　小檜山富男　1991　飯塚　弘志
1992　津田　晴美　1993　横路　朋己　1994　井原　敏男　1995　髙田　芳夫
1996　小野　修</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td>相模原東ロータリークラブ</td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(　曜日)</td><td colspan="5">札幌市白石区本通19丁目南 1 —11　ホテル新札幌新館内
TEL011-864-4649　FAX011-862-8366</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

当ロータリークラブは1984年 6 月21日札幌東クラブをスポンサークラブとして、白石区のホテル新札幌を例会場と定め第251地区、竹山涼一ガバナー、札幌東クラブ大橋康次会長、鷲山寿丸特別代表を中心として新札幌ロータリークラブの創立を迎えることが出来ました。第251地区内60番目、市内クラブ10番目の創立でございます。宇佐美定男初代会長、飯塚弘志初代幹事、チャーターメンバー28名でスタートしました。

奉仕の実績

第 5 年度1988～'89年　白石区交通安全運動推進委員会に援助と車粉公害追放キャンペーン、キャラバンカー春季・秋期 2 カ年実施、併せてスタッドレスタイヤ普及促進で板垣武四市長より感謝状を受賞しました。第 7 年度1990～'91年、ロータリー交換学生アメリカオレゴン州ポートランドよりクリストファー・ドーソン君を受入れ、1991～'92年、スウェーデンよりカイセン・アン・エバ・ハンソンさん受入れ、1992～'93年、男子（ソモギ）女子（アン）2 名受入れ、宮嶋努君をニューヨークへ丸山敦仁君をスウェーデンへ派遣しました。第 5 年度1988～'89年創立 5 周年記念式典にて友好クラブとして、10周年記念式典では姉妹クラブの提携をし調印式を行いました。第 7 年度1990～'91年白石区・厚別区分区記念少年野球大会が開催され、第 1 回より現在の第 6 回目迄後援を続けております。第10年度1993～'94年（'94年 6 月 4 日）創立10周年記念式典に際し記念事業として札幌市立大谷地小学校へ特殊学級児童用パソコン一式を贈呈し、桂信雄市長より感謝状を受賞しました。※1995～'96年当クラブは初めて女性会員に入会していただく事が出来ました。(5 月29日現在 1 名)

RI第2510地区 第 4 分 区	札幌モーニングロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1988年(昭63) 6月23日 1988年(昭63) 6月30日
例会場 住所・TEL	センチュリーロイヤルホテル 札幌市中央区北5条西5丁目　011-221-2121			例会日時	水曜日　7時30分
創立時 ガバナー	坂本　忠	スポンサー クラブ	札幌北ロータリークラブ	特別代表	三浦　祐晶
創立時 会員数	31 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 67名　内：正会員60名，シニア7名，パストサービス会員　名(女性会員0名)		
歴代会長	創立　近藤　良一　1989　佐藤　研介　1990　堀居　信次 1991　佐藤　健治　1992　佐藤　亮蔵　1993　芝木　秀臣 1994　土屋　忠義　1995　樋口　俊一　1996　坂本　勝彦				
結成した 新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ	札幌龍谷学園高校インターアクトクラブ	姉妹クラブ 友好クラブ	旭川モーニングロータリークラブ 青森モーニングロータリークラブ 川口モーニングロータリークラブ
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	札幌市中央区北5条西6丁目第1道通ビル1F　TEL011-242-3360　FAX011-242-3455 10：00～16：00 (月～金曜日、但し水曜日のみ午前中)				

クラブの沿革と特徴

1988年6月23日、北海道で初めての早朝例会を行うモーニングロータリークラブとして、31名の会員でスタートしました。以来、会員同志が互いに信頼と友情に結ばれた素晴らしい心の通い合ったロータリークラブを目指してきました。夏のさわやかな朝も、冬の寒く暗い朝も、ラジオ体操で元気に始まる例会は対外的にも知られ、また自由で若さ溢れる発想で積み重ねられてきた奉仕活動にも高い評価をいただくクラブに発展してきました。今年度も例会はプログラム委員会を中心に企画し、各委員会が確実に分担を担って、内容の非常に充実した例会を行ってきました。会員相互の親睦は、親睦委員会を中心に色々の企画の中で、楽しみながら友情を深め、また役者ぞろいの会員によるサロンコンサートを自前で開いて音楽感性を高めたり、本当に心豊かな温かいクラブとなりました。会員も7名の入会者があり、念願の70名となり、財政的にも安定したクラブとなりました。

奉仕の実績

本年度はこれまでの活動を継承し、更に充実させることとしました。(1). 献血は社会奉仕活動として5年目を迎え、2日間にわたり各企業・街頭で、163名のご協力をいただきました。(2). 生活なんでも相談は職業奉仕活動として5年目を迎えた継続事業で、そごうデパートのイベントホールに於いて各ジャンルに分かれて市民の悩み・相談を受け付けました。相談件数40数件と例年に比べ若干件数が少なかったが、相談に来られた人には大変喜ばれている事業であります。(3). 国際奉仕は交換留学生の派遣・受入は前年度から引継で続けられましたし、米山奨学生を2名世話し、次年度からは3名のお世話をすることになりました。(4). 青少年活動は、6月22・23日インターアクト年次大会のホストクラブとして、年度最後の活動が残されています。(5). ロータリー財団・米山奨学会の寄付も、会員の協力により順調に目標額を超え、特に今年度米山功労クラブの表彰も受けました。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 7 分 区</td><td colspan="4">千歳セントラルロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1990年(平2)11月19日
1990年(平2)12月12日</td></tr>
<tr><td>例 会 場
住所・TEL</td><td colspan="4">びーとる101　3階
千歳市千代田町3丁目　0123-23-0101</td><td>例会日時</td><td colspan="2">火曜日　12時30分
(第3例会　18時30分)</td></tr>
<tr><td>創 立 時
ガバナー</td><td colspan="2">白石　鉄一</td><td>スポンサー
ク ラ ブ</td><td>千歳ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td colspan="2">村上　正治</td></tr>
<tr><td>創 立 時
会 員 数</td><td>38 名</td><td>現 在
会員数</td><td colspan="5">1996年1月1日現在
54名　内：正会員54名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="7">創立　高塚　信和　1991　高塚　信和　1992　和田　次彦
1993　土居　栄治　1994　山口　武雄　1995　今井　章夫
1996　大井　綱雄</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="3">第2620地区　長泉ロータリークラブ</td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="7">千歳市千代田町3丁目　びーとる101　3階
TEL・FAX0123-26-5788　10：00～16：00(平日)</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

千歳セントラルロータリークラブの会員38名チャーターメンバーで、自慢なのは平均年齢45歳という若さのパワーがあり、しかし不安なのはロータリアンとしての経歴を持つ者が一人もいないということで、この点につき特別代表も大変心配し、白石ガバナーの特段のご配慮によりまして、特別代表補佐を2名加えて戴き尚スポンサークラブからは毎週例会には会長以下各委員長さんの出席を戴いて、指導を受け乍ら、我等はこのフレッシュさを大きな武器として心を一つにして誇り高きロータリアンを目指し、道内では127番目、日本では1930番目、世界では25244番目に誕生し、早くも6年目を迎えました。昨年は千歳セントラルロータリークラブも創立5周年記念式典を挙行するにあたり、次世に誇れる魅力あるロータリーとして新しい価値ある創造に向けて「夢」を「かたち」に変えて素晴らしい奉仕をすることを10年30年に向かって、努力するクラブです。

奉仕の実績

◎創立記念事業①ＪＲ北海道千歳駅駅舎へ大時計寄贈②㈳千歳地区交通安全協会へ広報車寄贈

◎創立5周年記念事業①千歳市へ視力障害者が活字情報を利用する為の録音スタジオ寄贈②千歳市交通安全協会へ活動資金を寄贈③㈶米山梅吉記念館へ第二米山梅吉記念館建設資金を寄贈(2回目)

◎千歳中学校吹奏部へ記念演奏会支援(4回)

◎㈶麻薬覚醒剤乱用防止センターへ資金支援(3回)

◎バングラデシュ健康増進会へ小学校設立準備の為の資金支援

◎千歳国際高等教育村へ活動資金寄贈(2回)

◎市内に住む外国人との国際交流例会(2回)

◎交通安全街頭啓蒙運動への協力参加(18回)

◎当クラブが寄贈の千歳駅の掛時計清掃奉仕

◎千歳ローターアクトクラブと秋季大祭終了の千歳神社周辺清掃奉仕

◎ポール・ハリス・フェロー取得者13名

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 4 分 区</td><td colspan="4">札幌あけぼのロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1991年(平3)3月15日
1991年(平3)4月8日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="5">手稲区民センター
札幌市手稲区前田1条1丁目　011-681-5121</td><td>例会日時</td><td>金曜日　12時30分</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td colspan="2">白石　欽一</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">札幌手稲ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td>山地　庸夫</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>44 名</td><td>現在
会員数</td><td colspan="5">1996年1月1日現在
48名　内：正会員45名、シニア3名、パストサービス会員　名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="7">創立　北市　郁雄　1992　飯田　英年　1993　南　哲夫
1994　買手　哲美　1995　笠原　嘉郎　1996　砂原　雅治</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td colspan="2"></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="7">札幌市手稲区手稲本町2条2丁目4―27
TEL011-684-5667　10：00～16：00（月・火・木・金曜日）</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

札幌手稲ロータリークラブをスポンサークラブとして、1991年3月15日創立致しました。札幌市西区発寒川中心線以西の西区及び手稲区をテリトリーとして奉仕活動を行っております。札幌手稲ロータリークラブから14名の移籍会員を含め44名の創立会員でスタート致しました。手稲山の裾で緑豊かな大地で、私達は未来に向かって限りなく発展を続ける思いを込め、手稲区のマークをシンボルとして純白な雪野原に真赤に燃えた太陽が立ち昇る曙の陽光を表し、会員の輝かしい将来を見すえたバナーを作成して札幌あけぼのロータリークラブの発展を願っています。

(特徴)

会員は、ほとんどが地域の人達であるため、奉仕活動も非常にやりやすい面を持っているクラブです。

奉仕の実績

①手稲山のキャンプ場「カッコウの森」の開設時に、周囲の見取図の看板と丸太の椅子とテーブルとを設置。
②西区、手稲区の中学校18校全校参加の冬期スポーツ大会を主催、現在に至る。
③古切手、テレホンカード等を回収し、日本ユニセフを通じて、世界の恵まれない国々の子供達のために送り続けている。
④毎年行われている「札幌雪祭り」のビデオと慰問品を持って、老人ホームを廻っている。
⑤ポールハリス、準フェローは全員参加している。
⑥手稲区に彫刻一基贈呈。
⑦手稲区星み緑地に、グミの木1,000本植樹。
⑧いじめ問題について、手稲区と共催で学校の先生方、地域の人々とパネルディスカッションを行った。

RI第2510地区 第 7 分 区	長沼ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1991年(平3)12月1日 1992年(平4)1月6日

例会場 住所・TEL	KSインターナショナル 夕張郡長沼町市街地 01238-8-0414	例会日時	月曜日 19時00分
創立時 ガバナー	佐藤 鉄彌 / スポンサークラブ: 恵庭ロータリークラブ	特別代表	宮下総一郎
創立時 会員数	28 名 / 現在会員数: 1996年1月1日現在 26名 内：正会員26名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員3名)		

歴代会長						
	創立	清水 慧子	1992	清水 慧子	1993	望月 良典
	1994	桂 道雄	1995	平川 正	1996	古川 大之

結成した新クラブ					
ローターアクトクラブ		インターアクトクラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	夕張郡長沼町市街地 KSインターナショナル TEL01238-8-0801 (幹事持ちまわり)				

クラブの沿革と特徴

第2510地区64番目の若いクラブです。

初代が女性会長であるということで、何かと話題性に富んだクラブですが、恵庭クラブをスポンサーにし、創立時の佐藤鉄弥ガバナー初めパストガバナー、宮澤正地区幹事、宮下総一郎特別代表、先輩ロータリアンの多くの皆様のお陰を持ちまして誕生したクラブであります。期せずして、チャーターナイトのひと月後に元RI会長のヒューアーチャー氏ご夫妻のご来訪の栄を賜り、会員一同ロータリーのご縁を深く感謝した次第であります。「小さな長沼から世界に目を向け友愛の絆を強めたい」という初代会長のスローガンを基に、設立当初より交換留学生の受入れ派遣事業を活発に行い、交換留学生短期地区内見学の受入れを始め、アメリカに次ぎ現在スウェーデンと交換中です。現会員26名中女性会員3名と少人数のクラブながら会員一人一人のロータリアンとしての自覚は強いものと自負するところであります。目下会員増強中。

奉仕の実績

交換留学生の受入れ派遣を初め、設立以来の継承事業である長沼国際交流フェスティバルは、近隣町村の外国人英語教師、交換留学生等の協力を得、参加500余名の町の青少年並びに町民が交流の機会を通し、文化習慣の相互理解、世界理解と親善、世界平和を目指すロータリー活動の一端を一人でも多くの人々に理解してもらいたい。この国際フェスティバルによって本年度ガバナー賞受賞の栄誉を賜りました。全面的にバックアップしてくれた長沼町、教育委員会、惜しまず協力してくれた長沼高校、交換留学生、米山奨学生、関係各位の皆様に深く感謝致します。その他の継続奉仕活動としては、町に植樹、町立図書館にロータリー文庫の設置。スキー場祭の参加、会員による幼稚園児の歯の無料検診。

地域社会のニーズに合った活動を一歩一歩続けたい。既に8名のポールハリス、9名の準ポールハリスを出し、少額ながら現在20名の米山特別寄付を検討中であります。

<table>
<tr><td colspan="2">RI第2510地区
第 3 分 区</td><td colspan="4">江別西ロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1992年(平4)4月28日
1992年(平4)6月2日</td></tr>
<tr><td>例 会 場
住所・TEL</td><td colspan="5">江別市民会館21号室
江別市高砂町6　011-383-6446</td><td>例会日時</td><td colspan="2">火曜日　12時30分</td></tr>
<tr><td>創 立 時
ガバナー</td><td colspan="2">佐藤　鉄彌</td><td>スポンサー
クラブ</td><td colspan="2">江別ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td colspan="2">松丸　篤蔵</td></tr>
<tr><td>創 立 時
会 員 数</td><td>51 名</td><td>現 在
会員数</td><td colspan="6">1996年1月1日現在
52名　内：正会員40名、シニア12名、パストサービス会員0名(女性会員0名)</td></tr>
<tr><td>歴
代
会
長</td><td colspan="8">創立　土谷　茂樹　　1992　土谷　茂樹　　1993　雉子谷松次
1994　増山俊一郎　　1995　吉田　義男　　1996　大関　久治</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="8"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td colspan="2"></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td colspan="2"></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(　曜日)</td><td colspan="7">江別市萩ケ岡1番地5　石狩中央信用金庫内
TEL・FAX011-382-0939　(月・水の午前中)</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

佐藤鉄彌ガバナー（当時）の強い御要請と、江別ロータリークラブさんの御英断によって当クラブは産声をあげました。

当クラブ初代会長の土谷会員は江別ロータリークラブの会長をはじめ、数々の地区の委員長などを歴任され、当クラブの基礎がために多大なる御尽力をされ、その中でも特に会員相互の融和や例会の雰囲気づくりに腐心されました。その薫陶を得て四年経った現在会員の心にその精神はしっかりと根付き、気軽で皆が平等の意識をもった会風は当クラブの特徴としてすっかり定着した感があります。平均年齢も五十代前半と若く、活気があることも特徴の一つと申してよいかも知れません。スポンサークラブの江別クラブさんとは年1回合同例会を開催してさらなる親交を深め、またお互いのクラブの会員名簿を交換するなどして交流を密にしております。

また当クラブには初代土谷会長作詞、四代目増山会長作曲による「江別西ロータリークラブの歌」があり、そののびやかで明るい歌を会員が声をそろえて歌うたびに、会員の結束や自覚が強くなっていくようです。

さらに1996—97年度の第3分区代理には当クラブ三代目会長雉子谷松次会員が選任される栄をうけ、それに伴って分区のＩＭの開催や、それに加えて創立五周年を控えて会員の意識がさらに高揚しつつあります。

近年旅行同好会やグルメ同好会も発足し、会員相互の親睦も順調に進展しています。

奉仕の実績

奉仕活動では、特にボケ老人問題にとりくみ、また地域で地道に頑張っていらっしゃる方々を例会へお招きしてお礼を申し上げたりと、様々な活動をしております。五周年をむかえるにあたって奉仕活動もさらなる充実を見せることと思います。なにはともあれ皆様方、一度当クラブへメークアップへいらして下さい。あたたかく和やかな雰囲気であなたを歓迎いたします。

<table>
<tr><td>RI第2510地区
第 4 分 区</td><td colspan="3">札幌はまなすロータリークラブ</td><td>創立年月日
RI承認年月日</td><td colspan="2">1992年(平4)6月7日
1992年(平4)6月25日</td></tr>
<tr><td>例会場
住所・TEL</td><td colspan="3">札幌サンプラザ
札幌市北区北24条西5丁目　011-758-3111</td><td>例会日時</td><td colspan="2">火曜日　12時30分
(最終例会　18時00分)</td></tr>
<tr><td>創立時
ガバナー</td><td>佐藤　鉄彌</td><td>スポンサー
クラブ</td><td>札幌北ロータリークラブ</td><td>特別代表</td><td colspan="2">村川　舜一</td></tr>
<tr><td>創立時
会員数</td><td>34 名</td><td>現在
会員数</td><td colspan="4">1996年1月1日現在
37名　内：正会員33名、シニア4名、パストサービス会員　名(女性会員3名)</td></tr>
<tr><td>歴代会長</td><td colspan="6">創立　高原　一雄　1993　大西　義弘　1994　坂田　博
1995　高橋　裕典　1996　中山　正美</td></tr>
<tr><td>結成した
新クラブ</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>ローター
アクト
クラブ</td><td></td><td>インター
アクト
クラブ</td><td></td><td>姉妹クラブ
友好クラブ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>クラブ事務所
住所・TEL
執務時間(曜日)</td><td colspan="6">札幌市北区新琴似8条1丁目1番45号
TEL・FAX011-736-6616　10：00～16：00(月・火・木・金曜日)</td></tr>
</table>

クラブの沿革と特徴

札幌はまなすロータリークラブは1992年6月7日が創立という若いクラブですが、市内クラブでは珍しく2人の女性会員が、チャーターメンバーにおります。

行政区域も札幌市の北区の一部と石狩町全域ということですが、札幌市の会員も石狩町の会員も一つの輪となり、奉仕活動を行っております。

札幌北ロータリークラブをスポンサークラブとして出来たクラブでありますが、創立時北ロータリークラブより移籍頂った3名の先輩ロータリアンの献身的なご指導により、ようやく各委員会活動や、奉仕活動の歯車がまわりだしたところでございます。

今後一層の会員の増強が必要とのことを第一に掲げ、地域に密着したロータリークラブとして成長してまいりたく、会員全員が頑張っているところでございます。

奉仕の実績

1992年6月創立のクラブでして、多くの実績はございませんが、社会奉仕活動の始まりは、石狩町庁舎の落成を機に、庁舎前に石狩町の花〝はまなす〟の苗を継続して植えております。

1995年職業奉仕委員会として、石狩町社会福祉ボランティア協会に登録して、当協会の要請に応じております。その内容は福祉施設の方の買物、遠足、夏祭り等の際に車椅子による介護であり又、赤い羽根募金の街頭募金活動に各委員会から数名づつ参加しております。青少年活動にはR財団の恩恵を受けられない海外私費留学生への援助を行い、継続的な活動にしたいと思っております。

1996年9月1日には石狩町の市制施行を記念し、事業として記念碑贈呈及びベートーヴェンの第九を提案して10月27日石狩南高校体育館におきまして、町民350名の手作り合唱団と札幌交響楽団が、石狩の空へ歓びの声を大きく響かせます。

RI第2510地区 第 7 分 区	苫小牧東ロータリークラブ			創立年月日 RI承認年月日	1992年(平4)6月11日 1992年(平4)6月26日
例会場 住所・TEL	トマコマイホテルニュー王子 苫小牧市表町2−1−30　0144-33-6121			例会日時	木曜日　12時30分 (第2例会　18時00分)
創立時 ガバナー	佐藤　鉄彌	スポンサー クラブ	苫小牧北ロータリークラブ	特別代表	藤田　信一
創立時 会員数	32 名	現在 会員数	1996年1月1日現在 42名　内：正会員42名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員0名)		
歴代会長	創立　水元　修治　1992　水元　修治　1993　岩崎　良一 1994　榎本　紀允　1995　渡部　好治　1996　蝦名　久志				
結成した 新クラブ					
ローター アクト クラブ		インター アクト クラブ		姉妹クラブ 友好クラブ	
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間(曜日)	苫小牧市新中野町3丁目1−12　川端ビル内 TEL0144-35-3344　FAX0144-33-7744　9：30〜15：30(月〜金曜日)				

クラブの沿革と特徴

創立総会平成4年6月11日。創立時ガバナー佐藤鉄彌。特別代表藤田信一(苫小牧北)。チャーターメンバー32名。年度末現在42名。認証平成4年6月26日。認証伝達式平成4年9月19日。スポンサークラブ苫小牧北RC。区域限界、苫小牧市・厚真町・早来町。会員数平成8年6月30日現在42名。年齢構成40歳代22名、50歳代18名、60歳代2名。平均年齢47歳。平均出席率94.24%。今年度出席100%27名。4年間出席100%17名。財団では、MPHF1名。PHF18名。準PHF8名。ベネファクター1名。米山記念奨学寄付金では、米山功労者2名、ファンドフェロー4名、準米山功労者2名。

奉仕の実績

①1992年苫小牧東RC認証記念事業として苫小牧オートリゾートアルテンの青少年キャンプ場に標識板を寄贈する。

②1994〜95年度、地区ガバナーが提唱する『地域に根ざして世界に語ろう』のテーマを尊重して、バングラデシュのサンダーバンRCに対し衛生トイレ25建設費として3000$の援助資金を贈呈。

③阪神大震災に対する義援見舞金を贈呈。

④苫小牧市国際交流関係団体連絡協議会に参加。

⑤覚醒剤乱用防止街頭キャンペーンを行う。

⑥秋季全国交通安全運動期間中交通事故防止街頭指導に参加協力する。

⑦市内在住外国人留学生を招待(新年会・親睦焼肉野外パーティーの実施)

⑧社会福祉事業として赤い羽根募金。緑の多い環境の街づくりの一環として緑の羽根募金。

⑨南西沖震災に対する義援見舞金の贈呈をする。

⑩小学校スピードスケート競技大会にクラブの通年事業として後援する。

RI第2510地区 第 7 分 区	由仁ロータリークラブ	創立年月日 RI承認年月日	1992年(平4)9月10日 1992年(平4)10月6日

例会場 住所・TEL	ＪＡ由仁　３Ｆ会議室 夕張郡由仁町本町151　01238-3-2321(代)	例会日時	木曜日　12時15分 (第2例会　18時00分)
創立時 ガバナー	北村　實	スポンサークラブ	恵庭ロータリークラブ
特別代表	山岸　貢		
創立時 会員数	25名	現在 会員数	1996年1月1日現在 21名　内：正会員21名、シニア0名、パストサービス会員0名(女性会員1名)

歴代会長	
	創立　東辻　一正　1993　川端　利男　1994　後藤　篤人 1995　有馬　利春　1996　手塚　裕恒
結成した新クラブ	
ローターアクトクラブ	
インターアクトクラブ	
姉妹クラブ 友好クラブ	碧南ロータリークラブ（愛知県）
クラブ事務所 住所・TEL 執務時間（曜日）	夕張郡由仁町本町330　由仁神社内 TEL01238-3-2528　FAX01238-3-2528

クラブの沿革と特徴

由仁町は道央圏の空知最南端に位置し、農業を基幹として古くから拓けた風光明媚なところであります。当クラブの創立はスポンサークラブ恵庭ＲＣが半年に及ぶ永い間新クラブ結成の為に、あらゆる英知と果敢な行動の結晶によって1992年9月に25名の会員を募り誕生した、道内で最もフレッシュなクラブであります。爾来3年有余の経過措置として、クラブの活性化ある健全運営を図る観点から、長期に亘る休眠会員等の対応と相まって、会員増強について鋭意努力を傾けた結果、今日の様なクラブ再編が構築されました。もとより会員の大多数は由仁に土着しており、会員相互の信頼と友情は極めて厚く、クラブ活動運営面において民主的にしかも全員参加で活動を展開しております。

奉仕の実績

〈公共奉仕〉

・郷土資料館の広場に太陽電池時計を寄贈
・環境美化の一環として、町民の憩いの場所に桜の木（成木）を植樹
・国保町立病院入院患者に愛読してもらう本、及び各小中高等学校の内一校を毎年選考してロータリー文庫を謹呈
・毎年度新入小学生全員に教材を進呈
・会員の幼年時代に友と遊んだ日本古来の素朴な遊びを編集し冊子と玩具を寄贈
・産業夏祭りにクラブチャリティを開催し、収益金及び現品等を社会福祉協議会並びに施設に寄贈

〈社会奉仕〉

・敬老の日に因み独居老人宅を訪問し、長寿のお祝いと労いを実施
・クラブでリンゴの木のオーナーとなり少年とその保護者をご招待して、収穫体験学習、ロータリーとの集いを開催
・少年の健全な育成を図る為、空手少年団に対し大会派遣の支援活動を行う一方、少年スポーツ育成指導者への顕彰実施
・会員からテレカを寄贈して頂き、本町で活躍している外国人に特産品を添えて進呈

参 考 文 献

ポール・ハリス　“ロータリーの理想と友愛”（米山梅吉訳）
ポール・ハリス　“ロータリーの創始者ポール・ハリス”（米山梅吉訳）
笹部　誠　“ロータリーあれこれ”
ガイ・ガンディカー　“ロータリー通解”（小堀憲助訳）
Oren Arnold, “The Golden Strand”
Paul Harris, “My Road to Rotary”
ハロルド・トーマス　“ロータリー・モザイク”（松本兼二郎訳）
James Walsh, “The First Rotarian”
蒲原　権　“福島喜三次伝”
小堀　憲助　“ロータリークラブ”
小堀　憲助　“ロータリー思想の理論構造”
小堀　憲助　“ロータリー発生史”
内田　稔　“無我の人　米山梅吉”
青森北東クラブ　“米山梅吉翁と青森県”
米山　梅吉　“常識関門”
森　光繁　“ロータリーの本”
直木太一郎　“ロータリアン読本”
ロータリー日本五十年史
ロータリー日本六十年史
東京ロータリークラブ50年のあゆみ
大阪ロータリークラブ50年史
函館ロータリークラブ25年史・50年史
札幌ロータリークラブ30年の歩み・40年の歩み・50年の歩み・60年の歩み
1970～1996　ロータリーの友
1970～1996　ガバナー月信
1977～1996　地区要覧
1970～1996　地区年次大会記録誌
1970～1996　地区協議会記録誌
口絵写真　ポール P. ハリス（奉仕の冒険）
　　　　　米山梅吉（米山梅吉傳）

あ　と　が　き

ポールP.ハリスの没後50周年を記念して、『地区史』を編纂することが諮問委員会で決定されて、1996年２月、西條正博直前ガバナーを委員長として、第2510地区の地区史編纂委員会が発足しました。10カ月に及ぶ地区史の編纂の作業が終り、いま刊行の運びとなり感無量のものがあります。ロータリーが北海道に根を下ろしてから64年、その間一貫した地区の歴史が編纂されたことはありませんでした。しかし、わが地区では各ガバナー年度の終了時に、『地区要覧』という名称で、『地区活動年次報告書』が発刊されて参りました。そこで『地区史』の内容は、地区の活動資料は『地区要覧』に譲り、ガバナー編とクラブ編を中心に編集し、編纂の主眼は北海道が二分され、当地区が北海道西部—351地区と変わった1970年から1996年までとしました。

本作業を進めるに当りガバナー、パスト・ガバナーの皆様や各クラブの会長さん、そして事務局の方々にたくさんのご指導、ご協力を頂きました。ここに厚く御礼を申し上げます。また適切なご助言を頂いたRI日本サービス・センターの片岡さん、貴重な資料を快く提供して頂いた小樽南RCの西信博会員にも、心から感謝を申し上げます。

時間と費用に制約があって、必ずしも満足の行くものではありませんが、少なくとも地区のために奉仕された方々の足跡は収録したと自負しております。この『地区史』の上に、さらなる奉仕の頁を積み重ね、わが2510地区が新しい世紀へ輝かしい未来を切り開いていかれることを編纂委員一同と共に祈念して擱筆いたします。　(塚原記)

国際ロータリー第2510地区
地区史編纂委員会

委員長　西條　正博　札幌

ここに紹介する7名の委員の1年に及ぶ研鑽努力と、2名の事務局員の真摯な協力によって本書が完成しました。

㈱道水常勤監査役　(水産物加工)

委員　右近　清　小樽

過酷な弾圧によって潰された我が国のRCを国交回復前、真っ先に復帰の手を差し伸べたアメリカ。度量の広さと共にロータリアンとしての強い連帯感を感ずる。

フォトスタジオ右近　(肖像写真)

副委員長　亀井　敏清　函館

編纂委員の方々の努力が実り、短期間に上梓の運びとなりました。ロータリー推進の一助となれば幸いです。

㈲亀井塗装工業所　代表取締役　(塗装)

委員　羽部　大仁　札幌幌南

能力の無い者が、大変な事だと思いつつ…。しかし努力すればと考え、お陰様で良い勉強をさせて頂きました。合掌

歓喜山慧林寺　住職　(仏教-浄土真宗)

副委員長　塚原　房樹　札幌東

散逸しやすい資料を収集して、わが地区の歴史をまとめておくことは、現在の我々に課せられた責務です。

㈱ホクビー代表取締役会長　(食肉加工)

委員　飯田　英年　札幌あけぼの

委員会の開催が増すごとに、胸の苦しさを感じる程でした。1ページを作る事で委員会の方々に、大変助けられました。

英和工業㈱　(電気鍍金業)

委員　越山　司　札幌

目下、市立札幌病院の腎内科病棟で闘病生活を続けておられます。一日も早い全快を心から祈願いたしております。(西條記)

㈲越山ビル　代表取締役社長　(ビルディング経営)

委員　黒澤　昌彦　札幌東

この半年余りに及んだ地区史の編纂はロータリーの勉強になりました。ロータリアン多数の購読を希望します。

㈱三剣製粉所　代表取締役　(製粉)

担当事務局　塩谷聖子(札幌東RC)、木村聖子(札幌幌南RC)

地区史編纂に大変ご協力をいただき有難うございました。

国際ロータリー第2510地区

地　区　史

ポール・パーシー・ハリス没後50周年記念

1996年12月発行

発　行　地区史編纂委員会
札幌市内ロータリークラブ合同事務所
060 札幌市中央区北２条西４丁目 北海道ビル507号室
TEL (011) 231-1297

制　作　株式会社　芙　蓉　TEL (011) 261-0310

印　刷　株式会社須田製版　TEL (011) 621-0275

製　本　㈲石田製本　TEL (011) 661-5670